令 和 ５ 年 度

大学教育・学生支援機構

報告書

群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

「令和5年度群馬大学大学教育・学生支援機構」報告書発刊にあたって

大学教育・学生支援機構
副機構長　渡　辺　秀　司

群馬大学大学教育・学生支援機構は平成18年度に発足し，主に大学教育の企画・運営・改善・評価を担当する大学教育センター，大学教育センター学部教務委員会に属していた外国語教育部会と国際センターに属していた国際交流委員会に加えて，さらにグローバル人材育成推進委員会をも統合することにより令和5年度に新たに設置したグローバルイニシアチブセンター，学生の大学生活・就職活動を支援する学生支援センター，入学者選抜と学生募集に係る広報を担当するアドミッションセンター，学生及び大学教職員の心身の健康保持増進を図る健康支援総合センター，大学教育全体の改革を推進する教育改革推進室の5センター・1室で構成されています。令和2年度には，教育の内部質保証を推進し，教育内容・教育方法改善・成績評価等の組織的チェックを強化するために教育アセスメント委員会を設置し，その後，オープンバッジ管理室も設置致しました。総合情報メディアセンターも，学生の修学に必須の組織として本機構と連携して活動しております。これら全ての組織は，群馬大学の教育業務を基幹的に担う重要な組織です。

令和5年度は，6年間に亘って新たに始まる第四期中期目標の2年目の年度になります。以前に構築した大学教育，人材育成の充実に向けた教学マネジメント体制に基づいて，令和5年度でも大学教育の内部質保証のＰＤＣＡサイクルによる自己点検を実施して，教育改善の取組みを引き続いて実施しました。他方，大学全体においても，群馬大学教育学部と宇都宮大学教育学部の両学部の緊密な連携・協力に基づいた共同教育学部を令和2年度に設置し，続いて令和3年度には，これからの社会に欠かせないデータサイエンスを担う人材育成を目指した文理融合型の情報学部を設置致しました。さらに，令和3年度は文部科学省から認定を受けた「数理･データサイエンス･AI教育プログラム(リテラシーレベル)」を，令和4年度以降は「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」を実施しています。これは新入生全員を対象とした必修の教育プログラムです。さらに令和5年度には文部科学省から新たに認定を受けた「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用レベル)」も実施しております。

本学の教育・研究の質を更に一層高め，本学が地域に根ざした知的な創造を通じて世界の最先端へとチャレンジし，社会と連携して21世紀を切り開いていく大学であることを地域社会に示す必要があります。そして，令和5年度における取り組みをここに纏め，その総括と課題の摘出を進めていくためにも本報告書を作成することには大きな意義があります。報告書を纏め，評価と企画の基礎となるデータの系統的整理を行っていくことは，教学のＰＤＣＡサイクルを実行していく上でも基本となる作業です。

最後になりましたが，本報告書の作成に当たり，編集にご協力を戴いた教職員の方々，また執筆して戴いた教職員の方々に深く感謝申し上げます。

目　次

巻頭言
目　次 1
1 大学教育・学生支援機構の組織 1
1.1 大学教育・学生支援機構の組織図 1
1.2 大学教育・学生支援機構構成員 2
1.3 教員による地域貢献事業 9
2 大学教育センター 13
2.1 教養教育部会 13
2.1.1 はじめに 13
2.1.2 令和５年度活動概要 13
2.1.3 令和５年度活動内容 13
2.2 大学院授業英語化推進部会 15
2.2.1 はじめに 15
2.2.2 令和５年度活動概要 16
3 グローバルイニシアチブセンター 18
3.1 言語教育ミッション 18
3.1.1 英語教育 18
3.1.2 ドイツ語・フランス語教育 25
3.1.3 日本語教育 26
3.2 GFL ミッション 29
3.2.1 2023 年度活動内容 29
3.3 学生交流ミッション 34
3.3.1 国際化基盤 34
3.3.2 学生海外派遣 36
3.3.3 留学生受入 42
3.3.4 学内国際化 50
3.3.5 学生交流のための奨励金等 52
3.3.6 公開講座 53
3.3.7 学外諸会議への教員の派遣 53
4 学生支援センター 55
4.1 入学料免除及び徴収猶予 55
4.1.1 入学料免除申請者数，免除者数 55
4.1.2 入学料徴収猶予申請者数，徴収猶予者数 55
4.2 授業料免除及び徴収猶予 55
4.2.1 免除申請者数，免除者数 55

目　次

4.2.2　徴収猶予申請者数，徴収猶予者数 56
4.3　寄宿料免除 56
4.3.1　免除申請者数，免除者数 56
4.4　奨学金 56
4.4.1　日本学生支援機構奨学生数（令和 5 年 10 月 1 日現在） 56
4.5　学生相談体制及び学生相談 56
4.5.1　学生相談体制 57
4.5.2　主な相談事項 57
4.5.3　学生相談実態調査アンケートの実施及び活用 57
4.6　授業欠席状況調査 57
4.6.1　授業欠席者数及び主な欠席理由 57
4.6.2　実施方法，時期 57
4.7　障害学生への支援 58
4.7.1　支援内容 58
4.8　学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険 58
4.8.1　加入者数 58
4.8.2　請求種別保険金請求件数 59
4.9　通学証明書，学生旅客運賃割引証 59
4.9.1　発行枚数及び主な発行理由 59
4.10 学生寮 59
4.10.1 養心寮入寮者数 59
4.10.2 啓真寮入寮者数 59
4.11 生活支援施設 60
4.11.1 食堂 60
4.11.2 売店 60
4.12 課外活動施設 60
4.12.1 体育施設 60
4.12.2 文化施設 62
4.12.3 課外活動共用施設 62
4.12.4 合宿所 62
4.13 学生団体及び主な活動 63
4.13.1 学生団体 63
4.13.2 大学祭 63
4.13.3 関東甲信越大学体育大会 63
4.13.4 クラブ・サークルリーダーシップ研修会 63
4.14 学生の就職支援 64

4.14.1 進路状況及び主な就職先 64
4.14.2 全学就職ガイダンス・セミナーの開催 64
4.14.3 キャリアカウンセリングの充実 64
4.14.4 キャリアサポート室における情報収集環境の充実 64
4.14.5 就職支援の体制強化の充実 65
4.15 キャンパスニュース群の発行 65
4.16 事件・事故 65
5 アドミッションセンター 66
5.1 学生募集広報戦略の立案 66
5.2 高等学校学習指導要領（2018 年 3 月告示）に対する入試対応 66
5.3 新たな総合型選抜の実施 66
5.4 入学者の選抜方法改善と追跡調査 67
5.5 オープンキャンパス等 67
5.5.1 群馬大学 Web オープンキャンパス「GU'DAY2023」 67
5.5.2 学部別オープンキャンパス 68
5.6 高大連携活動 68
5.7 学生募集に係わるその他の広報活動 68
5.7.1 高等学校等の教員を対象とした説明会 68
5.7.2 群馬県高等学校長協会との意見交換会 68
5.7.3 大学説明会・進学相談会 69
5.7.4 夢ナビライブ 69
5.7.5 出張模擬授業 69
5.7.6 高校訪問 69
5.7.7 大学見学受入 69
5.7.8 大学案内等のダイレクトメール，郵送など 70
5.7.9 ウェブサイト等による広報 70
5.7.10 学生広報大使による広報 70
6 健康支援総合センター 71
6.1 はじめに 71
6.2 令和 5 年度実施事業 71
6.2.1 学生定期健康診断の実施 71
6.2.2 精神保健調査の実施 72
6.2.3 学校生活に関する困りごと調査の実施 72
6.2.4 学生特殊健康診断の実施 72
6.2.5 外国人留学生健康診断の実施 73
6.2.6 自殺予防対策ワーキンググループの活動 73

目　次

6.3　健康支援総合センター利用状況 73
6.3.1　利用人数及び件数 73
6.3.2　健康相談の対応内容別件数及びカウンセリング報告 73
6.3.3　疾病領域別利用者数 74
6.3.4　診療科別医療機関紹介件数 74
6.3.5　薬剤別処方日数 74
6.3.6　桐生地区・保健室利用状況 74
6.3.7　昭和地区・学生健康相談室利用状況 74
6.4　教育関連活動 74
6.5　健康管理に関する調査研究活動 75
6.6　健康支援総合センター主催の委員会等 75
6.7　健康支援総合センターの全国会議等出席 75
6.8　学内行事実施に伴う救護業務 75
6.9　出版・広報活動 76
6.10 社会貢献活動 76
6.11 産業保健活動 77
6.11.1 安全衛生委員会 77
6.11.2 職員の定期健康診断 77
6.11.3 スタッフカウンセリング 77
6.12 通常業務以外の支援業務 78
6.13 健康支援総合センターの現状及び今後の方向性 78
7　教育改革推進室 79
7.1　教育課程・学習成果に関する取り組み 79
7.2　内部質保証に関する取り組み 79
7.3　その他の取り組み 79
7.3.1　ベストティーチャー賞 80
7.3.2　第 15 回全学 FD 連続講演会「大学教育のグランドデザイン」 80
7.3.3　経済協力開発機構「社会情動的スキルに関する調査（SSES)」への協力 80
8　資料編 81
8.1.1　令和５年度 前期授業評価「学びのリテラシー（1)」集計表 81
8.1.2　令和５年度 後期授業評価「学びのリテラシー（2)」集計表 88
8.1.3　令和５年度 前期授業評価（データ・サイエンス・オンデマンド）集計表 92
8.1.4　大学院授業英語化推進部会の業務実施内容・スケジュール 97
8.1.5　2023 前期　英語化アンケート集計結果 99
8.1.6　2023 後期　英語化アンケート集計結果 108
8.1.7　2023 授業の英語化のための FD セミナーポスター 118

8.1.8　2023 授業の英語化のための FD セミナー実施報告 120
8.1.9　表１　プレイスメントテスト結果推移 124
8.1.10 図１　TOEIC-IP 結果 125
8.1.11 表２　Can-do Statement 125
8.1.12 図２　Can-do Statement　2023 年度入学生の１年間での変化 126
8.1.13 図３　課題テスト結果推移 126
8.1.14 表３　各学期の開講科目一覧と週当たりの授業回数 127
8.1.15 表４　日本語補講授業時間割 127
8.1.16 表５　各授業の概要 127
8.1.17 表６　2023 年後期日本語補講登録者アンケート結果 128
8.1.18 表７　大学間・学部間協定校一覧（2023 年度時点で締結済みのもの） 130
8.1.19 令和５年度入学料免除・徴収猶予実施状況 134
8.1.20 令和５年度授業料免除・徴収猶予実施状況 135
8.1.21 日本学生支援機構奨学生数 136
8.1.22 令和５年度学部 1～3 年次生欠席状況調査一覧 137
8.1.23 令和５年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数 138
8.1.24 令和５年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険
請求種別保険金請求件数 139
8.1.25 令和５年度通学証明書発行枚数，学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由 140
8.1.26 令和５年度　クラブ・サークル一覧 141
8.1.27 令和５年度　進路状況及び主な就職先 142
8.1.28 2023 年度 学生募集広報まとめ 154
8.1.29 2023 年度 高大連携まとめ 159
8.1.30 夢ナビライブ 2023Web in Summer 参加報告 164
8.1.31 夢ナビライブ 2023Web in Autumn 参加報告 166
8.1.32 令和５年度　荒牧・昭和地区学生定期健康診断日程表 168
8.1.33 令和５年度　桐生地区学生定期健康診断日程表 169
8.1.34 令和５年度　学生定期健康診断受検状況（荒牧・昭和地区） 170
8.1.35 令和５年度　学生定期健康診断受検状況（桐生地区） 171
8.1.36 令和５年度　学生定期健康診断結果 172
8.1.37 令和５年度　精神保健調査結果 173
8.1.38 令和５年度　新入生の「学校生活に関する困りごと調査」結果 174
8.1.39 令和５年度　学生特殊健康診断結果 175
8.1.40 令和５年度　外国人留学生特別健康診断結果 176
8.1.41 令和５年度　健康支援総合センター利用状況 177
8.1.42 令和５年度　健康相談の対応内容 178

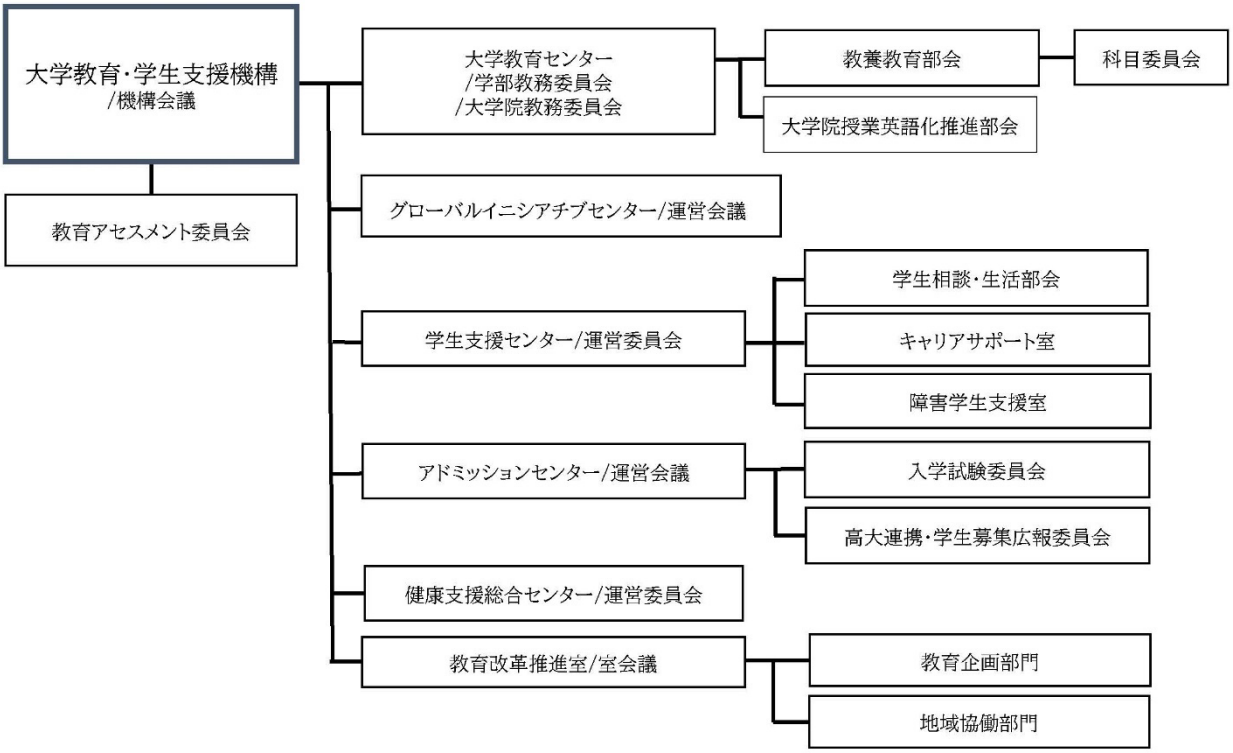
目　次

8.1.43 令和５年度　こころの健康相談者数 179
8.1.44 令和５年度　公認心理師(非常勤)による心理カウンセリング報告 180
8.1.45 令和５年度　疾病領域別利用者数 181
8.1.46 令和５年度　診療科別医療機関紹介件数 182
8.1.47 令和５年度　薬剤別処方日数 183
8.1.48 令和５年度　桐生地区・保健室利用状況 184
8.1.49 令和５年度　昭和地区・学生健康相談室利用状況 185
8.1.50 教学 IR レター vol.6 186
8.1.51 群馬大学全学学習ふりかえりアンケート調査集計表 188
8.1.52 群馬大学全学卒業時アンケート調査集計表 194
8.1.53 群馬大学大学院全学修了時アンケート調査　集計表 210
8.1.54 2023 年度末実施各種学生アンケート結果のポイント 235
8.1.55 第 15 回全学ＦＤ連続講演会「大学教育のグランドデザイン」開催案内 237

1　大学教育・学生支援機構の組織

1.1　大学教育・学生支援機構の組織図

大学教育･学生支援機構　組織図



1.2 大学教育・学生支援機構構成員

大学教育・学生支援機構

機構長	林　邦彦
副機構長	渡辺　秀司

大学教育センター

センター長	渡辺　秀司
副センター長	尾崎　広明

グローバルイニシアチブセンター

センター長・教授	飯島　睦美
副センター長・教授	ネウパネ・プラミラ
副センター長・准教授	牧原　功
教授	野田　岳人
准教授	越智　貴子
准教授	コントレラス・ジェフリー
准教授	髙波　幸代
准教授	フーゲンブーム・レイモンド
准教授	ベルジュロン・シルバン
講師	陳　雲蓮
講師	松田　デレク
講師	大和　啓子
講師	渡邊　知釈

学生支援センター

センター長	林　邦彦
副センター長・教授	結城　恵
副センター長・准教授	五味　洋一

キャリアサポート室

室長	結城　恵

障害学生支援室

室長	五味　洋一

アドミッションセンター

センター長	板橋　英之
副センター長	栗原　淳一
副センター長	宮本　俊一
アドミッションコーディネータ	飯塚　桐子

アドミッションコーディネータ	佐々木　斎人

健康支援総合センター

センター長	齋藤　繁
副センター長・教授	竹内　一夫
講師	宮﨑　博子

教育改革推進室

室長	林　　邦彦
副室長	渡辺　秀司
准教授	二宮　祐

委員会等

大学教育・学生支援機構会議

委員	林　　邦彦	大学教育・学生支援機構　機構長 学生支援センター　センター長 教育改革推進室　室長
委員	渡辺　秀司	大学教育・学生支援機構　副機構長 大学教育センター　センター長
委員	飯島　睦美	グローバルイニシアチブセンター センター長
委員	板橋　英之	アドミッションセンター センター長
委員	齋藤　繁	健康支援総合センター　センター長
委員	二宮　祐	教育改革推進室
委員	笠井　好之	学務部長
委員	尾崎　広明	大学教育センター　副センター長

大学教育センター学部教務委員会

委員長	渡辺　秀司	センター長
委員	尾崎　広明	副センター長
委員	大庭　志野	教養教育部会長
委員	佐野　史	共同教育学部教務委員長
委員	伊藤　賢一	情報学部教務委員長
委員	茂木　精一郎	医学部医学科教務委員長
委員	久田　剛志	保健学科教育課程専門委員長
委員	天谷　賢児	理工学部教務委員長
委員	笠井　好之	学務部長
委員	飯島　睦美	グローバルイニシアチブセンター センター長
委員	二宮　祐	教育改革推進室

大学教育センター大学院教務委員会

委員長	渡辺　秀司	大学教育センター　センター長
委員	尾崎　広明	大学教育センター　副センター長
委員	渡部　孝子	教育学研究科修士課程長

委員	音山　若穂	教育学研究科専門職学位課程運営委員長
委員	河島　基弘	社会情報学研究科学務委員長
委員	南嶋　洋司	医学系研究科生命医科学専攻教務委員長
委員	岩瀬　明	医学系研究科医科学専攻教務委員長
委員	齋尾　征直	保健学研究科教務委員長
委員	荒木　幹也	理工学府教務委員長
委員	笠井　好之	学務部長
委員	飯島　睦美	グローバルイニシアチブセンターセンター長
委員	青木　悠樹	数理データ科学教育研究センター長
委員	鳥居　征司	食健康科学教育研究センター
委員	二宮　祐	教育改革推進室

大学教育センター教養教育部会

部会長	大庭　志野	教養教育部会長
部会員	齋江　貴志	共同教育学部
部会員	岩井　淳	情報学部
部会員	茂木　精一郎	医学系研究科
部会員	小澤　厚志	保健学研究科
部会員	丸山　真一	理工学府
部会員	松尾　一郎	科目委員会委員長
部会員	齋藤　周	科目委員会委員長
部会員	鈴木　裕之	科目委員会委員長
部会員	中雄　勇人	科目委員会委員長
部会員	青山　雅史	科目委員会委員長
部会員	住吉　吉英	科目委員会委員長
部会員	飯島　睦美	グローバルイニシアチブセンター長
部会員	渡辺　秀司	理工学府
部会員	尾崎　広明	理工学府
部会員	牧原　功	グローバルイニシアチブセンター
部会員	佐藤　幸市	生体調節研究所
部会員	二宮　祐	教育改革推進室

科目委員会：学びのリテラシー委員会

委員長	松尾　一郎	理工学府
委員	伊東　陽	共同教育学部
委員	永野　清仁	情報学部
委員	小澤　厚志	保健学研究科
委員	小林　正行	共同教育学部
委員	大塚　岳	情報学部
委員	和田　直樹	医学系研究科
委員	武野　宏之	理工学府
委員	渡邊　知釈	グローバルイニシアチブセンター

科目委員会：総合科目委員会

委員長	齋藤　周	共同教育学部
委員	大野　富彦	情報学部

委員	松崎　利行	医学系研究科
委員	米山　賢	理工学府
委員	金田　仁秀	共同教育学部
委員	小竹　裕人	情報学部
委員	上宮　英之	保健学研究科
委員	村岡　貴子	理工学府

科目委員会：データ・サイエンス委員会

委員長	鈴木　裕之	数理データ科学教育研究センター
委員	山本　亮介	共同教育学部
委員	長井　歩	情報学部
委員	齋藤　勇一郎	医学系研究科
委員	田中　勇樹	理工学府
委員	寺嶋　容明	共同教育学部
委員	柴田　博仁	情報学部
委員	豊村　暁	保健学研究科
委員	金井　昌信	理工学府
委員	濵元　信州	総合情報メディアセンター

科目委員会：スポーツ・健康委員会

委員長	中雄　勇人	共同教育学部
委員	柿本　敏克	情報学部
委員	田鹿　毅	保健学研究科
委員	半谷　禎彦	理工学府
委員	田井　健太郎	共同教育学部
委員	木山　慶子	共同教育学部

科目委員会：人文・社会科学委員会

委員長	青山　雅史	共同教育学部
委員	藤井　正希	情報学部
委員	山本　康次郎	医学系研究科
委員	丸山　真一	理工学府
委員	山崎　法子	共同教育学部
委員	柿本　敏克	情報学部
委員	江良　亮	情報学部
委員	村田　祥子	保健学研究科

科目委員会：自然科学委員会

委員長	住吉　吉英	理工学府
委員	大下　達也	共同教育学部
委員	石川　真一	情報学部
委員	鯉淵　典之	医学系研究科
委員	森本　英行	理工学府
委員	高江洲　俊光	理工学府
委員	岩﨑　博之	共同教育学部
委員	西村　尚之	情報学部
委員	牧野　孝俊	保健学研究科
委員	鹿野　豊	理工学府（～R5.9）

委員	高橋　浩	理工学府（R5.10～）

大学教育センター大学院授業英語化推進部会

部会長	若井　明彦	理工学府
部会員	佐藤　浩一	共同教育学部
部会員	河島　基弘	情報学部
部会員	川辺　浩志	医学系研究科
部会員	齊尾　征直	保健学研究科
部会員	荒木　幹也	理工学府
部会員	フーゲンブーム・レイモンド	大学教育・学生支援機構
部会員	越智　貴子	大学教育・学生支援機構

グローバルイニシアチブセンター運営会議

委員長	飯島　睦美	センター長
委員	ネウパネ・プラミラ	副センター長
委員	牧原　功	副センター長
委員	郡司　明子	共同教育学部
委員	荒木　徹	情報学部
委員	和田　直樹	医学系研究科
委員	李　範爽	保健学研究科
委員	海野　雅史	理工学府
委員	稲垣　毅	生体調節研究所
委員	越智　貴子	グローバルイニシアチブセンター
委員	笠井　好之	学務部長

学生支援センター運営委員会

委員長	林　　邦彦	センター長
委員	結城　恵	副センター長
委員	五味　洋一	副センター長
委員	金澤　貴之	共同教育学部
委員	山口　陽弘	共同教育学部
委員	井門　亮	情報学部
委員	滝沢　琢己	医学系研究科
委員	菊地　千一郎	保健学研究科
委員	金井　昌信	理工学府
委員	関戸　明子	共同教育学部
委員	坂本　和靖	情報学部
委員	鯉淵　典之	医学系研究科
委員	近藤　浩子	保健学研究科
委員	笠井　好之	学務部長
委員	竹内　一夫	健康支援総合センター

学生支援センター学生相談・生活部会

部会長	結城　恵	学生支援センター　副センター長
部会員	五味　洋一	学生支援センター　副センター長
部会員	金澤　貴之	共同教育学部
部会員	山口　陽弘	共同教育学部
部会員	井門　亮	情報学部

部会員	滝沢　琢己	医学系研究科
部会員	菊地　千一郎	保健学研究科
部会員	金井　昌信	理工学府
部会員	渡辺　秀司	理工学府
部会員	竹内　一夫	健康支援総合センター
部会員	松田　デレク	グローバルイニシアチブセンター
部会員	笠井　好之	学務部長
部会員	宮﨑　博子	健康支援総合センター

学生支援センターキャリアサポート室

室長	結城　恵	学生支援センター　副センター長
副室長	坂本　和靖	情報学部
室員	五味　洋一	学生支援センター
室員	関戸　明子	共同教育学部
室員	鯉淵　典之	医学系研究科
室員	近藤　浩子	保健学研究科
室員	金井　昌信	理工学府
室員	笠井　好之	学務部長
室員	牧原　功	グローバルイニシアチブセンター

アドミッションセンター運営会議

委員長	板橋　英之	アドミッションセンター長
	栗原　淳一	副センター長
	宮本　俊一	副センター長
	飯塚　桐子	アドミッションコーディネータ
	佐々木　斎人	アドミッションコーディネータ

入学試験委員会

委員長	板橋　英之	アドミッションセンター長
委員	栗原　淳一	副センター長
委員	濵田　秀行	共同教育学部
委員	杉山　学	情報学部
委員	浜崎　景	医学系研究科
委員	臼田　滋	保健学研究科
委員	三輪　空司	理工学府
委員	宮本　俊一	副センター長
委員	飯塚　桐子	アドミッションセンター
委員	佐々木 斎人	アドミッションセンター

高大連携・学生募集広報委員会

委員長	板橋　英之	アドミッションセンター長
委員	栗原　淳一	副センター長
委員	宮本　俊一	副センター長
委員	田井　健太郎	共同教育学部
委員	小竹　裕人	情報学部
委員	岸　美紀子	医学系研究科
委員	内田　陽子	保健学研究科
委員	天羽　雅昭	理工学府

委員	弓仲　康史	理工学府
委員	フーゲンブーム・レイモンド	グローバルイニシアチブセンター
委員	飯塚　桐子	アドミッションセンター
委員	佐々木 斎人	アドミッションセンター

健康支援総合センター運営委員会

委員長	齋藤　繁	センター長
委員	竹内　一夫	副センター長
委員	宮﨑　博子	健康支援総合センター
委員	山口　陽弘	共同教育学部
委員	井門　亮	情報学部
委員	滝沢　琢己	医学系研究科
委員	菊地　千一郎	保健学研究科
委員	金井　昌信	理工学府
委員	長谷川　靖彦	総務部長
委員	笠井　好之	学務部長
委員	大和　啓子	グローバルイニシアチブセンター

教育改革推進室

室長	林　　邦彦	室長
副室長	渡辺　秀司	副室長
室員	二宮　祐	教育改革推進室
室員	音山　若穂	共同教育学部
室員	加藤　毅	情報学部
室員	岩瀬　明	医学系研究科
室員	齋尾　征直	保健学研究科
室員	越智　貴子	グローバルイニシアチブセンター
室員	幾田　英夫	大学教育・学生支援機構

教育アセスメント委員会

委員長	林　　邦彦	大学教育・学生支援機構　機構長
副委員長	渡辺　秀司	大学教育・学生支援機構　副機構長
委員	佐野　史	共同教育学部
委員	伊藤　賢一	情報学部
委員	岸　美紀子	医学系研究科
委員	久田　剛志	保健学研究科
委員	天谷　賢児	理工学府
委員	笠井　好之	学務部長
委員	佐々木　伸雄	生体調節研究所
委員	高波　幸代	グローバルイニシアチブセンター
委員	鈴木　裕之	数理データ科学教育研究センター
委員	鳥居　征司	食健康科学教育研究センター

1.3 教員による地域貢献事業

教員名	活動内容	実施日
飯島　睦美	群馬県ユネスコ連絡協議会講師	2023 年 5 月 21 日
飯島　睦美	群馬県ひまわり学習会講師	2023 年 7 月 8 日
飯島　睦美	神奈川 LD 協会セミナー講師	2023 年 7 月 31 日
飯島　睦美	筑波大学附属桐が丘特別支援学校英語指導支援（オンライン指導含む）	2023 年 7 月 23 日，7 月 30 日
飯島　睦美	安中碓氷ユネスコ協会シンポジウム講師	2023 年 10 月 21 日
飯島　睦美	群馬県立太田高校講演	2023 年 11 月 17 日
飯島　睦美	埼玉県高等学校英語教育研究会英語劇発表会審査員	2023 年 12 月 15 日
飯島　睦美	群馬県立玉村高校学習支援・授業指導	2023 年 5 月 10 日，5 月 17 日， 6 月 7 日，6 月 14 日， 6 月 21 日，7 月 5 日，9 月 6 日，11 月 29 日，3 月 6 日
飯島　睦美	群馬県観光物産国際協会評議員	2023 年 6 月 12 日，6 月 28 日， 2024 年 3 月 6 日
飯島　睦美	前橋市国際交流協会評議員	2023 年 4 月 18 日,5 月 21 日,11 月 21 日
飯島　睦美	小学校英語教育学会ﾌﾞﾛｯｸｾﾐﾅｰ開催	2024 年 2 月 4 日
越智　貴子	群馬県庁、富岡市、ベトナム外交学院との共催「働く・観光する」外国人に選ばれる街づくり国際セミナーの企画・実施	2024 年 2 月 17 日～2 月 18 日
竹内　一夫	群馬地方労働審議会・会長代行	～令和 6 年 9 月 30 日
竹内　一夫	群馬県障害者雇用対策プロジェクトチーム・座長	
竹内　一夫	全国大学メンタルヘルス学会・理事	
竹内　一夫	全国大学保健管理協会・評議員	
竹内　一夫	前橋市教育委員会学校問題対策委員	

竹内　一夫	群馬産業保健総合支援センター・相談員兼評価委員	
竹内　一夫	群馬職域メンタルヘルス交流会・幹事	
竹内　一夫	北関東医学会・評議員	
竹内　一夫	全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会・評議員	
竹内　一夫	群馬テレビ「ビジネスジャーナル」コメンテーター「職場のメンタルヘルス～産業医を知ろう！」	2023年9月1日
竹内　一夫	NHK「ほっとぐんま６３０」受験生の睡眠についての医学的助言	2024年1月16日
竹内　一夫	医療ポータルサイト「m3.com」地域ニュース,竹内一夫・群馬大学健康支援総合センター教授に聞く◆Vol.１＆◆Vol.２	2024年1月19日,26日
陳　雲蓮	神奈川大学非文字資料研究センター 一般公開学術講演： 「近代上海港の発展と黄浦江の航路整備」	2023年6月23日
陳　雲蓮	拓殖大学「震災復興百年の大計を考えるシンポジウム」登壇者：「後藤新平の関わった港湾復興事業―関東大震災における横浜港の被災と復興に考える―」	2023年9月30日
陳　雲蓮	総社市の旧養蚕農家における登録有形文化財の登録補助業務	2024年2月14日
二宮　祐	群馬県・OECD（経済協力開発機構）「社会情動的スキルに関する調査」クオリティマネージャー	2023年5月～8月
牧原　功	文化庁 関東・甲信越ブロック日本語教師養成・研修推進拠点整備事業 連絡協議会委員	通年
牧原　功	「グローカル・ハタラクラスぐんま」プロジェクト推進室委員	通年
牧原　功	群馬大学公開講座「地域における日本語支援」支援講座	2023年9月9日
松田　デレク	群馬大学公開講座「地域における日本語支援」支援講座	2023年8月19日、26日
宮﨑　博子	群馬地方労働審議会　公益代表委員	2023年11月13日 2024年3月5日
大和　啓子	群馬大学公開講座「地域における日本語支援」支援講座	2023年9月2日
結城　恵	法務省出入国在留管理庁「総合的な支援をコーディネートする人材の役割等に関する検討会」委員	通年
結城　恵	法務省出入国在留管理庁「外国人支援コーディネータの養成のあり方に関する検討会」委員	通年

結城　恵	文部科学省「留学生就職促進プログラム」委員会委員	通年
結城　恵	文部科学省「外国人学校における保健衛生環境整備事業」委員会委員	通年
結城　恵	文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育スタートアッププログラム 地域日本語教育アドバイザー	通年
結城　恵	群馬県「産業振興基本計画推進有識者会議」委員	通年
結城　恵	群馬県「ぐんま SDGs 推進ネットワーク」委員	通年
結城　恵	前橋市社会教育委員会委員	通年
結城　恵	渋川市　総合計画審議会副会長	通年
結城　恵	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM)教科問題研究会委員	通年
結城　恵	「グローカル・ハタラクラスぐんま」コンソーシアム（文部科学省「留学生就職促進プログラム」）委員	通年
結城　恵	留学生就職促進プログラム　　GHKG カリキュラム部会　部会長　GHKG インターンシップ部会委員　GHKG ビジネス日本語部会委員	通年
結城　恵	【文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業フォローアップ事業】 「ハタラクラスぐんま」地域日本語教室　教材開発プロジェクト	通年
結城　恵	【文部科学省科学技術振興調整　群馬大学・群馬県「多文化共生推進士」養成ユニット フォロー・アップ事業】 「多文化共生推進士」へのヒアリング調査・フォローアップ研修	通年
結城　恵	JP-MIRAI 自治体・国際交流協会等勉強会第 4 回「モデル事業から考える特定技能と地域定着」	2023 年 4 月 24 日
結城　恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け　「ビジネス日本語Ⅰ」「ビジネス日本語Ⅱ」「ビジネス日本語Ⅲ」の提供	2023 年 5 月～7 月
結城　恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け　キャリア教育「地域協働のまちづくり」の提供	2023 年 5 月～7 月
結城　恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け　キャリア教育「グローカル地域創生と企業」 の提供	2023 年 5 月～7 月
結城　恵	就職支援ワークショップ「語ろう！聴こう！就職活動の実際ってどうなってるの？」	2023 年 12 月 18 日

結城　恵	G7 日アセアン司法外交閣僚フォーラム特別イベント	2023 年 7 月 6 日
結城　恵	コンソーシアム加盟大学等に在籍する外国人留学生向け「ビジネス日本語フォローアップセミナー」	2023 年 8 月～ 2024 年 2 月
結城　恵	群馬市民大学講座	2023 年 9 月 5 日
結城　恵	外国人材の受入に関する円卓会議	2023 年 9 月 25 日 2024 年 1 月 25 日
結城　恵	全国市町村国際文化館収書（JIAM）開講 30 周年記念セミナー	2023 年 10 月 6 日
結城　恵	公益社団法人前橋青年会議所　10 月例会	2023 年 11 月 21 日
結城　恵	神戸国際コミュニティセンター×大学連携 国際都市 KOBE 推進シンポジウム KOBE で世界とつながるアクション公開検討会	2023 年 12 月 2 日
結城　恵	住民視点で考える本学学生と外国人集住地域の住民との地域交流会企画会議	2023 年 12 月 17 日
結城　恵	「多文化共生推進士」へのヒアリング調査・フォローアップ研修	2023 年 12 月～ 2024 年 2 月
結城　恵	多文化共生をテーマとした群馬大学学生と太田市・大泉町地域住民との交流会	2024 年 1 月 13 日
結城　恵	大泉町図書館こどもお楽しみ会	2024 年 1 月 13 日
結城　恵	愛媛大学　地方の D&I 促進と産業イノベーション創出を目指す高度外国人材活躍促進シンポジウム	2024 年 2 月 26 日
渡邊　知釈	群馬大学公開講座「地域における日本語支援」支援講座	2023 年 9 月 16 日

2　大学教育センター

2.1　教養教育部会

2.1.1　　はじめに

平成 23 年度に発足した教養教育部会は，教養教育を実施・運営するための調整をはじめとする実務的側面を担う組織である。部会長，副部会長，大学教育センター長，副センター長，科目委員会（学びのリテラシー，総合科目，データ・サイエンス，スポーツ・健康，人文・社会科学，自然科学）の各委員長，グローバルイニシアチブセンター，生体調節研究所，大学教育・学生支援機構から各１名，および，各学部教務委員（共同教育学部，情報学部，理工学部からは各１名，医学部からは医学科，保健学科より各１名の計２名）の構成員からなる。令和５年度は 18 名のメンバーで活動した。

2.1.2　　令和５年度活動概要

教養教育部会は，毎月１回（原則として第３月曜日）に定例部会をオンラインにて開催し，教養教育実施に関する諸問題について討議した。令和５年度は，４月に第１回の部会を開催し，８月の休会を除いて，令和６年３月まで計 11 回の定例会議及び２回の臨時会議を実施した。

2.1.3　　令和５年度活動内容

令和５年度教養教育部会の主な業務は下記のとおりであった。

１）次年度教養教育科目開講コマ数の確認
２）次年度教養教育実施体制についての確認
３）次年度教養教育科目の時間割の確認
４）次年度教養教育等学年暦の確認
５）非常勤講師の採用のための審査
６）ゲスト講師の委嘱のための審査
７）ＴＡ及びＳＡの採用に関する審査
８）教養教育科目の授業にかかる経費の確認
９）授業評価アンケート項目及び教養教育アンケート項目の確認
10）ベストティーチャー賞候補者選考手順の確認
11）次年度教養教育履修手引，授業案内作成の確認
12）協定大学との単位互換科目の確認
13）学生の移動を伴う授業にかかる経費配分の確認
14）前年度の教養教育科目成績分布状況の確認
15）次年度教養教育科目におけるメディア授業の確認

これらの主要業務及びそれに関連する事項について，月別に示すと以下のとおりとなる。

４月　ゲスト講師委嘱についての審査
　　学生による ChatGPT 等の利用に関する指針の報告
５月　ゲスト講師委嘱についての審査

令和４年度教養教育科目成績評価分布状況の確認
令和４年度後期授業評価アンケート結果の報告
令和４年度教養教育アンケート結果の報告
令和５年度外部英語テストの概要の報告
令和５年度英語プレイスメントテスト結果の報告
令和５年度入学生の英語 Can-do Statement 結果の報告
レポート書き方案内動画の報告

６月　令和５年度前期授業評価アンケート項目の確認
令和５年度前期授業改善アンケート項目の確認
令和５年度教養教育部会経費の確認
令和５年度後期教養教育開講授業科目変更の確認
最終年次生における教養教育科目未修得問題の確認
外国語教養科目群「選択英語Ａ」の開講取りやめに関する確認
前期既修得単位認定の報告
交換留学生の前期教養教育科目履修についての報告
令和５年度文化講演会の実施報告

７月　令和６年度教養教育等学年暦の確認
学生の移動を伴う授業にかかる経費配分の確認
令和５年度後期非常勤講師の採用についての審査
最終年次生における教養教育科目未修得問題の確認（継続）
令和５年度ＴＡの追加採用についての審査
教養育成科目を対象とした授業改善アンケート実施の検討

９月　令和６年度学部別担当コマ数の確認
令和６年度教養教育実施体制についての確認
ゲスト講師委嘱についての審査
教養教育科目における学生の不正行為に関する処分案の確認
学びのリテラシー（２）授業題目抽選結果の報告

10 月　ゲスト講師委嘱についての審査
令和５年度統一英語試験の予備日設定の確認
公欠制度の導入に関する検討
教養教育科目時間割における帯時間帯の追加に関する検討
令和５年度前期授業評価アンケート結果の報告
令和５年度授業改善アンケート結果の報告
前期追試験申請者の報告

11 月　ゲスト講師委嘱についての審査
令和６年度非常勤講師の採用についての審査
令和６年度教養教育開講科目の確認
令和５年度後期授業評価アンケート項目の確認
令和５年度教養教育アンケート項目の確認
令和６年度放送大学との単位互換科目の確認
交換留学生の後期教養教育科目履修についての報告

12 月　ゲスト講師委嘱についての審査
令和６年度教養教育開講科目の確認
令和５年度教養教育ベストティーチャー賞候補者選考手順の確認
令和６年度教養教育授業案内作成の確認
令和５年度学長と学生との懇談会実施報告
後期既修得単位認定の報告

１月　ゲスト講師委嘱についての審査
令和６年度非常勤講師の採用についての審査
令和６年度教養教育開講科目の確認
令和６年度協定大学との単位互換科目の確認

令和６年度教養教育履修手引作成の確認
令和６年能登半島地震被災学生の対応の確認
教養教育科目成績分布状況に関する教育アセスメント委員会意見の報告

２月　令和６年度開放専門科目の確認
令和６年度ＴＡ・ＳＡ任用計画の確認，審査
令和６年度教養教育開講科目の確認
令和６年度教養教育科目におけるメディア授業の確認
令和６年度教養教育科目再履修クラス開講の報告
令和６年度集中語学セミナー開講の報告

３月　ゲスト講師委嘱についての審査
令和６年度非常勤講師の採用についての審査
令和６年度前期教養教育科目の授業実施方針の報告
令和６年度新入生オリエンテーション計画の報告
令和６年度教養英語ハンドブックの報告

その他，具体的な活動の一部を以下に記載する。

１） 令和４年度教養教育科目成績分布状況の確認について

令和４年度教養教育科目成績分布状況について，適正な評価が行われているかどうかという観点から確認を行った。また，科目区分ごとの成績分布状況について担当教員へフィードバックを行った。

２） 教養教育授業評価について

全学部必修科目となっている「学びのリテラシー（１)」,「学びのリテラシー（２)」及び「データ・サイエンス」の授業評価アンケートを，全学部１年生を対象として実施した。いずれのアンケートにおいても，ほぼ全ての設問において８割～９割が良好との回答が得られており，講義目的は概ね達成されていると判断された。

資料：

8.1.1 令和５年度 前期授業評価「学びのリテラシー（1)」集計表
8.1.2 令和５年度 後期授業評価「学びのリテラシー（2)」集計表
8.1.3 令和５年度 前期授業評価（データ・サイエンス・オンデマンド）集計表

３） 最終年次生の教養教育科目未修得問題について

教養教育科目を最終年次まで修得できずに卒業要件を満たせない学生が発生していることから，各学部に対し教養教育科目履修計画指導の徹底を依頼した。

４） 令和６年能登半島地震被災学生の対応について

令和６年能登半島地震の被災により登校できない学生について，対応策を検討し，授業担当教員へ配慮の依頼を行った。

2.2 大学院授業英語化推進部会

2.2.1 はじめに

令和５年度に発足した大学院授業英語化推進部会は，国際センター及び大学教育・学生支援機構大学教育センターを統合し,両センターの業務の重複を整理するとともに,本学のグローバル化推進を行う

大学教育・学生支援機構グローバルイニシアチブセンターの設置に伴い,国際センターに置かれていた大学院授業英語化推進室を大学教育センター大学院教務委員会の下に移管し設置された組織である。部会長及び部会員（共同教育学部，情報学部，医学系研究科,保健学研究科,理工学部からは各１名，グローバルイニシアチブセンターから２名）の構成員からなる。令和５年度は８名のメンバーで活動した。

2.2.2　令和５年度活動概要

大学院授業英語化推進部会は，令和５年度にオンラインで３回開催し（メール審議１回含む），大学院における授業の英語化に関する企画，サポート及び統括に関すること，全学的調整に関すること，FD，SD の企画，立案，検証及び実施の支援に関すること，大学院授業の英語化の推進に伴う課題等の抽出及び情報共有に関すること，その他大学院における授業の英語化に関する必要な事項について審議した。（資料 8.1.4 大学院授業英語化推進部会の業務実施内容・スケジュール）

１）大学院授業への英語導入に関するアンケートの実施

大学院レベルで,授業を英語で実施している医学系研究科,保健学研究科及び理工学府の大学院生,理工学部４年生及び教員を対象に,前期と後期に Google フォームからアンケートを行った。

【実施期間】前期：2023 年 9 月 13 日～10 月 20 日　　後期：2024 年 3 月 11 日～ 3 月 25 日

【集計結果】資料 8.1.5　2023 前期　英語化アンケート集計結果

資料 8.1.6　2023 後期　英語化アンケート集計結果

２）大学院授業英語化のための FD セミナーの開催

大学院における授業の英語化推進の取組として,教員の授業の英語化を進めるための FD セミナーを実施した。（資料 8.1.7　2023 授業の英語化のための FD セミナーポスター,資料 8.1.8　2023 授業の英語化のための FD セミナー実施報告）

【１回目】

日　時：2023 年 11 月 17 日（金）18：00～19：30

形　式：Zoom によるオンライン開催

テーマ：英語で授業をするための FD　セミナー「英文シラバスの書き方と授業や研究概要に関係する英語プレゼンテーションのブラッシュアップ」

講　師：Raymond Hoogenboom 准教授（グローバルイニシアチブセンター）

越智　貴子 准教授（グローバルイニシアチブセンター）

【２回目】

日　時：2023 年 11 月 22 日（水）18：00～19：30

形　式：Zoom によるオンライン開催

テーマ：医学を英語で教えるとは？効果的な授業実践を国内・海外のｸﾞｯﾄﾞﾌﾟﾗｸﾃｨｽから学ぶ

講　演：鯉淵典之　教授（医学系研究科）

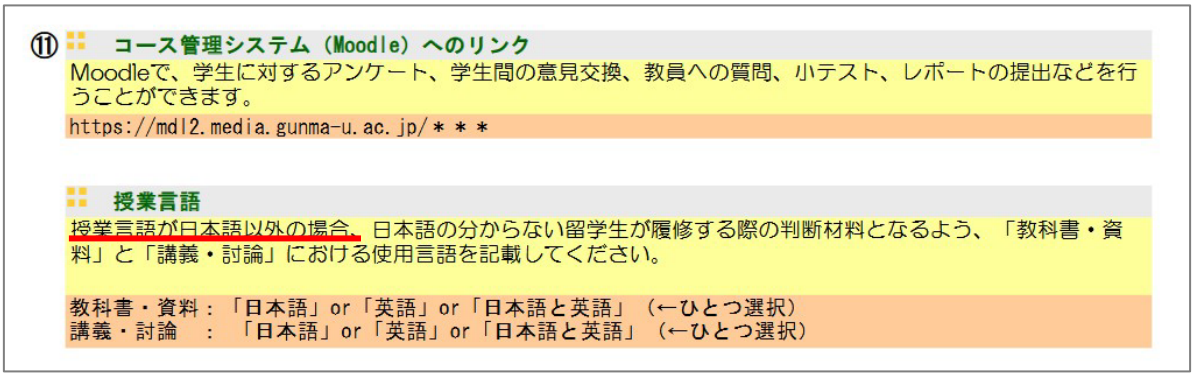
町　淳二　教授（ハワイ大学）

講　評：渡辺秀司大学教育センター長

3）授業科目「使用言語」に関するシラバス記載方法の改善案提示

本学における授業英語化の現状を適切に把握するため，シラバスの授業科目における「使用言語」の記載について，記載案内の変更を教務課教務企画係に依頼した。

【変更前】



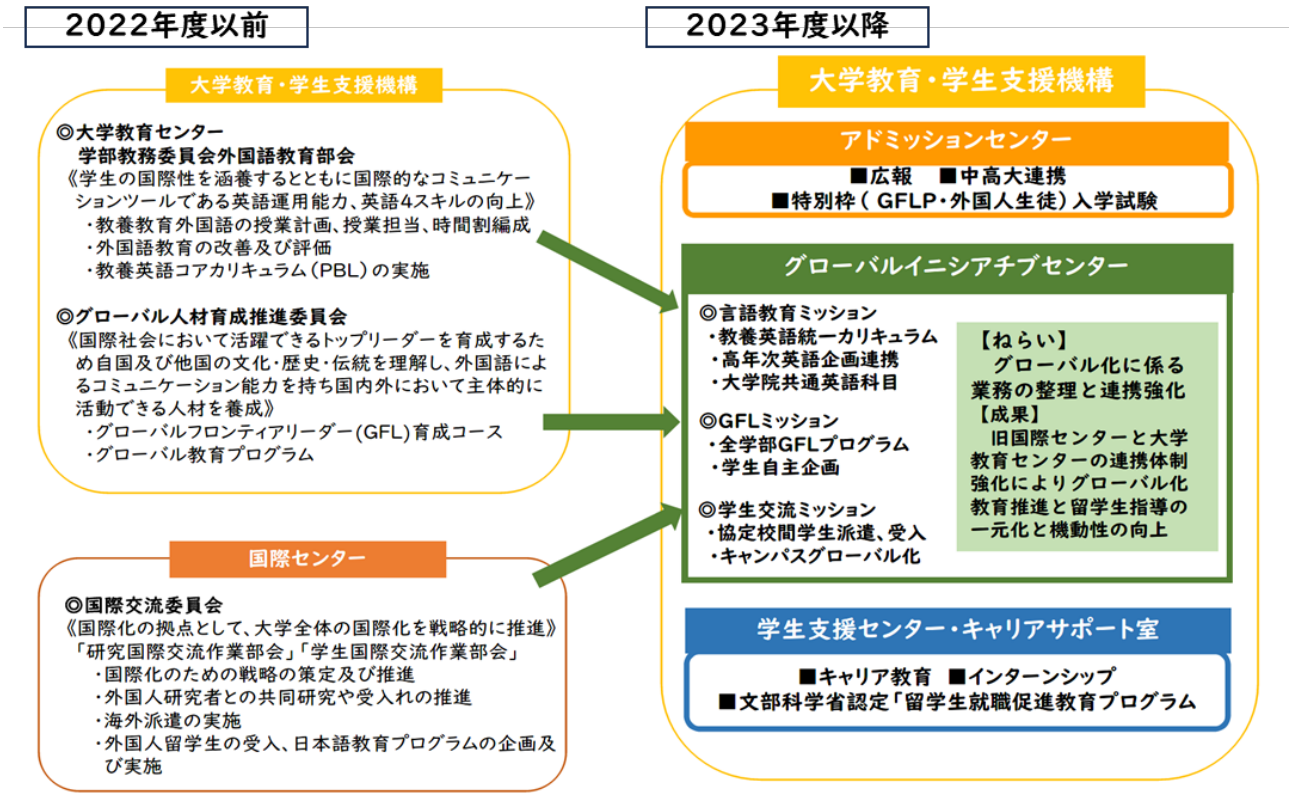
【変更後】

上記，赤線の箇所を削除

3　グローバルイニシアチブセンター

令和５年４月，組織整備として，大学教育センター外国語教育部会と国際センターが統合され，大学教育・学生支援機構の中に，グローバルイニシアチブセンターとして設置された。これにより，それまでそれぞれにおいて進められてき大学全体の国際化に関わる業務や活動が一元化されることとなった。

グローバルイニシアチブセンターは，「言語教育」「GFL（グローバルフロンティアリーダー）育成プログラム」そして「学生交流」の３つのミッションを担っている。



3.1　言語教育ミッション

3.1.1　　英語教育

令和２年度から新型コロナウイルス感染拡大の影響により，オンライン（ライブ配信）での授業実施が基本とされてきたが，令和５年度からは対面授業での実施となった。

3.1.1.1　　英語習熟度別クラス編成とプレイスメントテスト

ELPA オンラインテスト対応（ELCA）を利用し，入学決定者には入学式前に各自オンライン受験を義務付けた。

英語習熟度別のクラス編成の経緯は，平成 19 年度に行ったアンケート調査の分析結果に基づき，平成 20 年度から，希望する学部・　学科のクラスを対象として正式に実施されることになり，平成 21 年度より，社会情報学部１年・２年，保健学科看護学専攻１年（保健Ａ・Ｂクラス），工学部応用化学・生物化学科１年の英語クラスにおいて習熟度別クラス編成が開始された。平成 22 年度には，翌年度以降，

工学部すべての学科に対して実施することが計画され，平成 22 年度末に社会情報学部及び工学部の全一年次生に対して，プレイスメントテストを実施した。このデータをもとに，平成 23 年度の４月には両学部の全新入生に対して，習熟度別クラス編成を行った。平成 25 年度には，医学部（医学科・保健学科）の新入生に対して，翌 26 年度には，教育学部の新入生に対してもプレイスメントテストを実施した。また，平成 28 年度には，平成 29 年度以降に入学した教育学部２年生についても習熟度別クラス編成の実施が決定された。この結果，平成 30 年度には，医学部２年生（医学科・保健学科）を除く，すべての教養英語クラスにおいて，習熟度別クラス編成が実施された。

令和５年度も，例年同様，１年次生については習熟度別クラスを全学部で編成し，履修者数を１クラス 34 名以下とした。これまで過去４回の結果を「8.1.9 表１　プレイスメントテスト結果推移」に示す。

3.1.1.2　英語アチーブメントテスト

例年，アチーブメントテストは，年度末において１年生，医学部を除く２年生のすべての学生を対象に実施する。その結果は，後期英語授業の成績に一部算入することとなっている。

令和５年度は，アチーブメントテストとして，オンラインで受験可能な TOEIC IP オンラインテストを，AI 監督システムを利用して実施した。「8.1.10 表２　TOEIC-IP 結果」は，受験した１年生，２年生の各学部の結果を示している。

この表から，1 年生と 2 年生の平均点を比較すると,学部によっては 2 年生のスコアが低いことがわかる。実は，この傾向は，本学のみならず，日本全国の大学生に見られるものである。TOEIC のスコアが必要となるのは，就職や大学院への進学の際で，学生にとって，２年次などはもっとも学習動機が低くなる時期である。「学生の学習意欲，学習動機と的確に合致しているカリキュラムを策定する」ことが，「自律的学習者を育てる」ことにつながる，ということである。今後，教養教育としての英語科目，高年次教育と連携した英語科目のカリキュラムの在り方をしっかりと検討することが求められている。

3.1.1.3　Can-do Statement の実施

Can-do Statement（英語学習自己省察ツール）を開発し，令和２年度に試行的に運用した。令和３年度より全学部に導入し，１年生は，入学時，前期末，後期末の３回，２年生は，前期末と後期末の２回，教務システム上で実施している。

「8.1.11 表２ Can-do Statement」には，その内容を示しているが，この内容については，英語科目全体で定めた学習目標に従って，作成したものである。よって，単に言語をいかに効果的に習得するかという観点だけでなく，前半の９項目が「英語学習に対する姿勢，態度」に関する自己評価，後半の 11 項目が「英語力」に関する自己評価，合計 20 項目から構成されている。

「8.1.12 図２　Can-do Statement　2023 年度入学生の１年間での変化」からもわかるように，本学の学生の傾向として，前半の９項目「英語学習に対する姿勢，態度」に関する自己評価が高く，後半の 11 項目「英語力」に対しての自己評価が比較的低く出る。

	学習態度					問題解決スキル				英語スキル										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
年間伸び	0.05	0.14	0.20	-0.06	0.21	0.19	0.10	0.21	0.22	0.18	0.18	0.20	0.35	0.18	0.26	0.24	0.29	0.26	0.42	0.30
	0.11					0.18				0.26										

●特に伸びの大きい項目

3. 英語で議論に積極的に参加できる。
5. 活動の中で,それぞれが果たすべき役割を理解し,自ら行動に移すことができる。
8. 様々な文献から得たデータを分析できる。
9. データに基づき,解決策を推奨できる。
12. 英語で話されたり,書かれた内容から重要な情報を書き留めることができる。
13. 英語で自分の考えを構成し,読み手を意識しながら書くことができる。
15. 英語で自分の身近なことを議論したり説明したりできる。
16. 状況に応じて情報を補足し,適切に英語で答えることができる。
17. 自分の考えを共有し,英語で自信を持って意見を述べられる。
18. 社会的・文化的な事柄に関して,英語で批判的かつ論理的に考え,英語で意見を述べることができる。
19. 英語であるテーマについて自信を持って発表できる。
20. 他者の英語による発表を聞いて,内容を理解し,英語で意見を述べることができる

●伸びの小さい項目

1. 英語の授業へ積極的に参加できる。
4. 他者の意見を尊重し,受け入れることができる。

入学時に「学習態度」「問題解決スキル」の自己評価が「英語スキル」の自己評価より高い傾向があるため,1 学年末との自己評価と比較すると,「英語スキル」の伸び率は大きくなる。これは,例年通りの傾向である。４の設問に対する自己評価が入学時より低くなっているのは,例年,特に「医学部」の学生に観察されてきたが,2023 年度入学生は,全学部においてこの傾向が少し強くなっている。社会に出て,多様性に富んだ背景を持つ人々と協働することが求められてくることを踏まえ,よりこの点を意識させたい。

3.1.1.4 英語 101・英語 102

外国語教育部会では，令和２年度から英語教育改善 WG において進めてきた全学の外国語教育改革に取り組み，令和３年度より，教養英語新カリキュラム（群馬大学教養英語コア・カリキュラム）を導入した。コア・カリキュラムでは，教養英語科目における共通目標を以下の通り掲げた。

① 英語による主体的・協働的な学びを通して，文化・社会と自分のつながりを認識し，場面・状況を考慮したうえで，もっとも適切な形で，自分のアイデンティティを英語で表現（発信）できる力を養う。
② 英語による主体的・協働的な学びを通して，身の回りの問題や変化に気付き，それについての考察を深め，解決策を発信する力を養う。

1 年生における年次目標を以下の通り定め，この目標を達成するために，PBL を手法とした教材（Leap to the Future! 1, 2）を，本学内で制作した。

1 年次目標

① 「話す」,「書く」活動を通して，自分自身や身のまわりの文化社会，及び他文化について，自らの考えを効果的に伝える意識を養う。
② 十分な「読む」,「聴く」活動を通して，多様な文化を理解し，感受する力を磨く。
③ 他者が使う英語やそれらが反映された文化に触れ，その違いに気付き，自分が使う英語を含め，多様な英語（文化）を受け入れる態度を身に付ける。
④ 地域・国内社会及び国際社会における諸問題に関して，英語で物事を批判的かつ論理的に考える力を養う。
⑤ 問題解決のために他者と協働し，自らが果たすべき役割を理解することで，率先して課題に取り組む態度を身に付ける。

Leap to the Future! 1,2　（群馬大学出版）

さらに，「英語 101,102　共通評価基準（ルーブリック）」を作成し，1 年生全学部において，統一カリキュラム・シラバスによる授業での評価の公平性を担保することとした。

Evaluation item	Percentage	Evaluation method	S (Excellent) Goals are fully achieved with excellent results	A (Very good) Goals have been achieved	B (Good) Goals have almost been achieved	C (Fair) Minimum amount of goals has been achieved	D (Poor) Goals have not been achieved
Knowledge/Skill English Proficiency	20%	・Paper test (ENG 101: 20%) ・TOEIC (ENG 102: 20%)	Can communicate effectively using a wide range of vocabulary and the correct use of grammar in any situation. Can fully understand and adequately express topics related to own and other areas of study.	Can understand vocabulary and grammar correctly and communicate in most situations. Can usually understand conversations, respond quickly, and deal with topics in specific fields.	Can meet the needs of everyday life and communicate with a basic knowledge of vocabulary and grammar, and a limited level of expressiveness within a limited range. Can understand the main points of an ordinary conversation, and there is no problem to respond.	Can communicate at a minimum level within a normal conversation although there are times where knowledge of vocabulary and grammar are insufficient. Can understand simple conversations and can respond to familiar topics if spoken slowly and simpler words are used.	Cannot communicate well as it is only possible to understand some words – spoken and written. Cannot understand the meaning of a simple conversation even if spoken slowly.
Thinking/Judgment/Expression Problem-Solving Ability	50%	・Report 25% ・Presentation 25%	Can think more deeply about current issues through discussion and collaboration with others and can propose solutions and express them in the most appropriate way. Can think of newquestions and share them with others.	Can think more deeply about current issues through discussion and collaboration with others and can propose solutions and share them with others in an appropriate way.	Can think deeply about current issues through discussion and collaboration with others and can propose more than one solution.	Can think about current issues through discussion and collaboration with others and can propose one solution.	Can think about current issues through discussion and collaboration with others but cannot come up with any solutions.
Attitude and Ability to Learn Autonomously	30%	・ER 20% ・Final Reflection 10%	Can set goals, manage oneself, and learn English actively. Can self-evaluate the achievement level of goals, set the next goal clearly and take action immediately.	Can set goals, manage oneself, learn English. Can self-evaluate the achievement level of goals and set the next goal.	Can set goals, take a positive approach to learning English, and self-evaluate the achievement level of goals.	Can learn English toward a set goal and check the achievement level of the goal.	Cannot self-evaluate as learning English is approached without setting goals.

英語 101,102　ルーブリック

3.1.1.5　英語 201・英語 202

２年次では，共通目標を以下の通り定め，それぞれの学部によって作成されたシラバスに従って，授業が行われた。

２年次目標

１）　身近な環境，及びより広い国内外における多様性に気付き，そこで起きている出来事に関して自ら批判的に考え，確固たる意見を持ち，場面・状況に適した方法で発信することができる。

２）　他者と協働し，地域・国内社会及び国際社会における問題・課題を発見し，その解決策を考え，提案することができる。

英語 201，202 においても，「英語 201,202 共通評価基準（ルーブリック）」を作成し、担当教員が共有することで、評価の公平性を保つことに努めた。

3.1.1.6　英語 111・英語 112

理工学部においては，学生の大学院進学率が高く，その進学の合否判定には TOEIC の得点が利用されている。また学部・大学院ともに，卒業・修了後ビジネス界に就職する率がもっとも高い学部・研究科であり，職に就いた後も英語力を要求されることは必至である。そこで外国語教育部会は，平成 22 年度に群馬大学の学生のおよそ半数を占める工学部（現，理工学部）学生の英語力を増強するために，大幅な英語カリキュラムの改善を検討した。その結果，平成 23 年度には教育基盤センター（現，大学教育センター）「外国語教育部会」がこれを実行に移した。おもな変更点は以下のとおりであるが，平成 24

年度以降もこの方策を継承し，さらに，１クラスの受講者数を削減するために，全体のクラス増を実現した。令和５年度現在，計 20 クラスを開講し，引き続き，１クラス 30 名以下の少人数クラスでの授業を実施している。

１）週２回（90 分×２回）の英語授業を履修する。
２）前期２単位，後期２単位で，１年次に４単位を修得する。
３）週２回のうち，１回は文法・読解力の養成，１回はコア・カリキュラムに沿って，全学統一の４技能育成を目的とした授業とする。 上記に示した，３）文法・読解力養成の授業が本授業に相当する。

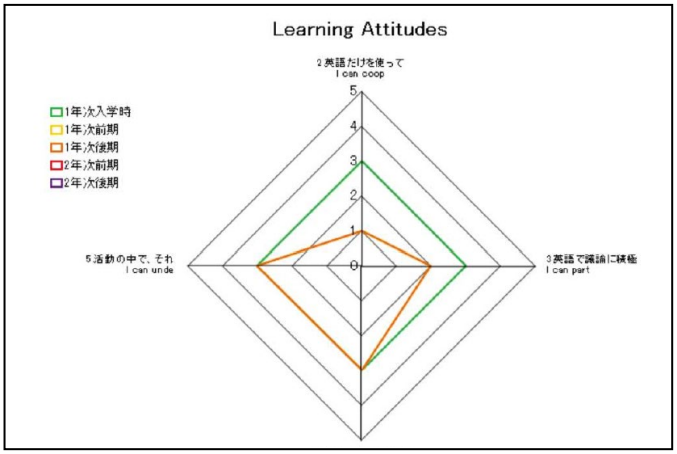
本学における全学の卒業要件となる英語の単位数は４単位であるが，英語力が低く且つ英語に苦手意識を持つ学習者群については，１年次に４単位を集中的に履修させることが望ましいと考え，週２回の授業で４単位を取得させるカリキュラムを運用している。

こうした改変の成果は，新カリキュラム導入から２年後の平成 25 年度末のアチーブメントテストの結果に明確に現れた。また，平成 27 年７月の TOEIC-IP テストの結果は前年度比の伸び率が高く，その原因としては，理工学部における統一カリキュラムの効果に加え，平成 27 年度より，理工学部の入試に英語試験が導入されたことに起因すると考えられる。さらに，入試科目の英語導入後においても，TOEIC-IP テスト結果は引き続き伸びている。

3.1.1.7　ポートフォリオへの記入

令和３年度より，英語学習を管理するための英語ポートフォリオを導入した。このポートフォリオでは，以下の内容が随時保存されていくこととなり，学生本人や指導教員も学生の学習状況を観察することが可能となっている。

TOEIC IP テストの結果
プレイスメントテスト結果
英語科目のリフレクション内容
Can-do Statement の結果



このポートフォリオの有効活用により，学生が自己の学習状況をモニターしながら自律的に学習するメタ認知力も高めることが期待される。上図には，Can-do Statement の一部の学年経過を示している。このように，学生は自身の自己評価についても，どのように捉えていたかを確認すること

が可能となっており，新たな学習目標設定にも有効である。

3.1.1.8　理工学部推薦入試入学生英語課題テスト

令和３年度より，理工学部では，推薦入試入学生を対象として，入学前の課題，入学後の課題テストを実施している。

課題は，大学入試対策として頻繁に利用されている英語文法，語法，語彙に関する問題集を課題として与え，自習をしてもらい，入学後にその習得状況をテストで確認することとした。

ここ数年，推薦入学者の入学時の英語力推移をみるため，同問題で実施している。「8.1.13 図３ 課題テスト結果推移」に示す通り，平均点としては若干下がり気味ではあるが，一般入試を含めたプレイスメントテストの結果もここ数年，他学部も含めて低下傾向にある。理工学部は他学部と異なり，１年生で１単位多く，リーディング力に特化した授業を実施しているので，多読プログラムや e-learning システムを用いて英語学習をモニタリングしながら，難しさの観察される学生には，適宜指導をしてもらうように，非常勤，常勤の理工学部担当英語教員には依頼した。

過年度入学生との比較のため,この３年間,同問題で実施しているが，　結果,2023 年度入学生は,それまでの入学生と比較して,若干であるが平均点が低く,さらに,50 点台以下の分布が,昨年度より多い。このことから,英語を苦手とする学生の層が,ここ３年間の 1 年生より多いことが懸念された。

よって,特に英語 111,英語１１２において,基礎的な英語力を養成しながら,英語１０１，英語１０２においては丁寧に PBL 型の授業を行っていく必要があった。

さらには,Xreading といった多くの英語を読む課題においては,自主的に進めることが危ぶまれる学生がいることが予想されるので,これら学習教材の進捗状況を注意深くモニターしながら,適宜指導を入れることが必要である。

3.1.1.9　希望者受験用 TOEIC-IP,TOEFL ITP　テスト

TOEIC ならびに TOEFL については，例年，全１年生を対象に全学オリエンテーションで説明を行っているが，令和２年度からは，対面での説明会が開催できなかったこともあり，資料を配布することで対応をした。

群馬大学では，平成 15 年度から TOEIC-IP を継続的に実施しており，外国語教育部会が中心となって，多くの学生の TOEIC-IP 受験を促している。実施は年２回（７月／１月）で，平成 21 年度からは，申し込み手続を群馬大学で直接行うことにより，受験料を低く抑えることが可能になった。海外留学を希望する学生にとって TOEFL の成績が要求されることが多いため，群馬大学では，平成 20 年度から TOEFL-ITP を荒牧キャンパスで年２回（６月もしくは７月と，12 月 もしくは１月）実施している。令和２年度は，新型コロナウイルス感染拡大の影響により，TOEFL-ITP 試験を中止とした。令和５年度は，令和 4 年度と同様に,AI 監督をつけての試験として，TOEIC，TOEFL ともに再開した。

3.1.2　　ドイツ語・フランス語教育

3.1.2.1　　ドイツ語技能検定試験・フランス語技能検定試験

群馬大学では，ドイツ語，フランス語担当教員の協力のもと，地域貢献活動の一環として，本学学生のみならず周辺地域の受験希望者も受験できるドイツ語技能検定とフランス語技能検定の公開試験を，荒牧キャンパスで継続的に実施している。

ドイツ語技能検定試験については令和 4 年度までコロナ禍で中絶していた荒牧キャンパスでの冬期試験を再開した。ただし,独検側の財政事情により,これまでのような全級の実施は叶わず,2～5 級のみに縮小された。また,令和 5 年度は宇都宮大,筑波大での実施がなかったため,本学が北関東唯一の冬期試験会場となった。

フランス語技能検定試験（５級～準１級）は令和 4 年度に引き続き,春季試験，秋季試験ともに群馬県内の別の会場で実施した。それぞれの実施日時と受験者数は以下のとおりである。

ドイツ語技能検定試験（冬期試験のみ）

・実施日時：令和 5 年 12 月 3 日（5，4，3，2 級）

学内外の総受験者数：39 名（複数級併願者含む）

フランス語技能検定試験

・実地日時：春季試験：令和５年６月 18 日（5，4，3，準 2，2 級）

学内外の総申込者数：40 名（複数級併願者含む）

・実地日時：秋季試験：令和５年 11 月 19 日（日）(5，4，3，準 2，2，準 1 級）

学内外の総申込者数：74 名（複数級併願者含む）

3.1.2.2　　ドイツ語・フランス語の共通アチーブメントテスト

現在７言語開講されている外国語教養科目は，特にドイツ語，フランス語，スペイン語，ポルトガル語などの印欧語族の言語学習において，高等学校までの英文法の学習を補完し，当該言語のみならず既習の英語の構造をも，より論理的に整理して理解する貴重な機会ともなっている。このことは，英語以外の外国語学習が，英語や母語を含んだ総合的な言語能力を高め，学習者のコミュニケーション能力全体の向上に寄与することにもつながる。

したがって教育内容の充実のためには，学習の達成度を客観的に把握することも重要であり,外国語教養科目のうち，専任教員が在籍しているドイツ語及びフランス語については，学習の進捗を測定するために,平成 21 年度以来授業の到達目標に合わせたアチーブメントテスト(ドイツ語 45 分,フランス語 30 分)を各言語共通の問題で実施してきた。

今年度は,ドイツ語,フランス語ともコロナ禍のため令和 4 年度まで中止していたこのアチーブメントテストの規模を若干縮小して再開し,以下のような結果を得た。

ドイツ語共通アチーブメントテスト

・実施日　令和 6 年 1 月 30 日（火）共同教育学部 16 名受験

フランス語共通アチーブメントテスト
・実施日　令和６年 2 月 5 日（月）共同教育学部 EB クラス 31 名受験
・実施日　令和 6 年 2 月 6 日（火）医学部医学科 3 名受験

なお，平成 21 年度以来 10 年以上にわたって実施されてきた本試験には，ここ数年以下のような一定の傾向が続いており，この傾向は今回も変わらなかった。

＊ ４単位（120 時間）を履修する学生の平均得点は，ドイツ語ではどの学部でも全国のドイツ語技能検定３級合格者の最低得点と概ね同等，フランス語ではフランス語技能検定４級合格者の平均点と概ね同等である。
＊ ２単位履修者の平均得点は４単位履修者に比べて例年約 20 点低く，高得点者が少ないうえ，極端に得点が低い者が多い傾向が続いている。
＊ クラスサイズが 30 名を超えると得点が下がりはじめ，逆に極少人数のクラスではほぼ例外なく高得点になる傾向がある。

学生の英語以外の外国語に対する興味や学習意欲はむしろ高いと言えるが，学力・学習能力のみが年々少しずつ低下してゆく傾向が見られる。英語以外の外国語への興味・意欲を保ちながら，外国語の学習能力を高める指導の工夫，少人数授業の徹底，およびカリキュラムの拡充が，今後の課題であろう。また，外国語教養科目が卒業要件に入っていない学部・学科において，英語以外の外国語の履修者の方が未履修者よりも，TOEIC などの英語の得点がより大きく向上することを示すデータも集積されつつある。

3.1.3　日本語教育

群馬大学では,留学生を対象に以下の日本語科目を提供している。

1.教養教育科目：
（1）・荒牧地区の交換留学生を主な対象とした荒牧中級日本語科目（N２未達レベル）
（2）・荒牧地区の正規留学生等を対象とした日本語科目（N2 以上レベル）
2.学部・研究科開講 日本語科目
3.グローバルイニシアチブセンター開講 日本語補講コース日本語科目

1. および 2. は,グローバルイニシアチブセンターの教員が授業を担当しているが開講主体は,大学教育センターおよび各学部・研究科となっている。ここでは,3. グローバルイニシアチブセンターが開講する日本語補講コースについて,概要を報告する。

3.1.3.1　日本語補講コース概要

教養教育,各学部,研究科等が開講する日本語科目が,主に日本語での研究遂行能力の向上を目指しているのに対し,グローバルイニシアチブセンターが開講する補講コースは群馬大学で学ぶ留学生が日本社会の中で支障なく留学生活を過ごすための日本語能力の育成を目的としている。 そのため,限られたリソースの中で,初学者が生活に必要となる初級のレベルに主眼を置いてカリキュラムを組んでいる。ただし,ある程度の学習歴,例えば日本語能力試験（JLPT）のＮ２や N1 を取得している場合であっても来日直後であったり,就職活動を控えていたりなど,実際の運用上の不安などから受講を希望する者もいるため,中級・上級レベルの授業も展開をしている。

補講コースは令和 4 年度に大幅な改編を行い,全学留学生を対象にすべての授業をオンラインミーティングシステム ZOOM により実施し,令和 5 年度もそれを継続した。

各学期の開講にあたっては,授業開始３週間前程度に各事務部等を通じ,新入生を含めた留学生に受講案内を送付した。オンライン申込フォームによる登録がなされると,GIC 教員が必要に応じてオンラインプレイスメントテスト・面談等の連絡を個別に行い,参加クラスを決定,通知するという手順を取った。

また,補講科目については単位の付与は行っていないが,希望者には履修証明を発行している。令和５年度については 2 件の申請があった。

3.1.3.2　開講科目一覧

前期・後期それぞれ以下の科目を開講した（8.1.14 表３　各学期の開講科目一覧と週当たりの授業回数)。教養教育の学年暦に沿う形で,各学期 16 週で実施した。キャンパスごとの授業時間割が異なるため,日本語補講独自の時間割（8.1.15 表４　日本語補講授業時間割）のように設定し,実施した。

各授業の概要（8.1.16 表５　各授業の概要）のとおりである。コース全体として,受講生各自のレベルに合わせて,コミュニケーションの相手に不快感を与えずに効率的に伝達の目標を達成することができる言語能力・副言語能力の養成を図ることを目標としている。

3.1.3.3　初級クラスにおける発表活動と日本語学習支援ボランティアの活用

初級Ⅱ（学習歴半年程度)・初級Ⅲ（学習歴 1 年程度）のクラスでは,運用力の向上を目指し,学期中盤に,テキストの内容から離れた発表活動を実施した。発表のテーマは,初級Ⅱは「わたしのまち」,初級Ⅲは「日本で経験したこと／経験したいこと」とした。担当教員の添削を受けながら原稿を準備,発話練習を経て,発表し,聴衆からの日本語での質問,コメントに応答した。

発表活動は総合的な日本語力の向上につながるだけでなく,互いのバックグラウンドや経験を開示しあうことによって,テキスト学習からは見えづらいクラスメートの一側面を垣間見ることができ,その後の授業での学生間のやりとりも活発化した。

この活動は形を少しずつ変えながらこれまでも実施してきたが,今年度の新たに見られた現象として,学生の原稿作成の精度が格段に上がったということがある。これは,原稿作成に AI が利用さ

れるようになったためと考えられる。これまでは,原稿作成に準備の時間の多くを割いていたが,指導の方法を転換していく必要があり,今後は作成された原稿の日本語を十分に理解すること,発話の仕方や,発表後のやりとり等に重点を置いた指導等に移行するなど活動の目的を再度検討する必要がある。

発表当日の聴衆には,日本語教員のほかに,日本語学習支援ボランティアバンクに登録をしている日本人学生に参加を要請した。令和 5 年度中は前期 2 回の参加を得られた。実生活の中で日本語でのやり取りをする機会が限られている初級レベルの学習者には,日本人と会話をする好機となった。

3.1.3.4　日本語補講担当者研究会の実施

令和 5 年度の補講コースは,専任 2 名および非常勤講師 4 名で実施した。初級～初中級レベルにおいては,ティームティーチング制で行っており,教材や教授内容,教室運営等についての認識の一致,また教員間の意思疎通の円滑化を目的に,各学期修了後には,日本語補講担当者研究会を実施した。その他,各回の主な検討課題については以下のとおりである。

第 1 回　2023 年 8 月 29 日　13:00～14:30　オンライン
- ・2023 年度前期成績確認・受講者状況の確認
- ・2023 前期新規採用初級教材の指導内容,方法検討
- ・2023 年度後期担当分担・指導内容・授業運営方法検討

第 2 回　2024 年 2 月 28 日　13:00～14:30　オンライン
- ・2023 年度後期成績確認・受講者状況の確認
- ・2023 年 11 月実施補講受講者アンケート結果に基づく運営方法・カリキュラム検討
- ・日本語補講 4 期制の実施にむけての検討
- ・2024 年度前期担当分担・指導内容・授業運営方法の検討

研究会の議論では,語学の授業,特に初級学習者において,カメラオフでのコミュニケーションには教授者側にとって学習者の状況を把握しづらく効果的な教授ができないことが挙げられた。また,受講環境が受講の積極度に影響がある可能性が指摘された。そこで補講の登録案内の段階で,カメラとマイクの使用を条件として明記し,一部のキャンパス内ではあるが,日本語補講に使用可能な教室を準備するという改善策を講じた。またオンライン化に伴うブレイクアウトルームの活用,リスニング教材の有効な使用方法についても各講師の取り組みの共有,意見交換が行われた。次学期の進度や扱う内容については,アンケートから見えた漢字学習のニーズや前学期からの学習の継続性などを考えながら,受講生の状況にあわせて調整を行った。

3.1.3.5　日本語補講受講者交流会の実施

12 月 26 日（火）14:00－15:30 桐生キャンパス 7 号館 5 階 508 室インターナショナルラウンジにて,交流会を実施した。補講コースはオンラインであるため,受講する学生同士の交流が限られる。

特に桐生地区の交換留学生は,オンラインで受講する科目が多く,他の学生と接する機会がないとのことで,日本語補講受講者交流会を企画した。学生約 20 名が集まった。桐生地区だけでなく,昭和地区からの参加もあった。授業担当講師 3 名の参加もあり,いつもオンラインで会っているクラスメートとの初対面やクラス外の留学生との交流の場となった。今後は日本人学生にも参加してもらい,日留交流の場としても機能するように考えていきたい。

3.1.3.6　2023 年後期日本語補講登録者アンケート結果

8.1.17 表６に 2023 年後期日本語補講登録者アンケート結果を示す。

実施年月　2023 年 11 月
対象者　2023 年度後期日本語補講登録者 62 名
回答数　37（回収率　59.7%）
37 名 2 名は　回答時受講とりやめ
取りやめ理由「授業のレベルが合わない」「開講時間があわない」

「授業のレベル」,「テキスト（教材)」,「授業の進度」,「先生の教え方」「役に立っているか」について選択してもらった。各設問には,回答のしやすさという観点から選択肢を準備しつつも,具体的な改善事項を探るため,「その他」として自由記述欄を設けた。また,アンケートの最後に要望・感想・教師へのコメントを自由に記述する欄を設けた。

3.2　GFL ミッション

群馬大学では,本学の学生が「自国及び他国の文化・歴史・伝統を理解し,外国語によるコミュニケーション能力を持ち,国内外において主体的に活動できる人」となるよう,グローバル人材の育成に力を入れている。その一環として,グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラムを設置し,共同教育学部と情報学部が連携した「教育・情報グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース」及び医学部と理工学部が連携した「医理工グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース」の２コースにより,日本語能力・国際理解を含む幅広い教養・外国語コミュニケーション能力の修得を中心とした教育を行うとともに,海外留学の経験を通して広い視野を持つ学生を育成している。

※「グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラム」は,文部科学省の委託事業「理数学生応援プロジェクト」として平成 24 年まで実施していた「工学系フロンティアリーダーコース（FLC）」を全学に発展させたものとなる。

3.2.1　2023 年度活動内容

3.2.1.1　1 年生向けのプログラム

プログラム名	実施日	担当教員・講師	概要
特別枠英語講義	5 月 10 日, 17 日,24 日,6 月 7 日	GIC： Neupane Pramila	GFL 特別枠の学生のための英語講座を通して,英語での会話スキル,メールの書き方やリーダーシップスキルの向上を図った。
Global Awareness I : Exploring Culture & Society	10 月 11 日, 25 日, 11 月 1 日,15 日	GIC： Neupane Pramila,Hoogenboom Raymond, Bergeron Sylvain, Contreras Jeffrey	グループワークによるプレゼンテーションスキルの向上を図り,国際問題について理解を深めることを目的としている。スライドを用いて発表する「Pechakucha」を通して,英語での自然なコミュニケーション,英語表現力の向上となった。
特別講演会 （医理工 GFL コース）	11 月 22 日	大学院理工学府電子情報部門教授 弓仲康史	先端技術を応用して医療分野に貢献していきたいと考えている学生が多いことから講演を依頼。講演を通して,医療現場における様々な医療が理工系の研究によって支えられていることを知ることができた。また,課題を解決するために,異分野を融合させ職種連携を進めていく重要さを学んだ。
特別講演会 （教育・情報 GFL コース）	11 月 8 日	株式会社 Ay 代表取締役 村上采氏	世界で活動することに対する関心が高いことから,前橋を拠点とし世界で活躍する村上氏に講演を依頼。この講演を通して国際的に交流していくための重要な課題を確認する機会となった。
県知事講演会	1 月 17 日, 24 日	群馬県知事山本一太氏	第 1 回は,群馬県の「情報発信」と「地域活性化」をテーマとして学生から提案し,知事とのディスカッションを行った。第 2 回は,GFL 活動内容の紹介に続き,多文化共生,リーダーとしての資質などについて知事との意見交換を行った。 参加者：42 名(対面:20 人 オンライン：22 人)
模擬国連	11 月 29 日, 12 月 13 日, 20 日, 2024 年 1 月 10 日	GIC： Neupane Pramila	「水」問題について,最初に 20 ヶ国に分かれて自国の国益を考慮しながらリサーチ及び交渉を進め,8 チームで発表することとなった。最終回は,問題解決に向けて英語によるプレゼンテーションを行い,交渉力や協調性だけでなく,パブリックスピーキング能力,英語力の向上に繋がった。

3.2.1.2 上級生向けのプログラム

プログラム名	実施日	担当教員・講師	概要
Global Awareness II : Global Issues and SDGs	6 月 5 日,12 日,20 日,26 日,7 月 3 日	GIC： Neupane Pramila	SDGs や国際問題などをテーマに 6 つのグループに分かれてグループワークを行い,最後に英語でのプレゼンテーションを行った。全 5 回を通して英語でのコミュニケーション,ディスカッションや

			プレゼンテーション能力を強化することができた。
インテンシブイングリッシュ（医学部）	10 月 2 日,16 日,30 日,11 月 6 日,13 日	Mary Shibuya	科学論文の基本事項,論理的な発表の仕方,タイトルの付け方,段落構成,表やグラフの挿入等について英語で実施するプログラムであり,表現の工夫や伝わりやすいスライドづくりなど多くのことを学び,自身のプレゼンテーションスキルが高められた。
インテンシブイングリッシュ（理工学部）	5 月 10 日,17 日,31 日,6 月 7 日 ,14 日 ,21 日,28 日,7 月 5 日,12 日,19 日	Deanna Clause	自己紹介,将来研究したいこと,GFL 志望理由などの共通のトピックでコミュニケーションを図り,プレゼンテーションについて英語でディスカッションを行うプログラム。最後に食糧問題,水素エネルギー活用に関する問題,海洋プラスチック問題という 3 つのテーマについてプレゼンテーションを行い,より実践的な英語を学習でき,プレゼンテーション力の向上となった。
企業訪問＆先輩ゼミ	9 月 15 日		理工学部 GFL の中では航空工学,宇宙工学の分野についての関心が高いことから,ロケット飛翔体やジェットエンジン部品の開発,販売を行う企業株式会社 IHI エアロスペースを訪問し,企業が行う事業の規模の大きさ,責任,やりがいを体感した。
先端研究学際講演会（医学部）	11 月 27 日	大学院理工学府環境創生部門教授 板橋英之	タイトル：大学発ベンチャーの挑戦 株式会社グッドアイ（GUDi ： Gunma, University, Development & Innovation）設立の経緯と事業内容
先端研究学際講演会 （理工学部）	11 月 1 日	大学院医学系研究科遺伝発達行動学教授 三好悟一	タイトル：自閉スペクトラム症につながる脳発達過程を理解する （自閉スペクトラム症が発症する脳形成の異変,また回路・分子発達メカニズム）
英語で語る世界の医療事情講座	12 月 8 日,2024 年 1 月 10 日,2 月 19 日,21 日	医学系研究科医学教育開発学講座助教 葭田明弘	医学部に在籍する留学生たちが講師役となり,それぞれの母国の医療事情について英語で紹介してもらう講座。4 名の留学生に依頼し,母国における医療の話から,様々な医療システムの特徴や現状を学ぶ機会となった。
研究テーマプロポーザル講座 及び 先端研究キックオフ発表会	理工学部: 3 月 7 日 情報学部: 2 月 10 日		2 年次後期に希望者を対象に研究室に仮配属され,自身が取り組んできた研究内容について成果発表を行った。2 年生は「研究テーマプロポーザル講座発表会」,3 年生は「先端研究キックオフ発表会」として,それぞれ自身が取り組んできた研究内容について発表を行った。

3.2.1.3　GFL 生限定留学プログラム

プログラム名	実施期間	参加者数	備考
ディーキン大学短期留学プログラム（オーストラア）	2024 年 2 月 10 日～3 月 9 日（4 週間）	15 名	能力別英語クラスを受講するとともに,法学部での模擬法廷,経済学部市場取引室,スポーツ科学研究室などの見学を実施した。留学前後に TOEIC S&W を実施し,全員の語学力の向上が確認できた。
大連工業大学短期留学プログラム（中国）	9月18日～28日（11 日間）	5 名	日本語クラスや特別講義を受講する他,医薬博物館,旅順博物館の見学,大連市内の視察を行った。日本語を学ぶ大連工業大学の学生との交流では,英語,中国語,日本語を活用し語学の難しさを学んだ。
厦門大学短期留学プログラム（中国,理工学部限定）	9月20日～29日（9 日間）	4 名	研究室見学,セミナー,実験などへの参加の他,コロンス島視察,福建煙草工場見学などを行った。現地学生との交流から,中国文化体験や日本文化について紹介するなど,文化交流をから多くのことを学んだ。

3.2.1.4　GFLet’s

GFL リーダー学生による企画として全 7 回実施。各回の活動では,英語を使うアクティビティを行い,GFL 生だけでなく一般学生や留学生との交流の機会をつくることを目的とし,学部学年,国を超え異文化交流の場となった。

プログラム名	実施日	参加者数	備考
Let’s Get to Know GFL	5 月 15 日	62 名	GFL のことを新入生に知ってもらうためのイベントを開催した。
I Wanna Tell You	6 月 19 日	24 名	GFL 生留学生による異文化討論会を行なった。日本と海外の文化や習慣の違いについてどう感じているのかを議論した。
Farewell Gathering	8 月 10 日	18 名	母国に帰国する留学生のためのお別れ会を開催した。一緒にボードゲームをしたり,日本での思い出を教えてもらったりしながら楽しい時間を過ごした。
Halloween Gathering	10 月 27 日	53 名	英語を使ったハロウィンクイズやワード当てゲームで非常に盛り上がった。
English Debate	11 月 22 日	16 名	「動物園を廃止するべきか」を議題とし,賛成の立場と反対の立場に分かれ英語ディベートを開催した。
Christmas Gathering	12 月 22 日	42 名	ビンゴやボードゲームを通して留学生と楽しく交流した。
As Many Heads, As Many Wits	2 月 13 日	8 名	GFL 生同士の交流会を行なった。一年間の GFL での活動を振り返ってみてどのように感じたかなどを話し合った。

3.2.1.5　2022 年度成果報告会

実施日：2023 年 5 月 27 日

場所：荒牧キャンパス

対象：GFL 生　GFL 生外の群馬大学生　高校生　高校教員　教職員他

参加者：195 名（GFL 生 86 名,他群馬大学生 31 名,高校生 35 名,他教職員・一般 43 名）

前年度 1 年間の GFL 生の活動や留学体験についてその成果を発表する。4 名の現役 GFL 生による口頭発表の他,38 件のポスター発表を実施した。また特別講演として,群馬大学卒業生でもある国際協力 NGO ジョイセフ 甲斐和歌子氏より,「国際協力で働くこと～ジェンダー,保健,そして日本」と題しご講演頂いた。GFL 生と参加した本学学生・高校生との交流会も開催し,学生同士の貴重な交流・情報交換の場となった。

3.2.1.6　グローバル交流セミナー・サマーセミナー

実施日：2023 年 9 月 23 日～24 日（1 泊 2 日　合宿研修）

場所：国立赤城青少年交流の家

対象：GFL1～2 年生,他学年も参加推奨

GFL 生としての最初の活動であり,GFL 活動ガイダンス,学部別ガイダンスを行い,GFL 生同士の交流を図ることを目的としている。また,GFL 生の留学体験発表,2 名のゲスト留学生との交流,GFL 生が企画するプログラム等を実施し,学部学年を超えたコミュニケーションを行うことで,リーダーとしての自覚と今後のプログラム活動への意識を高めた。

3.2.1.7　駐日ネパール大使による特別講演

実施日：2023 年 12 月 22 日

場所：荒牧キャンパス

講師：　ドゥルガー・バハードゥル・スベディ氏

対象：GFL 生　GFL 生外の群馬大学生　教職員他

参加者：179 名（学生 74 名　学生以外 105 名）

タイトル：ネパールの政治,経済,社会文化の発展と日本との関係

会場参加者 107 人,オンライン参加者 72 人　計 179 人が参加し,ハイブリッドで開催された。ネパールの歴史や文化,日本との関わりについて英語でご講演頂いた。対面参加とオンライン参加に関わらず,積極的に質問の手があがり,大使と直接意見交換できる大変貴重な機会となった。

3.2.1.8　北関東三大学（茨城大学　宇都宮大学　群馬大学）と UNSW オンライン学生交流

北関東三大学連携 PF 英語分科会 2023 年度活動オーストラリアニューサウスウェールズ大学（UNSW）とのオンライン交流が行われた。交流会は,三大学の学生で編成された 35 グループによって行われ,群馬大学からは GFL 生を含む 27 名が参加した。提出のあったレポートを三大学の教員で審査し,優秀賞を決定,さらに三大学の学長の審査を経て,最優秀賞・学長賞を決定した。

3.2.1.9　GFL2023 年度学生自主企画

2023/7　アイデアコンテストへの挑戦
2023/8　群馬大学学生会議～日中の医療問題について考え,話し合おう～
2023/8　かけはし@昭和キャンパス
2023/9　ASEAN 諸国における母子健康手帳の有用性
2023/9　フィリピン人に対する非感染性疾患対策プログラム
2023/9　予期せぬ妊娠によるハイリスク出産の予防と支援
2023/10　申請のイロハとピアサポート
2023/10　サイエンステクノ
2023/11　Iris：未来へつなぐ多文化共生
2023/12　第 2 回 ワルシャワ大学とつながる異文化交流会
2024/1　第 4 回 GFL 同窓会
2024/3　乳幼児死亡率減少のための健康教育―感染症対策―
2024/3　グローバル化に伴う熱帯病流行への対策
2024/3　Lilac：言葉を使わずに始める国際交流

3.3　学生交流ミッション

3.3.1　国際化基盤

大学の国際化基盤に関わるものとして,協定の管理・運用,及び,オンライングローバルキャンパス（Smart Campus-to-Campus: SCC）を実施している。

3.3.1.1　大学間・学部間協定

協定に基づいた教育研究交流の促進を行うため,海外の協定大学との協定更新の手続きおよび,新規協定に関わる手続きを行っている。8.1.18 表７ 大学間・学部間協定校一覧を示す。
R5 年度の活動実績として以下が主に上げられる。

- 大学間協定校の更新（4 件）,学部間協定校の更新（5 件）および,大学間協定校の新規（3 件）,学部間協定校の新規（3 件）について,協定校との協議と協定書案の作成を行い,協定締結の手続きを実施した。
- オンライングローバルキャンパス（Smart Campus-to-Campus: SCC）の加盟大学としてタイ・ランシット大学との SCC に特化した協定を締結した。
- 本学理工学府環境創生（社会基盤・防災コース）とオーストラリア・ディーキン大学との博士ダブルディグリープログラムの協定を締結した。

3.3.1.2　SCC

ポストコロナの新しい国際戦略として,海外の大学と DX を活用した国際連携を行うため,オンライングローバルキャンパス（Smart Campus-to-Campus: SCC）を開設した。

SCC は,DX で大学間の国際連携を加速化することを目的に（旧）国際センターが提案したもので,SCC メンバー大学等間で,教育や研究のリソースを共有するオンライングローバルキャンパスである。

○　SCC 参加機関（R5 年度実積）

No.	大学等機関名（日本語表記名）	国	協定締結 一般	協定締結 SCC	その他
1	群馬大学	日本			幹事校
2	FPT	ベトナム	2019.8	2021.11	FUNiX オンラインプラットフォームの提供
3	ランシット大学	タイ	2023.9	2023.9	VR/AR による SCC 同窓会バーチャル空間の開設

○ SCC で履修できるオンライン科目（R5 年度実績）

- 原則,FUNiX オンラインプラットフォーム上で掲載されているすべての科目履修が可能。
  （該当 HP: https://courses.funix.edu.vn/）

- SCC 限定の科目（SCC ロゴが掲載されているもの）は以下の 6 科目

No.	Couse name	Credits	Duration
1	Academic English 1	3	6 weeks
2	Academic English 2	3	6 weeks
3	Academic English 3	3	6 weeks
4	Academic English 4	3	6 weeks
5	Capstone project - Automotive Application Development	5	12 weeks
6	Introduction to Machine Learning	3	6 weeks

○ SCC に関連した学生交流の実績

1 SCC メンバー機関（FPT 大学）との国際協働教育（COIL）

本学側参加者数：8 名（2022 年 8-9 月）応募者数：14 名

本学側参加者数：11 名（2023 年 8-9 月）応募者数：11 名

2 SCC メンバー予定機関（サスカチュワン大学）との国際協働教育（COIL）

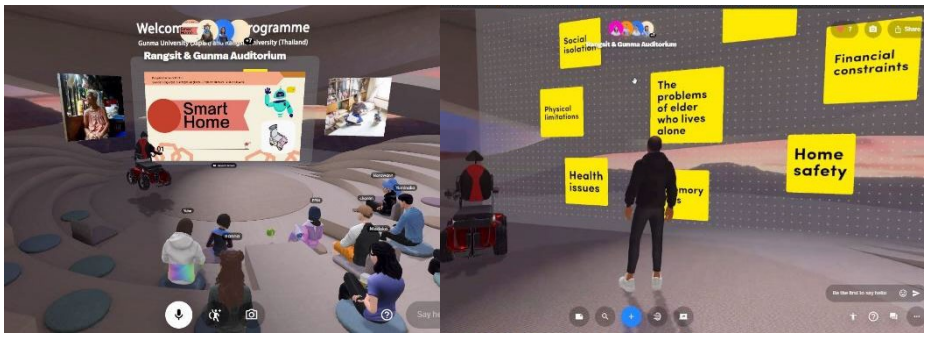
本学側参加者数：11 名（2022 年 9 月）応募者数：27 名

3 SCC メンバー機関（ランシット大学）および予定機関（ディーキン大学）との国際協働教育（COIL）(2023 年 3 月)

ランシット大学研修本学側参加数：3 名（＋5 名メンター学生として参加）

ディーキン大学研修本学側参加者数：5 名

※応募者総数 16 名から参加者を選出



4　SCC メンバー予定機関（ディーキン大学）と博士課程ダブルディグリープログラムの締結（2023 年 6 月締結）

5　SCC メンバー予定機関（ディーキン大学および,ハワイ大学マノア校）と大学院生の研究留学（派遣・受入）

派遣実績：3 名（ディーキン大学）,1 名（ハワイ大学マノア校）

受入実績：2 名（ディーキン大学）

3.3.2　学生海外派遣

群馬大学学生の国際的視野を養うため,学生の海外派遣に関わる業務として以下を行った。

3.3.2.1　留学フェア

海外留学およびキャンパス内の国際交流活動への意欲を高め,グローバルイニシアチブセンターおよび各学部等の海外短期研修プログラム,長期交換留学,群馬大学基金グローバルチャレンジプログラムの概要を広く様々な学部･学年の学生に周知する目的で,オンライン（一部ハイブリッド）にて留学フェアを春と秋の２回,昼休み時間帯の 12:00～12:30 に開催した。開催日,内容,参加者数は以下のとおりである。

春の留学フェア

開催日	内容	参加者数
5 月 16 日(火)	群馬大学海外留学プログラムの概要	86
5 月 17 日(水)	2023 年度夏季短期研修（ベトナム）	54
5 月 18 日(木)	GFL プログラム紹介	47
5 月 19 日(金)	オンキャンパスの国際交流活動	27
5 月 22 日(月)	共同教育学部/医学部保健学科のプログラム	24
5 月 23 日(火)	大学院生向け研究留学プログラム	32
	合計	183

秋の留学フェア

開催日	内容	参加者数
10 月 16 日(月)	群馬大学海外留学プログラムの概要 グローバルチャレンジプログラム	51
10 月 17 日(火)	2023 年度春季短期研修	68
10 月 18 日(水)	長期交換留学	38

10 月 19 日(木)	共同教育学部/医学部保健学科のプログラム	19
10 月 20 日(金)	大学院生向け研究留学プログラム	13
	合計	114

3.3.2.2　協定校の海外短期研修

夏休みや春休みを利用した 2～5 週間程度の海外短期研修を実施した。研修先,期間,研修内容,参加者,奨学金は下記のとおりである（GFL 部門による実施分は含まず)。

研修先	期間	研修内容	参加者数	備考
ベトナム・FPT 大学（群馬大学グローバルイニシアチブセンター主催）	2023.8.20～9.2	国際インターンシップ研修	11 名	群馬大学学生海外派遣支援事業奨励金 教養教育科目「海外短期研修⑨」単位認定
タイ・泰日工業大学（協定校主催）	2023.8.23～8.31	異文化理解プログラム	1 名	
オーストラリア・ウーロンゴン大学（群馬大学グローバルイニシアチブセンター主催）	2024.2.24～3.30	英語研修・PBL プログラム	13 名	群馬大学学生海外派遣支援事業奨励金 JASSO 奨学金 教養教育科目「選択英語 B②」単位認定
アメリカ・ハワイ大学マノア校（協定校主催）	2024.2.25～3.29	英語研修・PBL プログラム	9 名	群馬大学学生海外派遣支援事業奨励金支給 JASSO 奨学金支給
スロベニア・リュブリャナ大学（協定校主催）	2024.3.11～3.22	異文化理解プログラム	参加者辞退により実施せず	

3.3.2.3　協定校への長期派遣（授業履修）

大学間協定に基づく授業履修を目的とした 1 学期間以上の長期交換留学について,前年度の選考結果に基づき,下記のとおり派遣を行った。

	所属	学年	派遣先	区分	期間	奨学金等
1	情報学部	3 年	アメリカ・サンディエゴ州立大学	1 学期	2023 年 8 月～2023 年 12 月	JASSO 奨学金 ぐんま赤尾奨学金
2	大学院保健学研究科	修士 2 年	イギリス・キール大学	1 年	2023 年 9 月～2024 年 6 月	トビタテ奨学金
3	情報学部	3 年	スロベニア・リュブリャナ大学	1 年	2023 年 10 月～2024 年 7 月	スロベニア政府奨学金 ぐんま赤尾奨学金
4	共同教育学部	3 年	スロベニア・リュブリャナ大学	1 学期	2024 年 2 月～2024 年 6 月	スロベニア政府奨学金 JASSO 奨学金
5	共同教育学部	3 年	スロベニア・リュブリャナ大学	1 学期	2024 年 2 月～2024 年 7 月	スロベニア政府奨学金 ぐんま赤尾奨学金

また,令和 6 年度派遣分について募集・選考を行い,下記のとおり派遣を内定した。

	所属	学年	派遣先（第 1 希望）	区分	派遣予定期間
1	情報学部	2 年	イギリス・キール大学	1 年	2024 年 9 月～2025 年 6 月

3.3.2.4　群馬大学基金グローバルチャレンジプログラム

幅広い国際的視野を備え,国際交流活動を推進する人材の育成を図るため,学生が自ら企画し,自ら実現する海外での交流・研修・研究その他の活動を群馬大学基金により支援するグローバルチャレンジプログラムの令和 5 年度・第 6 期の募集・説明相談会・選考を行い,下記の 3 計画に対する最大 50 万円の支援が決定した。なお,令和 5 年度（第 6 期）募集より,学生の自主的な計画作成・準備・実現のプロセスを重視するべく,審査内容等を刷新した。

	代表者所属	代表者学年	留学のテーマ	渡航先	受入機関	渡航予定時期
1	医学部医学科	4	誰もが平等に,望んだ最期を迎えられる社会をめざして	イギリス フランス	Royal Trinity Hospice La Maison de Jeanne	2025年2月～3月
2	医学部保健学科	2	治らないから治るへ,I 型糖尿病完治への第一歩	アメリカ	ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センター	2025年2月～3月
3	共同教育学部	2	日本の多文化共生を推進させるための知識と経験を獲得する	ベトナム ネパール	VINA JSC YouMe Nepal	2024年4月～11月, 12 月～2025年3月

また,新型コロナウイルス感染症の影響による渡航制約期間を含む過年度の採択者について,計画の再審査を行った上で,下記のとおり派遣を行った。

	採択期	代表者所属	代表者学年	留学のテーマ	派遣先	受入機関	渡航期間
1	第5期	医学部医学科	5	クリニックが性教育を担う社会づくりに迫る！	スウェーデン	ユースクリニック他全6か所	2023.11.11～11.25
2	第5期	医学部保健学科	2	アジアの医療現場の自立を促進するために取り組むべきことを明らかにする	カンボジア	Sunrise Japan Hospital	2024.2.13～3.13.
3	第2期	医学部医学科	6	デンマークの住人となって健康の秘訣を探す	デンマーク	Folkehøyskole	2024.2.23～3.21

※「代表者」とは複数名が参加するプログラムの場合の代表者を指す

上記に過去派遣分の 2 件を加え,3 月 25 日に帰国報告会を開催した。

3.3.2.5　大学院生向け研究留学（派遣）

研究留学とは,群馬大学と大学間交流協定を締結する海外の大学と連携して,大学院生を主な対象にして学生の派遣・受入を行い,双方の大学の指導教員より指導を受けながら 1～3 カ月程度の研

究活動を行うもので,以下のとおり実施した。

研究留学（派遣）R5 年度実績

	所属	学年	派遣先国	派遣先大学	派遣期間
1	理工学府環境創生（社会基盤・防災）	博士2年	オーストラリア	ディーキン大学	2023.6/5-8/25
2	理工学府環境創生（社会基盤・防災）	修士1年	オーストラリア	ディーキン大学	2023.6/5-8/25
3	理工学府環境創生（社会基盤・防災）	修士1年	オーストラリア	ディーキン大学	2023.6/5-8/25
4	理工学府環境創生（社会基盤・防災）	修士2年	アメリカ	ハワイ大学マノア校	2023.10/5-12/5
5	保健学研究科（リハビリテーション）	博士2年	モンゴル	モンゴル国立医科大学	2024.2/15-3/22

本研究留学は,本学と先方機関の共同指導による双方向交流を目指して実施している。研究留学（派遣）について,海外での研究活動の成果により国際学会での受賞を受けた学生 1 名,また受入について,先方機関との共同研究の協議が 3 件進んでいる。本研究留学は,派遣・受入ともに JASSO 協定派遣・受入からの奨学金支給を受けて実施している。

3.3.2.6　奨学金応募支援

海外留学にかかわる下記の奨学金について,学内での応募とりまとめ,留学計画・申請書作成指導,面接指導,計画変更指導等の支援を行った。

官民協働海外留学支援制度トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム

応募者 8 名（うち新 1 年生枠 1 名）のうち下記 2 名が採択となり,派遣を行った。

	所属	学年	参加予定プログラム／実践活動	派遣先	受入機関	渡航期間
1	大学院保健学研究科	修士 2 年	長期交換留学／フィールドワーク	スロベニア イギリス	リュブリャナ大学 キール大学	2023 年 9 月～2024 年 6 月
2	情報学部	3 年	長期交換留学 研究インターン／インターン	シンガポール アメリカ	南洋理工大学 バージニア工科大学	2023 年 10 月～2024 年 9 月 2024 年 3 月～2024 年 12 月

公益財団法人ぐんま赤尾奨学財団群馬県大学生海外留学奨学金

応募者 5 名のうち下記 3 名が採択となり,派遣を行った。

	所属	学年	区分 (一般留学/研修留学)	渡航先国	受入機関	渡航期間
1	情報学部	3 年	一般留学(群馬大学長期交換留学)	アメリカ	サンディエゴ州立大学	2023 年 8 月～2023 年 12 月
2	情報学部	3 年	一般留学(群馬大学長期交換留学)	スロベニア	リュブリャナ大学	2023 年 10 月～2024 年 7 月
3	共同教育学部	3 年	一般留学(群馬大学長期交換留学)	スロベニア	リュブリャナ大学	2024 年 2 月～2024 年 7 月

スロベニア政府奨学金

応募者 3 名のうち下記 3 名が採択となり,派遣を行った。

	所属	学年	渡航先国	受入機関	渡航期間
1	情報学部	3 年	スロベニア	リュブリャナ大学	2023 年 10 月～2024 年 7 月
2	共同教育学部	3 年	スロベニア	リュブリャナ大学	2024 年 2 月～2024 年 7 月
3	共同教育学部	3 年	スロベニア	リュブリャナ大学	2024 年 2 月～2024 年 6 月

公益財団法人業務スーパージャパンドリーム財団奨学金

応募者 1 名のうち採択者はなかった。

3.3.2.7　海外渡航危機管理オリエンテーション

グローバルイニシアチブセンターが主催あるいはとりまとめを行う海外派遣プログラム（GFL 生対象を含む）および各学部等によるプログラムについて,下記のとおり海外渡航危機管理オリエンテーションを行った。

日時	形態	対象	実施者
2023 年 5 月 19 日	遠隔	研究留学【前期出張分】(オーストラリア)	越智貴子准教授
2023 年 6 月 27 日	対面	医学部医学科サバナ大学研修	越智貴子准教授
2023 年 7 月 21 日	対面	長期交換留学（サンディエゴ州立大学）	渡邊知釈講師
2023 年 8 月 2 日	遠隔	FPT 大学研修	越智貴子准教授
2023 年 8 月 9 日	遠隔	泰日工業大学サマープログラム	渡邊知釈講師
2023 年 9 月 1 日	遠隔	医学部保健学科プログラム（カンボジア）	越智貴子准教授
2023 年 9 月 5 日	遠隔	GFL 大連工業大学研修・厦門大学研修	越智貴子准教授
2023 年 9 月 7 日	遠隔	長期交換留学(キール大学・リュブリャナ大学)	渡邊知釈講師
2023 年 9 月 8 日	遠隔	医学部保健学科プログラム（モンゴル）	越智貴子准教授
2023 年 9 月 21 日	遠隔	研究留学【後期渡航分】(アメリカ,モンゴル)	越智貴子准教授
2023 年 10 月 23 日	遠隔	グローバルチャレンジプログラム（スウェーデン）	渡邊知釈講師
2023 年 12 月 18 日	遠隔	共同教育学部プログラム（インドネシア,韓国,アメリカ）	渡邊知釈講師
2023 年 12 月 21 日	遠隔	理工学部 UiTM 研修	渡邊知釈講師
2024 年 1 月 22 日	ハイブリッド	ウーロンゴン大学研修 ハワイ大学マノア校研修 GFL ディーキン大学研修 グローバルチャレンジプログラム（デンマー	JCSOS 海外留学生安全対策協議会

		ク） 共同教育学部プログラム（ミズーリ州立大学，ピュージェットサウンド大学） 医学部保健学科プログラム（ワシントン大学） 理工学部プログラム（UiTM）	
2024 年 1 月 23 日	遠隔	ハワイ大学マノア校研修（地域特化）	越智貴子准教授
2024 年 2 月 1 日	遠隔	グローバルチャレンジプログラム（カンボジア）	渡邊知釈講師
2024 年 2 月 6 日	遠隔	長期交換留学（リュブリャナ大学）	渡邊知釈講師

3.3.2.8　留学相談（一般）

プログラム応募済の者等を除く一般留学相談を下記のとおり行った。

所属	学部 1 年	学部 2 年	学部 3 年	学部 4 年	修士 課程	博士 課程	総計
共同教育	1	3					4
情報	3	2		1			6
医学部医学科	1	1	1	2			5
医学部保健学科	1	1	1				3
理工	2	3	2	1			8
大学院理工学府					1	1	2
総計	8	10	4	4	1	1	28

相談内容	件数
個人留学（インターン）	3
個人留学（フィールドワーク）	2
個人留学（語学）	3
短期研修	6
長期交換	12
留学一般	2
総計	28

相談形態	件数
メール	7
遠隔	7
対面	14
総計	28

3.3.2.9　オープンキャンパス

本学への進学を考える高校生およびその保護者に向けて，下記のオープンキャンパスにおいて本学留学プログラムの紹介および説明相談会を行った。

7 月 23 日(日)　　情報学部オープンキャンパス
9 月 9 日(土)・10 日(日)　　理工学部オープンキャンパス
通年（7 月ごろ更新）　　Web オープンキャンパス

3.3.3　　留学生受入

学内国際化を目指し,キャンパスのグローバル化を進めるリソースとして留学生を受け入れるに伴い,以下の留学生相談を始めとする取り組みを行った。

3.3.3.1　　留学生相談

自国を離れて生活･学習を行う留学生を対象とした相談（カウンセリング）,および日本人学生を対象とした海外留学についての相談をグローバルイニシアチブセンター留学生アドバイザーおよびグローバルイニシアチブセンターに所属する専任教員各キャンパス 1 名ずつが担当している。令和 5 年度の相談件数及び内容は以下のとおりである。

相談件数：延べ 118 件

相談時期：

時期	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	18	13	19	13	7	3	17	11	6	8	4	3

来談者の属性：

国籍等	中国,インドネシア,台湾,アメリカ,ハンガリー,ポーランド,韓国,マレーシア,モンゴル等
性別	男性 30,女性 89
所属	理工 37,社情 37,教育 40,医・保 5
身分	学部学生 4,修士学生 14,博士学生 7,研究生 6,交換留学生 78,不明 10

相談内容：（複数回答による）

分　類		相　　談　　例	件　数
1	学習・研究	日本語学習・学位取得・研究の進め方・転学・休学	28
2	就職・進路	就職活動・進路の迷い・将来のこと	6
3	経済問題	奨学金・アルバイト・生活費・学費・医療費	3
4	人間関係	先生との関係・大学内人間関係・大学外人間関係・異性関係	5
5	心理的相談	不安・落込み・カルチャーショック・睡眠・生活リズム	6
6	危機管理	交通事故・物損・対人トラブル・セクシャルハラスメント・健康上の危機	0
7	日常生活	日本生活への適応・各種手続き・防災・生活用品・旅行	66
8	大学生活	キャンパス内情報・学内手続き	3
9	事務的事項	ビザ・査証・資格外活動・病院紹介・保険関係・住居関係・交流	0
10	家族	子弟の育児・保育園・学校・配偶者や家族との問題	0
11	海外留学研修	短期研修・交換留学・その他留学・海外派遣相談	0
12	その他	上記のいずれにもあてはまらないもの	0

対応：（複数回答による）

分　　類	件　数
1. 事務を通じての事務的な対応	1

2. 必要な情報の提供	9
3. 他部局と連携しての対応	5
4. 学外機関と連携しての対応	0
5. 具体的援助	18
6. 助言・提案	75
7. カウンセリング的対応	4
8. その他	0

具体的相談内容の例（主なもの）

・各種書類の書き方指導および日本語添削（奨学金,履歴書,エントリーシート等）

・チューター活動　　・日本語学習サポート

・研究室の人間関係　　・就職活動の進め方,面接練習

・日本語クラスの選択　　・日本人学生との交流機会の相談

・成績不振による心配の相談

3.3.3.2　長期交換留学受入

大学間交流協定に基づいて,協定校からの学生を 1 学期間,あるいは 1 年間の期間で受入れているが,令和 5 年度の実績についてここに報告する。

	派遣先大学	派遣先国	受入学部	留学期間
1	東海大学	台湾	共同教育学部	2023 年 4 月-2023 年 8 月
2	東海大学	台湾	共同教育学部	2023 年 4 月-2023 年 8 月
3	嶺南大学校	韓国	社会情報学部	2023 年 4 月-2024 年 3 月
4	オストラバ工科大学	チェコ共和国	理工学府	2023 年 4 月-2023 年 7 月
5	バクー国立大学	アゼルバイジャン	共同教育学部	2023 年 10 月-2024 年 9 月
6	バクー国立大学	アゼルバイジャン	共同教育学部	2023 年 10 月-2024 年 9 月
7	大連理工大学	中国	社会情報学部	2023 年 10 月-2024 年 3 月
8	国立台北教育大学	台湾	社会情報学部	2023 年 10 月-2024 年 9 月
9	国立台北教育大学	台湾	社会情報学部	2023 年 10 月-2024 年 9 月
10	国立台北教育大学	台湾	共同教育学部	2023 年 10 月-2024 年 9 月

文部科学省のプログラムを通して 1 年間,日本語能力及び日本事情,日本文化の理解の向上のための教育を受ける外国人留学生（日本語・日本文化研修留学生）を受け入れており,以下が令和 5 年度の実績である。

	派遣先大学	派遣先国	受入学部	留学期間
1	ヤギェウォ大学	ポーランド	社会情報学部	2023 年 10 月-2024 年 9 月
2	インドネシア教育大学	インドネシア	共同教育学部	2023 年 10 月-2024 年 9 月
3	インドネシア教育大学	インドネシア	共同教育学部	2023 年 10 月-2024 年 9 月
4	インドネシア教育大学	インドネシア	共同教育学部	2023 年 10 月-2024 年 9 月

大学間交換留学生の受入れスケジュール

8 月/ 2 月　協定校からの推薦締切
9 月/ 3 月　申請書類提出の締切
12 月/ 6 月　審査の結果
1 月/ 7 月　来日向け準備（宿舎手配,オンラインオリエンテーション,履修希望等）
3 月/ 9 月　来日
4 月/ 10 月　留学生向けオリエンテーション,授業開始

3.3.3.3　短期受入（サマープログラム）

以下の内容で,交流協定校の学生を対象としたサマープログラムを実施した。

目的

本プログラムは,本学交流協定校あるいは将来本学の協定校と成り得る機関（以下協定校等）に在籍する学部生および大学院生を対象に,自然,伝統,地域生活習慣,カイコ産業,医学という観点から,群馬の地域社会における様々な取り組みと現状について学ぶための短期集中コースである。日本社会や日本文化の理解を深め,あわせて群馬大学への関心を高めてもらうことを目的として実施するものである。

プログラム概要

本プログラムでは,群馬の社会,人,自然,文化についての多面的な知識を学び,現代日本社会の抱える課題とその解決策を多国から集まる参加者と共に議論する。プログラムは,英語による日本事情コースで,講義,プロジェクトワーク,発表,学生交流活動を中心にオンラインで実施する。最終発表ではプロジェクトワークの成果を報告する。すべての活動に参加した学生にプログラム修了証を発行する。

プログラム日程

事前オリエンテーション: 2023 年 6 月 26 日（月）,15:00-16:00（日本時間）

月日	①14:20-15:50	②16:00-17:30	③17:40-19:10
7 月 4 日(火)	ウェルカムセッション,自己紹介	オリエンテーション：講義内容とプロジェクトワークの説明	
7 月 5 日(水)	日本事情 1: 群馬にはなぜ糖尿病が多いのか(鯉淵典之教授)	国際交流 1（群大生によるプレゼン ）休憩 10 分	
7 月 6 日(木)	日本事情 2: カイコ：日本と群馬におけるこれまでの歴史と将来の可能性（武田茂樹教授）	プロジェクトワーク 1&2 休憩 10 分	
7 月 7 日(金)	日本事情 3:中之条ビエンナーレ 2021（アーティスト 宮嵜浩さん）	日本事情 4:群馬の温泉町と建築（陳）	プロジェクトワーク 3

7月8日(土)	休み	
7月9日(日)	休み	
7月10日(月)	日本事情 5: 群馬の自然と社会―赤城山を中心に一（陳）	プロジェクトワーク 4&5　休憩 10 分
7月11日(火)	日本事情 6: プログラムのまとめ一日本の現代地域社会（陳）	国際交流 2（協定校学生による発表）
7月12日(水)	文献調査と最終発表の指導	プロジェクトワーク 6&7:最終発表の準備
7月13日(木)	プロジェクトワーク 8&9: 最終発表の準備*	最終発表 & 修了式　Farewell

*12:40-14:10, 14:20-15:50

参加者,修了者

大学名	国・地域	所属		修了人数
		学部生	大学院生	
カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学	ハンガリー	5	0	5
カイロ大学	エジプト	1	0	0
キール大学	英国	1	0	0
ヤギェウォ大学	ポーランド	1	0	1
重慶交通大学	中国	2	0	2
北京協和医学院	中国	2	2	2
大連理工大学	中国	5	0	1
スリウィジャヤ大学	インドネシア	12	0	11
イスラム・サルタン・アグング大学	インドネシア	1	0	1
国立台北教育大学	台湾	0	1	1
世新大学	台湾	1	0	1
ヴィリニュス大学	リトアニア	1	0	1
群馬大学	日本	1	0	1
合計		33		27

3.3.3.4　大学院生向け研究留学（受入）

研究留学とは,群馬大学と大学間交流協定を締結する海外の大学と連携して,大学院生を主な対象にして学生の派遣・受入を行い,双方の大学の指導教員より指導を受けながら 1～3 カ月程度の研究活動を行うもので,以下のように受け入れを行った。

研究留学（受入）R5 年度実績

	国	所属大学	所属学科	学年	受入機関	受入期間
1	オーストラリア	ディーキン大学	工学部	博士2年	理工学府環境創生（社会基盤・防災）	2024.2/19-3/30
2	オーストラリア	ディーキン大学	フロンティア材料研究所	博士2年	理工学府環境創生（社会基盤・防災）	2024.1.15-2/25
3	タイ	キングモンクット工科大学トンブリ校	工学部	博士1年	理工学府環境創生（社会基盤・防災）	2024.1/8-2/15
4	タイ	キングモンクット工科大学トンブリ校	工学部	修士2年	理工学府環境創生（社会基盤・防災）	2024.1/8-3/30

本研究留学は,本学と先方機関の共同指導による双方向交流を目指して実施している。研究留学(派遣)について,海外での研究活動の成果により国際学会での受賞を受けた学生1名,また受入について,先方機関との共同研究の協議が3件進んでいる。本研究留学は,派遣・受入ともにJASSO協定派遣・受入からの奨学金支給を受けて実施している。

3.3.3.5　伝統文化実践科目,Jプログラム（日本語・日本文化研修留学生プログラム）

以下の内容で,交換留学生を対象としたプログラムを実施した。

①教養教育「伝統文化実践科目」
対象学生：交換留学生
授業の目標：
日本美術や邦楽の実践を通じて日本文化を学ぶことを目標とする。
実施期間：令和4年10月～令和5年9月

授業の概要：
日本美術演習（前期・後期,各32時間）
「日本画を描く」という活動を通して,その材料や道具について理解し,表現の方法を習得する。また,表現の背景にある日本の文化,日本人の美意識とそれに関係した言葉なども合わせて学習していく。

邦楽器演習（前期・後期,各32時間）
日本の伝統楽器である箏と三絃の音色に触れ,その美しさ,響きを生かしながら,演奏する。最終的には箏と三絃との合奏にも取り組む。また,演奏を通じて,日本の文化や礼儀作法を学ぶ。

2　Jプログラム（日本語・日本文化研修留学生プログラム）
対象学生：日本語・日本文化研修留学生,交換留学生
プログラム目標：
日本を研究対象とした諸研究を行うのに必要な知識や実社会でも役立つ日本語・日本文化に関するさまざまな知識を身につけることを目指す。修了時に,日本語で研究論文を作成し,自分の研究について口頭発表や質疑応答ができるようになることが目標となる。
実施期間：令和4年10月～令和5年年9月の1年間。

プログラムの概要：
教養教育「日本語」受講者

授業科目	後期（10～3月）	前期（4～9月）

必須科目	日本語（教養教育）	4 科目（120 時間）	
	日本語（教養）,教養・学部科目	6 科目（180 時間）	
	J 日本入門特別講義（教養）		1 科目（30 時間）
	課題研究（学部・センター）	論文・プレゼンテーション	

教養教育「荒牧中級日本語」受講者

授業科目		後期（10～3 月）	前期（4～9 月）
必須科目	荒牧中級日本語（教養教育）	8 科目（240 時間）	
	日本語（教養）,教養・学部科目	2 科目（180 時間）	
	J 日本入門特別講義（教養）		1 科目（30 時間）
	課題研究（学部・センター）	論文・プレゼンテーション	

プログラム修了者：4 名

※プログラムは令和 4 年度後期からのものであるため,参考として令和 4 年度後期の授業科目も「後期」として記載している。

3.3.3.6　学生派遣事業

地域との国際交流を図ることを目的とした「国際理解講座への留学生派遣申合せ」を制定し,近隣の教育機関（小中学校等）からの依頼に基づき,本学の留学生を派遣する事業を行っている。令和 5 年度実績は以下のとおり。

令和 5 年度派遣内容

No.	派遣日	派遣先（依頼先）	派遣内容	派遣留学生数	留学生の所属	留学生の国　籍
1	6 月 8 日	高崎女子高等学校	学校新聞取材	3	社会情報学部	ハンガリー
					社会情報学部	台湾
					共同教育学部	インドネシア
2	6 月 24 日 6 月 25 日	群馬県青少年会館	交流文化体験	4	社会情報学部	ハンガリー
					社会情報学部	韓国
					社会情報学部	台湾
					共同教育学部	アメリカ
3	9 月 18 日	群馬県教育	交流文化	5	大学院医学系研究科	モンゴル

4	9月27日	委員会 富岡特別支援学校	体験	6	大学院医学系研究科	モンゴル
					大学院医学系研究科	バングラデシュ
					社会情報学部	ハンガリー
					大学院理工学府	マレーシア
			授業		大学院医学系研究科	モンゴル
					大学院医学系研究科	バングラデシュ
					理工学部	マレーシア
					理工学部	中国
					理工学部	韓国
					大学院理工学府	バングラデシュ
5	10月19日	桐生市立境野中学校	授業	2	大学院理工学府	イラン
					大学院理工学府	バングラデシュ
6	11月24日	伊勢崎市立第一中学校	授業	6	大学院理工学府	マレーシア
					社会情報学部	ハンガリー
					大学院保健学研究科	ラオス
					社会情報学部	ポーランド
					大学院医学系研究科	モンゴル
					大学院理工学府	カンボジア

3.3.3.7　外国人留学生等実地研修旅行

以下のように,外国人留学生を対象に実地研修旅行を実施した。

目　　的: 外国人留学生が,団体行動において,日本を取り巻く社会的背景や政治・経済・文化・歴史等を視察または体験し,日本に対する理解と市民との交流の機会の拡大を図るとともに留学生同士の親交を深めることを目的とする。

実 施 日: 令和6年3月1日(金)

実施場所: 東京臨海広域防災公園,日本科学未来館

参加人数: 21 人（留学生20名,日本人チューター1名）

スケジュール

8:15 前橋駅南口集合

8:25 前橋駅出発

11:00 日本科学未来館到着

11:10 日本科学未来館見学

12:30 昼食(お台場海浜公園)
14:30 東京海域広域防災公園到着
15:00 そなエリア東京ツアー
16:30 東京海域広域防災公園出発
20:00 前橋駅南口到着

3.3.3.8 ホームルーム

以下のように留学生を対象としたホームルームを実施した。

目的:
1 学期間,あるいは 1 学事年度のみの留学を予定している大学間・学部間交流協定に基づく交換留学生及び日研生への情報提供,異文化交流,オープンな相談の場の創出のため。

【前期】
参加者： 大学間交流協定交換留学生 10 名 日研生 4 名
スケジュール
4 月 11 日 オリエンテーション
4 月 18 日 履修登録
4 月 28 日 出身地について日本語で紹介
5 月 19 日 群大生との交流会①
5 月 26 日 群大生との交流会②
6 月 2 日 日本文化について学ぶ
6 月 9 日 群大生との交流会③
6 月 16 日 群大生との交流会④
6 月 30 日 最終発表について
7 月 7 日 帰国前のチェックリスト
7 月 25 日 留学報告会
【後期】
参加者: 大学間・学部間交流協定交換留学生 9 名 日研生 4 名
スケジュール
10 月 11 日 オリエン+履修登録について
10 月 25 日 日本の学生との交流について
11 月 1 日 群大生との交流会 1
11 月 8 日 群大生との交流会 2
11 月 15 日 群大生との交流会 3
11 月 22 日 群大生との交流会 4

12 月 6 日 冬休みの過ごし方
12 月 13 日 日本のお正月について
1 月 10 日 冬休みの報告
1 月 17 日 インドネシア語交流会の練習
1 月 24 日 インドネシア語交流会

3.3.3.9 チューター

群馬大学に在籍する留学生のアカデミックなサポートをペアになって行うチューター制度を実施した。チューター制度では,以下のような活動が行われている。

a. 日本語の添削・指導
留学生のレポートや宿題の日本語チェックなど。
b. 課題やレポートの作成の支援・補助
言葉だけでなく,レポートの書き方や,文書の作成,発表の準備や図書館利用の方法など,具体的な学習スキルの支援についても含まれる。
c. 専門分野の学習支援
特に大学院生になると,専門分野の知識の理解が重要になってくる。同じ専門分野のチューターには,ゼミで十分にわからなかったこと,ゼミ内のルール,発表原稿や,執筆した文章の添削など様々な支援が含まれる。

実施期間:(前期) 4 月-7 月,10 月-1 月
実施ペア数:
荒牧地区 <前期>29 ペア (学部留学生 24 名,大学院留学生 5 名)
<後期>20 ペア (学部留学生 15 名,大学院留学生 5 名)
昭和地区 <前期> 23 ペア (学部留学生 0 名,大学院留学生 17 名,研究生 5 名)
<後期> 28 ペア (学部留学生 1 名,大学院留学生 19 名,研究生 6 名)

3.3.4 学内国際化

学内の国際化を目的とし,各種語学カフェを運営した。群馬大学生の語学 (英語・中国語) の能力を向上させること,国際交流活動を通じて,群馬大学生の国際性を涵養し,学内の国際化を促進することを目指した。

3.3.4.1 English Café at Aramaki

全学 English Café では,自由会話を中心に,英語を使って自己表現する能力の向上を目指し,英語でのインタビューとプレゼンテーションの教科書を中心に,アカデミック英語を学んだ。なお,語学カフェは全学 English Café,教職員 English Café,Chinese Café からなる。

English Café at Aramaki（木曜日　昼 12:15-12:45,夕方 17:40-18:40）

実施期間	実施形態	実施回数	内容	Moodle 登録人数	参加人数
前期 4 月 17 日- 7 月 19 日	昼：オンライン 夕方：オンラインと対面（グローバルラウンジ）	説明会 3 回 週に 2 回, 合計 22 回	アカデミックプレゼンの練習,サマープログラムの参加,トピック毎の会話練習,留学生とペアで英会話	58 名	昼：50 名 夕方：163 名
後期 10 月 12 日- 1 月 13 日				59 名	昼:12 名 夕方:120 名

3.3.4.2　教職員 English Café

レクチャー形式ではなく,参加者が興味を持つ課題や社会問題の特定トピックを設定し,自由に議論した。

教職員 English Café @ Aramaki（金曜日　17:00-18:00）

実施期間	実施形態	実施回数	内容	Google Form 登録人数	参加人数
前期 5 月 12 日- 7 月 14 日	オンライン	週に 1 回,合計 10 回	アカデミックプレゼンの練習,議論,異文化の会話練習	20 名（事務局 3 人,学科,研究科,センター17 人）	60 名
後期 10 月 13 日- 1 月 12 日				33 名	60 名

3.3.4.3　Chinese Café

簡単な日常会話や観光会話ができるよう中国語会話を練習する。留学生を含む参加者との議論を通じて,中国および中華圏の社会や文化の理解を深めた。

Chinese Café （月曜日・水曜日　17:40-19:00）

実施期間	実施形態	実施回数	内容	Moodle 登録人数	参加人数
前期 4 月 17 日- 7 月 19 日	オンラインと対面(グローバルラウンジ)	説明会 3 回 週に 2 回,合計 25 回	ピンイン,漢字,文法,日常会話,HSK 試験対策,異文化交流 教材:平山邦彦『口を鍛える中国語作文』初級編,コスモピア	22 名	163 名
後期 10 月 16 日- 1 月 17 日				22 名	133 名

3.3.4.4　グローバルカフェ

グローバルカフェは学生と地域の方々に今日の国際社会を多方面の観点から理解するための講座であり,各分野で活躍する日本人や外国人の方を講師として招聘し,国際的観点からそれぞれの活動内容について講演会を実施した。

前期：横浜と上海は 19 世紀に外国人に開かれた交易場として有名で,さまざまな異文化を受容してきた。両都市とも多彩な国際文化を有している。2023 年度前期のグローバルカフェでは,横浜と上海の研究者を招いて,皆さんに国際交流のフロンティアである横浜と上海の歴史,文化,人々について紹介した。

後期：チャイニーズカフェの中国人留学生たちの協力を得て,コロナ後における「中国の急速なキャッシュレスがもたらした社会の変容」の講演をオンラインと対面で参加者に提供した。講演者は 3 年ぶりに 2023 年夏に中国に帰国した留学生たちで中国に関する最新の情報を日本の皆さんに届けたことで大変有意義な交流会であった。

実施日	題目	実施形態	実施回数	内容	対象	参加人数
4 月 21 日, 6 月 23 日 15:00-17:00	「国際交流のフロンティア:横浜と上海」	神奈川大学との共同開催：オンライン	2 回	歴史的観点から横浜と上海で活躍していた外国人の活動について紹介した。	学内と学外の方	46 名 第 1 回 27 名 第 2 回 19 名
11 月 15 日, 12 月 20 日 17:00-19:00	「中国のキャッシュレス社会について考える」	群馬大学 Chinese Café との共催:オンラインと対面	2 回	コロナ後の中国社会の変貌について中国人留学生が説明した。		42 名 第 1 回 22 名 第 2 回 20 名

3.3.5　学生交流のための奨励金等

重点取組の経費として,国際的な学生交流を推進するための奨励金を支給した。

3.3.5.1　群馬大学学生海外派遣支援事業奨励金

申請のあったプログラムについて,以下の支援を行った。

	プログラム名
1	群を抜け！群馬大学グローバル人材育成プログラム（全学型）
2	世界トップ大学との国際共同教育プログラム
3	グローバル人材育成のためのシンバイオシス大学のオンライン留学プログラム
4	協定校異文化交流研修及び海外教育施設におけるインターンシップ
5	グローバル化する日本社会の専門職リーダーを育成する～群馬大学 GFL プログラム
6	パジャジャラン大学との医学生の双方向社会医学実習短期派遣プログラム
7	国際的な視点を持つリハビリ人材育成のための東アジア研修プログラム

3.3.5.2　海外派遣プログラム運営支援金（プログラム実施時の教員の引率費用）

プログラム実施時の教員の引率費用について,申請のあった6つのプログラムに対して支援した。

	プログラム名
1	協定校異文化交流研修及び海外教育施設におけるインターンシップ
2	世界共通課題 NCDs に対する協定校との協働研修
3	UHC 推進に貢献できる国際的保健医療人材育成プログラム
4	国際的な視点を持つリハビリ人材育成のための東アジア研修プログラム
5	UiTM への短期語学留学実施による英語力と国際力の向上を目指す
6	グローバル化する日本社会の専門職リーダーを育成する～群馬大学 GFL プログラム～

3.3.6　公開講座

GIC では,群馬県内で在留外国人のための日本語ボランティアを行っている方々を対象に,日本に定住する外国人について,その背景,来日の目的,環境などを理解し,日本語学習支援において必要な内容を検討することを目的として公開講座を開催した。

参加者：16 名
開催方法：毎回 14 時～15 時 30 分,オンライン
内容,担当者：
8 月 19 日（土）ニューカマーとは誰なのか　担当：松田デレク
8 月 26 日（土）どうして日本語を学ぶのか　担当：松田デレク
9 月 2 日（土）日本語学習を助けるコミュニケーション　担当：大和啓子
9 月 9 日（土）「発音」について知っておきたいこと　担当：渡邊知釈
9 月 16 日（土）習っているのに使えない文法　担当：牧原　功

3.3.7　学外諸会議への教員の派遣

留学生受入等,GIC 業務に関わる学外諸会議に以下のとおり参加した。

・留学生受入れ・支援等担当者連絡会議
場所：東京大学　日時：2023 年 7 月 14 日（金）
出席者：陳雲蓮

・めぶくプラットフォーム・海外姉妹都市バーミングハム市名誉領事との意見交換会
場所：前橋市役所　日時：2023 年 10 月 16 日（月）
出席者：渡邊知釈

・2023 年度東京外国語大学留学生日本語教育センター大学進学説明会（文系）
場所：オンライン　日時：2023 年 10 月 27 日（金）

参加者： 松田デレク　 海外交流課 福島健太,坂本英里奈
令和 5 年度日本語・日本文化研修留学生問題に関する検討会議
場所：大阪大学箕面新キャンパス　　日時：2023 年 11 月 10 日（金）
出席者：松田デレク

・令和 5 年（2023 年）度全国大学 JDP 協議会総会
場所：オンライン　日時：2023 年 12 月 7 日
出席者：越智貴子

・文化庁令和 5 年度日本語教師養成・研修推進拠点整備事業
第 1 回連絡協議会・日本語教師能力研究部会
場所：筑波大学　日時：2023 年 3 月 8 日（金）
出席者：牧原功

4　学生支援センター

学生支援センターは，学生生活及び就職活動に対する支援，修学に係る相談等を行っている。運営に当たり委員会を置き，各学部等から委員が選出されている。審議内容等は，学生相談，生活支援及び就職支援等である。当該支援業務の事務は，学生支援課が各学部の学生支援担当係と連携を図り行っている。令和 5 年度の主な支援等の事項は，次のとおりである。

4.1　入学料免除及び徴収猶予

入学料について，学部生においては，特別な事情（学資負担者が 1 年以内に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合をいう。）により納入が著しく困難な場合について，また，大学院生，専攻科生においては，経済的理由により納入が困難，かつ，学業優秀と認められる場合又は特別な事情により納入が著しく困難な場合について，修学を支援するため，免除及び徴収猶予を行っている。

また，東日本大震災により罹災したことに伴う経済的理由により納入が著しく困難な場合について，免除を行っている。

4.1.1　　入学料免除申請者数，免除者数

令和 5 年度入学料免除申請者数，免除者数は，次のとおりである（詳細は「資料 8.1.19 令和 5 年度入学料免除・徴収猶予実施状況」のとおり）。

4 月 1 日入学：免除申請者数　209 人，免除者数　184 人

10 月 1 日入学：免除申請者数　15 人，免除者数　14 人

4.1.2　　入学料徴収猶予申請者数，徴収猶予者数

令和 5 年度入学料徴収猶予申請者数，徴収猶予者数は，次のとおりである（詳細は「資料 8.1.19 令和 5 年度入学料免除・徴収猶予実施状況」のとおり）。

4 月 1 日入学：徴収猶予申請者数　7 人，徴収猶予者数　4 人

10 月 1 日入学：徴収猶予申請者数　1 人，徴収猶予者数　1 人

4.2　授業料免除及び徴収猶予

経済的理由により納入が困難，かつ，学業優秀と認められる学生又は特別な事情（学資負担者が納入期限の 6 月以内（入学者については，入学前年 1 月以降）に死亡又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合をいう。）により納入が著しく困難な場合について，修学を支援するため，授業料免除及び徴収猶予を行っている。

また，東日本大震災により罹災したことに伴う経済的理由により納入が著しく困難な場合について，又は学部生及び大学院に在籍する，成績が特に優秀な学生を対象として，授業料免除を行っている。

4.2.1　　免除申請者数，免除者数

令和 5 年度授業料免除申請者数，免除者数は，次のとおりである（詳細は「資料 8.1.20 令和 5 年度授業料免除・徴収猶予実施状況」のとおり）。

前期：免除申請者数　751 人，免除者数　686 人

後期：免除申請者数　724 人，免除者数　659 人

4.2.2　徴収猶予申請者数，徴収猶予者数

令和 5 年度授業料徴収猶予申請者，徴収猶予者数は，次のとおりである（詳細は「資料 8.1.20 令和 5 年度授業料免除・徴収猶予実施状況」のとおり）。

前期：徴収猶予申請者数　0 人，徴収猶予者数　0 人

後期：徴収猶予申請者数　0 人，徴収猶予者数　0 人

4.3　寄宿料免除

本学では，学生本人又は学資負担者が風水害等の災害を受け,納入が著しく困難と認められる場合，寄宿料免除を行っている。

4.3.1　免除申請者数，免除者数

令和 5 年度寄宿料免除申請者数，免除者数は，次のとおりである。

免除申請者数　0 人，免除者数　0 人

4.4　奨学金

本学では，日本学生支援機構の奨学金と地方公共団体や民間奨学団体から本学に募集依頼のあった奨学金を扱っている。これらの奨学金は，いずれも学業・人物ともに優秀であり，かつ健康であって経済的理由により学資の支弁が困難であると認められた者が対象となる。

なお，日本学生支援機構の奨学金には，無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金と返還不要の給付奨学金があり，貸与奨学金は，貸与終了後に返還が必要となる。

4.4.1　日本学生支援機構奨学生数（令和 5 年 10 月 1 日現在）

令和 5 年 10 月現在の日本学生支援機構奨学生数は，次のとおりである。

第一種：学部生　806 人，大学院生　201 人

第二種：学部生　656 人，大学院生　26 人

給　付：学部生　458 人，大学院生　0 人

（詳細は「資料 8.1.21 日本学生支援機構奨学生数」のとおり：「学部生」には，専攻科生を含む。）

4.5　学生相談体制及び学生相談

本学は，次のような学生相談体制を設け，学生の個人的な問題や悩みごとについての相談に応じている。

4.5.1　学生相談体制

全学の学生を対象に荒牧キャンパスに学生相談室を，また，理工学部の学生を対象に桐生キャンパスに学生相談室分室を設けて相談に応じている。

4.5.2　主な相談事項

主な相談事項は，勉学・進路・就職活動，メンタルヘルス，クラブ・サークル活動，経済的事情・アルバイト，対人関係についてなどである。

4.5.3　学生相談実態調査アンケートの実施及び活用

令和 5 年 12 月現在で在籍している助教以上の専任教員に対して，令和 5 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの間に学生から相談のあった内容や各教員の対応について「学生相談実態調査アンケート」を令和 6 年２月に実施した。

実施方法については，Google フォームを活用し Web 上で回答を入力してもらい，入力されたデータを用いて報告書にまとめた。

なお，アンケート回答率は 55.09%であった。

4.6　授業欠席状況調査

欠席状況調査は，授業への受講状況を通して本学学生の学業意欲を調査し，精神面の障害や不健康状態にある者を早期に発見して，面談等により本人へ適切な指導を与えることを目的としている。

4.6.1　授業欠席者数及び主な欠席理由

令和 5 年度前期欠席者数：28 名,後期欠席者数：70 名

詳細は「資料 8.1.22 令和 5 年度学部 1～3 年次生欠席状況調査一覧（前期・後期)」のとおり）

主な欠席理由：

早朝に授業があるため寝坊，精神的な悩み，身体的病気怪我，進路の迷い等

4.6.2　実施方法，時期

1） 実施方法

- 実施時期は，5 月（前期）と 11 月（後期）の年 2 回を実施基準月とする。
- 調査対象は，卒業研究に着手(研究室に所属)しない学部学生とする。
- 調査科目は，各学部が指定した科目とする。
  ただし，1 年次は，学部の依頼により大学教育センターが指定した授業科目とする。
- 調査方法は，調査科目について連続 4 回の出欠チェックを行う。
- 集計作業は，各学部担当事務（1 年次生は学務部）が行う。
- 4 回のチェックのうち 3 回以上欠席した者をクラス担任別に集計する。

・ クラス担任別集計に基づき面接対象一覧と個人ごとの面接票を作成する。
・ 面接票には学籍番号，所属，氏名，電話番号等を記載する。
・ 学部長名（1 年次生は学生相談・生活部会長名）で面接対象一覧と面接票を添えて，クラス担任等に対して欠席者の事情聴取を期限内に終了するよう依頼する。

２） クラス担任による欠席者の事情聴取

・ 調査方法は，クラス担任等が対象者を呼び出し，直接面談により欠席理由等を聴取する。
・ 面談により適切な指導を行い，かつ，精神科医の面談の要否を判断し，その内容を面接票に記載して，その都度学部長（1 年次生は学務部）に提出する。

３） 医師による欠席者との面談

クラス担任等から学部長（1 年次生は学務部）に提出された面接票を，健康支援総合センター医師が確認し，医師の指導が必要であると判断した欠席者と面談を行い，必要なカウンセリング等を行う。

4.7 障害学生への支援

障害のある学生がその能力並びに障害の種別及び程度に応じ，充分な教育を受け，学生生活を送ることができるよう，大学教育・学生支援機構学生支援センターに，障害学生支援室を設置している。

4.7.1 支援内容

群馬大学障害学生修学支援実施要項に基づく修学支援が必要な学生には，個別に障害の種別及び程度に応じた支援内容を明記した「配慮願い」を授業担当教員へ通知している。また，全教員に対して「障害学生支援での一般的な配慮事項」を配付して周知を図っている。

聴覚障害学生には，授業ごとに必要に応じて，ＵＤトークやパソコンテイク，手話通訳等の情報保障を行い，肢体不自由学生には，休憩室の設置，車椅子対応の施設整備，低身長者のための踏み台の設置，介助者による移動介助などの支援を行い，内部障害学生には，講義中のトイレ退席等の配慮，また，発達障害学生には，休憩室の設置，学生支援センター専任教員及び健康支援総合センター医師による面談，履修相談などの支援を行っている。

4.8 学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険

学生教育研究災害傷害保険は，学生が正課，学校行事，学校施設内外における課外活動，学校施設内，通学，学校施設等相互間の移動時に係る全ての傷害に対して補償を行う保険である。

学研災付帯賠償責任保険は，学生が正課，学校行事，インターンシップ，介護等体験活動，教育実習，ボランティア活動等及びその移動時に，他人にけがを負わせたり，他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険である。

本学では，教育研究の円滑な実施のために，入学の際に当該保険に全員が加入することを勧めている。

4.8.1 加入者数

令和 5 年度の学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入者数は,学部生 4,787 人・大学院生 918 人の加入をしている。詳細は,「資料 8.1.23 令和 5 年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数」のとおりである。

4.8.2 請求種別保険金請求件数

令和 5 年度の学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険の請求種別保険金請求件数は,総計 29 人の請求を行っている。詳細は,「資料 8.1.24 令和 5 年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数」のとおりである。

4.9 通学証明書，学生旅客運賃割引証

通学証明書は，学生が JR・私鉄・バス等の通学定期券を購入する際に必要となる証明書である。学生旅客運賃割引証は，学生の修学上の経済的負担軽減と学校教育の振興に寄与することを目的としている制度で，片道乗車区間の距離 100km を超える区間を乗車する際に使用することができる。

通学証明書の発行業務は,各キャンパス事務担当が行い,学生旅客運賃割引証発行は,証明書自動発行機で行っている。

4.9.1 発行枚数及び主な発行理由

令和 5 年度の通学証明書及び学生旅客運賃割引証の発行枚数等は,通学証明書(電車･バス)1,187 枚,学生旅客運賃割引証 17,959 枚の発行を行っている。詳細は,「資料 8.1.25 令和 5 年度通学証明書発行枚数，学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由」のとおりである。

4.10 学生寮

本学には，前橋地区に養心寮，桐生地区に啓真寮の 2 寮がある。学生寮は，学生が修学にふさわしい環境において勉学を継続するための住居施設として設けられている。

4.10.1 養心寮入寮者数

令和 5 年度の養心寮入寮者数（定員は男子 74 人，女子 62 人，合計 136 人，寄宿料月額 4,300 円）は，延入居者数が 1,726 人で，入居率は 78.2%である。なお，男子部屋数は 77 室であるが，入居不可室が 3 室あるため，74 室を定員とした。

4.10.2 啓真寮入寮者数

令和 5 年度の啓真寮入寮者数（定員は男子 65 人，女子 24 人，合計 89 人，寄宿料月額【ワンルーム型 25,000 円，シェア型 15,000 円】）は，延入居者数が 896 人で，入居率は 83.9% である。

詳細内訳

ワンルーム型：定員は男子 22 人，女子 10 人，合計 32 人，延入居者数が 298 人で，入居率は 77.5%

シェア型：定員は男子 34 人，女子 14 人，合計 48 人，延入居者数が 598 人で，入居率は 92.2%

4.11 生活支援施設

本学では，学生生活の利便性を確保し，経済面の支援を図るために荒牧地区，昭和地区及び桐生地区にそれぞれ食堂・売店等を設けており，群馬大学生活協同組合に委託している。

食堂では食事及び懇親会等を，売店では，書籍，日用品，旅行斡旋等を市価より安く提供している。

4.11.1 食堂

事 項 ・ 地 区	荒 牧 地 区	昭 和 地 区	桐 生 地 区
座席数	447 席 (ﾎｰﾙ内 405 席,外 42 席)	286 席 (ﾎｰﾙ内 264 席,外 22 席)	558 席 (ﾎｰﾙ内 438 席,外 20 席, 桐園 100 席)
営業時間	11:30～13:30	11:30～13:30	11:15～13:45
年間営業日数	239 日	239 日	239 日
年間利用者数	83，300 人	39，100 人	83，100 人
提供メニュー数	40 以上	20 以上	40 以上

4.11.2 売店

事 項 ・ 地 区	荒 牧 地 区	昭 和 地 区	桐 生 地 区
営業時間	10：00～17:00	10:00～17:00	10：00～17:00
年間営業日数	239 日	239 日	239 日
年間利用者数	87，100 人	58，800 人	51，700 人

4.12 課外活動施設

本学には，荒牧，昭和，桐生の各キャンパスに各種の課外活動施設があり，体育の授業の他，学生の利用に供している。その主な施設については，次のような施設仕様，使用等状況である。

4.12.1 体育施設

荒牧キャンパス	
陸上競技場	陸上競技場は，400 メートルトラックである。陸上競技部が主として使用している。 また，トラック内のインフィールドも，やり投げ等の陸上種目の他，多目的な軽スポーツ実施の場として使用している。
サッカー・ラグビー場	サッカー・ラグビー場は，サッカー又はラグビーの公式試合が可能な面積を持っており，サッカー，ラグビー及びフットサル用のゴールが設置してある。また，夜間照明も設置してあり，サッカー部，ラグビー部，アメリカンフットボール部，フットサルサークル及びラクロス部が主として使用している。
テニスコート	テニスコートは，硬式専用コート 3 面，軟式専用コート 3 面（いずれもクレーコート），全天候型コート 2 面（オムニコート），両用コート 1 面（クレーコート（ゴルフ練習施設併設））の 9 コートがあり，硬式テニス部やソフトテニス部が主として使用している。 また，オムニコートは夜間照明が設置してあり，人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあり，利用率が高い。その反面，人工芝の消耗も激しく，修繕費がかかるのが難点となっている。
野球場	野球場は，天然芝で，夜間照明が設置してある。硬式野球部，準硬式野球部，医学部準硬式野球部及び軟式野球サークルが主として使

	用している。
プール	プールは，50 メートル 8 コースで，6 月から 8 月まで使用している。水泳部が主として使用している。循環器装置のメンテナンスを実施しているが,経年劣化による故障が多発しているため，継続維持をするための修繕費がかかるのが難点となっている。
第 1 体育館	第 1 体育館は，主としてバレーボール，バスケットボールなどに使用し，それぞれ 2 面使用可能である。バレーボール部，バスケットボール部が主として使用している。 大規模な改修を行っていないため，経年劣化による故障による修繕が増加している。
第 2 体育館	第 2 体育館は，主としてバドミントン，卓球，体操競技，ダンスなどに使用している。 また，ダンス用の広い面積の鏡や，体操での安全確保用のウレタンを敷き詰めたピットも設けている。 大規模な改修を行っていないため，経年劣化による故障による修繕が増加している。 なお，第 1 体育館，第 2 体育館の間にトレーニングルームが併設されている。
武道場	武道場は，剣道用の床面が 1 面，柔道用の畳面が 1 面の計 2 面があり，各種武道で使用する他，畳面にレスリング用マットを敷き詰めてレスリングをすることも可能である。主として剣道部，柔道部，空手道部，少林寺拳法部が使用している。
弓道場	弓道場は，平成 22 年度に新営され，公式試合が可能となった。主として弓道部が使用している。
馬場	馬場は，馬術部が使用している。乗馬して練習すると馬場の表面が荒れるため，馬術部学生が馬場の部室に常駐（授業時間及び深夜を除く）し，馬の飼育と馬場の管理を行っている。 なお，飼育している馬は馬術部の所有であり，その餌代は，日本中央競馬会からの寄付と馬術部の学生が負担している。
昭和キャンパス	
体育館	体育館は，バレーボール・バスケットボール・バドミントンなどの球技で使用するアリーナと，剣道場・柔道場各 1 面の武道場があり，武道場の 2 階は卓球場となっている。 昭和地区では体育の正課授業がないため，学生の課外活動用として，バレーボール部，バスケットボール部，バドミントン部，剣道部，柔道部，卓球部が主として使用している。
弓道場	弓道場は敷地面積が狭隘であるため，荒牧地区と比べると射場の幅は狭くなっている。弓道部が主として使用している。
桐生キャンパス	
菱グラウンド（サッカー・ラグビー場，野球場）	サッカー・ラグビー場は，サッカー及びラグビー用のゴールが設置してあり，サッカー部，ラグビー部及びフットサルサークルが主として使用している。野球場は，天然芝で，硬式野球部が主として使用している。
テニスコート	テニスコートは全天候型コート（オムニコート）が 3 面あり，硬式テニス部，ソフトテニス部が主として使用している。 また，夜間照明が設置してあり，人工芝のため雨上がりにすぐ使えることもあり，利用率が高い。その反面，人工芝の消耗も激しく，修繕費がかかるのが難点となっている。
プール	プールは，25 メートル 7 コースで，6 月から 8 月まで使用している。水泳部が主として使用している。荒牧地区同様に，近年は経年劣化による故障が多発しているため，継続維持をするための修繕費がかかるのが難点となっている。
体育館	体育館は，1 階には剣道用の床面が 1 面，柔道用の畳面が 1 面の計

	2 面があり，各種武道で使用している。剣道部，柔道部，空手道部，少林寺拳法部，ダンスサークル，八木節同好会が主として使用している。また，トレーニングルームも併設されている。2 階は主として球技用のフロアであり，バスケットボール部，バレーボール部，卓球部，バドミントン部が主として使用している。
弓道場	弓道場は，弓道部が主として使用している。

4.12.2　文化施設

文化施設等は，次のとおりである（荒牧キャンパスのみ)。

ミューズホール：大学会館内の多目的ホールで，各種会合，集会等に使用する施設である。

集会室： 2 室の集会室があり，うち 1 室は和室である。和室は主として茶道部が使用している。

4.12.3　課外活動共用施設

○荒牧キャンパス

課外活動共用施設は，南北に 2 棟あり，北棟は主として運動系サークルが，南棟は主として文化系サークルが共同で利用している施設である。北棟は 1 階，2 階ともに 8 部屋の計 16 部屋あり，南棟は 1 階，2 階ともに 6 部屋の計 12 部屋がある。

北棟 1 階に運動講義関係の器具庫があり，その他の部屋は部室として使用している。南棟は音楽演奏に向く防音の部屋が 1 室，写真部用の暗室，学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。また，荒牧祭実行委員会もこの課外活動共用施設を中心に活動している。

○昭和キャンパス

課外活動施設は体育館と繋がっており，1 階，2 階，3 階に各 6 部屋の計 18 部屋あり，1 階には音楽演奏に向く防音の部屋が 4 室ある。主に文化系クラブ・サークルが利用している。

○桐生キャンパス

課外活動共用施設は，1 階に 9 部屋，2 階と 3 階に各 6 部屋の計 21 部屋あり，1 階には音楽演奏に向く防音の部屋が 1 室，写真部用の暗室，学生が各種印刷に利用する印刷室などがある。主に文化系クラブ・サークルの活動場所や運動部の器具庫及び倉庫として利用している。

4.12.4　合宿所

○荒牧キャンパス

4 部屋あり，広さは談話室が 12 畳，1・2 号室が計 22 畳，3 号室が 14 畳，4 号室が 14 畳である。なお，就寝用具などは学生の持ち込みとなっている。

○桐生キャンパス

4 部屋あり，広さは 1 号室が 12 畳，2 号室が 15 畳，3・4 号室が各 6 畳である。

関東甲信越大学体育大会などの各種競技大会開催間近には，強化合宿で利用率が非常に高くなる。

なお，就寝用具が部屋に備えられているが，就寝用具不足の場合は，学生の持ち込み対応となっている。合宿所内の共用の調理場や浴室等も利用できる。

4.13 学生団体及び主な活動

学生団体及び主な活動は，次のとおりである。

4.13.1 学生団体

令和 5 年度のクラブ・サークルは,「資料 8.1.26 令和 5 年度　クラブ・サークル一覧」のとおりである。

本学の運動部で対外試合のある種目では，荒牧キャンパスと桐生キャンパスは「4 年制大学」の出場枠となり，昭和キャンパスは「6 年制大学」の出場枠となるため，同じスポーツ名ではあっても「荒牧・桐生」と「昭和」は別団体，というクラブ・サークルが多い。

4.13.2 大学祭

学生の意識高揚と，広く群馬大学を学外に情報発信することなどを目的とし，大学祭を開催している。令和 5 年度は，新型コロナウイルス感染対策を最大限考慮し，荒牧祭（荒牧キャンパス）を令和 5 年 11 月 27 日～28 日，医学祭（昭和キャンパス）を 10 月 28 日,群桐祭（桐生キャンパス）を令和 5 年 10 月 15 日～16 日に実施した

4.13.3 関東甲信越大学体育大会

関東甲信越大学体育大会は，学生スポーツの健全な発達及び普及を図り，併せて相互の親睦に資するため関東甲信越地区 13 大学（東京地区大学を除く。）が共同で開催している。

令和 5 年度は，横浜国立大学が主管校として，横浜国立大学，横浜市立大学，千葉大学の 3 大学がそれぞれ以下の種目を担当し実施された。令和 5 年 8 月 15 日～令和 5 年 8 月 31 日の日程で全 17 種目が開催され,各大学が担当した競技種目は下記のとおりである。

横浜国立大学担当：陸上競技，ソフトテニス,剣道，卓球，弓道

横浜市立大学担当：硬式野球，サッカー，バスケットボール，水泳，体操，柔道

千葉大学担当　　：準硬式野球，ラグビー，バドミントン，空手道，バレーボール，テニス

4.13.4 クラブ・サークルリーダーシップ研修会

クラブ・サークルリーダーシップ研修会は，クラブ・サークルの新旧リーダー等を対象に，課外活動団体の健全な活動及び発展に寄与させることを目的として毎年行っている。

令和 5 年度は，以下のとおり実施した。

（研修スタイル）令和 6 年 2 月 28 日 対面研修で開催

（研修内容《講演》）　①　クラブ・サークルリーダーのあるべき姿について

②　酒・たばこについて

③　生活安全について

④　救命講習

4.14 学生の就職支援

荒牧キャンパスに全学生が利用可能な進路指導室としてキャリアサポート室を設置している。学生自身の適性や志向を見定め，明確な目的意識を持たせ，社会や仕事，働くことの意味や意義を考え学ばせる実践的な就業体験や各種の就職ガイダンス・セミナーを開催し，多様化する就職活動に対する支援を行っている。

4.14.1　　進路状況及び主な就職先

令和 5 年度の学生の進路状況等は,「資料 8.1.27 令和 5 年度進路状況及び主な就職先」のとおりである。

4.14.2　　全学就職ガイダンス・セミナーの開催

本学で実施した就職ガイダンス等は，次のとおりである。

1）就職ガイダンス
　基本講座　全 3 回
　実践講座　全 7 回
　特別講座　全 4 回
2）公務員講座　全 3 回
3）各種試験対策講座　全 2 回
4）インターンシップ関係,説明会及び成果報告会等　全 4 回
5）合同企業説明会・公務員等業務概要説明会　全 2 回
6）医学部生向け講座　全 4 回

4.14.3　　キャリアカウンセリングの充実

学生の就職相談体制の強化として，荒牧地区，昭和地区及び桐生地区にキャリアカウンセラーを配置し，原則,対面(オンライン希望者には Zoom)によるカウンセリングを実施した。

1）利用実人数：　475 人
2）主な相談・指導内容
　・就職活動の進め方・職業適性・自己分析の相談
　・エントリーシート，履歴書の添削
　・面接試験の指導助言

4.14.4　　キャリアサポート室における情報収集環境の充実

1）求人情報や仕事研究・インターンシップ情報,企業情報等を集約し,「ぐんだい進路（群馬大学_進路・就職支援システム)」に掲載
2）就職情報検索等のためのパソコン・プリンターを設置

3）各種求人・会社説明会・インターシップ・公務員試験案内等の設置と配付
4）先輩の就職活動報告書の公開
5）就職関連書籍・ＤＶＤ，ガイダンス動画の貸出
6）就職ガイダンス開催・各種企業説明会，セミナー等の案内やカウンセリングの予約状況等について，Ｘ（旧ツイッター），Ｇメールによる情報発信

4.14.5　　就職支援の体制強化の充実

1）国公私大学が参加する就職指導担当者研修会や全国就職指導ガイダンスにおいて意見交換を図るとともに企業の人事担当者等による専門的助言や情報の収集により就職支援体制を強化した。

2）体験型インターンシップを推進するため，実習先企業を継続的に確保し，また受入企業の新規開拓を図った。

・インターンシップ受入企業等：　337 企業・法人・官公庁

・インターンシップ参加者：　543 人

3） 就職活動に特化した情報を学生に提供できるよう,本学学生のための就職支援ポータルサイト「ぐんだい進路（群馬大学_進路・就職支援システム)」を導入した。

【主な機能】

- 求人情報や仕事研究・インターンシップ情報,企業情報の閲覧
- エントリー受付
- 進路希望,活動報告書及び進路決定届の登録
- キャリアカウンセリング・ガイダンスやセミナーの予約・変更・確認
- 先輩の体験記（活動報告書・進路決定届）の閲覧

4.15 キャンパスニュース群の発行

主に各キャンパスの学生活動情報をウェブサイトに掲載し発信している。

4.16 事件・事故

本学学生が関係した事件・事故の件数は，次のとおりである。

・交通事故及び接触事故：29 件（学内 13 件，学外 16 件）

・盗難：0 件

・その他犯罪被害等：0 件

5　アドミッションセンター

アドミッションセンターは,学生受入センターを改組し,2022 年４月に発足した。センター長（副学長）,副センター長（専任及び兼任）,兼任教員（各学部の入試又は学生募集広報担当委員会の委員）及びアドミッション・コーディネータ（専任）が在籍する組織である。次に掲げるセンターの業務を円滑に遂行するため,運営会議,入学試験委員会及び高大連携・学生募集広報委員会を設置している。

- 入学者選抜方法の企画，立案及び改善に関すること。
- 入学者選抜（大学入学共通テストを含む。）実施に係る総括に関すること。
- 入学者選抜の結果の分析及び評価に関すること。
- 入学者選抜に係る調査及び研究に関すること。
- 入学者選抜に係る情報の保護，管理及び開示に関すること。
- 入学者選抜に係るリスクマネージメントに関すること。
- 高大連携活動の企画，立案及び実施に関すること。
- 学生募集広報活動の企画，立案及び実施に関すること。

5.1　学生募集広報戦略の立案

本戦略は,年度初めの４～５月,最新の入試データをもとに更新・作成し,運営会議及び高大連携・学生募集広報委員会において,検討している。高校と本学の良好な関係構築を図り,文部科学省が進める高大接続改革（高等学校教育,大学教育,大学入学選抜の一体的な改革）を念頭に,よりよい学生の獲得を目指していく。

5.2　高等学校学習指導要領（2018 年 3 月告示）に対する入試対応

2022 年度から高等学校に入学する生徒は,2018 年 3 月に告示された新しい学習指導要領に基づいて学習することになる。この新しい指導要領に対応するため,本学の 2025 年度入試における利用教科・科目および個別学力検査等について検討し,ウェブサイトに掲載して,周知した。

また,大学入学共通テストにおいては,「情報Ⅰ」が新たな教科として追加されることから,当該教科の配点を検討するため,入学試験委員会の下に入試方法開発・分析部会を設置し,各学部との調整を行った。当該部会及び入学試験委員会での協議の結果,「情報Ⅰ」の配点を全学的に 50 点満点（医学部医学科の一般選抜前期日程は 25 点満点）とすることとした。

5.3　新たな総合型選抜の実施

本学では,情報学部を核として ICT リテラシーを全学部生に提供するとともに,全ての領域の学生・研究者の研究活動をデータサイエンスで支援している。その取り組みを入学時から構築し,多様な学生を受け入れることを目的として,2025 年度入学者選抜から,プログラミング等の高度な情報スキルを持つ高校生を対象にした総合型選抜「iTFL（information Technology Frontier Leader）入試」を実施することとした。また,同じく多様な背景を持つ学生の受入れを促進することを目的として,2025 年度入学者選抜から,私費外国人留学生選抜の出願資格に該当しない外国籍生徒等を主に対象とした新たな総合型

選抜「外国人生徒等入試」も実施することとした。

5.4 入学者の選抜方法改善と追跡調査

前年度入試の実施状況等については,受験産業による報告会を学内で複数回実施して本学を含めた大学入試の最新動向の把握を行った。

これら複数回の場で得た情報,受験産業から個別に提供された情報,そして本学で実施した各種アンケートや入学後の成績等の追跡調査結果を基に,各学部において「入学者選抜方法研究報告書」を作成し,次年度以降の入試改革に役立てることとした。

なお,2023 年度は,下記のとおり 2024 年度入学者選抜において変更を行った。

・共同教育学部英語専攻の入学者選抜の変更

募集人員　学校推薦型選抜　　５名（新たに導入）

前期日程　　１０名（１２名→１０名）

後期日程　　廃止（３名→０名）

・共同教育学部音楽専攻の入学者選抜の変更

募集人員　学校推薦型選抜　２名（４名→２名）

前期日程　　９名

後期日程　　２名（新たに導入）

・共同教育学部保健体育専攻の入学者選抜の変更

学校推薦型選抜では,出願要件について,新たに【野球】を追加

一般選抜・私費外国人留学生選抜では,実技試験で【野球】を実施

・情報学部学校推薦型選抜のＧＦＬ特別枠出願要件の変更について

（変更後）TOEFL-iBT：50 点以上（Home Edition は除く）

（変更前）TOEFL-iBT：42 点以上（Home Edition は除く）

・医学部保健学科学校推薦型選抜における面接の実施方法の変更について

（変更後）個人面接／5 分程度を複数回／面接員複数

（変更前）集団面接／20 分／面接員複数

5.5 オープンキャンパス等

本学では,教育研究及び学園生活の現状を,具体的に分かりやすく伝える場として,また,受験生の進路決定に資することを目的として, 2023 年度も Web オープンキャンパスと各学部のオープンキャンパス（対面実施）を実施した。

このオープンキャンパスに対して,過去３年度において志願実績のある高校（1,325 校）へ周知文書とチラシを送付し,加えて,前年度の群馬大学オープンキャンパス申込者へのメール配信,そして,本学ウェブサイトや SNS 等でも積極的に告知した。

5.5.1　群馬大学 Web オープンキャンパス「GU’ DAY2023」

全学と各学部を一本化し,Web による「群馬大学 Web オープンキャンパス『GU’DAY2023』」を開催した。前年度までは,事前登録制としていたが,それを廃止し,オンデマンド型にして,参加者の利便性を高め

た。

5.5.2　学部別オープンキャンパス

2023 年度は,前記したように,新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が５類感染症に移行したことから,共同教育学部,情報学部,医学部医学科,医学部保健学科及び理工学部それぞれのキャンパスで「学部別オープンキャンパス」（対面実施）を開催した。例年同様に,総務課広報係と連携した事前の PR 活動等の効果もあり,予約の枠が直ぐに埋まってしまうなど盛況であった。各学部学科とも,キャンパスツアー,学生イベント,個別相談,模擬授業等を行い,延べ 3,611 名の参加者があった。

5.6　高大連携活動

高校からの要望（大学教員へのインタビューや大学生の高校への派遣等）に対応した。前年度までは県内公立高校との連携がほとんどだったが,2023 年度にアドミッションセンターへ新規に相談や依頼のあった高校は,いずれも私立や県外の高校だった。本学の活動が周知され,幅広い高校へのアピールにつながっていると考えられる。また,高等学校の必修科目「総合的な探究の時間」について,本センターと群馬県教育委員会が連携し,高大連携による授業の充実を図るための情報交換会を開催することとした。

5.7　学生募集に係わるその他の広報活動

アドミッションセンターでは,改組後も引き続き,学生募集に係わる様々な広報活動を行っているが,新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が５類感染症に移行したことから,対面での対応が増える結果となった。その主な学生募集に係わる広報活動の事項とその状況は,次のとおりである。

5.7.1　高等学校等の教員を対象とした説明会

本学の主催で,高等学校等の進路指導担当等の教員を対象とした「高等学校等の教員を対象とした入学試験に関する大学説明会」を,例年６月下旬に開催している。これは以前,高等学校等の「進路面談（７月中旬頃）の前に,説明会を行って欲しい」旨の意見を進路指導担当等の教員から受け,2016 年から開催日時を従来の７月下旬より前倒しして行っている。

2023 年度はオンラインにて従来通りの６月 23 日（金）に「高校教員向けオンライン入試説明会」として本学主催で開催した。この説明会には,過去３年間の入試において志願者のあった約 1,300 校へ案内通知し,75 校の高校教員の参加があった。

また,本学主催ではないが,高校教員向け入試説明会として次の３件へアドミッションセンターとして参加し,説明を行った。（１）5 月 26 日（金）「東京・多摩地区高校進路指導協議会主催の懇談会」東京都・神奈川県・埼玉県の高校 31 校参加,（２）8 月 8 日（火）「東京・多摩地区高校向けオンライン入試説明会」都立高校中心に 16 校参加,（３）12 月 22 日（金）「静岡向けオンライン入試説明会」静岡県の高校 18 校参加。

5.7.2　群馬県高等学校長協会との意見交換会

2023 年度は,11 月に群馬県高等学校長協会と本学関係者での意見交換会を実施した。2025 年度及び 2026 年度入学者選抜の実施教科・科目等,大学入学共通テスト「情報Ⅰ」の扱い,本学が提供する模擬授業等について意見交換を行った。

5.7.3 大学説明会・進学相談会

2023 年度における大学説明会の実施は前年度並の 119 校であったが,そのうちオンラインでの対応が前年度より 18 校減少し,25 校となった。新型コロナウイルス感染症の発生から 5 年目という年であったが,オンラインを活用しつつも,対面での説明会を望む高校がコロナ前のように戻ってきている印象である。また,初の取り組みとして「群馬大学説明会 at 太田キャンパス」(2023 年 12 月 27 日（水)）と題し,太田キャンパスにおける本学主催の説明会を開催した。説明会だけでなく,マスメディア向けにプレスリリースを行ったりキャンパスツアーを行ったりして,太田キャンパスの PR の場ともなった。東毛地区を中心に定員を超える申込･参加があり,高いニーズを示したことから,2024 年度も開催する予定である。

5.7.4 夢ナビライブ

株式会社フロムページが主催する高校生向け進学イベント「夢ナビライブ」は,オンラインとオンデマンド配信が混合した形での開催となった。本学は７月 15 日と 16 日の両日開催の「夢ナビライブ 2023Web in Summer」と,10 月 20 日と 21 日の両日開催の「夢ナビライブ 2023Web in Autumn」において,学部教員による夢ナビ講義・オンライン質問対応,アドミッション・コーディネータによる大学説明会,そして,学生広報大使によるオンラインセミナー（トークライブ）を行った。５名の教員による講義等（参加者計 351 名）,大学説明会（参加者計 79 名）,８名の学生広報大使によるオンラインセミナー（参加者計 172 名）を行った。

5.7.5 出張模擬授業

高校からの依頼により,オンラインを含め延べ 42 校の高校生に対して,各学部学科等による出張模擬授業を実施した。なお,2023 年度からアドミッションセンターが実施する模擬授業を本格スタートさせ,講師陣には本学の OB・OG 教員も加え,文理合わせて 12 講座（2024 年 3 月時点）を揃えた。2023 年度は県内を中心に樹徳高校や富岡高校などで 5 回実施した。引き続き積極的に実施し,高校側のオファーにできる限り迅速に対応していく。

5.7.6 高校訪問

アドミッションセンターの教職員を中心に,県内･隣県等の延べ 28 校を高校アプローチ戦略に基づいて訪問し,高校の進路指導主事等との意見交換を行った。

5.7.7 大学見学受入

県内外の高校 11 校から大学見学の受入を行った。

5.7.8　大学案内等のダイレクトメール，郵送など

広報活動のためのツールとして,冊子体の大学案内を作成して,出前説明会等において配付した。さらに,前年度と同様,過去３年間の入試において志願者のあった約 1,300 校の高校へ大学案内を郵送した。

5.7.9　ウェブサイト等による広報

本学ウェブサイト等を活用し,受験者等への情報発信（LINE, Twitter 等の SNS を含む）を種々行った。「入学者選抜に関する要項」や「学生募集要項」の発表,受験状況の公表のほか,2013 年度からは試験問題及び解答例・評価のポイント,群馬大学入学者選抜における受験上の配慮内容,次年度以降の入試の変更点を公表している。また,大手の受験産業が運営する進学情報サイト等に入試情報を掲載し,より広範な広報活動を行った。

加えて,本学に関する紹介動画を各種作成して,群馬大学公式チャンネル（YouTube）に掲載した。

5.7.10　学生広報大使による広報

本学の広報活動を推進するため,学生ならではの視点を活かして広報活動の企画・実施に参画してもらうことを目的として,2017 年度から「群馬大学学生広報大使」の活動が行われている。2023 年度は,オープンキャンパス及び 150 周年記念事業への協力,夢ナビライブなどの進学イベントへの参加,大学説明会への同行などの活動を行い,多くの高校生の共感を得た。

6　健康支援総合センター

6.1　はじめに

令和5年度は,5月8日に新型コロナウイルス感染症が感染症法の分類による5類に移行したものの,引き続き基本的な感染予防対策を継続することを前提としながら,健康支援総合センター（以下「センター」という。）の活動・行事を行った。

まず,センターの基本となる業務として,学生ならびに教職員の心身の健康の保持増進を図るため,学生健康診断やその事後措置としての助言・指導,健康に関する相談対応,各種感染症の流行情報の把握と予防教育活動及び健康に関連した調査や研究を行っている。大学を取り巻く環境が変化していく中で,近年その活動は,以下の新たな4つの点を中心に実施されてきた。

1）学内関連組織との円滑な連携に基づく学生の心身の健康に関する支援拡充
2）障害学生支援室との連携強化（平成28年4月障害者差別解消法施行）
3）学内外の医療・教育関係機関との連携による地域貢献活動の拡充
4）教職員のための産業保健活動の強化

令和 5 年度は上記の点に加えて,上述の通り，新型コロナウイルス感染症の状況の変化に柔軟に対応しながら，各種活動の日程や内容の変更，支援活動の拡充について随時関係者で検討しながら実施した。以下に主な点を列挙する。

① 対面型学生相談の再開：対面による学生相談を再開し，かつ，学生のニーズに合わせ（Google Form による相談受付フォームを作成し，学生のニーズを把握）オンラインでの相談も継続した。
② セルフケアスキル向上を目指した全 5 回の学生向けセルフケアセミナーを企画，実施し，最終回にはセンター教員も登壇し，学生や教員からのセルフケアに関する質問に答えながら対談形式での情報提供を行なった。
③ 群馬県内の大学等教育機関における学生・教職員の支援担当者に向けて，メンタルヘルスに関する情報提供を継続的に行なった。「オープンダイアローグを大学へ」と称し「対話」の重要性について体験するワークショップを開催した。
④ 教職員の休職復職支援：センター教員が産業医として，教職員のスムーズな休職復職が可能になるよう継続的な面談を行い，産業保健活動に貢献した。

6.2　令和5年度実施事業

6.2.1　　学生定期健康診断の実施

コロナ禍以前に準ずる形で，対象者を全学生とし，「資料 8.1.32 令和 5 年度　荒牧・昭和地区学生定期健康診断日程表」「資料 8.1.33 令和 5 年度　桐生地区学生定期健康診断日程表」に示す日程で実施した。受検状況は「資料 8.1.34 令和 5 年度 学生定期健康診断受検状況（荒牧・昭和地区)」「資料 8.1.35 令和 5 年度 学生定期健康診断受検状況（桐生地区)」に示すとおりであった。学部学生の受検率は前橋地区全体で 77.8%，桐生地区全体で 71.8%であった。1 年生については，共同教育学部 100%，情報学

部 89.4%，医学部医学科 94.2%，医学部保健学科 98.8%，理工学部 93.5%と良好であった。各検査結果は「資料 8.1.36 令和 5 年度 学生定期健康診断結果」に示すとおりであった。要精検者については，医療機関への紹介状を作成し，円滑な受診につなげ，その結果内容に応じて随時個別面談を行なった。

6.2.2 精神保健調査の実施

例年,4 月の健康診断時に精神保健調査（スクリーニング検査）を実施している。在学生については令和 3 年度より健康診断予約システムを用いて予約時にオンライン上で実施した。新入生については令和 3 年度より Google Form を用いた質問票にオンライン上で回答する様式で実施し，令和 5 年度からは在学生と同様に健康診断予約システムを用いての回答とした。

調査方法は，メンタルヘルス質問票 33 項目を用い，抑うつ状態，気分変調，精神病像，食行動異常，生活支障度，相談希望，既往歴についてスクリーニングし，面接の要否を判定した。要面接と判定された者に対して，センター医師により，対面またはオンラインで診断的面接を実施した。

結果については「資料 8.1.37 令和 5 年度 精神保健調査結果」に示すとおりであった。要面接者は，令和 2 年度急増した新入生においては 2.1%と減少し,在学生においても 1.3%と例年並みになっていた。

一方，精神科，心療内科等に通院歴のあるものの人数は，数年前に比べると倍以上に増加してきている。また，発達障害を背景とした学生への対応件数も引き続き増加している。

6.2.3 学校生活に関する困りごと調査の実施

例年,6 月に新入生を対象とした講義内で実施しているが,令和 2～4 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり，10 月に Google Form を用いた質問票にオンライン上で回答する様式で実施した。令和 5 年度は，7 月に新入生を対象とした講義内で周知した上で，引き続き Google Form を用いた質問票にオンライン上で回答する形で調査を行なった。回答結果より「相談を希望する」「相談するべきかどうか迷っている」と答えた学生に対し面接を勧めた。面接は，センター医師（講師）が担当した。結果は「資料 8.1.38 令和 5 年度　新入生の「学校生活に関する困りごと調査」結果」に示すとおりであった。

6.2.4 学生特殊健康診断の実施

特殊健康診断の受診対象者は,「常時使用する労働者」であり,教職員,非常勤教職員であるが,学生も実習や実験研究を通じて,教員等と同様の環境下にあることから特殊健康診断の対象とすることが必要であると考えられる。このことから,平成 25 年度より学生に対しても同健康診断を実施している。令和 5 年度は,「リスク評価システムにおいてリスクレベル「ⅢＳ以上」と判断された理工学部 4 年生及び理工学府生」を対象に実施した。結果は「資料 8.1.39 令和 5 年度 学生特殊健康診断結果」に示すとおりであった。受診者 78 名中，異常なし 76 名，要経過観察者 2 名，要精密検査者は 0 名であった。要精密検査の学生がいた場合には，医療機関を受診し必要な検査を受けるよう個別指導を行っている。

6.2.5　外国人留学生健康診断の実施

平成21年度から感染性肺結核症の有無を検査するクォンティフェロンTBゴールド検査を実施していたが,平成30年度よりT-SPOTに変更して検査を実施した。令和3年度からは新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け,新規の外国人留学生も少なく,T-SPOT検査は実施せず,11～12月に胸部レントゲン検査を実施した。結果は「資料8.1.40 令和5年度　外国人留学生特別健康診断結果」に示すとおりであった。

6.2.6　自殺予防対策ワーキンググループの活動

令和元年に関係部局と連携して自殺予防対策ワーキンググループを立ち上げ，令和2年度より随時事例検討を重ね作成した「群馬大学自殺予防ガイドライン」の素案をもとに，支援担当者間での意見交換を継続した。

6.3　健康支援総合センター利用状況

6.3.1　利用人数及び件数

センター利用人数は,1,250名（年間延べ人数）であった。からだの健康相談，こころの健康相談，健康診断書の発行についての各件数を月別に集計した。結果は「資料8.1.41 令和5年度　健康支援総合センター利用状況」に示すとおりであった。健康診断書については，そのほとんどが自動発行のシステムを利用して発行されており，所定の健康診断書への記入が必要であった7件に関してはセンターで発行した。

6.3.2　健康相談の対応内容別件数及びカウンセリング報告

健康相談を「からだの健康相談」と「こころの健康相談」に分けて月別に集計した。結果は「資料8.1.42 令和5年度　健康相談の対応内容」に示すとおりであった。さらに，こころの健康相談者数とその内容については「資料8.1.43 令和5年度 こころの健康相談者数」に示す。また，荒牧・桐生キャンパスでの公認心理師による月別カウンセリング利用者数及び動機内訳を「資料8.1.44 令和5年度　公認心理師（非常勤）による心理カウンセリング報告」に示した。学生本人だけではなく，学生の家族や担当教員との面談や電話・メールによる相談も随時実施した。対面での授業が再開されたことにより，授業の合間の時間を使っての面談も多く，各キャンパス内でZoomでの面談やカウンセリングが受けられるよう，昭和キャンパスの学生健康相談室および学事・学生支援係，桐生キャンパス保健室の協力を得て部屋を確保できるよう随時対応を依頼した。担当教員と学生との面談時でも，センターを利用すること，セルフケアセミナーなどの研修を通じて，早期に相談することの大切さも伝えていることから，今後もセンターで受ける健康相談件数は増加することが予想され，センターの医師や公認心理師が対応する相談やカウンセリングにかかる時間数の増加は避けられないと想定される。

近年大きな課題となっている外国人留学生のメンタルヘルスサポートについては，令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のための出入国制限により，対応件数は一時的に減少したが，令和5年度以降急増することが予測されるため，GIC(グローバルイニシアチブセンター)の中の国際担当部門と連携

に関する打ち合わせを行った。

6.3.3　疾病領域別利用者数

疾病領域別利用者数を月ごとに集計した表を「資料 8.1.45 令和 5 年度　疾病領域別利用者数」に示す。メンタルヘルスに起因する可能性のある症状に関連するものが圧倒的多数を占めた。相談希望者に対して，センター医師・カウンセラーにより個別面談を行い,内容により必要に応じて近隣の医療機関を紹介した。

6.3.4　診療科別医療機関紹介件数

センターから他の医療機関への紹介件数は,延べ学生 66 件,教職員 8 件であり,結果は「資料 8.1.46 令和 5 年度　診療科別医療機関紹介件数」に示すとおりであった。

6.3.5　薬剤別処方日数

センターで処方した薬剤の量を投与日数で集計した。結果は「資料 8.1.47 令和 5 年度　薬剤別処方日数」に示すとおりであった。

6.3.6　桐生地区・保健室利用状況

桐生地区での保健室利用状況は,「資料 8.1.48 令和 5 年度　桐生地区・保健室利用状況」に示すとおりであった。

6.3.7　昭和地区・学生健康相談室利用状況

昭和地区での学生健康相談室利用状況は,「資料 8.1.49 令和 5 年度　昭和地区・学生健康相談室利用状況」に示すとおりであった。

6.4　教育関連活動

センターの医師は,教員として教養教育等の講義を担当している。新入生を対象とした教養基盤科目のスポーツ・健康「健康教育」において，疾病対策及びメンタルヘルス不調対策として，それぞれ 90 分の講義を 5 回（同一内容）行った。内科医からは「からだからのサインに気づく」と題して大学生に必要となる日常に身近な疾病対策についての講義を行い，精神科医からは「精神の健康」をテーマに発達障害を含めたメンタルヘルス不調全般について講義を行った。上記講義の中で本センターのオリエンテーションも実施した。

また，令和 6 年 2 月にはクラブサークルリーダー研修において,「酒とタバコ」に関する健康講話を実施した。アルコールハラスメントの禁止を改めて強調した。

更に，精神科医師は，非常勤講師として医学部医学科 3 年生臨床行動科学講義「心の健康を保つには」を行った。

6.5 健康管理に関する調査研究活動

群馬大学「性の多様性に関する学生意識調査」からみる SOGI への展開についての調査資料の検討を行った。

6.6 健康支援総合センター主催の委員会等

下記の委員会等を主催した。

1）令和 5 年度健康支援総合センター運営委員会（令和 5 年 9 月 25 日，令和 6 年 3 月 17 日）

2）令和 5 年度群馬県内大学等メンタルヘルス研究会（令和 6 年 2 月 17 日開催）

「オープンダイアローグ（対話）を大学へ　対話の場を開くための工夫について「対話」してみよう」講師　森川すいめい　精神科医／鍼灸師／オープンダイアローグ国際トレーナー

3）群馬県内大学等保健管理担当者会議（9 月 27 日，令和 6 年 1 月 24 日）

群馬県内の大学,短期大学,高等専門学校の保健管理担当実務者及び事務担当者へのメール会議を開催した。会議内容は,研究集会の報告,「健康ミニガイド」の作成,保健管理担当者へのアンケート結果の報告などである。

6.7 健康支援総合センターの全国会議等出席

下記の全国会議等にセンターの教職員が出席し,最新の情報の収集を行い,センターの機能強化につなげた。さらに関係大学との情報交換を行い,連携を深めた。

1） 第 21 回全国大学保健管理協会総会（ハイブリッド開催）：京都（6 月 20 日）
副センター長が出席

2） 第 61 回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会（ハイブリッド開催）：昭和大学（7 月 27,28 日）
副センター長，センター講師，公認心理師，看護師が出席

3） 第 47 回日本自殺予防学会総会（ハイブリッド開催）：大分県立看護科学大学(9 月 15,16,17 日）
副センター長，センター講師が出席し，副センター長が「地方大学における学外機関との自殺予防連携の試み」という演題で本学の自殺予防対策に関する発表を行った。

4） 第 61 全国大学保健管理研究集会：金沢大学（10 月 4,5 日）
副センター長，センター講師，看護師が出席

5） 令和 5 年度国立大学法人保健管理施設協議会総会：金沢大学（10 月 6 日）
副センター長が出席

6） 第 45 回全国大学メンタルヘルス学会：札幌医科大学（12 月 21,22 日）
副センター長，センター講師が出席

6.8 学内行事実施に伴う救護業務

下記の学内行事に教職員が救護活動を行った。

・共同教育学部体育大会
・関東甲信越地区国立大学法人等職員採用試験
・情報学部第 3 年次編入学試験
・共同教育学部・情報学部オープンキャンパス
・情報学部・社会情報学部スポーツ大会
・共同教育学部,情報学部推薦入学試験
・大学入学共通テスト
・個別学力検査（前期,後期）

6.9 出版・広報活動

下記の出版,広報活動を行った。

1) 「健康ミニガイド 2023～よりよいキャンパスライフを送るために～」を発行した。先に示した群馬県内大学等保健管理担当者会議が,健康についての意識や知識を高めてもらうことを目的に共同で作成した冊子であり,新入生に配布した。
2) 「群馬大学　大学教育・学生支援機構報告書　健康支援総合センター」の令和 4 年度の原稿を作成して提出した。
3) 群馬テレビ「ビジネスジャーナル」出演（副センター長）
「職場のメンタルヘルス～産業医を知ろう！」9 月 1 日放映
4) 共著（副センター長)「シンプル衛生・公衆衛生学 2023」（南江堂）,2023 年,東京
5) 共著（副センター長）全国柔道整復学校協会監修「衛生・公衆衛生学　改訂第 6 版第 9 刷」（南江堂）,2024 年 2 月,東京
6) 監修（副センター長)「衛生テキスト」（日本バーテンダー協会）,2023 年,東京
7) NHK「ほっとぐんま 630」受験生の睡眠についての医学的助言, 2024 年 1 月 16 日放映
8) 医療ポータルサイト「m3.com」地域ニュース, 竹内一夫・群馬大学健康支援総合センター教授に聞く◆Vol. 1 &◆Vol. 2, 2024 年 1 月 19 日,26 日付

6.10 社会貢献活動

センターの医師は,専門性を生かして下記の社会貢献活動を行った。

【精神科医・教授（副センター長)】

各種外部委員,嘱託医及び各関係機関からのコンサルテーション要請への対応
令和 5 年度　群馬地方労働審議会・会長代行（令和 5 年 9 月末に任期満了；令和 5 年 11 月 23 日,厚生労働大臣より感謝状を授与される）
令和 5 年度　群馬県障害者雇用対策プロジェクトチーム・座長
令和 5 年度　全国大学メンタルヘルス学会・理事
令和 5 年度　全国大学保健管理協会・評議員

令和 5 年度　前橋市教育委員会学校問題対策委員
令和 5 年度　群馬産業保健総合支援センター・相談員
令和 5 年度　群馬産業保健総合支援センター・評価委員
令和 5 年度　群馬大学医学部非常勤講師（精神医学）
令和 5 年度　北関東医学会・評議員
令和 5 年度　群馬職域メンタルヘルス交流会・幹事
そのほか群馬県医師会,各郡市医師会,群馬労働局,群馬県障害者職業センター,群馬労働基準協会連合会,群馬産業保健総合支援センター,日本産業カウンセラー協会,日本バーテンダー協会などの要請に応じて各種講演や講義を行った。

【内科医・講師】
嘱託医及び各関係機関からのコンサルテーション要請への対応
令和 5 年度　群馬地方労働審議会委員
令和 5 年度　高崎市乳幼児健診事業　内科診察及び発達・発育相談対応。
令和 5 年度　群馬大学　性の多様性に関する基本的考え及び対応ガイドラインに基づく相談支援員（にじいろライン相談員）として相談の初期対応を行い，必要な連携機関と対応について協議する役を担った。

6.11 産業保健活動

産業保健活動に関しては人事労務課が統括しているが,平成 25 年度途中から荒牧・上沖・若宮地区に関しては,センター医師 2 名（内科,精神科）が兼務する体制をとっている。昭和地区は非常勤産業医（精神科）1 名が勤務しており,桐生・太田地区は桐生市医師会医師に依頼している。平成 27 年度にはこれらの産業医の意見を集約するための産業医部会が発足し,継続している。

6.11.1　安全衛生委員会

荒牧及び若宮事業場はセンター医師（講師）が産業医として参加し,毎月の委員会中での職場巡視の報告及び質疑応答を通じて,職場環境改善のための指摘を行った（1 回／月,８月を除く。メール会議の月もあり,その場合は資料を閲覧)。

6.11.2　職員の定期健康診断

人事労務課からの依頼を受け,若宮事業場及び上沖事業場の職場健診における内科診察を行った。全事業場に勤務する教職員の健診結果の判定及び個別結果の事後措置,医療保健相談についてはセンター医師(講師)が対応した。

6.11.3　スタッフカウンセリング

人事労務課に協力して,非常勤産業カウンセラー1 名を配置し,教職員のためのカウンセリングを実施。

6.12 通常業務以外の支援業務

急増する外国人留学生の健康問題対応について，GIC(グローバルイニシアチブセンター)の中の担当部門と支援に関する打ち合わせを行っている。

また,現在全国の大学の保健管理部門が直面している，総務庁主導の PHR（パーソナルヘルスレコード）事業について,第一人者である京都大学大学院医学研究科教授・石見　拓教授（本学医学部出身）を招聘して,令和 5 年 7 月 25 日に当センター内で「PHR 構想に基づく学生健診等の医療データの標準化について」という題名で指導助言講習会を行った（ハイブリッド)。

6.13 健康支援総合センターの現状及び今後の方向性

令和 5 年度は,引き続き新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら,通常の業務対応をコロナ禍以前と同様に実施していくことを目標とした。さらにコロナ禍中に確立してきたオンラインによる活動を組み込みながら，日々の業務を遂行してきた。健康相談はコロナ禍発生前に比べて件数も急増しており,また内容も学生生活から個人的な生活面，交友関係面へと幅も広がっており,かつ,日本語が不得手で同国人の中でも孤立化している外国留学生の相談が増加するなど，複雑化している。また，国際面では,ウクライナ情勢をめぐって受け入れを行っている留学生の健康面のサポートも担当している。

こうした中で,メンタルヘルス面では精神科,心療内科等に通院歴のある学生の人数が急増し,発達障害を背景とした学生についても,本人からだけではなく担当教員やご家族からの相談を含めて増加している。現在,日本自殺予防学会で発表を行ったように学外機関（医師会や日本自殺ゲートキーパー協会など）との連携を推進しており,また,学内においても障害学生サポートルームやにじいろライン（性の多様化に対応），GIC(グローバルイニシアチブセンター)の国際部門担当部署などとの連携を深め,慢性の人員不足による業務の錯綜を回避する努力を続けている。

また,人事労務課管轄の教職員の健康問題についても,センター医師が産業医を兼任しながら対応し,特にこの数年急増しているメンタルヘルス不調による休職者の対応などにも当たっている。

ポストコロナ時代に入りつつある今,中・長期的な視点で,健康管理部門における支援体制の強化が学内,学外から求められている。全学的な視野に立った,上述の脆弱部分の補強が,今後の優先事項ではないかと考えられる。

7　教育改革推進室

教育改革推進室は平成 28 年度概算要求「地域と連携した教育体制の整備と展開」が予算措置されたことを受け，平成 28 年７月に，大学教育・学生支援機構の教育基盤センター及び教育企画室の改編とともに設置された。大学教育に関する，(1) 教育実施体制及び教育方法，(2) 地域と連携した教育，(3) 社会ニーズを踏まえた教育プログラム，(4) アクティブ・ラーニングに関する企画立案を行うことが業務となっている。

7.1　教育課程・学習成果に関する取り組み

各講義，演習等が学位授与の方針であるディプロマ・ポリシー，教育課程編成・実施の方針であるカリキュラム・ポリシーと整合するように，かつ，学生が主体的に学ぶことができるような取り組みを進めている。そのためにシラバス，カリキュラム・ツリー，カリキュラム・マップの点検を実施している。また，学生が評価の観点毎に到達基準を把握できるルーブリックの導入，学生が振り返りを通して学修目標を自覚し自学自習できるポートフォリオシステムの利用推進，学習の管理やレポート執筆に関するフライヤーの作成，配布を行っている。

各教員の講義，演習等に関する授業コンサルテーションを随時受け付けている。特に，オンライン授業の効果的な方法，LMS（Learning Management System：学習管理システム）の一つである Moodle の利用，アクティブ・ラーニングの推進についての相談活動を実施している。

7.2　内部質保証に関する取り組み

教育活動に関する適切な根拠（資料，情報）を収集するために，インスティテューショナル・リサーチ（IR）を実施している。入学から卒業までの学生の GPA 推移の分析，入試区分と GPA との関係についての分析，講義毎の成績評価分布の分析，履修パターンの分析等を行っている。また，分析結果の一部を IR レターとして全学へ配布している。

学習成果を把握する一環として，群馬大学全学学習ふりかえりアンケート調査（学部対象），群馬大学全学卒業時アンケート調査（学部対象），群馬大学全学修了時アンケート調査（大学院対象）を毎年実施している。なお，群馬大学卒業生・修了生就職先機関アンケート調査については３年毎に実施することになっている。

また，教育研究活動を推進，点検・評価する各学部・研究科等の組織―医学部医学科カリキュラム評価委員会，医学部 IR 室会議，数理データ科学教育研究センター運営会議／数理データ科学教育研究センター構成員ミーティング，群馬大学データ利用倫理審査委員会，ぐんま未来学 WG，教育アセスメント委員会，経営 IR 室会議，大学教育センター学部教務委員会，大学教育センター大学院教務委員会，大学教育センター学部教務委員会教養教育部会―において，教育の PDCA サイクルを機能させる取り組みについての専門的助言を実施している。来年度には理工学教育センター運営委員会に対する助言を開始することを予定している。

7.3　その他の取り組み

7.3.1　ベストティーチャー賞

ベストティーチャー賞は，教育実践に顕著な成果を挙げた教員に対して，その功績を表彰するとともに，受賞者による公開模擬授業を通して，本学の教員の意欲向上及び大学教育の活性化を図ることを目的として，平成 18 年度から実施している。各学部等より推薦された候補者から，審査委員会による書面審査により学長賞及び優秀賞を選出した。

7.3.2　第 15 回全学 FD 連続講演会「大学教育のグランドデザイン」

平成 21 年度より実施している全学ＦＤ連続講演会を引き続き開催した。本年度は「生成 AI への対応～生成 AI について理解を深め教育現場で利活用するために」をタイトルとして，群馬県庁の取り組みについて群馬県知事戦略部デジタルトランスフォーメーション戦略課 Web３推進室長からご講演いただいた。また，「生成 AI」の特徴や活用方法などについて数理データ科学教育研究センター中村賢治先生，共同教育学部紺谷正樹先生からご説明いただいた。

7.3.3　経済協力開発機構「社会情動的スキルに関する調査（SSES)」への協力

経済協力開発機構が企画して世界各国で実施している 15 歳の生徒および教員を対象とした質問調査「社会情動的スキルに関する調査（SSES)」へ協力した。社会情動的スキルとは非認知的スキルとも呼ばれるもので，「目標の達成」（忍耐力，自己抑制，目標への情熱），「他者との協働」（社交性，敬意，思いやり），「感情のコントロール」（自尊心，楽観性，自信）などに関するスキルのことである。日本国内においては群馬県が調査へ参加していて，高等学校 79 校の生徒約 3,000 名，教諭約 500 名，校長 79 名が調査の対象である。「クオリティ・モニター」として無作為抽出された高校を訪問して，回収されるデータの Consistency，Precision，Generalisability に関する査察を実施した。

8　資料編

8.1.1　　令和５年度 前期授業評価「学びのリテラシー（1)」集計表

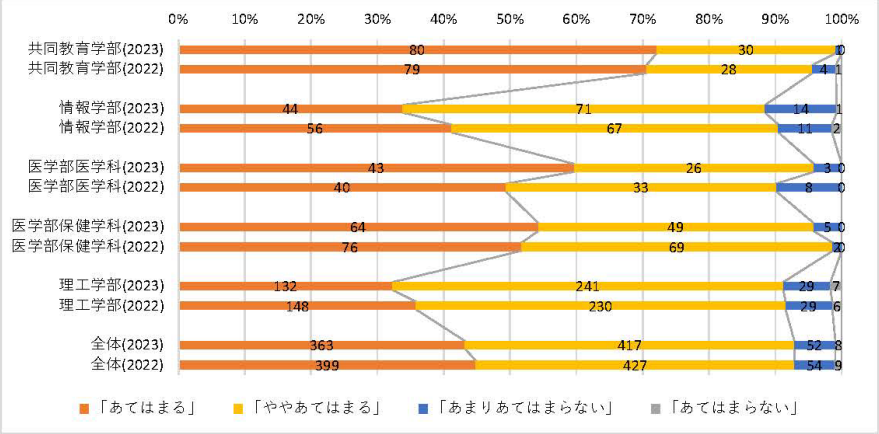
令和5年度前期 授業評価（学びのリテラシー1）集計表

区　分	年度	対象者数	提出者数	回収率（%）
共同教育学部	2023	205	111	54.1
	2022	(202)	(112)	(55.4)
情報学部	2023	180	130	72.2
	2022	(173)	(136)	(78.6)
医学部 医学科	2023	111	72	64.9
	2022	(109)	(81)	(74.3)
医学部 保健学科	2023	163	118	72.4
	2022	(161)	(147)	(91.3)
理工学部	2023	491	409	83.3
	2022	(489)	(413)	(84.5)
合　計	2023	1,150	840	73.0
	2022	(1,134)	(889)	(78.4)

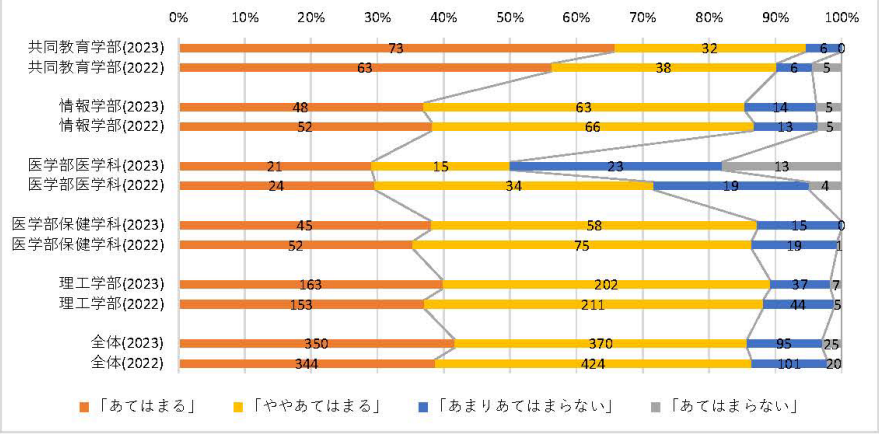
※（　）は昨年度の結果

質問　1. この授業によって論理的思考力（ロジカル・シンキング）や批判的思考力（クリティカル・シンキング）を身につけることができた。

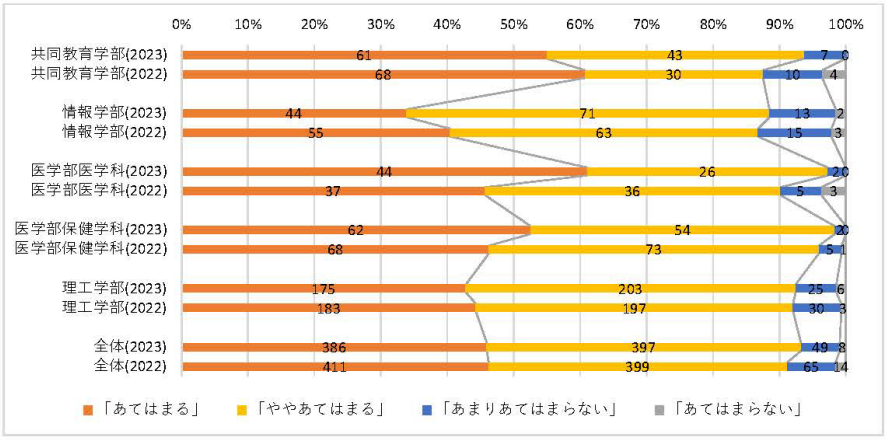
※昨年度の質問：この授業によって論理的思考力を身につけることができた。



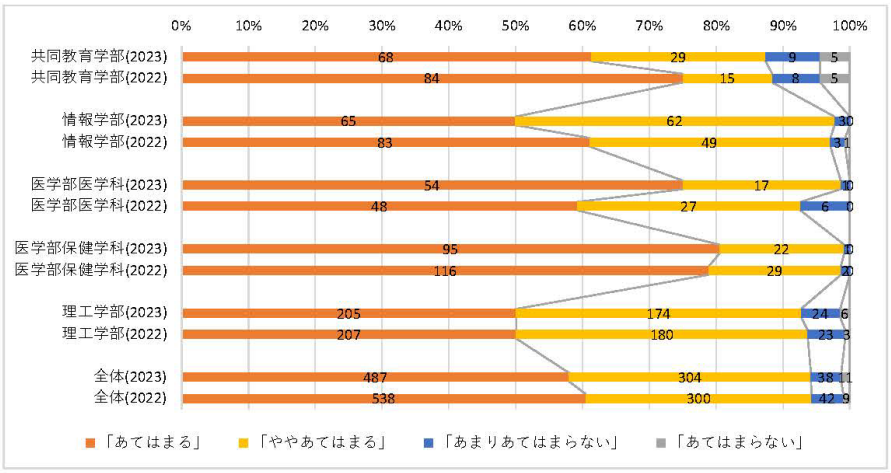
質問　2. この授業によってコミュニケーション能力を身につけることができた。



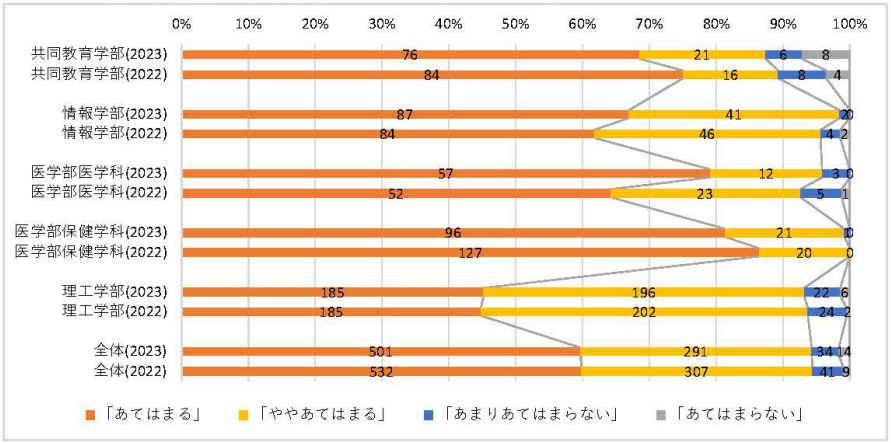
質問　3. この授業によって大学生に必要な日本語の能力を高めることができた。



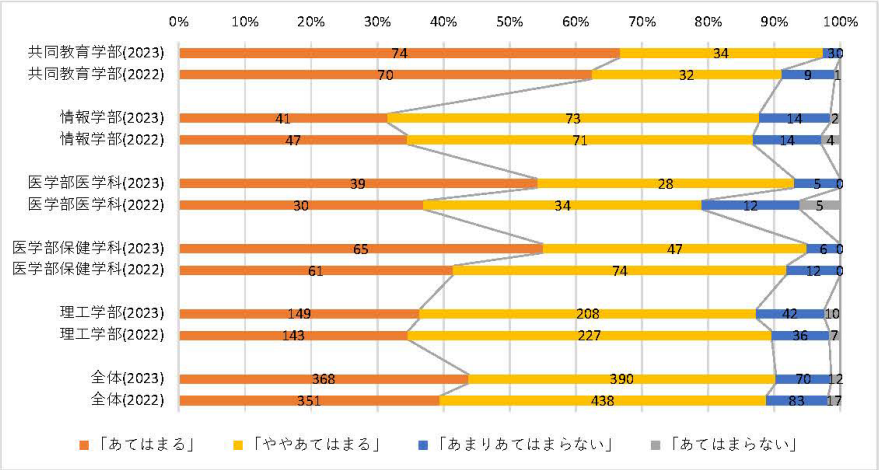
質問　4. この授業で報告の仕方やレポートの書き方を修得できた。



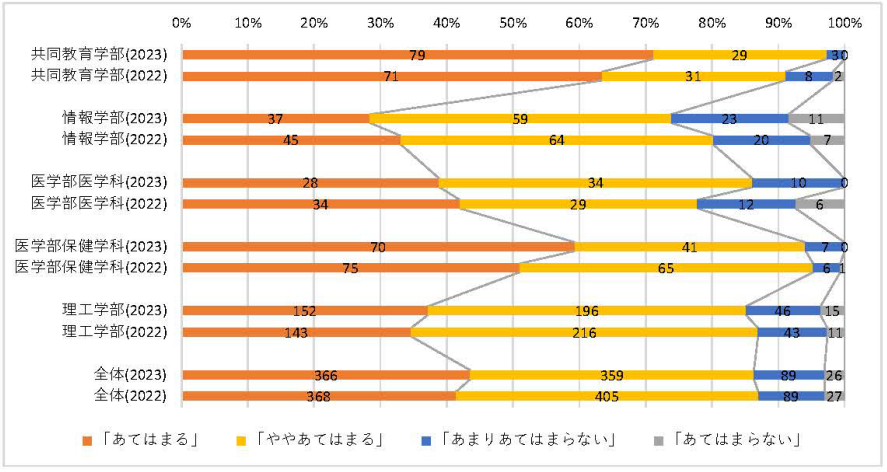
質問　5. この授業で情報収集や引用の方法について学ぶことができた。



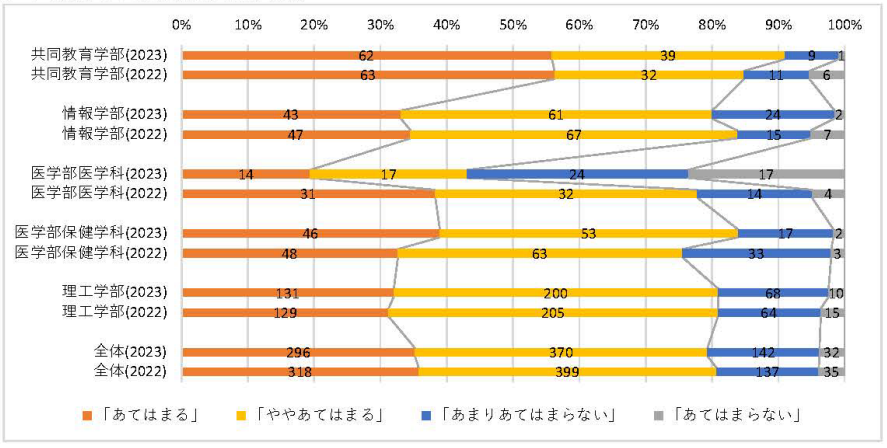
質問　6. この授業で大学での学習方法（学んだことをじっくり検討する、相互に結びつけるなど）を修得できた。
※昨年度の質問：この授業で大学での学習方法を修得できた。



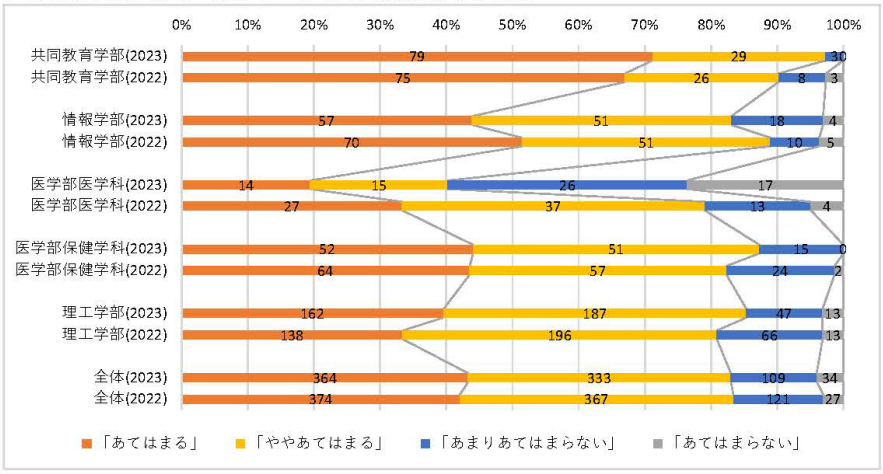
質問　7. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。



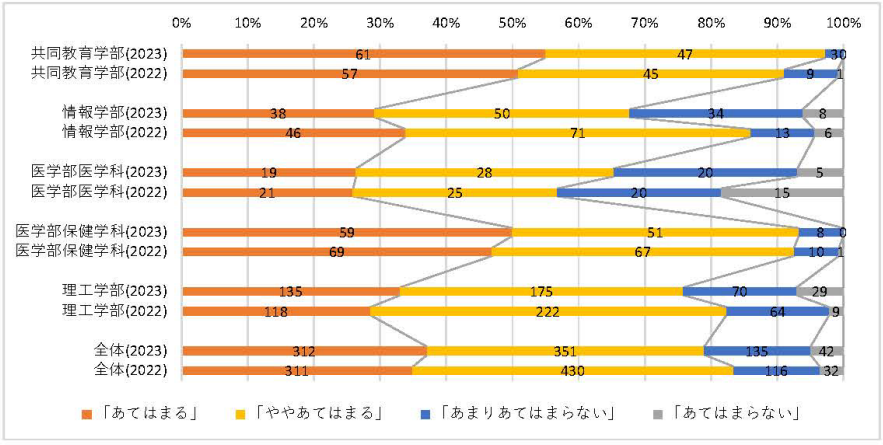
質問　8. 講義での討論は活発であった。



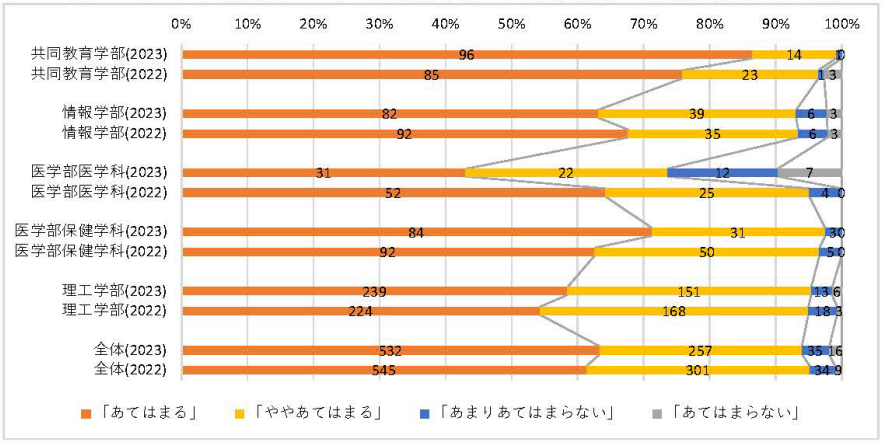
質問　9. 教員や他の学生とコミュニケーションをとる機会が多かった。



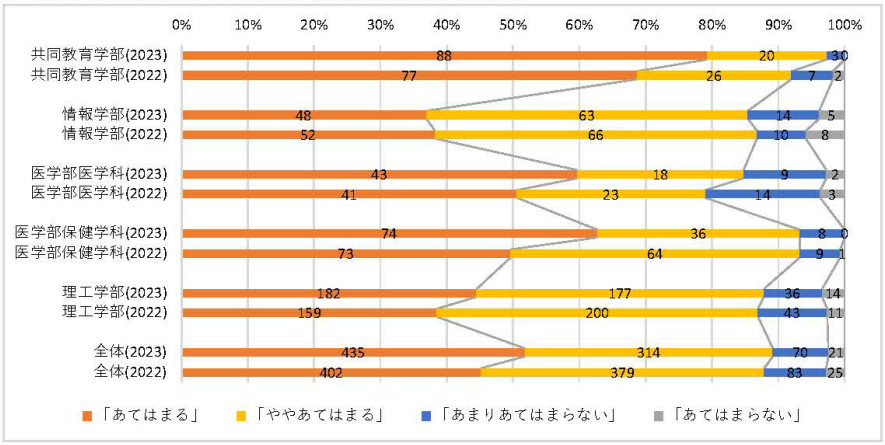
質問　10. 宿題（課題）の内容や量は適切であった。



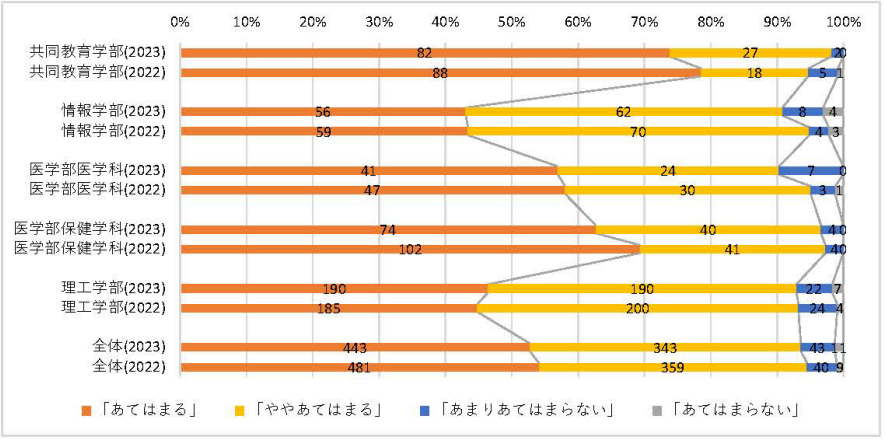
質問　11. グループワークの人数（グループワークを実施しなかった場合はクラスの人数）は適切であった。



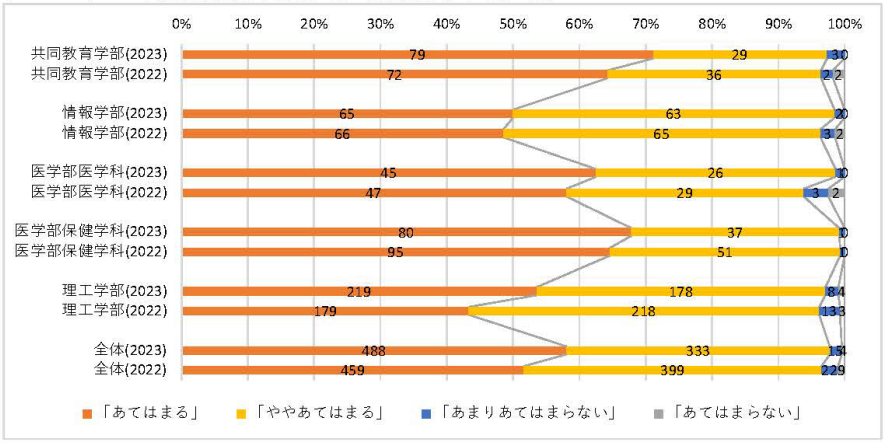
質問　12. 学部の専門教育を学ぶために必要な授業内容であった。



質問　13. 自分はこの授業に積極的・挑戦的に取り組んだ。
※昨年度の質問：自分はこの授業に積極的に取り組んだ。

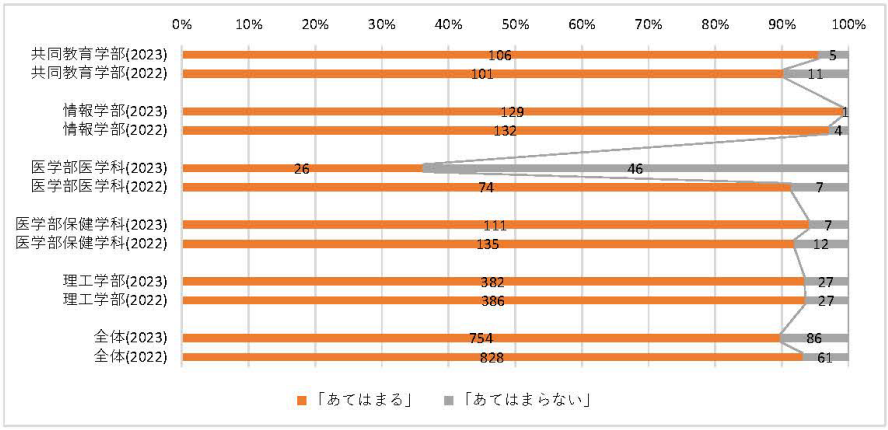


質問　14. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。

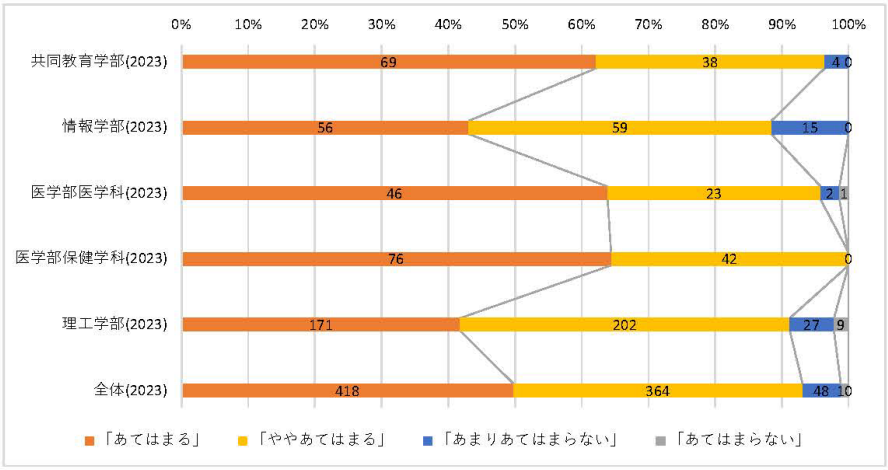


質問　15. この授業は教員による一方的な講義ではなく,学生の能動的な学修への参加（例えば、講義内でのグループ・ディスカッション、協働学習、ディベート、グループ・ワークなど）を取り入れた授業（アクティブ・ラーニング）であった。

※昨年度の質問：この授業は教員による一方的な講義ではなく,学生の能動的な学修への参加(例えば、講義内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなど)を取り入れた授業(アクティブ・ラーニング)であった。

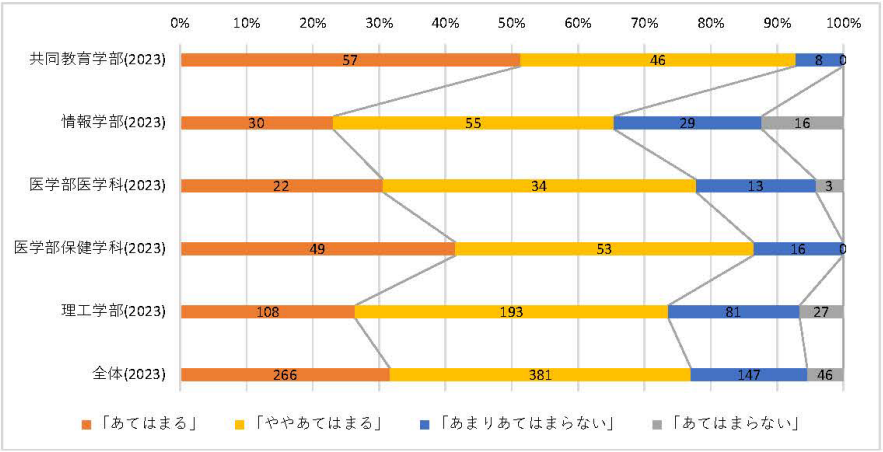


質問　16. この授業によって、実社会に応用することができる力を身につけることができた。



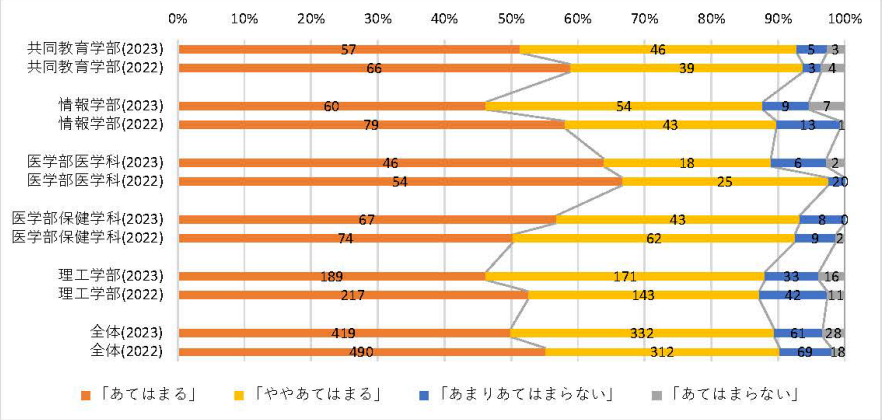
質問　17. この授業は、自分の友人・知人に勧めたい内容だった。

※今年度追加した質問



質問　18. 教養教育科目全般に関して、オンラインを利用した授業に満足している。

※今年度追加した質問



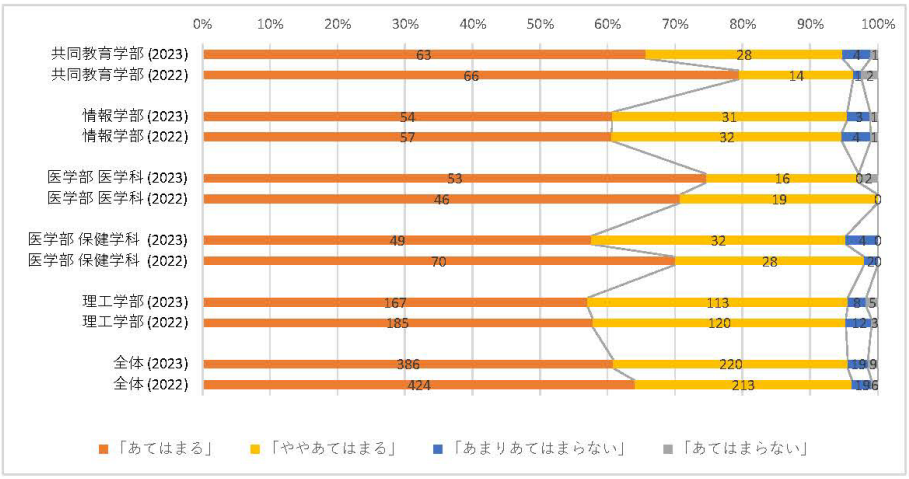
8.1.2　令和５年度 後期授業評価「学びのリテラシー（2)」集計表

令和5年度後期 授業評価（学びのリテラシー2）集計表

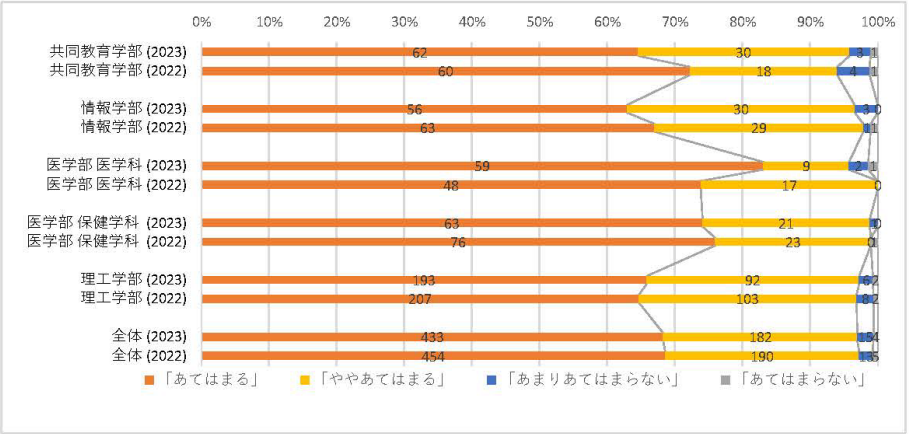
区　分	年度	対象者数	提出者数	回収率(%)
共同教育学部	2023	211	96	45.5
	2022	(201)	(83)	(41.3)
情報学部	2023	185	89	48.1
	2022	(172)	(94)	(54.7)
医学部 医学科	2023	111	71	64.0
	2022	(109)	(65)	(59.6)
医学部 保健学科	2023	165	85	51.5
	2022	(161)	(100)	(62.1)
理工学部	2023	488	293	60.0
	2022	(502)	(320)	(63.7)
合　計	2023	1,160	634	54.7
	2022	(1145)	(662)	(57.8)

※（ ）は昨年度の結果

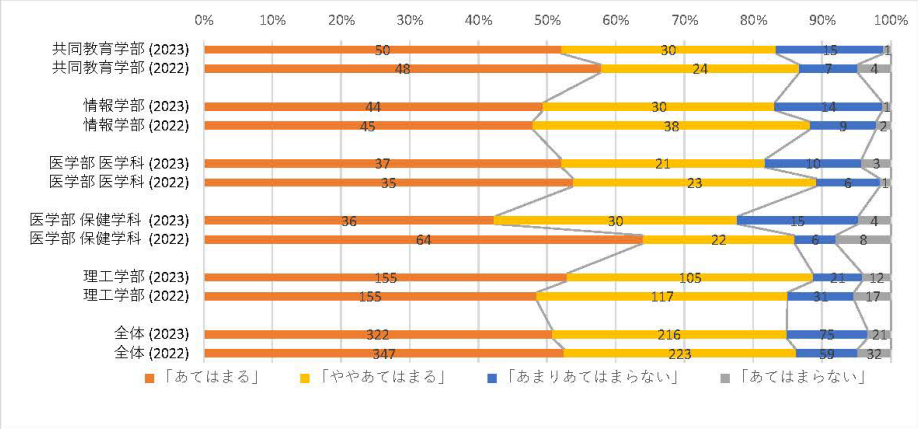
質問　1. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。



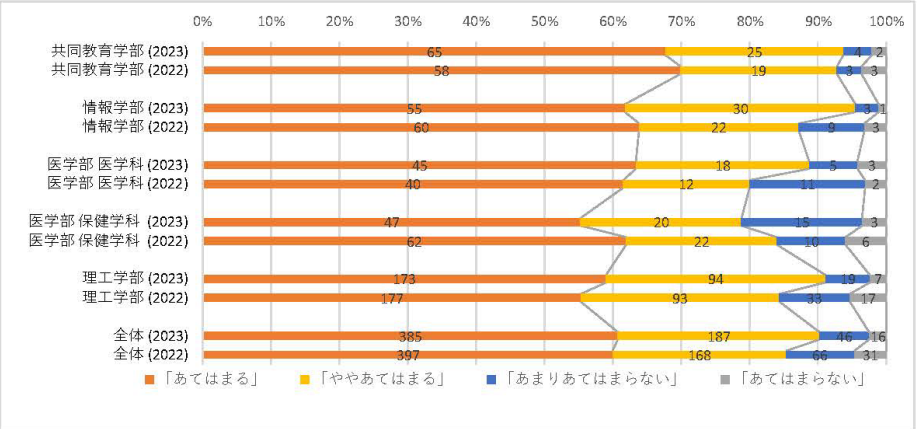
質問　2. シラバスの記述は授業の進行に沿った適切なものであった。



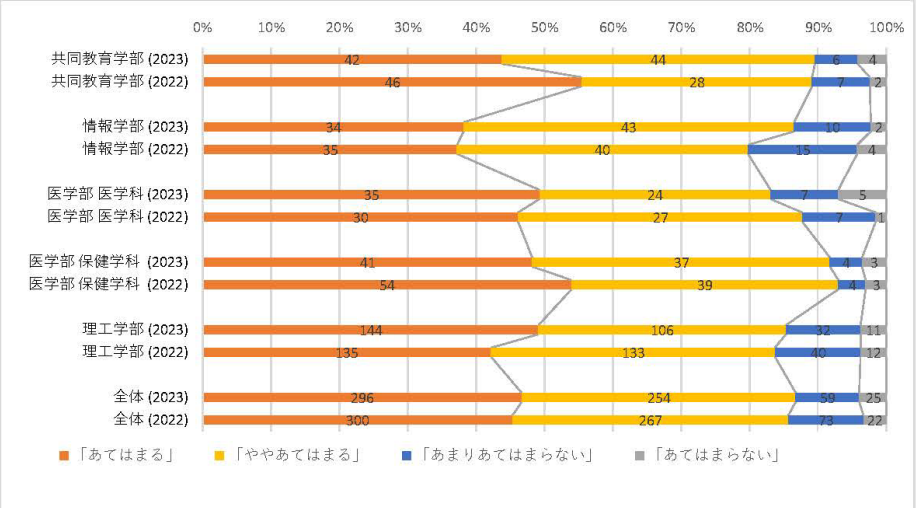
質問 3. 講義での討論は活発であった。



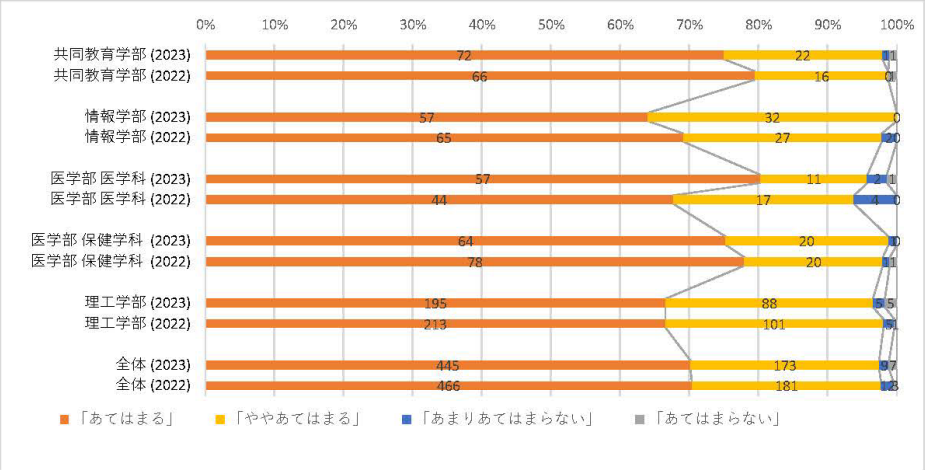
質問 4. 教員や他の学生とのコミュニケーションをとる機会が多かった。



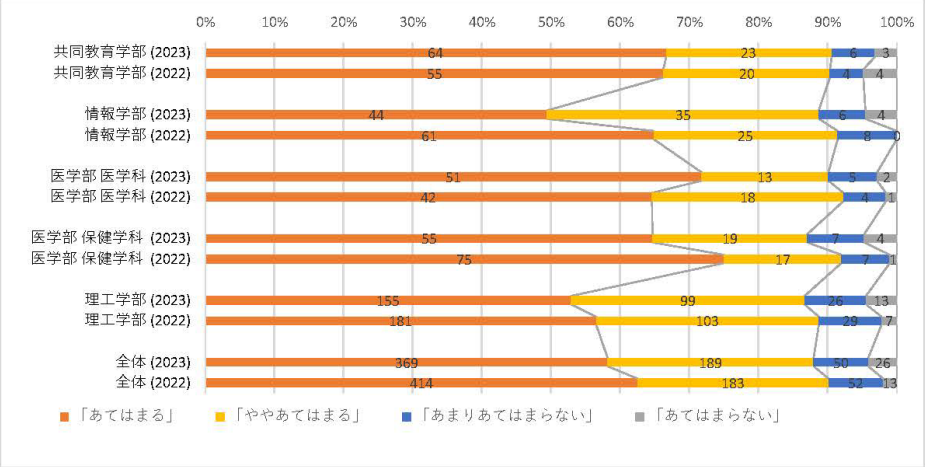
質問 5. この授業で報告の仕方やレポートの書き方を修得できた。



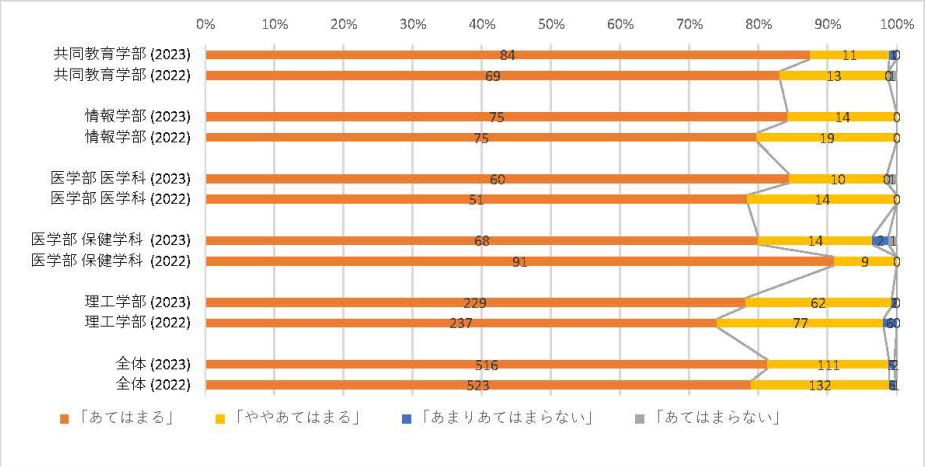
質問 6. 出欠管理、成績評価基準など教員の学生との対応は適切であった。



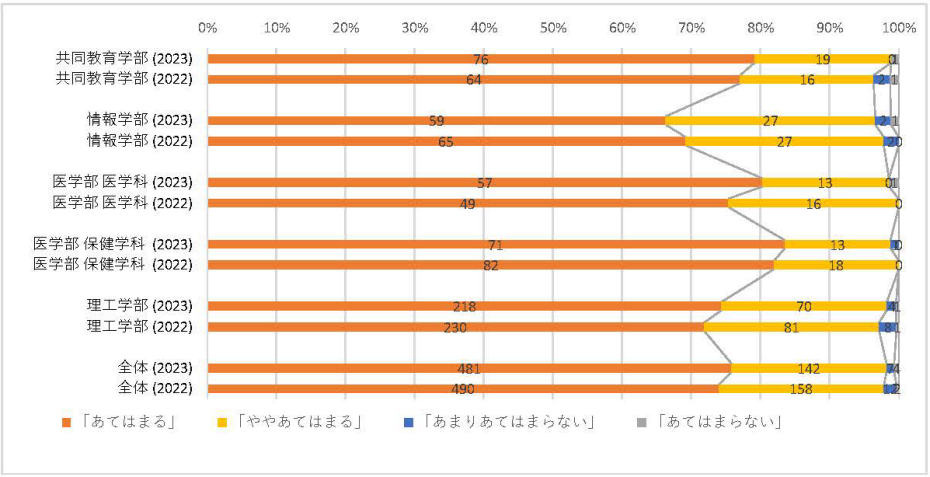
質問 7. 希望した科目を選ぶことができた。



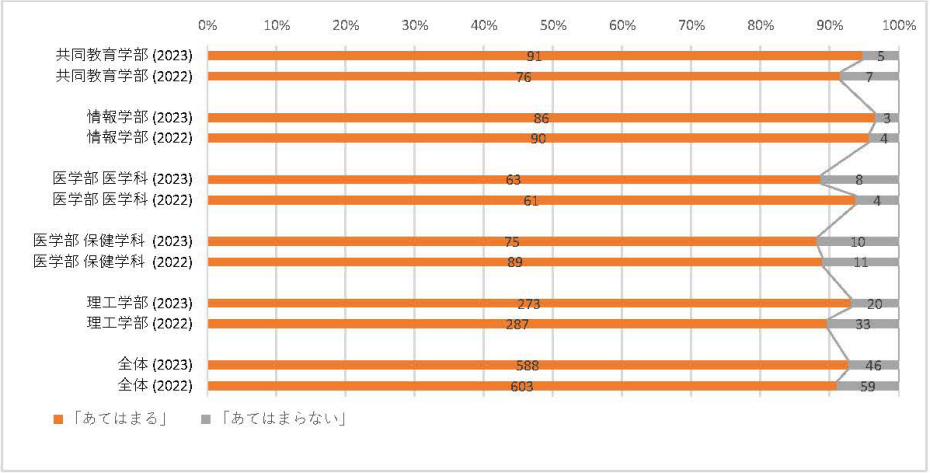
質問 8. クラスの人数は適切であった。



質問　9. 講義の環境は適切であった。



質問10. この授業は教員による一方向的な講義ではなく、学生の能動的な学修への参加（例えば、講義内でのグループ・ディスカッション、協働学習、ディベート、グループ・ワークなど）を取り入れた授業（アクティブ・ラーニング）であった。



8.1.3　令和５年度 前期授業評価（データ・サイエンス・オンデマンド）集計表

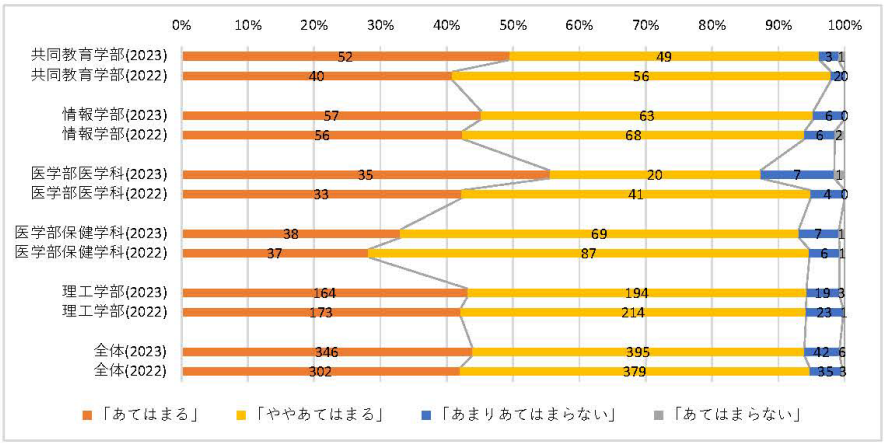
令和5年度前期 授業評価（データ・サイエンス・オンデマンド）集計表

区　分	年度	対象者数	提出者数	回収率（%）
共同教育学部	2023	201	105	52.2
	2022	(202)	(98)	(48.5)
情報学部	2023	178	126	70.8
	2022	(171)	(132)	(77.2)
医学部 医学科	2023	108	63	58.3
	2022	(108)	(78)	(72.2)
医学部 保健学科	2023	162	115	71.0
	2022	(160)	(131)	(81.9)
理工学部	2023	485	380	78.4
	2022	(488)	(411)	(84.2)
合　計	2023	1,134	789	69.6
	2022	(1,129)	(850)	(75.3)

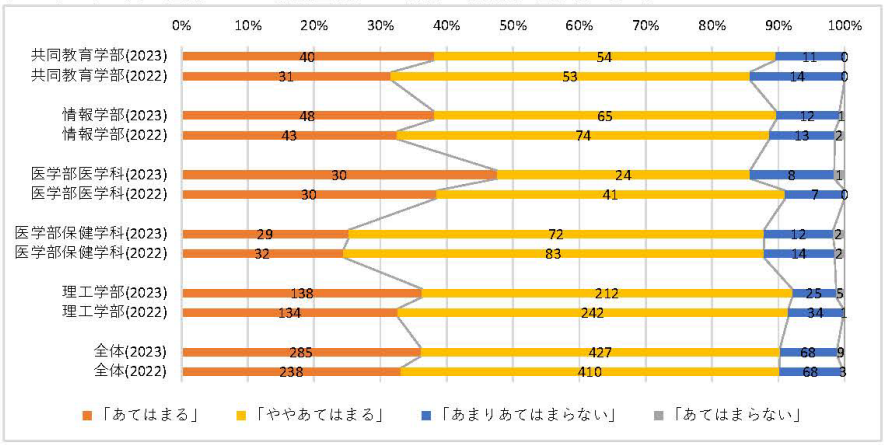
※（　）は昨年度の結果

※データ・サイエンスは昨年度までは対面授業だったが（医学部保健学科のみ昨年度もオンデマンド授業）、今年度から全学部がオンデマンド授業に移行した。そのため、医学部保健学科以外は対面授業とオンデマンド授業のアンケートを比較している。

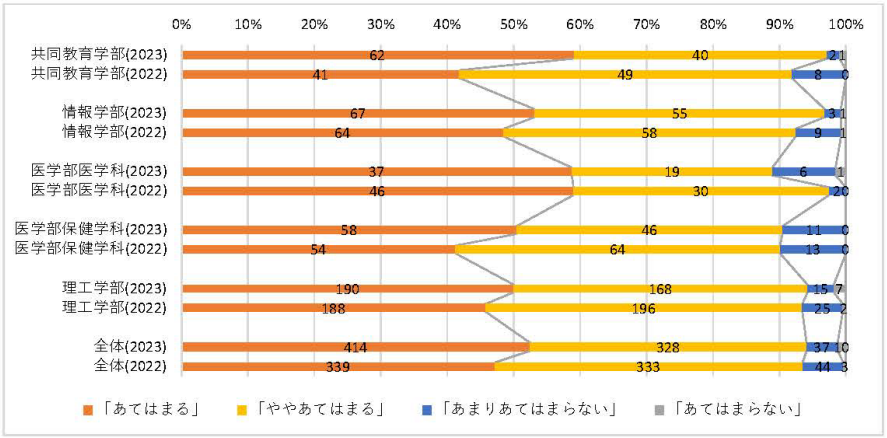
質問　1. コンピュータを用いてデータを適切に処理するための能力を修得できた。



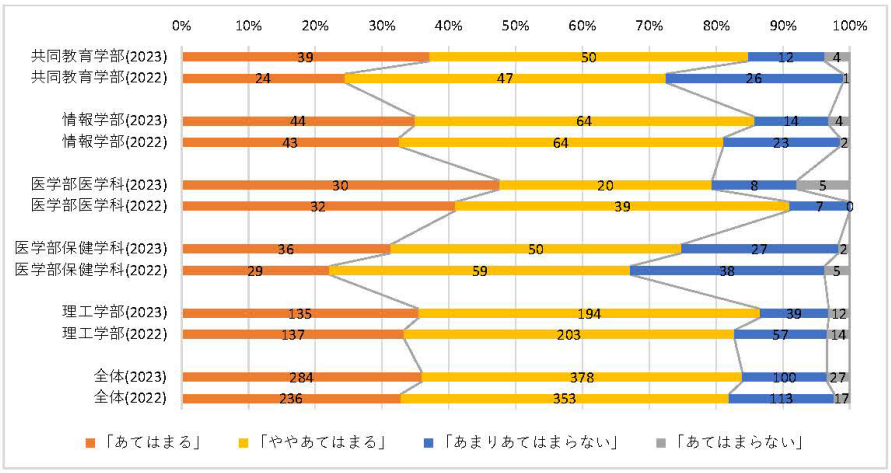
質問　2. データの持つ性質について統計量を用いて要約できる能力を修得できた。



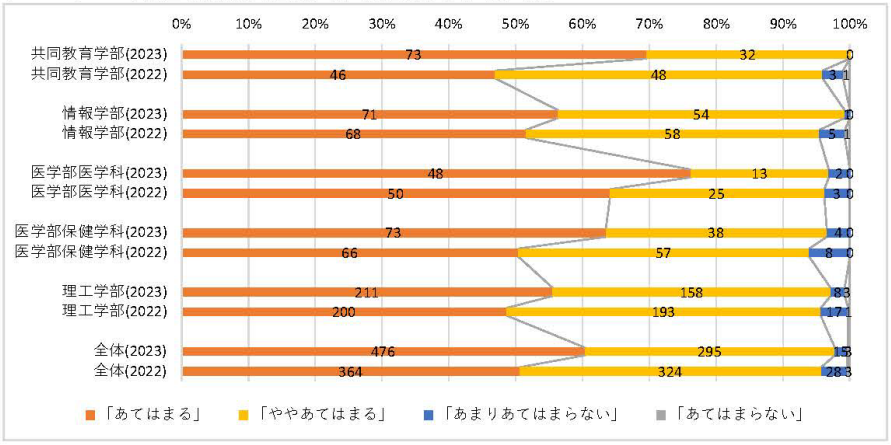
質問　3. 授業内容の構成は適切であった。



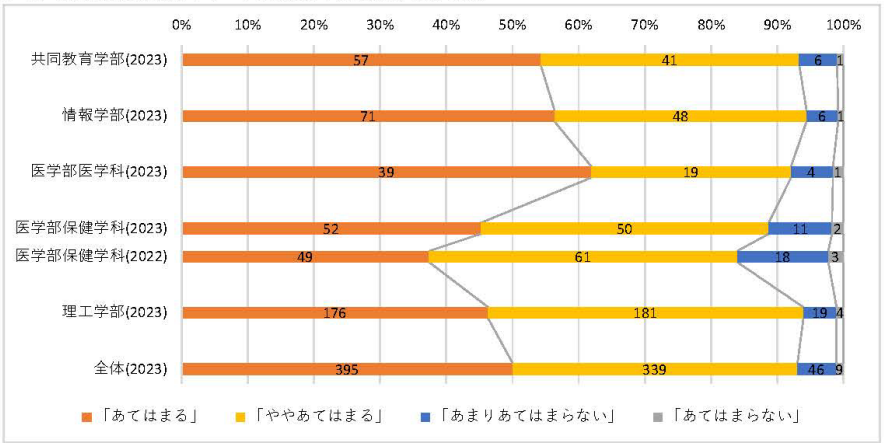
質問　4. 学生の興味・学力・理解度に配慮した授業内容であった。



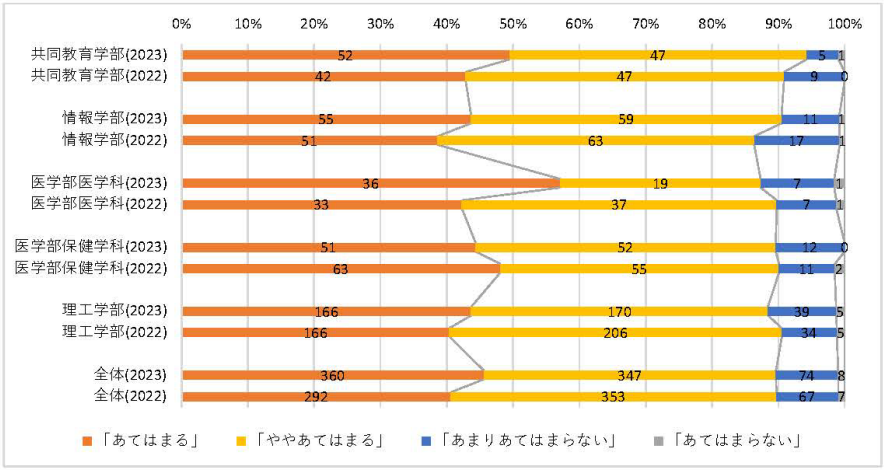
質問　5. シラバスの記述は、授業の進行に沿った適切なものであった。



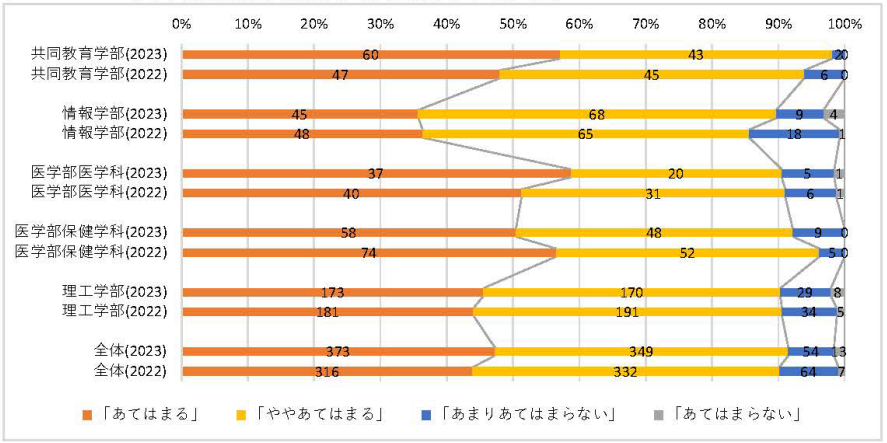
質問 6. 教員の教え方のサポート体制は十分なものであった。



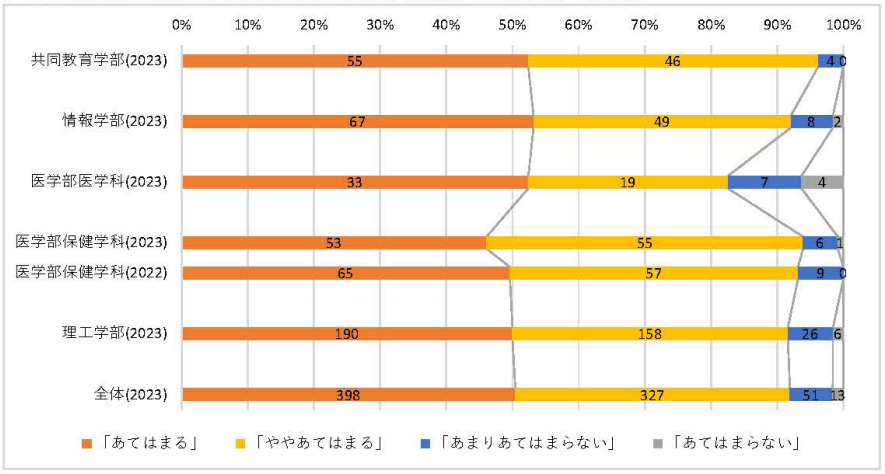
質問 7. e-learningでの動画内容はよく練られていて分かりやすかった。



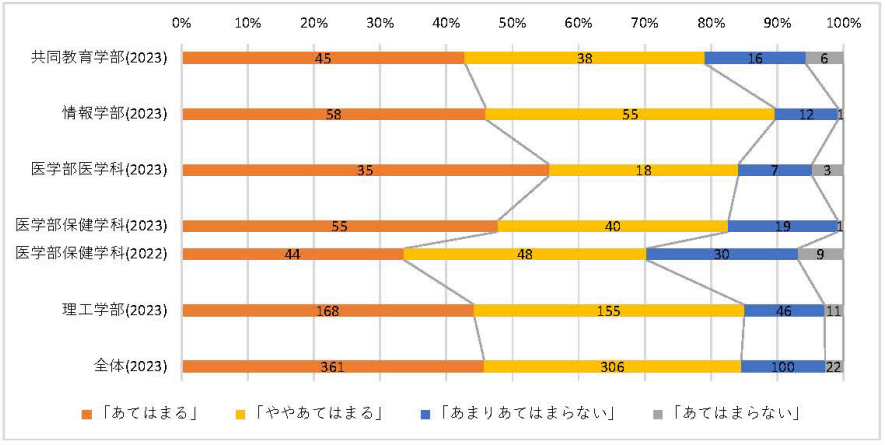
質問 8. e-learningでの動画品質は視聴するのに適切なものであった。



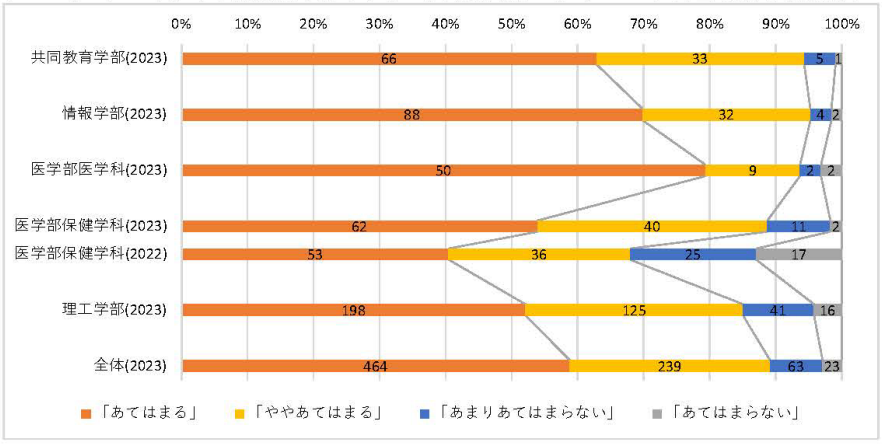
質問　9. e-learningでのWeb小テストは内容を理解するために適切なものであった。



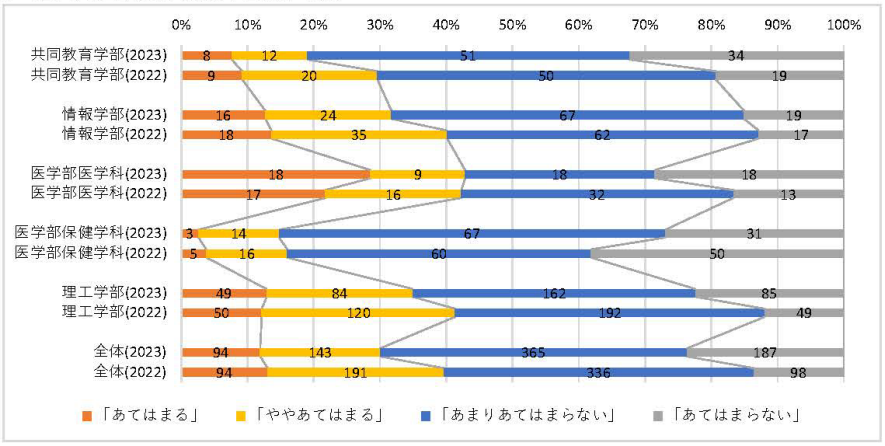
質問　10. オンデマンド形式での授業は、リアルタイム授業と比べて理解度の不足は感じなかった。



質問　11. オンデマンド形式での授業は、リアルタイムでの授業と比べてスケジュール管理の難しさは感じなかった。



質問　12. もっと高度な内容を学びたかった。



8.1.4　大学院授業英語化推進部会の業務実施内容・スケジュール

2023 年度「大学院授業英語化推進」部会で実施する内容について

1. 実施する内容

【基本方針】※博士を追記

- 大学院（修士/博士）課程の授業の英語化推進と支援につながる具体策の実施
- 英語のみで修士あるいは博士の学位が取得できる履修プログラムの設置

【具体的内容】

○ 各学部で実施をお願いするもの（前年度からの継続）

	内容	共同教育	情報	医学	保健	理工
1	大学院（修士/博士）課程の授業英語化推進			○ 試行	○ 継続	○ 継続
2	授業科目の「使用言語」シラバス記載	○	○	○	○	○
3	大学院授業英語化アンケート調査（教員、学生）			○	○	○
4	大学院授業英語化に関する FD セミナー			○ 担当		

○ 本部会で今後、実施を検討するもの

① 授業科目「使用言語」のシラバス記載の方法について
② 授業の英語化支援（教員への支援、学生への支援）の具体策

2. 実施スケジュール

別紙参照

2023年度「大学院授業英語化推進」部会で実施する内容について（スケジュール案）

年度・月		部会（全体）	医学	保健	理工
2022年度（R4年度）	7月	第1回会議			
	9月				「アンケート調査」実施（前期分）
	11月			FDセミナー（国内） 徳島大学、神戸大学	
	12月	第2回会議（メール審議）			
	3月	FDセミナー（海外） タフツ大学、ディーキン大学			「アンケート調査」実施（後期分）
2023年度（R5年度）	6月	第1回会議			ディーキン大学との 博士ダブルディグリー協定締結
	7月	「使用言語」シラバス記載の案内 ※学部等の教務委員会で周知			
	9月			「アンケート調査」実施（前期分）	「アンケート調査」実施（前期分）
	10月	第2回会議（メール審議）	大学院授業の英語化「試行開始」		
	11月		FDセミナー（国内）		
	12月	第3回会議（オンライン開催）			
	1月				ハワイ大学マノア校との 博士ダブルディグリー協議
	2月				
	3月	FDセミナー（海外） ハワイ大学マノア校、UNSW	「アンケート調査」実施（後期分）	「アンケート調査」実施（後期分）	「アンケート調査」実施（後期分）

2024年度4月～

ディーキン大学工学部との
○ 博士ダブルディグリー
○ 修士英語コース開設

8.1.5　　2023 前期　英語化アンケート集計結果

2023年度

大学教育センター大学院教務委員会 大学院授業英語化推進部会

大学院授業への英語導入に関するアンケート回集計結果

対象　医学系研究科、保健学研究科及び理工学府の教員
　　大学院学生、理工学部4年生
方法　Googleフォーム
アンケート期間　2023年9月13日～10月20日

教　員　編

【2023年度】

↓医学系研究科・保健学研究科・理工学府のデータのみ抽出
（所属不明者は集計せず）

［第1部］

Q1.　2023年度前期の大学院の授業は担当されましたか？

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
担当した	71件	(50.7%)	0件	11件	42件	53件
担当しなかった（ここで終わり）	69件	(49.3%)	0件	5件	60件	65件
合計	140件	(100.0%)	0件	16件	102件	118件

Q2.　そのうち、何らかのかたちで英語を使用したものはありましたか？

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
あった（第2部へ進む）	48件	(67.6%)	0件	7件	35件	42件
なかった（Q3へ進む）	23件	(32.4%)	0件	4件	7件	11件
合計	71件	(100.0%)	0件	11件	42件	53件

Q3.　Q2.で「なかった」と答えた方は、その理由をご記入ください。
（回答後Q9.へ進む）

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
聴講者全員が日本語を理解できたため	18件	(78.3%)	0件	4件	4件	8件
準備が間に合わなかったため	2件	(8.7%)	0件	0件	1件	1件
専門看護師を対象としており英語使用の対象科目ではないため	1件	(4.3%)	0件	0件	0件	0件
聴講者全員が日本人で、且つ英語が不得意であったため。	1件	(4.3%)	0件	0件	1件	1件
特に指示が無かった	1件	(4.3%)	0件	0件	1件	1件
合計	23件	(100.0%)	0件	4件	7件	11件

［第2部］

以下の質問については、2023年度前期のあなたの大学院授業での英語の使用状況のうち、最も近いものを一つ選び、それについて答えてください。

Q4.　パワーポイントや配付資料について

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
英語のみ	9件	(17.3%)	0件	1件	8件	9件
ハイブリッド（英語と日本語の併用）	42件	(80.8%)	0件	6件	31件	37件
日本語のみ	1件	(1.9%)	0件	0件	0件	0件
合計	52件	(100.0%)	0件	7件	39件	46件

・Q2で「なかった」と回答した教員のうち4名が、Q4で「ハイブリッド」を選択しているため、Q4集計に加えている。

Q5.　口頭での説明・解説について

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
英語のみ	2件	(3.8%)	0件	0件	2件	2件
ハイブリッド（英語と日本語の併用）	18件	(34.6%)	0件	4件	12件	16件
日本語のみ	32件	(61.5%)	0件	3件	25件	28件
合計	52件	(99.9%)	0件	7件	39件	46件

・Q2で「なかった」と回答した教員のうち4名が、Q4で「ハイブリッド」を選択しているため、Q5集計にも加えている。

（参考）Q4/Q5クロス集計

パワーポイント・配布資料/口頭説明・解説			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
英語/英語	2件	(3.8%)	0件	0件	2件	2件
英語/ハイブリッド	2件	(3.8%)	0件	0件	2件	2件
英語/日本語	5件	(9.6%)	0件	1件	4件	5件
ハイブリッド/英語	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
ハイブリッド/ハイブリッド	16件	(30.8%)	0件	4件	10件	14件
ハイブリッド/日本語	26件	(50.0%)	0件	2件	21件	23件
日本語/英語	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
日本語/ハイブリッド	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
日本語/日本語	1件	(1.9%)	0件	0件	0件	0件
	52件	(100.0%)	0件	7件	39件	46件

・Q2で「あった」と答えた教員1名は、Q4「日本語のみ」Q5「日本語のみ」を選択しているが、Q9に「参考資料のみ英語文献も指定」と記入している。

Q6. Q4，Q5で、どちらも「英語のみ」で実施した授業科目名を教えてください。

1	分子動力学特論	理工学府	
2	システム最適化特論	理工学府	←“Q4「英語のみ」Q5「ハイブリッド」”で実施したとなっている。
3	サマープログラムのイベントの授業　（グローバルイニシアティブセンター　陳先生に詳しくは聞いてください）	理工学府	←“Q4「ハイブリッド」Q5「日本語のみ」”で実施したとなっている。
4	エネルギー計測工学	理工学府	

Q7.　授業の言語に関する学生の理解度（分かりやすさ）について、あなたはどのように思いましたか？

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
かなり分かりやすかったと思う	3件	(5.8%)	0件	0件	3件	3件
概ね分かりやすかったと思う	25件	(48.1%)	0件	3件	18件	21件
ところどころ分かりにくかったかもしれない	20件	(38.5%)	0件	4件	15件	19件
ほとんど分からなかったと思う	2件	(3.8%)	0件	0件	2件	2件
未回答	2件	(3.8%)	0件	0件	1件	1件
合計	52件	(100.0%)	0件	7件	39件	46件

↓以下は、Q4/Q5の回答組合せ別による個別集計。

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=英語〕

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
かなり分かりやすかったと思う	1件	(50.0%)	0件	0件	1件	1件
概ね分かりやすかったと思う	1件	(50.0%)	0件	0件	1件	1件
ところどころ分かりにくかったかもしれない	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
ほとんど分からなかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
未回答	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
合計	2件	(100.0%)	0件	0件	2件	2件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=ハイブリッド〕

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
かなり分かりやすかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
概ね分かりやすかったと思う	1件	(50.0%)	0件	0件	1件	1件
ところどころ分かりにくかったかもしれない	1件	(50.0%)	0件	0件	1件	1件
ほとんど分からなかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
未回答	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
合計	2件	(100.0%)	0件	0件	2件	2件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=日本語〕

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
かなり分かりやすかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
概ね分かりやすかったと思う	5件	(100.0%)	0件	1件	4件	5件
ところどころ分かりにくかったかもしれない	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
ほとんど分からなかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
未回答	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
合計	5件	(100.0%)	0件	1件	4件	5件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=ハイブリッド/口頭説明・解説=ハイブリッド〕

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
かなり分かりやすかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
概ね分かりやすかったと思う	8件	(50.0%)	0件	2件	4件	6件
ところどころ分かりにくかったかもしれない	8件	(50.0%)	0件	2件	6件	8件
ほとんど分からなかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
未回答	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
合計	16件	(100.0%)	0件	4件	10件	14件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=ハイブリッド/口頭説明・解説=日本語〕

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
かなり分かりやすかったと思う	2件	(7.7%)	0件	0件	2件	2件
概ね分かりやすかったと思う	11件	(42.3%)	0件	0件	9件	9件
ところどころ分かりにくかったかもしれない	10件	(38.5%)	0件	2件	7件	9件
ほとんど分からなかったと思う	2件	(7.7%)	0件	0件	2件	2件
未回答	1件	(3.8%)	0件	0件	1件	1件
合計	26件	(100.0%)	0件	2件	21件	23件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=日本語/口頭説明・解説=日本語〕

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
かなり分かりやすかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
概ね分かりやすかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
ところどころ分かりにくかったかもしれない	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
ほとんど分からなかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
未回答	1件	(100.0%)	0件	0件	0件	0件
合計	1件	(100.0%)	0件	0件	0件	0件

Q8. 通常の授業準備以外に、英語を導入することで追加された時間は、平均すると一週間当たりどのくらいですか？

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
1時間未満	12件	(23.1%)	0件	1件	11件	12件
1時間以上、3時間未満	24件	(46.2%)	0件	2件	19件	21件
3時間以上、5時間未満	10件	(19.2%)	0件	3件	5件	8件
5時間以上	3件	(5.8%)	0件	0件	3件	3件
未回答	3件	(5.8%)	0件	1件	1件	2件
合計	52件	(100.0%)	0件	7件	39件	46件

Q9. 英語で授業を実施する際の課題やお困りごと、教員へのサポート要望など、自由にご記入ください。

		（↓回答者の所属）
1	目の前の学生は日本人ばかり（それも英語が極めて苦手な）なので、正直なところ授業の英語化に対して積極的になれない。英語化することで、本来伝えたい内容が学生に伝わらない方が困る。	理工学府
2	日本人学生がほとんどが全く授業内容を理解できない。	理工学府
3	日本人と外国人が混在した授業の場合の実施方法が難しいと感じている	理工学府
4	日本語英語併記による資料作成の煩雑さ	理工学府
5	日本語での授業でも学生の理解度が低いのに英語で授業することは学生の不利益が大きい。学生の学力より優先しなければいけない特殊な事情がない限り授業の英語化は推進すべきではない。	理工学府
6	当該授業の基礎的な内容を学部時代に履修している院生であれば英語をさらに進めても良いと思うが、大学院は学部よりも更に横断的なので基礎を習得しない学生には厳しいものがあるでしょう。	理工学府
7	大学院修士「エネルギー計測工学」と，学部3年「熱力学」を英語で実施しています．英語講義とはいっても日本語の補足が無ければ成立しません．英語と日本語の割合は，大学院で7:3，学部で6:4です．大学院生は英語の重要性が身に染みているので一定の評価をいただいており，毎年30名程度の履修があります．学部生は英語の重要性を肌で感じておらず，授業アンケートを見ても全体的に批判的です．大学院・学部のいずれの場合も，日本語の補足で失った時間分だけ講義内容を割愛することになります．その一方で，学生は専門の英単語を知り，論文や発表でつかえる英語の言い回しを知ります．少しでも効率的に時間を使うため「その日使う英単語」を厳選し配布します．日本人に英語で講義することの意味について常に考えています．悩むことの方が多いですが，それでも続けることが重要だと考えております．	理工学府
8	専門分野の細分化された内容を，基礎知識が乏しい学生にどのように説明すれば理解してもらえるか，その方法・工夫を知りたい。	理工学府
9	専門的で難しい内容を外国語で理解させるのはハードルが高いと考えます．	理工学府
10	受講生がほぼ全員日本語ネイティブで英語で、講義の英語で行う準備する気になかなかなれない。帰任	理工学府

11	受講者のほとんどが日本人の講義の場合，英語で講義を行うことに意味がないと考える．大学ランキングのさらなるランクアップを目指すという前提自体に違和感．	理工学府
12	実質，学生にとって教養的に（単位のために）ある授業もある。そう授業に英語をいれてもだれの特にもならない。授業の種類によって英語化に濃淡をよりつけるべきと思います。	理工学府
13	自分はパワーポイントと配布資料のみ全て英語を用いており，学生の理解に関して特に問題は無いと感じている．将来完全英語化に移行するのであれば，入試の面接において英語コミュニケーション力についても評価する必要があるのではと考えている．	理工学府
14	自身の英語力を高めることが課題である	保健学研究科
15	参考資料のみ英語文献も指定しています。	情報学部
16	後期の有機元素化学を英語で行ったことが数回ありましたが、大学院であったこともあり、少数分かりづらかったというコメントがあった以外、概ねよく理解できていたようです。	理工学府
17	群馬大学の学生は英語を読むことはできるので，日本語を併記した資料を配布する必要があると思います．	理工学府
18	近年DeepLなどの翻訳サービスが高性能化していますが，最近は有料になってきているので，大学としてサービスに契約してもらえると多言語の資料作成が効率化されて助かります．	理工学府
19	教員向けの研修等があると良い。学内で英語で実施されている授業の見学や，学外の授業の見学等があると参考になる。	理工学府
20	教員向けの英語学習プログラムがあったらうれしいです	保健学研究科
21	教員へのサポートについて、教材等の添削、教材例の提示、教員の英語コミュニケーション能力向上のサポート、があればと思います。	理工学府
22	学生へ英語で質問した回答に対して、英語で回答しようとしてくれる学生がいて、英語のみの授業を実施して良かったと感じます。要は学生のやる気の有無だけなので、全て英語で実施して国際感覚を身につける訓練を大学院授業を通して推進するべきと考えています。	理工学府
23	学生さんに聞くと英語の板書やパワーポイントはその部分は無視して日本語だけ、書き写したりしているとのことでした。	理工学府
24	過去に数回英語で大学院の講義を行ったことがありますが、学生としては概ね理解できたとの評価が多かったので、ゆっくり話す、日本語も含めるなどの工夫をすれば、当学では問題ないと思います。	理工学府
25	英語力を伸ばせるように、オンライン英会話を自主的に行っているが、その費用を自分の寄付金等から出せるとありがたいです。	理工学府
26	英語力の不十分さ。	食健康科学教育研究センター
27	英語の論文をその場で読んで皆で理解してもらう授業をしていますが，病院の就職試験の英語問題への対応に大変役に立ったと言われました。特に困っていることはありません。	所属不明
28	英語の資料を作成する時間的余裕がない。	所属不明
29	英語のみで授業を実施すると日本人学生の理解度がかなり下がってしまうので，英語と日本語の併用にせざるを得ない．多数派の利益優先の観点から，英語のみによる授業の実施は反対です（別途希望留学生のみに対して実施するケースを除く）．	理工学府
30	英語による授業をする際には、教員も事前にネイティブスピーカーや専門家に英語のレッスンを受けさせていただける（希望者だけでも）仕組みが良いです。	理工学府
31	英語で授業を出来るほどの英語力が自分にない	所属不明
32	英語で講義というのはいいと思いますが，やはり日本人の学生が多いので，彼らの理解度が下がるのは避けたいところだと思っています．	理工学府
33	一つの授業に英語しか分からない学生が来た場合，その授業を日英同時に並行して進めるとなると時間が足りないのではないかと危惧はしていますが，対応する好悪自体は可能です。	保健学研究科
34	ほとんどの学生が日本人であり、専門的な内容について日本語で説明されても中々理解できない中、英語による講義は難しいと考えます。	理工学府
35	ちょっとQ7とQ8は質問の意味がわかりません	理工学府
36	ぜひ英語で授業をなさっている教員の模擬授業を受講させて頂きたい。	理工学府
37	せっかく英語による授業を増やすのであれば、留学生をさらに増やす努力を、また、留学生を受け入れる支援組織・体制の充実化を推進してください。	理工学府

38	スライドは英語で対応できるが、講義自体は留学経験や英語で喋る経験が少なすぎるため、質疑応答の際に不安になる。	保健学研究科
39	すべての授業を英語で行っています.	理工学府
40	「日本語のみ」の場合、Q7とQ８の回答は不要だと思いましたが…	所属不明
41	「図表に英語併記で説明は日本語」くらいが，日本人学生の英語レベル，教員の英語レベルからすると，限度と思います．これを越えて英語化すると，大部分の日本字学生にとって，理解不能になる恐れが高いと危惧します．	理工学府
42	「授業の完全英語化」を実施する事も一応可能でしたが、受講生が皆ついて来られなくなるので、基本的には「英語で説明」→「スライド毎に、日本語で再度同じ内容を説明」（※スライドは全頁英語で準備済）の流れをとりました。そのため、扱える内容も減っています。「完全英語化」ができるとよいのですが、受講生の英語のレベルが上がらないと難しそうです。	理工学府

学　生　編

【2023年度】

Q1.あなたが履修登録した2023年度前期の大学院の授業のうち、英語を使用したものはありましたか？（Did you attend lectures taught in English totally or partially? ）

あった（Q2へ進む）（Yes.）（Proceed to Q2.）	44件	（78.6%）
なかった（Q8へ進む）（No.）（Proceed to Q8.）	7件	（12.5%）
履修登録した授業はなかった（Q8へ進む）（I didn't register any lectures.）（Proceed to Q8.）	5件	（8.9%）
合計	56件	（100.0%）

↓医学系研究科・保健学研究科・理工学府のデータのみ抽出
（所属不明者は集計せず）

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
2件	12件	19件	33件
0件	4件	0件	4件
0件	2件	3件	5件
2件	18件	22件	42件

※Q1で「なかった」と回答した学生のうち、Q4/Q5の回答から英語を使用した授業を履修登録したとみられる学生が2名いた。
　この2名については、以下Q2~Q7の集計に加えた。

Q2.あなたの学年は？（What year are you in?）

B4	8件	（17.4%）
M1	28件	（60.9%）
M2	9件	（19.6%）
未回答	1件	（2.2%）
合計	46件	（100.1%）

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	8件	8件
1件	9件	9件	19件
1件	4件	2件	7件
0件	0件	0件	0件
2件	13件	19件	34件

Q3.　あなたは下記のどちらですか？（Describe your level of Japanese language proficiency. ）

日本語母語（Native or Bilingual）	43件	（93.5%）
日本語をある程度、理解できる（Intermediate level）	3件	（6.5%）
合計	46件	（100.0%）

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
2件	13件	18件	33件
0件	0件	1件	1件
2件	13件	19件	34件

◎以下の質問については、あなたが履修し、かつ、英語が導入された授業のうち、授業の状況に最も近いものを一つ選び、それについて答えてください。該当する授業が複数ある場合は、あなたの研究に最も近いものを一つ選び、それについて答えてください。

Next questions are about your registered lectures in which English was introduced. Select one answer closest to your situation in each question. When more than two lectures are applicable, select one lecture most relevant to your research.

Q4.　パワーポイントや配付資料の言語　(Language for course materials)

英語のみ（English only）	7件	（15.2%）
ハイブリッド（英語と日本語の併用）（both English and Japanese）	39件	（84.8%）
日本語のみ（Japanese only）	0件	（0.0%）
合計	46件	（100.0%）

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	2件	5件	7件
2件	11件	14件	27件
0件	0件	0件	0件
2件	13件	19件	34件

Q5.　口頭による教員の解説（Language for oral course instruction）

英語のみ（English only）	2件	（4.3%）
ハイブリッド（英語と日本語の併用）（both English and Japanese）	27件	（58.7%）
日本語のみ（Japanese only）	16件	（34.8%）
未回答	1件	（2.2%）
合計	46件	（100.0%）

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	1件	1件	2件
2件	8件	8件	18件
0件	3件	10件	13件
0件	1件	0件	1件
2件	13件	19件	34件

（参考）Q4/Q5クロス集計

パワーポイント・配布資料/口頭説明・解説		
英語/英語	2件	（4.4%）
英語/ハイブリッド	3件	（6.7%）
英語/日本語	2件	（4.4%）
ハイブリッド/英語	0件	（0.0%）
ハイブリッド/ハイブリッド	24件	（53.3%）
ハイブリッド/日本語	14件	（31.1%）
ハイブリッド/未回答	1件	（2.2%）
日本語/英語	0件	（0.0%）
日本語/ハイブリッド	0件	（0.0%）
日本語/日本語	0件	（0.0%）
	46件	（97.8%）

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	1件	1件	2件
0件	1件	2件	3件
0件	0件	2件	2件
0件	0件	0件	0件
2件	7件	6件	15件
0件	3件	8件	11件
0件	1件	0件	1件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
2件	13件	19件	34件

Q6. 授業における言語の分かりやすさ（Was the language used easy to understand?）

かなり分かりやすかった（I fully understood）	9件	(19.6%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	26件	(56.5%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	10件	(21.7%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	1件	(2.2%)
合計	46件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	2件	6件	8件
1件	7件	10件	18件
1件	3件	3件	7件
0件	1件	0件	1件
2件	13件	19件	34件

↓以下は、Q4/Q5の回答組合せ別による個別集計。

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=英語〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	0件	(0.0%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	1件	(50.0%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	1件	(50.0%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	2件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	0件	0件
0件	0件	1件	1件
0件	1件	0件	1件
0件	0件	0件	0件
0件	1件	1件	2件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=ハイブリッド〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	0件	(0.0%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	1件	(33.3%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	2件	(66.7%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	3件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	0件	0件
0件	1件	0件	1件
0件	0件	2件	2件
0件	0件	0件	0件
0件	1件	2件	3件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=日本語〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	0件	(0.0%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	2件	(100.0%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	0件	(0.0%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	2件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	0件	0件
0件	0件	2件	2件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	2件	2件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=ハイブリッド/口頭説明・解説=ハイブリッド〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	6件	(25.0%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	13件	(54.2%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	5件	(20.8%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	24件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	1件	4件	5件
1件	4件	2件	7件
1件	2件	0件	3件
0件	0件	0件	0件
2件	7件	6件	15件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=ハイブリッド/口頭説明・解説=日本語〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	2件	(14.3%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	9件	(64.3%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	2件	(14.3%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	1件	(7.1%)
合計	14件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	2件	2件
0件	2件	5件	7件
0件	0件	1件	1件
0件	1件	0件	1件
0件	3件	8件	11件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=ハイブリッド/口頭説明・解説=未回答〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	1件	(100.0%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	0件	(0.0%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	0件	(0.0%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	1件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	1件	0件	1件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
0件	1件	0件	1件

Q7. 授業に英語が使用された事が、授業の予習に影響を与えましたか？
Did the adaption of courses taught in English affect your self-study preparation for lectures?

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
予習にかける時間が増えた。（Preparation time was increased.）	23件	(50.0%)	2件	5件	11件	18件
予習にかかる時間が減った。（Preparation time was decreased.）	1件	(2.2%)	0件	0件	0件	0件
予習にかける時間は変わらなかった。（Not much has changed.）	22件	(47.8%)	0件	8件	8件	16件
合計	46件	(100.0%)	2件	13件	19件	34件

Q8. 大学院の授業に英語を導入することについて、要望があったら自由に書いてください（自由記載）
Please share any additional comments, questions or concerns about courses taught in English.

		（↓回答者の所属）
1	いきなり専門的な内容に入ると混乱が生じる可能性があるので、基礎的な部分の英語力向上が必要になると思う。	所属不明
2	もっと英語を身近に感じるためにも、英語を使用した授業の導入に賛成です。もっと英語を使った授業があったほうが、自身への刺激になります。	所属不明
3	修士1年だがQ2の回答が不明のため未回答	所属不明
4	個人差がかなりあると思うので、レベル別のクラスを設ける必要があると思います。	所属不明
5	医療英語の授業が欲しいです。	所属不明
6	導入してもいいと思います	所属不明
7	英語の授業を履修する・しないを学生が選択させてほしいです。	所属不明
8	英語を使用する機会が増えてよいと思います。	保健学研究科
9	英語を導入することと日本語を排除することはイコールではないと思います。日本語を母語とした学生が多い以上、少なくともハイブリッドの形式にすることが望ましいと思います。もちろん、世界で活躍する人材の育成には英語は不可欠ですが、英語にこだわるあまり、未来の研究者への教育が疎かになることは避けなければなりません。	保健学研究科
10	予習に時間を要すが、自身のスキルアップにつながると思うので賛成です。	保健学研究科
11	外部英語試験対策になるような授業があれば履修を検討したい。	保健学研究科
12	英語のpowerpointを使ったコースをもっと増やしてほしいです。	理工学府
13	日本語をメインで補助的に英語で説明を加える程度が望ましいと感じた。	医学系研究科
14	内容をしっかり理解したい場合には日本語のほうが良いと思う。	保健学研究科
15	たまに英語を間違えている先生がいる、履修者に合わせて随時言語を導入するといいと思う	理工学府
16	自分の英語能力ではついていけない心配がある。	保健学研究科
17	日本語を母国語としている学生のみの講義では、英語は必要ないと思う。	保健学研究科
18	英語はいいと思います	保健学研究科

8.1.6　2023 後期　英語化アンケート集計結果

2023年度 後期

大学教育センター大学院教務委員会 大学院授業英語化推進部会

大学院授業への英語導入に関するアンケート回集計結果

対象　医学系研究科、保健学研究科及び理工学府の教員
　　大学院学生、理工学部4年生
方法　Googleフォーム
アンケート期間　2024年3月11日～3月25日

教　員　編

【2023年度】

↓医学部附属病院・重粒子線医学推進機構・生体調節研究所
・未来先端研究機構の教員は医学系研究科でカウントした

［第1部］

Q1.　2023年度後期の大学院の授業は担当されましたか？

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
担当した	89件	(49.7%)	37件	15件	37件	89件
担当しなかった（ここで終わり）	90件	(50.3%)	48件	11件	31件	90件
合計	179件	(100.0%)	85件	26件	68件	179件

Q2.　そのうち、何らかのかたちで英語を使用したものはありましたか？

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
あった（第2部へ進む）	65件	(73.0%)	25件	11件	29件	65件
なかった（Q3へ進む）	24件	(27.0%)	12件	4件	8件	24件
合計	89件	(100.0%)	37件	15件	37件	89件

Q3.　Q2. で「なかった」と答えた方は、その理由をご記入ください。
（回答後Q9.へ進む）

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
聴講者全員が日本語を理解できたため	19件	(79.2%)	9件	3件	7件	19件
準備が間に合わなかったため	2件	(8.3%)	1件	0件	1件	2件
全員が日本人学生の場合、特に看護では、英語のリスニングの機会を増やすことのほうが先決ではないかと思います	1件	(4.2%)	0件	1件	0件	1件
スライドを英語、説明は日本語という形で実施した。	1件	(4.2%)	0件	0件	1件	1件
オムニバス形式だった	1件	(4.2%)	1件	0件	0件	1件
合計	24件	(100.0%)	11件	4件	9件	24件

［第2部］

以下の質問については、2023年度前期のあなたの大学院授業での英語の使用状況のうち、最も近いものを一つ選び、それについて答えてください。

Q4.　パワーポイントや配付資料について

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
英語のみ	23件	(31.1%)	16件	2件	5件	23件
ハイブリッド（英語と日本語の併用）	49件	(66.2%)	16件	9件	24件	49件
日本語のみ	2件	(2.7%)	0件	1件	1件	2件
合計	74件	(100.0%)	32件	12件	30件	74件

・Q2で「なかった」と回答した教員のうち9名が、Q4で「ハイブリッド」を選択しているため、Q4集計に加えている。

Q5.　口頭での説明・解説について

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
英語のみ	13件	(17.6%)	10件	1件	2件	13件
ハイブリッド（英語と日本語の併用）	27件	(36.5%)	11件	5件	11件	27件
日本語のみ	34件	(45.9%)	11件	6件	17件	34件
合計	74件	(100.0%)	32件	12件	30件	74件

・Q2で「なかった」と回答した教員のうち9名が、Q4で「ハイブリッド」を選択しているため、Q5集計にも加えている。

（参考）Q4/Q5クロス集計

パワーポイント・配布資料/口頭説明・解説			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
英語/英語	12件	(16.2%)	10件	1件	1件	12件
英語/ハイブリッド	7件	(9.5%)	4件	1件	2件	7件
英語/日本語	4件	(5.4%)	2件	0件	2件	4件
ハイブリッド/英語	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
ハイブリッド/ハイブリッド	19件	(25.7%)	7件	3件	9件	19件
ハイブリッド/日本語	30件	(40.5%)	9件	6件	15件	30件
日本語/英語	1件	(1.4%)	0件	0件	1件	1件
日本語/ハイブリッド	1件	(1.4%)	0件	1件	0件	1件
	74件	(100.0%)	32件	12件	30件	74件

Q6. Q4，Q5で、どちらも「英語のみ」で実施した授業科目名を教えてください。

1	重粒子線基礎医工学講義	医学系研究科	
2	生命医科学専攻（後期）：科目名不明：内容は個人識別の実習	医学系研究科	
3	臨床医学概論	医学系研究科	
4	社会医学講義（履修生が留学生のみ）	医学系研究科	←“Q4「英語のみ」Q5「ハイブリッド」”で実施したとなっている。
5	脳神経科学講義	医学系研究科	←“Q4「英語のみ」Q5「日本語のみ」”で実施したとなっている。
6	臨床医学概論B	医学系研究科	
7	臨床医学概論	医学系研究科	
8	臨床医学概論B	医学系研究科	
9	生命倫理学講義B　研究倫理特講	医学系研究科	
10	臨床医学概論B	医学系研究科	
11	放射線診断学で外国人留学生がいるものは全て	医学系研究科	←“Q4「ハイブリッド」Q5「ハイブリッド」”で実施したとなっている。
12	臨床医学概論A	医学系研究科	
13	基礎作業療法学演習（2名分担担当中1名分）	医学系研究科	
14	看護管理学特別研究	保健学研究科	←“Q4「ハイブリッド」Q5「日本語のみ」”で実施したとなっている。
15	臨床医学概論A修士課程	保健学研究科	
16	システム最適化特論	医学系研究科	←“Q4「英語のみ」Q5「ハイブリッド」”で実施したとなっている。
17	エネルギー計測工学	理工学府	
18	物質・生命理工学特論Ⅱ	理工学府	←“Q4「ハイブリッド」Q5「ハイブリッド」”で実施したとなっている。
19	界面科学特論	理工学府	←“Q4「ハイブリッド」Q5「日本語のみ」”で実施したとなっている。
20	ファイブロバイオ工学特論	理工学府	←“Q4「英語のみ」Q5「ハイブリッド」”で実施したとなっている。

Q7. 授業の言語に関する学生の理解度（分かりやすさ）について、あなたはどのように思いましたか？

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
かなり分かりやすかったと思う	6件	(8.1%)	4件	0件	2件	6件
概ね分かりやすかったと思う	41件	(55.4%)	19件	7件	15件	41件
ところどころ分かりにくかったかもしれない	22件	(29.7%)	8件	4件	10件	22件
ほとんど分からなかったと思う	4件	(5.4%)	1件	1件	2件	4件
未回答	1件	(1.4%)	0件	0件	1件	1件
合計	74件	(100.0%)	32件	12件	30件	74件

↓以下は、Q4/Q5の回答組合せ別による個別集計。

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=英語〕

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
かなり分かりやすかったと思う	2件	(16.7%)	2件	0件	0件	2件
概ね分かりやすかったと思う	8件	(66.7%)	7件	1件	0件	8件
ところどころ分かりにくかったかもしれない	2件	(16.7%)	1件	0件	1件	2件
ほとんど分からなかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
未回答	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
合計	12件	(100.1%)	10件	1件	1件	12件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=ハイブリッド〕

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
かなり分かりやすかったと思う	2件	(28.6%)	1件	0件	1件	2件
概ね分かりやすかったと思う	2件	(28.6%)	1件	1件	0件	2件
ところどころ分かりにくかったかもしれない	3件	(42.9%)	2件	0件	1件	3件
ほとんど分からなかったと思う	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
未回答	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
合計	7件	(100.1%)	4件	1件	2件	7件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=日本語〕

かなり分かりやすかったと思う	0件	(0.0%)
概ね分かりやすかったと思う	2件	(50.0%)
ところどころ分かりにくかったかもしれない	0件	(0.0%)
ほとんど分からなかったと思う	2件	(50.0%)
未回答	0件	(0.0%)
合計	4件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	0件	0件
1件	0件	1件	2件
0件	0件	0件	0件
1件	0件	1件	2件
0件	0件	0件	0件
2件	0件	2件	4件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=ハイブリッド/口頭説明・解説=ハイブリッド〕

かなり分かりやすかったと思う	0件	(0.0%)
概ね分かりやすかったと思う	9件	(47.4%)
ところどころ分かりにくかったかもしれない	9件	(47.4%)
ほとんど分からなかったと思う	1件	(5.3%)
未回答	0件	(0.0%)
合計	19件	(100.1%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	0件	0件
5件	2件	2件	9件
2件	1件	6件	9件
0件	0件	1件	1件
0件	0件	0件	0件
7件	3件	9件	19件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=ハイブリッド/口頭説明・解説=日本語〕

かなり分かりやすかったと思う	1件	(3.3%)
概ね分かりやすかったと思う	20件	(66.7%)
ところどころ分かりにくかったかもしれない	8件	(26.7%)
ほとんど分からなかったと思う	0件	(0.0%)
未回答	1件	(3.3%)
合計	30件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
1件	0件	0件	1件
5件	3件	12件	20件
3件	3件	2件	8件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	1件	1件
9件	6件	15件	30件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=日本語/口頭説明・解説=英語〕

かなり分かりやすかったと思う	1件	(100.0%)
概ね分かりやすかったと思う	0件	(0.0%)
ところどころ分かりにくかったかもしれない	0件	(0.0%)
ほとんど分からなかったと思う	0件	(0.0%)
未回答	0件	(0.0%)
合計	1件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	1件	1件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	1件	1件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=日本語/口頭説明・解説=ハイブリッド〕

かなり分かりやすかったと思う	0件	(0.0%)
概ね分かりやすかったと思う	0件	(0.0%)
ところどころ分かりにくかったかもしれない	0件	(0.0%)
ほとんど分からなかったと思う	1件	(100.0%)
未回答	0件	(0.0%)
合計	1件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
0件	1件	0件	1件
0件	0件	0件	0件
0件	1件	0件	1件

Q8. 通常の授業準備以外に、英語を導入することで追加された時間は、平均すると一週間当たりどのくらいですか？

1時間未満	28件	(37.8%)
1時間以上、3時間未満	31件	(41.9%)
3時間以上、5時間未満	10件	(13.5%)
5時間以上	4件	(5.4%)
未回答	1件	(1.4%)
合計	74件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
8件	3件	17件	28件
17件	5件	9件	31件
4件	3件	3件	10件
3件	1件	0件	4件
0件	0件	1件	1件
32件	12件	30件	74件

Q9. 英語で授業を実施する際の課題やお困りごと、教員へのサポート要望など、自由にご記入ください。

		（↓回答者の所属）
1	どの程度英語でやるのかを明確にして欲しい　スライドだけで良いのかどうか	医学系研究科
2	今回は履修者が留学生のみだったが、日本人学生がいる場合には理解が難しいだろうと思う。	医学系研究科
3	英語化の理念は十分わかるが、日本語でも理解できていないことを英語で指導するのは大変難しく、結局は学生の本質的理解の低下につながると懸念する。	医学系研究科
4	学生の基礎学力がたりない	医学系研究科
5	日本の授業は日本語で良いのではないでしょうか？	医学系研究科
6	留学生のためなら英語は遠慮なく使うが日本人学生の英語のレベルがまちまちなのでどうするのが最適なのかむずかしい	医学系研究科
7	スライドもすべて英語にした場合、日本語で何というかという表現を習得・演習する機会と重複することが考えられるため、英語授業に適した内容と、日本語との対応付けを行う機会の両方が（教員負荷を過剰にしないよう配慮しながら）あると望ましいと思います	医学系研究科
8	学生の英語レベルが英語による授業に耐える水準に達していない。	医学系研究科
9	英語で授業をして学生が完全に理解できるほど学生のレベルは高くないのではないでしょうか？まず日本語で完全に理解してもらうほうが重要であるように思います。	医学系研究科
10	学生が日本語の授業を希望する。	医学系研究科
11	大学院生の研究を英語で指導することがありますが、自分の英語力のなさを痛感します。教員に対して英語を使用する機会や英語での指導を学べる機会があれば嬉しいです。	医学系研究科
12	大学院医学系研究科には留学生も多いため、精度以前に必然的に英語による講義・実習をおこなっているという経緯があるかと思います。本学として公式に英語化を推進するのであれば、それはとても良いことかと思います。その一方で、教員側の英語力の問題もあるかと思います（少なくとも私はそうです）。日本語を用いた場合よりも学生に提示できる教育レベルが低下してしまうのを感じています。したがって、今後公式に英語化を推進するのであれば、大学から教員に何かしらのサポートを期待したいです。例えば教員向け英会話教室のようなものの開講や、一般の英会話教室に行くときの費用面でのサポート等が挙げられるかと思います。ぜひ検討をお願いできますと助かります。	医学系研究科
13	過去に留学生に対し何度か英語で実習を行った年度がありましたが、事前に日本語、英語の使用希望について情報を頂けると準備がしやすいのでよろしくお願いします。	医学系研究科
14	学生も教員も英語力が低いことが多いので、いきなり授業化しても授業の内容すら理解できなくなるのではないか？それなら学生も教員もなにかしらの英語スクールを開催して基礎力アップを図ったほうが良いのでは。	医学系研究科
15	教員の英語力が不足しており、日本語で授業を行うのよりクオリティや学生の理解度が低下する、同時通訳機が借りられるとよい	医学系研究科
16	日常的な英会話が難しい状況で、専門科目を英語で話すことの意義が本当にあるのか疑問です。米国の教員にこの流れのことを伝えましたところ、英語が得意ではない教員から英語が得意ではない学生が英語で学ぶことのメリットが分からないと言われました・・・看護は臨床で活躍している社会人学生も多いので、英語論文を読む課題は出していますが授業そのものを英語で行うことのメリットがあまり見えずすみません。	保健学研究科
17	教員への英語力サポートがあると助かります	保健学研究科
18	対象学生が日本人だけの場合，英語での授業はむつかしい。自分自身の英語スキルも高める必要がある。	保健学研究科
19	学生の理解度の把握が難しいように思います．授業を英語で実施する際はテストも英語，でしょうか．	医学系研究科
20	英語で実施すると、結局日本人の理解度がものすごく落ちるのでやる意味があるのかは甚だ疑問である	医学系研究科
21	留学生がいなくても全ての講義で準備すること。これをするぐらいなら英語対応できる授業だけで全て留学生をそこに集めて対応した方が結果として大学の教職員全員の負担は減ると思われます。この点は英語で授業する人のみに負担が行くことの不公平感の解決が必要ですが。	保健学研究科

22	日本は大学院を含む高等教育の全てを母国語で受けられる稀有な国であり、大変幸せな事だと思っている。	医学系研究科
23	英語の添削があるとよい。	医学系研究科
24	完全英語化の場合は質の高い英語教育のためにも校正費用の全額負担を希望します。	医学系研究科
25	基本的に英語で授業をすることについて反対の立場です。日本人の基本的な言語レベルが英語のネイティブスピーカーと同程度になってからで良いのではないかと思います。現状で強引に英語化を進めることで失われる知識、体験の方が圧倒的に大きく再考を促したいです。	医学系研究科
26	特にはないが、基礎的な科目に関しては英語のオンライン講義の教材などがあると（現時点でもある程度使用できるのは存じていますが）大変便利だなとは思います。	医学系研究科
27	日本語でも学生が理解が難しい内容を英語で伝え理解してもらうにはどのようにしたらいいのでしょうか	保健学研究科
28	日本語に比べて十分な説明や議論ができない可能性が高く本来実施できた授業よりも低いレベルの授業になると思われる。外国人学生も英語圏出身者でないことも多いので、英語化ではなく「やさしい日本語」を使うことも検討してはどうか。	医学系研究科
29	説明も英語となると少しハードルが高い様に感じます。	医学系研究科
30	教員への負担は大きくなるのではと感じました。	医学系研究科
31	英語力	医学系研究科
32	翻訳スライド作成のサポートがあれば助かります。	医学系研究科
33	パワーポイントは英語を使用するようにしています。また、私の担当授業ではないですが、非常勤講師としてPeter Greimel先生をお呼びして１００％英語での授業（生体分子合成と生体分子分析を隔年でお願いしている）をお願いしている。学生も内容はフォローできている様子である。	理工学府
34	授業を英語化しても誰も得しないので、英語化の取り組みを早く廃止してほしい。	理工学府
35	英語で授業をすることについては全く問題がないが、受講している学生がほとんど理解できない状況であったので、英語で説明した後に日本語で同じことを説明し直さないといけなかった。結果として予定していた授業内容の半分しかこなすことができなかったので、途中で英語での説明をやめて、配布資料やpptスライドを英語で書くことに留めるように変更した。英語授業を導入する前に学生の英語力を向上させることが必要と思います。	理工学府
36	日本人学生の理解度が落ちてしまう点が心配です	理工学府
37	今後の大学院改組の中で、英語化がどのように入ってくるのかを教えて欲しいです。	理工学府
38	英語化の推進には、あまり賛同できません。一指標に過ぎない大学ランキングにこだわることにも違和感を感じます。	理工学府
39	発話も板書も資料も完全に英語で講義なさっている方はいないと思います．必ず日本語での補足が必要で，私の講義も「英語のみ」としていますが事実上ハイブリッドです．英語と日本語の比率は8:2程度です．学部でも英語講義を行ってきましたが，こちらは英語と日本語の比率が6:4程度です．修士と学部では明らかに英語に対する受容力が違いますので，レベルを調整する必要があります．いずれにしても，英語・日本語の言語に関係なく，純粋に分かりやすい講義を行うことこそが肝要と考えております．	理工学府
40	英語化すると，ほとんどの日本人学生にとって，授業の内容理解に障害が発生すると思います．教員側の英語力もおぼつかない状態です．例えば，まずは，教員から，全ての員会，教員会議，教授会などを完全い英語化することができてから，授業の英語化を進める入口に立てると思います．学生については，中学・高校レベルの履修科目の理解レベルが非常に低い学生が多く，そこから，積み上げなおさなければならないレベルの学生が多く見られます．そんななか，授業の英語化を進めたら，悲惨なことになると思います．	理工学府
41	学生の理解度が落ちるので心配ですが頑張ります。	理工学府
42	英語を導入することにより，日本人院生の理解度が下が李，教育の効率が低下すること．	理工学府
43	問題なし	理工学府
44	口頭での説明・解説を英語のみとした場合，授業目標に学生が到達できるのかがとても不安に思う．	理工学府

45	土木・防災関連（国内中心に業務を行っている）企業と英語教育の話をした際，大学院で母国語で専門教育を受け，高い専門性を身につけた新入社員が入社してくるのも，日本の強み．という意見もいただきました．この場にふさわしいか分かりませんが，一意見として連絡をさせていただきます．	理工学府
46	前期に英語のスライド＆英語の口頭説明を授業で行いましたが、扱える範囲を減らさざるを得ない（受講生がついてこられないため、同じことを日本語で再度説明する必要があるため）状態ですが、これはよいのでしょうか。	理工学府
47	後期の授業（通年）は、外部講師によるもので、非常勤講師の方々は日本語、英語混在のスライドを作成されていた。口頭は日本語であった。	保健学研究科
48	英語での講義は学生のためでしょうか。もしそうなら、その理由をしっかりと理解できておりません。	理工学府
49	日本語で実施した場合と英語併用の場合での学生の理解度の違いが不明であり、英語実施のモチベーション、インセンティブがあがらない。	理工学府
50	専門領域の特性から，微妙なニュアンスが英語に翻訳すると伝わりにくいので，英語による授業に負担を感じます，	保健学研究科

学　生　編

【2023年度】

Q1.あなたが履修登録した2023年度後期の大学院の授業のうち、英語を使用したものはありましたか？（Did you attend lectures taught in English totally or partially? ）

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
あった（Q2へ進む）（Yes.）（Proceed to Q2.）	26件	(59.1%)	3件	13件	10件	26件
なかった（Q8へ進む）（No.）（Proceed to Q8.）	13件	(29.5%)	3件	6件	4件	13件
履修登録した授業はなかった（Q8へ進む）（I didn't register any lectures.）（Proceed to Q8.）	5件	(11.4%)	0件	5件	0件	5件
合計	44件	(100.0%)	6件	24件	14件	44件

※Q1で「なかった」と回答した学生のうち、Q4/Q5の回答から英語を使用した授業を履修登録したとみられる学生が1名いた。
　この1名については、以下Q2~Q7の集計に加えた。

Q2.あなたの学年は？（What year are you in?）

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
B4	5件	(15.6%)	0件	0件	5件	5件
M1	18件	(56.3%)	3件	9件	6件	18件
M2	9件	(28.1%)	0件	4件	0件	4件
未回答	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
合計	32件	(100.0%)	3件	13件	11件	27件

Q3.　あなたは下記のどちらですか？（Describe your level of Japanese language proficiency. ）

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
日本語母語（Native or Bilingual）	22件	(81.5%)	2件	10件	10件	22件
日本語をある程度、理解できる（Intermediate level）	5件	(18.5%)	1件	3件	1件	5件
合計	27件	(100.0%)	3件	13件	11件	27件

◎以下の質問については、あなたが履修し、かつ、英語が導入された授業のうち、授業の状況に最も近いものを一つ選び、それについて答えてください。該当する授業が複数ある場合は、あなたの研究に最も近いものを一つ選び、それについて答えてください。

Next questions are about your registered lectures in which English was introduced. Select one answer closest to your situation in each question. When more than two lectures are applicable, select one lecture most relevant to your research.

Q4.　パワーポイントや配付資料の言語（Language for course materials）

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
英語のみ（English only）	9件	(33.3%)	3件	3件	3件	9件
ハイブリッド（英語と日本語の併用）（both English and Japanese）	18件	(66.7%)	0件	10件	8件	18件
日本語のみ（Japanese only）	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
合計	27件	(100.0%)	3件	13件	11件	27件

Q5.　口頭による教員の解説（Language for oral course instruction）

			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
英語のみ（English only）	3件	(11.1%)	1件	2件	0件	3件
ハイブリッド（英語と日本語の併用）（both English and Japanese）	14件	(51.9%)	1件	9件	4件	14件
日本語のみ（Japanese only）	10件	(37.0%)	1件	2件	7件	10件
合計	27件	(100.0%)	3件	13件	11件	27件

（参考）Q4/Q5クロス集計

パワーポイント・配布資料/口頭説明・解説			医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
英語/英語	2件	(7.4%)	1件	1件	0件	2件
英語/ハイブリッド	4件	(14.8%)	1件	1件	2件	4件
英語/日本語	3件	(11.1%)	1件	1件	1件	3件
ハイブリッド/英語	1件	(3.7%)	0件	1件	0件	1件
ハイブリッド/ハイブリッド	10件	(37.0%)	0件	8件	2件	10件
ハイブリッド/日本語	7件	(25.9%)	0件	1件	6件	7件
日本語/英語	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
日本語/ハイブリッド	0件	(0.0%)	0件	0件	0件	0件
	27件	(100.0%)	3件	13件	11件	27件

Q6. 授業における言語の分かりやすさ（Was the language used easy to understand?）

かなり分かりやすかった（I fully understood）	3件	(11.1%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	16件	(59.3%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	8件	(29.6%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	27件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
1件	2件	0件	3件
1件	7件	8件	16件
1件	4件	3件	8件
0件	0件	0件	0件
3件	13件	11件	27件

↓以下は、Q4/Q5の回答組合せ別による個別集計。

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=英語〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	1件	(50.0%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	0件	(0.0%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	1件	(50.0%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	2件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
1件	0件	0件	1件
0件	0件	0件	0件
0件	1件	0件	1件
0件	0件	0件	0件
1件	1件	0件	2件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=ハイブリッド〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	0件	(0.0%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	3件	(75.0%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	1件	(25.0%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	4件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	0件	0件
1件	1件	1件	3件
0件	0件	1件	1件
0件	0件	0件	0件
1件	1件	2件	4件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=英語/口頭説明・解説=日本語〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	1件	(33.3%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	0件	(0.0%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	2件	(66.7%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	3件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	1件	0件	1件
0件	0件	0件	0件
1件	0件	1件	2件
0件	0件	0件	0件
1件	1件	1件	3件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=ハイブリッド/口頭説明・解説=英語〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	0件	(0.0%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	1件	(100.0%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	0件	(0.0%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	1件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	0件	0件
0件	1件	0件	1件
0件	0件	0件	0件
0件	0件	0件	0件
0件	1件	0件	1件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=ハイブリッド/口頭説明・解説=ハイブリッド〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	1件	(10.0%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	7件	(70.0%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	2件	(20.0%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	10件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	1件	0件	1件
0件	5件	2件	7件
0件	2件	0件	2件
0件	0件	0件	0件
0件	8件	2件	10件

〔ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ・配布資料=ハイブリッド/口頭説明・解説=日本語〕

かなり分かりやすかった（I fully understood）	0件	(0.0%)
概ね分かりやすかった（I partially understood）	5件	(71.4%)
所々分かりにくかった（No, it was partially hard to understand.）	2件	(28.6%)
ほとんど分からなかった（I didn't understand at all）	0件	(0.0%)
合計	7件	(100.0%)

医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
0件	0件	0件	0件
0件	0件	5件	5件
0件	1件	1件	2件
0件	0件	0件	0件
0件	1件	6件	7件

Q7. 授業に英語が使用された事が、授業の予習に影響を与えましたか？
Did the adaption of courses taught in English affect your self-study preparation for lectures?

		医学系研究科	保健学研究科	理工学府	合計
予習にかける時間が増えた。（Preparation time was increased.）	7件 (25.9%)	2件	3件	2件	7件
予習にかかる時間が減った。（Preparation time was decreased.）	2件 (7.4%)	1件	1件	0件	2件
予習にかける時間は変わらなかった。（Not much has changed.）	18件 (66.7%)	0件	9件	9件	18件
合計	27件 (100.0%)	3件	13件	11件	27件

Q8. 大学院の授業に英語を導入することについて、要望があったら自由に書いてください（自由記載）
Please share any additional comments, questions or concerns about courses taught in English.

		（↓回答者の所属）
1	TOEICやTOEFLなどの対策授業が欲しい	保健学研究科
2	The courses taught in English were good because the lecturers are proficient in English. This made it easy for me to understand as I have been only taught in English in my entire life. The classes are very effective and I appreciate them. Thank you.	医学系研究科
3	どのような形になるのかイメージがつかない。英語が理解できなかった場合のフォローはどのようにするのかなども提示があるとよい	保健学研究科
4	授業一コマ内をすべて英語で実施するのではなく、日本語の説明も織り交ぜながら実施して頂けると、理解の助けになるかと思います。よろしくお願い致します。	保健学研究科
5	English should be added to the class lectures so that foreign students can understand the lecture and feel comfortable taking the classes.	保健学研究科
6	English should be added to the class lectures so that foreign students can understand the lecture and feel comfortable taking the classes.	保健学研究科
7	英語を理解しつつ内容も理解するのは困難であるため、学生の理解度を重要視するならば日本語で行うべきだと考える。	医学系研究科
8	学生間の理解に差があり、理解できない学生のフォロー-に授業時間を費やす場面もあり、社会人学生として時間を捻出している中、非効率だと感じてしまうことがあった。完全には難しいが、ある程度英語力に合わせたカリキュラムが望ましいと感じます。	保健学研究科
9	講義資料も口頭で用いる言語も全部英語で構わない。ただし、その場合学部のカリキュラムも英語重視の形で大幅な変更を加える必要がある。日本人の英語のできなさは致命的。この国の義務教育における英語教育の在り方から疑問。もっと英語を使いたい。英語で何でも話せるようになりたい。	理工学府
10	スライドを英語にする点は留学生には助かると思うが、日本人にはとってはあまり意味がないように思う。	理工学府

8.1.7　2023 授業の英語化のための FD セミナーポスター

群馬大学大学院教務委員会 大学院授業英語化推進部会 主催

2023授業の英語化のためのFDセミナー

（オンライン）

11/17（金）
18:00 | 19:30

【1回目】
英語で授業をするためのFD セミナー
英文シラバスの書き方と授業や研究概要に関係する英語プレゼンテーションのブラッシュアップ

講師：
Raymond Hoogenboom 准教授
越智　貴子 准教授
群馬大学大学教育・学生支援機構グローバルイニシアチブセンター

鯉淵 典之先生
1985年群馬大学医学部卒業
1989年群馬大学で博士号を取得、ロックフェラー大学、ハーバード大学、獨協医科大学を経て、現在、群馬大学大学院医学系研究科教授

11/22（水）
18:00 | 19:30

【2回目】
「医学を英語で教えるとは？効果的な授業実践を国内・海外のグットプラクティスから学ぶ」

講演者：
鯉淵　典之 教授
群馬大学大学院医学系研究科応用生理学

町 淳二 教授
ハワイ大学マノア校医学部外科

町 淳二先生
1977年順天堂大学医学部卒業
1977年沖縄県立中部病院外科研修医
1984年イリノイ大学で博士号を取得、ペンシルベニア医科大学、ピッツバーグマーシー病院を経て、現在、ハワイ大学医学部外科教授

申込方法

Googleフォームからお申込みください。
https://forms.gle/y48sPfWhvpM566m18

【定員】1回目：15名程度
　　2回目：定員なし

【〆切】11月1日（水）

申込フォーム
QRコード

※　お申し込み後に参加の詳細をお知らせいたします。
※　応募者多数の場合は、抽選となることがあります。

問い合わせ先：

グローバルイニシアチブセンター
越智　貴子（内線：7506）
E-mail: tochi@gunma-u.ac.jp

学務部教務課大学院係
鈴木　（内線：7437）
E-mail: kk-ggakusei4@jimu.gunma-u.ac.jp

群馬大学大学院教務委員会 大学院授業英語化推進部会 主催

2023授業の英語化のためのFDセミナー

【1回目】
英語で授業をするためのFD セミナー
英文シラバスの書き方と授業や研究概要に関係する英語プレゼンテーションのブラッシュアップ

11/17（金）
18:00 | 19:30

時間	内容
【前半】	
18:05-18:15(10分)	（講義）わかりやすい英文シラバスの書き方
18:15-18:30(15分)	（グループ）シラバスの書き方
18:30-18:35(5分)	全体セッション（まとめ）
【後半】	
18:35-19:05(30分)	（グループ）授業/研究概要の英語プレゼンテーション(1人5分) ※人文・社会科学系と医学理工系に分かれる
19:05-19:15(10分)	講師による模範英語プレゼン
19:15-19:25(10 分)	（個人ワーク）英語プレゼンの修正 （グループ）フィードバック（英文添削など）
19:25-19:30(5 分)	全体セッション（まとめ）

【2回目】

「医学を英語で教えるとは？効果的な授業実践を国内・海外のグットプラクティスから学ぶ」

11/22（水）
18:00 | 19:30

時間	内容
第１部：【国内のグットプラクティス】	
18:05-18:30(25分)	テーマ：「医学を効果的に英語で教える実践」 ※アクティブラーニングを取り入れた医学教育の授業デザイン 鯉淵教授による模擬授業
18:30-18:40(10分)	模擬授業に対するグループディスカッション （ブレイクアウトルーム） ※鯉淵先生からディスカッションの課題を与えて頂き、グループ内でディスカッション
18:40-18:45(5分)	全体セッション（まとめ）
第２部：【海外のグットプラクティス】	
18:50-19:15(25分)	テーマ：“Learning physician’s 6 competencies thru acute abdomen cases” 町教授による模擬授業
19:15-19:25(10分)	模擬授業に対するグループディスカッション （ブレイクアウトルーム）
19:25-19:30(5分)	全体セッション（まとめ）

8.1.8　2023 授業の英語化のための FD セミナー実施報告

2023 年度大学院授業英語化推進部会主催
「授業の英語化のための FD セミナー」実施報告

1. FD セミナーの概要
実施日時と内容

○ 1 回目：2023 年 11 月 17 日（金）18:00-19:30

テーマ：	「英語で授業をする」基礎
内容：	✧ 英文シラバスの書き方 分かりやすい英文シラバスの書き方を学んだ上で、英文シラバスの添削を行い、シラバスの英語表現の見直しを行う。 ✧ 授業・研究概要の英語プレゼンテーション 「自然な英語にする」英語表現を学び、英語プレゼンテーションをブラッシュアップさせる。
講師：	Raymond Hoogenboom 准教授（大学教育・学生支援機構 GIC*） 越智　貴子 准教授（大学教育・学生支援機構 GIC*）

*GIC: グローバルイニシアティブセンター（Global Initiative Centre）の略

○ 2 回目：2023 年 11 月 22 日（水）18:00-19:30

テーマ：	「医学を英語で教えるとは？」	
内容：	✧ 効果的な授業実践（国内・海外のグットプラクティス）	
講師：	（国内例） “アクティブラーニングを取り入れた医学教育の授業デザイン” 鯉淵　典之 教授 群馬大学大学院医学系研究科 応用生理学	（海外例） “Learning physician’s six competencies thru acute abdomen cases”（急性腹症症例を通して医師の 6 つの能力を学ぶ） 町　淳二 教授 ハワイ大学マノア校医学部

2. 実施状況

参加申込数

	共同教育	情報	医学	保健	理工	その他	計
1回目（11/17） 「英語で授業をする」基礎	1			3	1	3	8
2回目（11/22） 「医学を英語で教えるとは？」			11	5	1	5	22

※11/22 の回：上記の参加申込数に加えて、GIC より当日参加が 4 名あった。

3. セミナー参加者からの参加後の感想（アンケートより抜粋）

○ 本セミナーに参加してよかった点

- 日本語の講義でも、英語の講義でも、active learning が大切であることを学んだ。
- 他分野の先生方とお話し、学生に積極的に話させる様々な工夫についてお伺いできて有意義だった。
- 実際の授業の様子が具体的にお話されて、他分野でしたがわかりやすかった。
- 実践例が医学分野で理解が不十分な点はありましたが，どのように組み立てて学生に考えさせるか，頭を使わせるかが重要であるということを理解できた。
- TBL や PBL という 2 つの異なる教育アプローチや方法論について学ぶことができ、とても興味深かった。

○ 今後、「授業の英語化」FD セミナーで取り上げて欲しいテーマについて

- 基礎医学領域の active learning を実践しているケースがあれば知りたい。
- 英語で授業をするための心構え。学生からの間違った答えに対する適切なフィードバック方法について。
- 発表させて終わり，ディスカッションさせて終わり，のやったつもり授業にしないための方法など，実践例とともに取り上げて欲しい。

4. 次回の実施に向けて

本部会が実施する「授業英語化」のアンケート結果と合わせて、学内あるいは学外で英語化をすでに実施している教員による「英語による授業のやり方紹介」をシリーズ化して提供することを検討したい。

5. 参考資料

- 11/17 および、11/22 の FD セミナー詳細スケジュール

授業の英語化FDセミナー
「英語で授業をする」基礎FDセミナー（11/17）

Time		No.	内容
17:45		1	レイ先生、越智、鈴木さん Zoomチェックイン
17:57		2	参加者のチェックイン
18:00	5分	3	FDセミナーの趣旨とスケジュール説明（越智から）
18:05-18:15	10分		（講義）分かりやすい英文シラバスの書き方 レイ先生から講義
18:15-18:30	15分		（グループワーク）英文シラバスの書き方 2つのグループに分かれて、 1) 下記を講師と一緒に確認 - Check if your English phrases are natural? - Check if your English syllabus is an objective-based syllabus? 2) 下記をグループ内で共有 - What do you want your students to learn? - What class activities and assignments will help your students to acoomplish the learning goals or attitude changes? - How will you determine that students have accomplished the learning outcomes?
18:30-18:35	5分		まとめ
18:35-19:05	30分		（グループワーク）模擬プレゼンテーション 2つのグループに分かれて、 自分の授業あるいは、研究概要を英語プレゼン（1人5分間） →グループ内でフィードバック
19:05-19:15	10分		レイ先生による模擬プレゼンテーション 参加者のプレゼンをレイ先生が模擬プレゼン 自然な英語表現を学ぶ
19:15-19:25	10分		（グループワーク） 2つのグループに分かれて、 自分の授業あるいは、研究概要の英語プレゼンの修正 →再度、グループ内でフィードバック
19:25-19:30	5分		まとめと、オンラインアンケート（Googleフォーム）

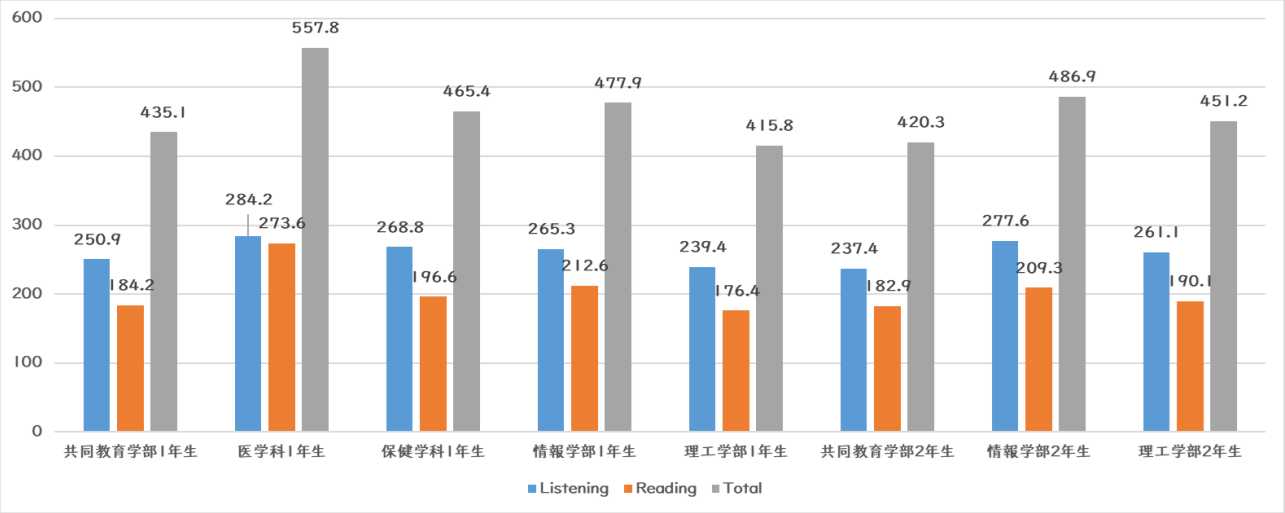
授業の英語化FDセミナー
「医学を英語で教えるとは？効果的な授業実践を国内・海外のグットプラクティスから学ぶ」（11/22）

Time		No.	内容
17:45		1	講演者の方々のチェックイン ・鯉淵先生 ・町先生
17:57		2	参加者のチェックイン
18:00-18:05	5分	3	大学院授業英語化推進部会長からの挨拶 若井明彦教授 （群馬大学大学院理工学府環境創生社会基盤・防災コース）
		4	FDセミナーの趣旨とスケジュール説明（越智から）
18:05-18:25	20分	5	鯉淵先生のご紹介
		6	鯉淵先生からのご講演 テーマ：「医学を効果的に英語で教える実践」 アクティブラーニングを取り入れた医学教育の授業デザイン
18:25-18:35	10分	7	グループディスカッション（Zoomブレイクアウトルーム） ディスカッションの課題： 講演テーマに沿ったディスカッションテーマ 鯉淵先生よりディスカッションテーマのトピックを1つ、頂くことは可能でしょうか？
18:35-18:40	5分	8	まとめ 各グループからディスカッションで話し合われた内容の共有
18:40-18:45	5分	9	（時間調整）
18:45-19:05	30分	10	町先生のご紹介
		11	町先生からのご講演 テーマ：“Learning physician's 6 competencies thru acute abdomen cases”（急性腹症症例を通して医師の6つの能力を学ぼう）
19:15-19:20	5分	12	まとめ
19:20-19:30	10分	14	大学教育・学生支援機構大学教育センター長からご挨拶 渡辺秀司教授
		15	オンラインアンケート（Googleフォーム）

8.1.9　　表１　プレイスメントテスト結果推移

学部	年度	語い	文法	リーディング	リスニング	総合
医学部医学科	2023	129.1	125.5	259.7	217.7	731.9
	2022	128.6	125.8	263.7	225.2	743.2
	2019	134.1	134.0	267.4	216.8	752.4
	2018	133.2	135.3	261.6	215.2	745.4
医学部保健学科	2023	107	103.2	213.7	189.5	613.4
	2022	108.3	105.4	219.6	190.9	624.2
	2019	113.8	112.9	205.6	183.8	616.1
	2018	114.7	114.8	203.7	184.1	617.3
情報学部 社会情報学部	2023	105.1	102	217.7	184.3	609.1
	2022	106.2	103	215.9	182.6	607.7
	2019	108.9	111.0	194.9	180.5	595.3
	2018	112.2	109.8	196.5	173.9	592.4
教育学部	2023	99.7	98.6	200.2	179	577.5
	2022	101.8	98.8	203.6	179.2	583.4
	2019	106.9	107.7	192.9	181.0	588.5
	2018	108.3	107.6	187.1	175.8	578.9
理工学部	2023	99.2	97.6	195.9	172.2	564.9
	2022	102	101.2	199.4	174.8	577.3
	2019	105.9	107.7	185.3	171.9	570.8
	2018	104.9	105.8	177.1	166.3	554.1

8.1.10　　図1　TOEIC-IP結果



8.1.11　　表2　Can-do Statement

Learning Attitudes

1. I can participate actively in English lessons. 英語の授業へ積極的に参加できる。
2. I can cooperate with my classmates using only English. 英語だけを使って、クラスメイトと協力できる。
3. I can participate actively in English discussions. 英語で議論に積極的に参加できる。
4. I can appreciate and accept the opinions of other people. 他者の意見を尊重し、受け入れることができる。
5. I can understand and take responsibility for my roles in tasks and activities. 活動の中で、それぞれが果たすべき役割を理解し、自ら行動に移すことができる。

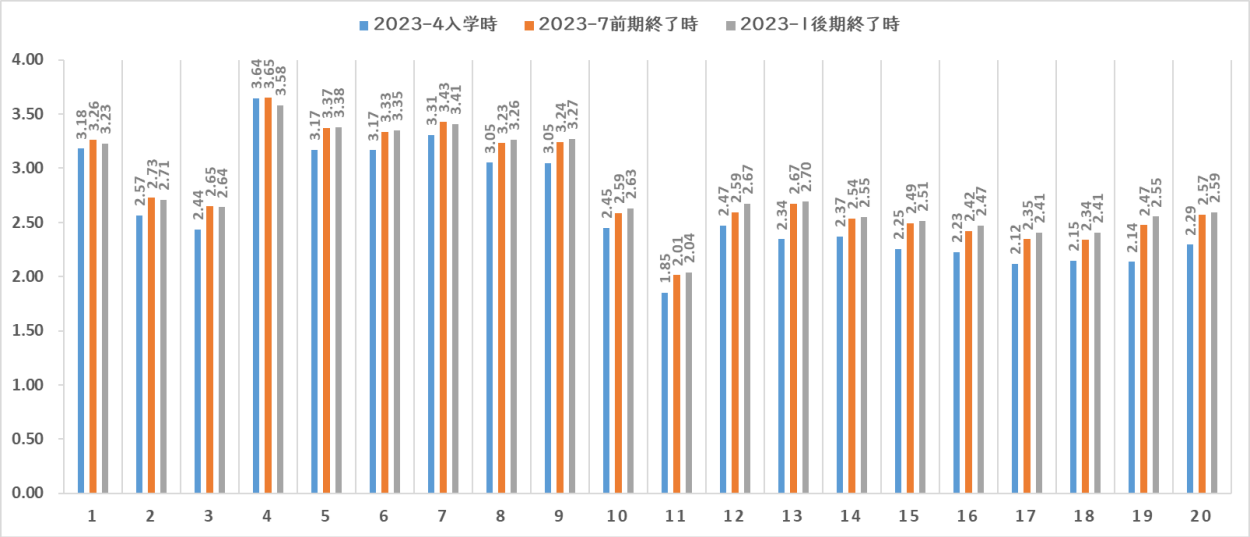
Problem-Solving Skills

6. I can discuss and identify existing problems about a topic. あるテーマに関して話し合い、問題・課題を見つけることができる。
7. I can work actively with others to make a plan for problem-solving tasks. 問題解決に向けての過程を他者と協働し、計画することができる。
8. I can analyze data from a variety of (on-line and paper-based) sources. 様々な文献から得たデータを分析できる。
9. I can make recommendations based on data.データに基づき、解決策を推奨できる。

English Skills

10. I can read English quickly and understand the content. 英語を素早く読み、内容を理解できる。
11. I can read approximately ... words per minute. 私は1分間に…語読むことができる.①100 語以下 ②150 語程度 ③200 語程度 ④250 語以上
12. I can take useful notes from written and spoken English resources. 英語で話されたり、書かれた内容から重要な情報を書き留めることができる。
13. I can organize my ideas well for a particular audience in written English. 英語で自分の考えを構成し、読み手を意識しながら書くことができる。
14. I can ask and answer questions in an English conversation. 英会話において質問をしたり答えたりできる。
15. I can discuss and explain life-related topics in English. 英語で自分の身近なことを議論したり説明したりできる。
16. I can answer questions in English and give additional information when appropriate. 状況に応じて情報を補足し、適切に英語で答えることができる。
17. I can share my ideas and give my opinion confidently in English. 自分の考えを共有し、英語で自信を持って意見を述べられる。
18. I can think critically and express my own opinions regarding social and cultural issues in English. 社会的・文化的な事柄に関して、英語で批判的かつ論理的に考え、英語で意見を述べることができる。
19. I can present a specific topic confidently in English (e.g., Poster, PowerPoint, Video).英語であるテーマについて自信を持って発表できる。
20. I can listen, understand, and give my opinions about an English presentation.他者の英語による発表を聞いて、内容を理解し、英語で意見を述べることができる

8.1.12　　図２　Can-do Statement　2023 年度入学生の１年間での変化

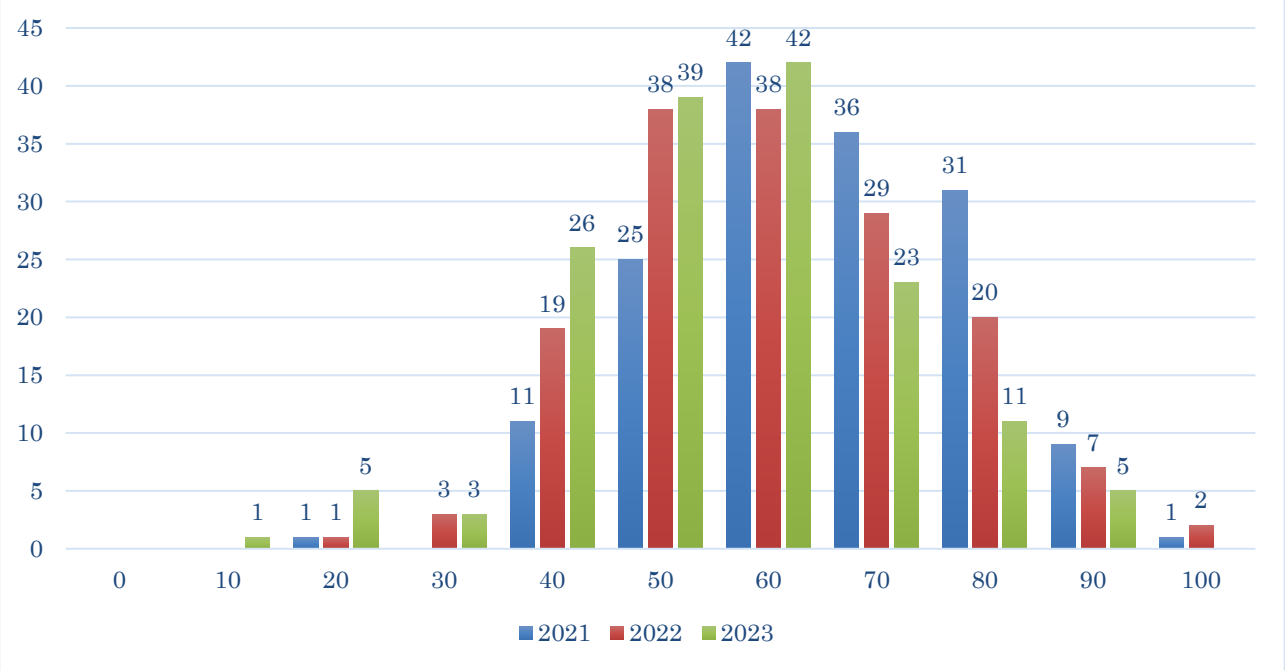


8.1.13　　図３　課題テスト結果推移

2023 年 4 月 15 日実施　　・155 名受験（3 名欠席）

平均点（100 点満点）

	2921 年度 （156 名受験）	2022 年度 （157 名受験）	2023 年度 （156 名受験）
全体	69	６４	６０
物質・環境類	68	６３	５９
電子・機械類	69	６５	６０



8.1.14　　表３　各学期の開講科目一覧と週当たりの授業回数

前期　　計 17 コマ／週		後期　　計 17 コマ／週	
科目名	授業回数／	科目名	授業回数／
初級１	4	初級１	4
初級２	4	初級２	4
初級３	3	初級３	3
初中級	2	初中級	2
中級会話Ⅰ	1	中級会話 II	1
中級聴解Ⅰ	1	中級聴解 II	1
中級総合Ⅰ	1	中級総合 II	1
上級Ⅰ	1	上級 II	1

8.1.15　　表４　日本語補講授業時間割

1－2 限	8:40～10:20
3－4 限	10:20～11:50
5－6 限	12:50～14:20
7－8 限	14:30～16:00
9－10 限	16:00～17:30

8.1.16　　表５　各授業の概要

初級１	日本語の音声・文字～初級前半の内容を総合的に学習する 主教材：いろどり生活の日本語　入門
初級２	初級半ばの内容を総合的に学習する 主教材：いろどり生活の日本語　初級Ⅰ
初級３	初級後半の内容を総合的に学習する。 主教材：いろどり生活の日本語　初級Ⅱ
初中級	初級修了程度のレベルで日本語の運用力の向上目指して学習する
中級会話Ⅰ・II	中級レベルで「話す」技能向上を目指して学習する
中級聴解Ⅰ・II	中級レベルで「聞く」技能向上を目指して学習する
中級総合Ⅰ・II	N2 受験レベルで学修上必要な日本語の基礎力向上を目指し学習する
上級Ⅰ・II	N2 以上レベルで学修上必要な日本語運用力の向上を目指して学習する

8.1.17　　表６　2023 年後期日本語補講登録者アンケート結果

授業レベルはどうですか。	難しい	少し難しい	ちょうどよい	少し簡単	簡単	その他
	0	3	25	4	2	0
	0%	9%	71%	11%	6%	0%
教材レベルはどうですか。	難しい	少し難しい	ちょうどよい	少し簡単	簡単	その他
	0	1	26	5	1	1
	0%	3%	74%	14%	3%	3%
授業進度はどうですか	速い	少し速い	ちょうどよい	少し遅い	遅い	その他
	0	3	25	4	2	0
	0%	9%	71%	11%	6%	0%
先生の教え方はどうですか。	とてもわかりやすい	わかりやすい	問題はない	わかりにくい	とてもわかりにくい	その他
	12	12	8	0	0	2
	34%	34%	23%	0%	0%	6%
日本語のクラスは,あなたの日本語力を伸ばすのに役立っていると思いますか。	とても役に立つ	役に立つ	どちらともいえない	役に立たない	全く役に立たない	その他
	16	15	2	—	—	1
	46%	43%	6%	0%	0%	3%

上記設問の「その他」の自由記述欄の回答

・教材レベルはどうですか　I think it is better to add kanji

・先生の教え方はどうですか　It depends on teacher.

・日本語クラスは～役に立っていますか In this course help me lots to improve my speaking, listening, reading ability but I think we need to practice more kanji for real life.

その他,授業の改善を望む点や要望,日ごろの授業への感想,先生へのコメントがあれば自由に書いてください。

Please feel free to write any other points you would like to see improved, requests, impressions of the class, or comments on the teacher.

・As a student major in engineering, we might not have enough time for language learning. The only aim of us is to acquire some language ability as soon as possible. I think the biggest problem needed to be handled is how to make the language become as simple as some formulas. I know it is very hard. But we lack time. We should not learn a new language as a baby, even though this style is the most useful one for language acquiring. In China, we learn language at a very fast step: memorize all grammar rules as soon as possible, memorize words as more as possible, then we can repeat the process of making sentence and practice day-by-day. But now, we just remember only a few pieces of grammars and cannot make some sentence with practical meaning in our lab life. The communication could not continue because we cannot understand the sentences said by Japanese colleagues. So, we have to get back to English conversation. During this, we might gradually lose our patience and passions for learning Japanese. I think grammar rules and vocabulary should be the focus of the class, we should memorize all of them as soon as possible. Practice could mainly be finished in our daily lab life. We need to conquer the nervousness of speaking Japanese; we need to conquer the fear of making

false sentences; we need to make the Japanese more efficient than English for us.
・授業の進度がちょっと遅いです。授業のたびに,先生が学生に前回の文章を読んで復習させましたが,それはちょっと時間がかかるので,そして長い文章なので,何回も読んだことがあります。学期の半分が過ぎましたが,最初の文章が終わったばかりです。
・始めて長い記事を読みながら,詳しい説明があって,よかったです。
・I have no complaints at all. If possible, I would like to adjust the number of class hours to 1 hour/class
・Include class session on new vocabulary
・very good
・For the final test, it might be helpful if students take an exam similar to the JLPT test.
・先生方の辛抱強いご指導ありがとうございました。日本語の試験問題の分析内容を入れてほしいです。例えば,一段階の勉強を経て,N5-N1 の試験に合格できたかどうかを評価して,一段階の目標を達成した達成感が得られるかもしれません。
・教え方やテキストの内容は満足していると思います。しかし,時間帯についてちょっと都合が悪いです。水曜日は 1-2 限しか授業がないので,日本語の授業を 9-10 限から 3-4 限か 4-5 限に変更することは可能でしょうか。
・I am still learning and the pace is good for me. I enjoyed the kanji sessions last semester and am also looking forward to seeing more kanji sessions. The kanji sessions helped me incredibly!

8.1.18　　表７　大学間・学部間協定校一覧（2023 年度時点で締結済みのもの）

【大学間協定校】

	No.	国	大学名	締結日
	1	中国	西安交通大学	20210412
	2	中国	廈門大学	20200429
	3	中国	瀋陽化工大学	20200129
	4	中国	大連医科大学	20100104
	5	中国	大連理工大学	20070130
	6	中国	大連工業大学	20200129
	7	中国	中国科学院過程工程研究所	20190227
	8	中国	重慶交通大学	20090325
○	9	中国	海南大学	20230413
	10	韓国	嶺南大学校	20200201
	11	韓国	釜山大学校	20230414
	12	韓国	建国大学校	20191009
	13	韓国	ソウル大学校	20081027
	14	台湾	東海大学	20200212
	15	台湾	国立台北教育大学	20180205
○	16	台湾	国立虎尾科技大学	20230613
	17	フィリピン	フィリピン大学マニラ校	20190108
	18	モンゴル	モンゴル国立医科学大学	20210705
○新規	19	モンゴル	モンゴル生命科学大学	20230802
	20	マレーシア	マラ工科大学	20210120
	21	インドネシア	パジャジャラン大学	20150420
	22	インドネシア	インドネシア教育大学	20230401
	23	シンガポール	南洋理工大学	20150320
	24	タイ	チェンマイ大学	20171030
	25	タイ	泰日工業大学	20171030
○新規	26	タイ	キングモンクット工科大学トンブリ校	20230420
○新規	27	タイ	ランシット大学	20230912
	28	タイ	ラジャマンガラ工科大学イーサン校	20231211
	29	スロベニア	リュブリャーナ大学	20080919
○	30	イタリア	フィレンツェ大学	20230509
	31	アゼルバイジャン	バクー国立大学	20191030
	32	チェコ	オストラバ工科大学	20240229
	33	リトアニア	ヴィータウタス・マグヌス大学	20181022
	34	英国	キール大学	20231018
○	35	米国	サンディエゴ州立大学	20230831
	36	米国	ニューヨーク州立大学ストーニブルック校	20140829
	37	米国	ピュージェット・サウンド大学	20230411
○新規	38	米国	ハワイ大学マノア校	20230710
	39	ニカラグア	ニカラグア国立自治大学	20170110
	40	オーストラリア	ウーロンゴン大学	20140715

	41	オーストラリア	ディーキン大学	20230303

【学部間】

	No.	学部	国	大学名	締結日
	42	共同教育	中国	浙江工業大学	20170510
	43	共同教育	韓国	大邱大学	20160329
	44	共同教育	ベトナム	ハノイ教育大学	20170208
	45	共同教育	米国	ミズーリ州立大学	20150219
	46	共同教育	米国	モアヘッド州立大学	20151216
	47	共同教育	米国	フォートルイス大学	20180426
	48	共同教育	米国	アダムス州立大学	20190218
	49	情報	台湾	世新大学	20230713
	50	情報	ハンガリー	カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学	20231024
	51	情報	ポーランド	ヤギェウォ大学	20120329
	52	情報	クロアチア	ザグレブ大学	20230602
	53	情報	リトアニア	ヴィリニュス大学	20190403
	54	医学	インドネシア	スリウィジャヤ大学	20191226
	55	医学	フランス	モンペリエ大学	20170410
	56	医学	米国	ワシントン大学	20020402
	57	医学	コロンビア	サバナ大学	20040420
	58	保健	中国	北京協和医学院	20181230
	59	保健	韓国	仁濟大学校	20190328
	60	保健	インドネシア	イスラム・サルタン・アグング大学	20201117
	61	保健	ニュージーランド	オタゴ大学	20171101
	62	理工	中国	中国鉱業大学	20220309
	63	理工	中国	西南交通大学	20090701
	64	理工	中国	河北工業大学	20220222
	65	理工	中国	揚州大学	20170515
	66	理工	中国	厦門理工学院	20200831
	67	理工	中国	天津大学	20141107
	68	理工	中国	江蘇科技大学	20220309
	69	理工	中国	中国科学院	20220715
○	70	理工	中国	山東大学	20230920
	71	理工	中国	蘇州大学	20180214
	72	理工	韓国	ソウル科学技術大学校産業大学院	20150501
	73	理工	韓国	慶熙大学校工科大学	20210705
	74	理工	韓国	忠南大学校	20150811
	75	理工	台湾	義守大学	20140527
	76	理工	台湾	国立勤益科技大学	20150430
	77	理工	台湾	国立陽明交通大学	20180102
	78	理工	台湾	国立中央大学	20180108
	79	理工	インド	ヒンドスタン大学	20180605
	80	理工	インド	チトカラ大学	20180606
	81	理工	マレーシア	マレーシア国立大学	20200528

	82	理工	マレーシア	パハン大学	20160410
	83	理工	マレーシア	マレーシアマラッカ技術大学	20180912
	84	理工	マレーシア	モナシュ大学マレーシア校	20230214
	85	理工	マレーシア	マレーシア科学大学	20230210
	86	理工	ベトナム	ハノイ工科大学	20080123
	87	理工	ベトナム	FPT 大学	20190801
	88	理工	ベトナム	トュイロイ大学	20221122
	89	理工	ベトナム	通信郵政学院	20220701
○	90	理工	インドネシア	バンドン工科大学	20240322
	91	理工	インドネシア	ジャカルタ州立大学	20160713
○	92	理工	インドネシア	スマトラ工科大学	20230826
	93	理工	バングラデシュ	ダッフォディル国際大学	20190208
	94	理工	バングラデシュ	ダッフォディル国際大学	20190208
	95	理工	バングラデシュ	クルナ工科大学	20221215
	96	理工	バングラデシュ	ノアカリ科学技術大学	20220430
	97	理工	パキスタン	イスラミア・バハーワルプル大学	20221219
	98	理工	タイ	マヒドン大学	20220222
	99	理工	タイ	チュラロンコン大学	20220808
	100	理工	タイ	カセサート大学	20220126
	101	理工	タイ	ラジャマンガラ工科大学	20201220
	102	理工	フランス	モンペリエ国立高等化学大学院	20170120
○	103	理工	フランス	IPSA 高等科学技術学院	20230424
○	104	理工	フランス	ESIEE パリ	20230704
○新規	105	理工	ルーマニア	クルージュナポカ工科大学	20231030
	106	生体調節研究所	中国	内蒙古大学	20220615
	107	生体調節研究所	中国	湖南大学	20220818
	108	生体調節研究所	中国	首都医科大学	20221012
	109	医学部附属病院	中国	中日友好病院	20160121
	110	重粒子線医学研究センター	中国	浙江省腫瘍医院	20230508
	111	重粒子線医学研究センター	韓国	韓国原子力医学院	20200420
	112	重粒子線医学研究センター	韓国	ソウル国立大学	20210611
	113	重粒子線医学研究センター	韓国	KAIST 情報技術統合研究所	20181213
	114	重粒子線医学研究センター	韓国	大邱カトリック大学校	20200327
	115	重粒子線医学	韓国	延世大学校	20200925

		研究センター			
	116	重粒子線医学研究センター	韓国	高麗大学	20230615
	117	重粒子線医学研究センター	インド	タタメモリアルセンター	20210909
	118	重粒子線医学研究センター	ドイツ	ドイツ重イオン研究所ヘルムホルツセンター	20200327
	119	重粒子線医学研究センター	ドイツ	ハイデルベルグ大学	20180726
	120	重粒子線医学研究センター	オーストリア	ウィーン医科大学	20140414
	121	重粒子線医学研究センター	米国	マサチューセッツ総合病院	20180628
	122	重粒子線医学研究センター	米国	メイヨークリニック	20081023
	123	重粒子線医学研究センター	米国	デキサス A&M 大学	20170728
	124	未来先端研究機構	オーストラリア	クイーンズランド大学	20230227
○新規	125	理工	オーストラリア	ディーキン大学工学部 - ダブルディグリープログラム（博士）	20230620

8.1.19 令和５年度入学料免除・徴収猶予実施状況

令和5年度入学料徴収猶予実施状況

		猶予申請者数（人）			猶予許可者数（人）			
		4月入学	10月入学	合計	判定	4月入学	10月入学	合計
共同教育学部		2	0	2	許可	1	0	1
情報学部		0	0	0	許可	0	0	0
医学部	医学科	0	0	0	許可	0	0	0
	保健学科	0	0	0	許可	0	0	0
理工学部		3	0	3	許可	2	0	2
学部の計		5	0	5	許可	3	0	3
教育学研究科（専門職学位課程）		0	0	0	許可	0	0	0
社会情報学研究科（修士課程）		0	0	0	許可	0	0	0
医学系研究科（修士課程）		0	0	0	許可	0	0	0
保健学研究科（博士前期課程）		0	1	1	許可	0	1	1
理工学府（博士前期課程）		2	0	2	許可	1	0	1
大学院修士課程の計		2	1	3	許可	1	1	2
医学系研究科（博士課程）		0	0	0	許可	0	0	0
保健学研究科（博士後期課程）		0	0	0	許可	0	0	0
理工学府（博士後期課程）		0	0	0	許可	0	0	0
大学院博士課程の計		0	0	0	許可	0	0	0
特別支援教育特別専攻科		0	0	0	許可	0	0	0
合　　計		7	1	8	許可	4	1	5

令和5年度入学料免除実施状況

		免除申請者数（人）			免除許可者数（人）			
		4月入学	10月入学	合計	判定	4月入学	10月入学	合計
共同教育学部		22	0	22	全額免除	10	0	10
					2/3額免除	3	0	3
					1/3額免除	5	0	5
情報学部		17	0	17	全額免除	5	0	5
					2/3額免除	6	0	6
					1/3額免除	6	0	6
医学部	医学科	7	0	7	全額免除	4	0	4
					2/3額免除	0	0	0
					1/3額免除	1	0	1
	保健学科	22	0	22	全額免除	12	0	12
					2/3額免除	4	0	4
					1/3額免除	5	0	5
理工学部		56	0	56	全額免除	23	0	23
					2/3額免除	16	0	16
					1/3額免除	11	0	11
学部の計		124	0	124	全額免除	54	0	54
					2/3額免除	29	0	29
					1/3額免除	28	0	28
教育学研究科（専門職学位課程）		3	0	3	全額免除	2	0	2
					半額免除	0	0	0
社会情報学研究科（修士課程）		1	2	3	全額免除	1	1	2
					半額免除	0	0	0
医学系研究科（修士課程）		1	1	2	全額免除	1	1	2
					半額免除	0	0	0
保健学研究科（博士前期課程）		9	1	10	全額免除	7	1	8
					半額免除	0	0	0
理工学府（博士前期課程）		55	4	59	全額免除	48	4	52
					半額免除	0	0	0
大学院修士課程の計		69	8	77	全額免除	59	7	66
					半額免除	0	0	0
医学系研究科（博士課程）		13	2	15	全額免除	11	2	13
					半額免除	0	0	0
保健学研究科（博士後期課程）		1	0	1	全額免除	1	0	1
					半額免除	0	0	0
理工学府（博士後期課程）		2	5	7	全額免除	2	5	7
					半額免除	0	0	0
大学院博士課程の計		16	7	23	全額免除	14	7	21
					半額免除	0	0	0
特別支援教育特別専攻科		0	0	0	全額免除	0	0	0
					半額免除	0	0	0
合　　計		209	15	224	全額免除	127	14	141
					2/3額免除	29	0	29
					半額免除	0	0	0
					1/3額免除	28	0	28

8.1.20　令和５年度授業料免除・徴収猶予実施状況

令和5年度授業料徴収猶予実施状況

		猶予申請者数（人）			猶予許可者数（人）			
		前期	後期	合計(延べ人数)	判定	前期	後期	合計(延べ人数)
共同教育学部		0	0	0	許可	0	0	0
情報学部		0	0	0	許可	0	0	0
社会情報学部		0	0	0	許可	0	0	0
医学部	医学科	0	0	0	許可	0	0	0
	保健学科	0	0	0	許可	0	0	0
理工学部 総合理工学科(夜間主)除く		0	0	0	許可	0	0	0
学部(昼間)の計		0	0	0	許可	0	0	0
総合理工学科(夜間主)		0	0	0	許可	0	0	0
教育学研究科 (専門職学位課程)		0	0	0	許可	0	0	0
社会情報学研究科 (修士課程)		0	0	0	許可	0	0	0
医学系研究科 (修士課程)		0	0	0	許可	0	0	0
保健学研究科 (博士前期課程)		0	0	0	許可	0	0	0
理工学府 (博士前期課程)		0	0	0	許可	0	0	0
大学院修士課程の計		0	0	0	許可	0	0	0
医学系研究科 (博士課程)		0	0	0	許可	0	0	0
保健学研究科 (博士後期課程)		0	0	0	許可	0	0	0
理工学府 (博士後期課程)		0	0	0	許可	0	0	0
大学院博士課程の計		0	0	0	許可	0	0	0
特別支援教育特別専攻科		0	0	0	許可	0	0	0
合　　計		0	0	0	許可	0	0	0

令和5年度授業料免除実施状況

		免除申請者数（人）			免除許可者数（人）			
		前期	後期	合計(延べ人数)	判定	前期	後期	合計(延べ人数)
共同教育学部		90	86	176	全額免除	44	46	90
					2/3額免除	21	17	38
					半額免除	0	0	0
					1/3額免除	12	15	27
情報学部		57	61	118	全額免除	24	24	48
					2/3額免除	19	16	35
					半額免除	0	0	0
					1/3額免除	14	12	26
社会情報学部		16	16	32	全額免除	11	11	22
					2/3額免除	5	4	9
					半額免除	0	0	0
					1/3額免除	0	1	1
医学部	医学科	41	36	77	全額免除	16	17	33
					2/3額免除	7	6	13
					半額免除	4	4	8
					1/3額免除	7	5	12
	保健学科	77	76	153	全額免除	37	37	74
					2/3額免除	24	18	42
					半額免除	0	0	0
					1/3額免除	13	14	27
理工学部 総合理工学科(夜間主)除く		217	217	434	全額免除	105	105	210
					2/3額免除	56	51	107
					半額免除	3	3	6
					1/3額免除	29	31	60
学部(昼間)の計		498	492	990	全額免除	237	240	477
					2/3額免除	132	112	244
					半額免除	7	7	14
					1/3額免除	75	78	153
学部(夜間主) 理工学部総合理工学科		2	2	4	全額免除	1	1	2
					2/3額免除	0	0	0
					半額免除	0	0	0
					1/3額免除	1	1	2
教育学研究科 (専門職学位課程)		3	1	4	全額免除	2	1	3
					半額免除	0	0	0
社会情報学研究科 (修士課程)		12	13	25	全額免除	10	8	18
					半額免除	2	3	5
医学系研究科 (修士課程)		7	4	11	全額免除	4	3	7
					半額免除	1	0	1
保健学研究科 (博士前期課程)		18	16	34	全額免除	10	10	20
					半額免除	4	5	9
理工学府 (博士前期課程)		136	130	266	全額免除	84	87	171
					半額免除	43	39	82
大学院修士課程の計		176	164	340	全額免除	110	109	219
					半額免除	50	47	97
医学系研究科 (博士課程)		29	26	55	全額免除	22	21	43
					半額免除	5	4	9
保健学研究科 (博士後期課程)		14	12	26	全額免除	5	4	9
					半額免除	9	7	16
理工学府 (博士後期課程)		32	28	60	全額免除	21	23	44
					半額免除	11	5	16
大学院博士課程の計		75	66	141	全額免除	48	48	96
					半額免除	25	16	41
特別支援教育特別専攻科		0	0	0	全額免除	0	0	0
					半額免除	0	0	0
合　　計		751	724	1,475	全額免除	396	398	794
					2/3額免除	132	112	244
					半額免除	82	70	152
					1/3額免除	76	79	155

令和5年度日本学生支援機構奨学生数（学部・研究科別内訳）

令和5年10月1日現在（人）

学部・研究科 ＼ 区分			1年次			2年次			3年次			4年次			5年次			6年次			計			
			一種	二種	給付	一種	二種	給付	一種	二種	給付	一種	二種	給付	一種	二種	給付	一種	二種	給付	一種	二種	給付	計
学部	教育学部																				0	0	0	0
	共同教育学部		29	28	18	29	20	14	40	27	27	27	28	25							125	103	84	312
	社会情報学部											18	18	16							18	18	16	52
	情報学部		37	25	17	35	15	19	41	31	21										113	71	57	241
	医学部	医学科	7	9	5	13	9	8	15	14	7	7	12	3	12	14	2	13	17	2	67	75	27	169
		保健学科	25	27	21	37	20	14	32	24	21	36	28	19							130	99	75	304
	工学部	昼間コース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0
		夜間主コース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	0	0	0
	理工学部		90	60	49	76	67	49	84	74	46	103	89	55							353	290	199	842
学部計			188	149	110	190	131	104	212	170	122	191	175	118	12	14	2	13	17	2	806	656	458	1920
専攻科	特別支援教育特別専攻科		0	0	0			0													0	0	0	0
大学院	教育学研究科	修士課程	0	0		0	0														0	0	0	0
		専門職学位課程	3	0		1	0														4	0	0	4
	社会情報学研究科		0	0		0	0														0	0	0	0
	医学系研究科	修士課程	4	1		2	0														6	1	0	7
		博士課程	0	0		0	0		2	0		1	0								3	0	0	3
	保健学研究科	博士前期課程	6	0		4	1														10	1	0	11
		博士後期課程	1	0		0	0		0	0											1	0	0	1
	工学研究科	博士前期課程	0	0		0	0														0	0	0	0
		博士後期課程	0	0		0	0		0	0											0	0	0	0
	理工学府	博士前期課程	82	16		88	7														170	23	0	193
		博士後期課程	0	0		4	0		3	1											7	1	0	8
大学院計			96	17		99	8		5	1		1	0		0	0		0	0		201	26	0	227

※一人の学生が第一種と第二種と給付を併用している場合もあるので、延べ人数である。

総計	2147

令和５年度学部１～３年次生欠席状況調査一覧　（前期）

	共同教育学部（教育学部）	情報学部（社会情報学部）	医学部			理工学部（工学部）			合計
			医学科	保健学科	計				
１年生対象者数	名 201	名 179	名 121	名 166	名 287	名 513	名 0	名 513	名 1,180
欠席者数	0	0	0	0	0	5	0	5	5
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	0.4%
２年生対象者数	201	170	147	165	312	530	0	530	1,213
欠席者数	2	3	0	0	0	6	0	6	11
	1.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	0.9%
３年生対象者数	200	190	128	157	285	530	0	530	1,205
欠席者数	1	0	0	0	0	11	0	11	12
	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	2.1%	1.0%
合計対象者数	602	539	396	488	884	1,573	0	1,573	3,598
欠席者数	3	3	0	0	0	22	0	22	28
	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.4%	0.8%

※　学生数は、令和５年５月１日現在
※　欠席者数下段は、欠席率

令和５年度学部１～３年次生欠席状況調査一覧　（後期）

	共同教育学部（教育学部）	情報学部（社会情報学部）	医学部			理工学部			合計
			医学科	保健学科	計				
１年生対象者数	名 201	名 179	名 121	名 166	名 287	名 511	名 0	名 511	名 1,178
欠席者数	4	6	2	3	5	13	0	13	28
	2.0%	3.4%	1.7%	1.8%	1.7%	2.5%	0.0%	2.5%	2.4%
２年生対象者数	201	170	147	163	310	526	0	526	1,207
欠席者数	0	21	1	0	1	3	0	3	25
	0.0%	12.4%	0.7%	0.0%	0.3%	0.6%	0.0%	0.6%	2.1%
３年生対象者数	200	189	128	157	285	529	0	529	1,203
欠席者数	0	0	0	0	0	17	0	17	17
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	3.2%	1.4%
合計対象者数	602	538	396	486	882	1,566	0	1,566	3,588
欠席者数	4	27	3	3	6	33	0	33	70
	0.7%	5.0%	0.8%	0.6%	0.7%	2.1%	0.0%	2.1%	2.0%

※　学生数は、令和５年11月１日現在
※　欠席者数下段は、欠席率

8.1.23　令和５年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

令和5年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険加入者数

※令和6年3月1日在籍学生のみ

学部(人)　（令和6年3月1日現在）

学部名		1年	2年	3年	4年	5年	6年	その他(研究生等)	計
共同教育学部		196	195	208	181			6	786
教育学部					1				1
情報学部		174	157	184					515
社会情報学部				10	98			10	118
医学部	医学科	133	132	121	113	109	111		719
	保健学科	167	160	148	158				633
	計	300	292	269	271	109	111	0	1,352
理工学部	昼間コース	556	500	461	496			2	2,015
工学部	夜間主コース								0
	計	556	500	461	496	0	0	2	2,015
合計		1,226	1,144	1,132	1,047	109	111	18	4,787

大学院・専攻科(人)　（令和6年3月1日現在）

研究科名		1年	2年	3年	4年	その他(研究生等)	計
教育学研究科							0
大学院教育学研究科(専門職学位課程)		20	18				38
社会情報学研究科		9	8			1	18
医学研究科	修士課程	7	5				12
	博士課程	31	22	26	11		90
保健学研究科	博士前期課程	41	23			3	67
	博士後期課程	10	10	3		1	24
	計	89	60	29	11	4	193
理工学府	博士前期課程	325	301				626
工学研究科	博士後期課程	16	17	3			36
	計	341	318	3	0	0	662
特別支援教育特別専攻科		7					7
合計		466	404	32	11	5	918

8.1.24　令和５年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数

令和5年度学生教育研究災害傷害保険，学研災付帯賠償責任保険請求種別保険金請求件数

（件）

	学部	学生教育研究災害傷害保険						学研災付帯賠償責任保険	総計
		正課中	学校行事中	通学中	課外活動中	その他	合計		
荒牧地区	教育・共同教育・社会情報・情報	5		1	1	1	8		8
昭和地区	医学	1		3	3		7	1	8
桐生・太田地区	理工	5	2	3	2	1	13		13
合計		11	2	7	6	2	28	1	29

8.1.25　　令和５年度通学証明書発行枚数，学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

令和5年度通学証明書発行枚数

（枚）

荒牧地区		昭和地区		桐生地区		太田地区		合計
電車	バス	電車	バス	電車	バス	電車	バス	
520	361	100	50	153	3			1,187

令和5年度学生旅客運賃割引証発行枚数及び主な発行理由

（枚）

＼	正課	帰省	就職	課外活動	見学	旅行	その他傷病・治療	計
荒牧地区	111	2,428	649	395	533	495	7	4,618
昭和地区	269	4,908	752	803	997	498	50	8,277
桐生地区	266	2,604	1,070	481	361	239	13	5,034
太田地区	17	3	6	2	0	2	0	30
合　計	663	9,943	2,477	1,681	1,891	1,234	70	17,959

8.1.26　令和５年度　クラブ・サークル一覧

整理番号	クラブ・サークル名	主な活動（所属）地域 荒牧	昭和	桐生	太田	区分
1	荒牧クラブ・サークル協議会	○				
2	荒牧祭実行委員会	○				
3	生協学生委員会	○	○	○		
4	文化部会（昭和地区）		○			
5	運動部会（昭和地区）		○			
6	荒牧ジャズ研究会	○				文化部
7	アドバンス［Advance］ボランティア子供向けイベント	○				文化部
8	E. S. S（English Speaking Society）	○				文化部
9	囲碁・将棋部	○				文化部
10	泉の会（知的障害の子供と遊ぶ会）	○				文化部
11	ELMO（遊びのプログラム）		○			文化部
12	映画研究会	○	○			文化部
13	E∞gg［えっぐ］医療や社会について学ぶ		○			文化部
14	エレクトーン部		○			文化部
15	演劇部テアトル・ヒューメ	○				文化部
16	音楽研究会			○		文化部
17	カル旅研究会（かるた）	○				文化部
18	かるた会	○		○		文化部
19	合唱サークル　Pico		○			文化部
20	気象天文研究部	○		○		文化部
21	競技麻雀部	○		○		文化部
22	医学部競技麻雀部		○			文化部
23	教育学部八木節研究会	○				文化部
24	群馬大学BBS会（ボランティア・少年少女の悩み）	○	○	○		文化部
25	教育サークル・青竹（ボランティア・児童教育研究）	○				文化部
26	Guit's（アコースティックギター）		○			文化部
27	クラシックギター部	○		○		文化部
28	折紙研究会"Origin"	○	○	○		文化部
29	医学部軽音楽部		○			文化部
30	国際医療ボランティアの会（FORS）		○			文化部
31	混声合唱団	○		○		文化部
32	茶道部	○				文化部
33	写真部（荒牧）	○				文化部
34	写真部（昭和）		○			文化部
35	写真部（桐生）			○		文化部
36	手話サークル　でんでんむし	○				文化部
37	書道部	○				文化部
38	聖書研究会			○		文化部
39	GMA（中学生のネット見守り活動サークル）	○				文化部
40	G. K. オールスターズ	○		○		文化部
41	吹奏楽団	○	○	○		文化部
42	たんぽぽ（自閉症児ふれあい支援）	○				文化部
43	地域活性化団体 enerGy	○				文化部
44	東洋医学研究会		○			文化部
45	読書同好会			○		文化部
46	AAA☆KIDS（トリプルエーキッズ）ボランティア小児喘息		○			文化部
47	ド学連（MD-PhD勉強会）		○			文化部
48	ボードゲームサークル	○	○	○		文化部
49	美術愛好会		○			文化部
50	ビリヤード部		○			文化部
51	ピアノ部		○			文化部
52	PCDC（多文化交流）	○		○	○	文化部
53	ファンタスティック手芸部	○				文化部
54	フィルハーモニックオーケストラ部	○		○		文化部
55	フォーク・ロック愛好会	○		○		文化部
56	Fore－Bridge　Orchestra（ビッグバンドサークル）		○			文化部
57	FLOW　Orchestra	○	○			文化部
58	Voice　Cream（アカペラサークル）	○	○	○		文化部
59	漫画研究部	○		○		文化部
60	マンドリン・ソサエティ		○			文化部
61	前橋文学会		○			文化部
62	民間伝承研究会	○				文化部
63	メサイア管弦楽団・合唱団	○				文化部
64	モダンジャズ研究会（医学部）		○			文化部
65	モダンジャズ研究会（理工学部）			○		文化部
66	野外教育研究会	○	○	○		文化部
67	LAMP（イベント企画団体）	○				文化部
68	LEADS（小児糖尿病）		○			文化部
69	YMCAクラブ（子供たちと交流）	○	○	○		文化部
70	情報メカトロニクス研究部			○		文化部
71	群馬大学BBS会	○	○	○		文化部
72	R. F. C（スノーボード）	○		○		運動部
73	合気道部	○	○	○		運動部
74	アメリカンフットボール部	○		○		運動部
75	医学部サイクリング部　医輪（いちゃり）		○			運動部

整理番号	クラブ・サークル名	主な活動（所属）地域 荒牧	昭和	桐生	太田	区分
76	医学部★ダンスサークル		○			運動部
77	Et's（バスケットボール）		○			運動部
78	学生フォーミュラチーム	○		○	○	運動部
79	空手道部	○		○		運動部
80	弓道部（全学）	○		○		運動部
81	弓道部（医学科）		○			運動部
82	弓道部（保健学科）		○			運動部
83	群馬の希望（サッカー・フットサル）	○				運動部
84	剣道部（全学）	○	○	○		運動部
85	剣道部（医学部）		○			運動部
86	Get's（サッカー）	○	○			運動部
87	硬式テニス部（全学）	○		○		運動部
88	硬式テニス部（医学部）女		○			運動部
89	硬式テニス部（医学部）男		○			運動部
90	硬式野球部	○		○		運動部
91	ゴルフ部（医学部）		○			運動部
92	サイクリング部	○		○		運動部
93	サッカー部（全学）	○				運動部
94	サッカー部（医学部）		○			運動部
95	サバイバルゲーム部			○		運動部
96	少林寺拳法部	○		○		運動部
97	自動車部	○		○	○	運動部
98	柔道部（荒牧）	○	○	○		運動部
99	柔道部（理工学）			○		運動部
100	柔道部（医学）		○			運動部
101	準硬式野球部	○				運動部
102	準硬式野球部（医学部）	○	○			運動部
103	水泳部	○	○	○		運動部
104	スキー部（全学）	○	○	○	○	運動部
105	スキー部（医学部）		○			運動部
106	ソフトテニス部（全学）	○		○		運動部
107	ソフトテニス部（医学部）		○			運動部
108	体操部	○		○		運動部
109	卓球部（全学）	○		○		運動部
110	卓球部（医学部）		○			運動部
111	ダンス部	○				運動部
112	ツバサFCコーチングスタッフ	○				運動部
113	軟式野球サークル　アウィル	○	○	○		運動部
114	ハンドボール部	○				運動部
115	馬術部	○	○	○		運動部
116	バスケットボール研究会	○				運動部
117	バスケットボール部（全学）	○				運動部
118	バスケットボール部（医学部）		○			運動部
119	バスケットボール部（理工学部）			○		運動部
120	女子バスケットボール部（医学部）		○			運動部
121	バドミントン部（全学）	○		○		運動部
122	バドミントン部（医学部）男子		○			運動部
123	バドミントン部（医学部）女子		○			運動部
124	バレーボール部（全学）男子女子	○	○			運動部
125	バレーボール部（医学部）		○			運動部
126	バレーボール部（保健学科）		○			運動部
127	B－STYLE（ダンス）	○		○		運動部
128	ファーストブレイク（バスケットボールサークル）	○				運動部
129	フリースタイル・フットボールサークル	○		○		運動部
130	V. B. C. 桐生（バレーボール）			○		運動部
131	フィールドホッケー部	○				運動部
132	フットサル部	○		○		運動部
133	フットサルサークル		○			運動部
134	ボウリングサークル El Bolos		○			運動部
135	borderless（卓球サークル）	○				運動部
136	ラグビー部（全学）	○		○		運動部
137	ラグビー部（医学部）	○	○			運動部
138	陸上競技部（全学）	○		○		運動部
139	陸上競技部（医学部）		○			運動部
140	Let's　Met's		○			運動部
141	ONE　WAY（バレーボール）	○				運動部
142	RUSH（フットサル）	○				運動部
143	ワンダーフォーゲル部	○	○	○		運動部
144	Gunma University Motorcycle Club（旧バイク部）			○		運動部

令和5年度学部卒業生の進路状況(９月卒業を含む)　【確定】

上段：R4卒
下段：R5卒

区分 / 学部		卒業年度	卒業者数 (A)	進学者数					計 (B)	就職者数										計 (C)	就職活動・準備中	その他 (D)	就職率 (E) E=C/(A-B-D) ×100
				大学院・専攻科	他大学学部等	研究生等	各種専修学校等	留学		業種別内訳													
										教員						医療機関	企業等	公務員等	自営業				
										幼	小	中	高	特別支援	その他								
共同教育学部		R4	225	15			2		17	1	79	37	17	9	1		37	15		196	12		94.2
		R5	**192**	**12**			**1**	**2**	**15**		**49**	**41**	**14**	**9**	**1**		**32**	**17**		**163**	**13**	**1**	**92.6**
社会情報学部		R4	114	1					1								78	21	1	100	8	5	92.6
		R5	**117**	**1**					**1**								**90**	**18**	**2**	**110**	**5**	**1**	**95.7**
医学部	医学科	R4	130	1					1							119				119		10	100.0
		R5	**129**	**1**					**1**							**125**	**1**			**126**	**2**		**98.4**
	保健学科	R4	158	19					19							120	2	12		134	1	4	99.3
		R5	**162**	**25**					**25**							**122**	**6**	**9**		**137**			**100.0**
理工学部		R4	525	339	2	6			347				1		1		131	33		166	3	9	98.2
		R5	**545**	**366**		**3**	**2**		**371**				**2**				**136**	**28**		**166**		**8**	**100.0**
計		R4	1152	375	2	6	2		385	1	79	37	18	9	2	239	248	81	1	715	24	28	96.8
		R5	**1145**	**405**		**3**	**3**	**2**	**413**		**49**	**41**	**16**	**9**	**1**	**247**	**265**	**72**	**2**	**702**	**20**	**10**	**97.2**

令和5年度学部卒業生の進路状況(９月卒業を含む）【確定】

就職活動・準備中、その他内訳

区分 / 学部		就職活動・準備中の者				計	その他							計
		教員採用	公務員	国家資格	その他		帰国（留学生）	家事従事	進学準備		未定	左記以外	不明	
									他大学	大学院				
共同教育学部		7	2	1	3	13	0	0	0	1	0	0	0	1
社会情報学部		0	3	2	0	5	0	0	0	0	1	0	0	1
医学部	医学科	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	保健学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理工学部		0	0	0	0	0	1	0	0	0	7	0	0	8
合　計		7	5	3	5	20	1	0	0	1	8	0	0	10

令和5年度大学院修了生の進路状況(既修了生を含む) 【確定】

上段：R4卒
下段：R5卒

研究科	区分	卒業年度	修了者数(A)	進学者数						就職者数												就職活動・準備中	その他(D)	就職率(E) E=C/(A-B-D)×100
				大学院・専攻科	他大学学部等	研究生等	各種専修学校等	留学	計(B)	業種別内訳											計(C)			
										教員						医療機関	企業等	公務員等	自営業					
										幼	小	中	高	特別支援	その他									
教育学研究科	修士課程・専門職学位課程	R4	20								7	7	3	2	1					20			100.0
		R5	**21**								**8**	**8**	**2**	**1**				**1**		**20**	**1**		**95.2**
社会情報学研究科	修士課程	R4	11										1				5	1		7		4	100.0
		R5	**14**														**10**	**1**		**11**		**3**	**100.0**
医学系研究科	修士課程	R4	9	6					6								2			2		1	100.0
	生命医科学専攻	**R5**	**9**	**3**					**3**							**1**	**3**			**4**		**2**	**100.0**
	博士課程	R4	49												4	38	3			45	2	2	95.7
	医科学専攻	**R5**	**41**													**31**	**3**			**34**	**1**	**6**	**97.1**
保健学研究科	博士前期課程	R4	35	3					3						3	23	6			32			100.0
	保健学専攻	**R5**	**35**	**5**					**5**						**3**	**20**	**5**	**2**		**30**			**100.0**
	博士後期課程	R4	11												5	5				10		1	100.0
	保健学専攻	**R5**	**10**	**1**					**1**						**4**	**3**				**7**		**2**	**100.0**
理工学府	博士前期課程	R4	321	12					12								302	3		305		4	100.0
		R5	**335**	**23**					**23**								**297**	**10**		**307**		**5**	**100.0**
	博士後期課程	R4	15												7		7			14		1	100.0
		R5	**21**												**4**		**17**			**21**			**100.0**
計		R4	471	21					21		7	7	4	2	20	66	325	4		435	2	13	99.5
		R5	**486**	**32**					**32**		**8**	**8**	**2**	**1**	**11**	**55**	**335**	**14**		**434**	**2**	**18**	**99.5**

令和5年度大学院修了生の進路状況(既修了生を含む)【確定】

就職活動・準備中、その他内訳

区分 / 研究科			就職活動・準備中の者				計	その他							計
			教員採用	公務員	国家資格	その他		帰国(留学生)	家事従事	進学準備		未定	左記以外	不明	
										他大学	大学院				
教育学研究科			0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
社会情報学研究科			0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
医学系研究科	修士	生命医科学	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	博士	医科学	0	1	0	0	1	4	1	0	0	1	0	0	6
保健学研究科	博士前期	保健学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	博士後期	保健学	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
理工学府	博士前期		0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	0	0	5
	博士後期		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			0	1	0	1	2	9	2	0	3	4	0	0	18

令和5年度専攻科修了生の進路状況【確定】

上段：R4卒
下段：R5卒

区分 / 専攻科	卒業年度	修了者数(A)	進学者数					計(B)	就職者数										計(C)	就職活動・準備中	その他(D)	就職率(E) E=C/(A-B-D)×100
			大学院・専攻科	他大学学部等	研究生等	各種専修学校等	留学		業種別内訳													
									教員						医療機関	一般企業	公務員	自営業				
									幼	小	中	高	特別支援	その他								
特別支援教育特別専攻科	R4	5								2			3						5			100.0
	R5	**7**								**3**			**2**						**5**	**2**		**71.4**

令和5年度専攻科修了生の進路状況【確定】

就職活動・準備中、その他内訳

区分 / 専攻科	就職活動・準備中の者				計	その他							計
	教員採用	公務員	国家資格	その他		帰国（留学生）	家事従事	進学準備		未定	左記以外	不明	
								他大学	大学院				
特別支援教育特別専攻科	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0

令和5年度　学部卒業生の就職先

【共同教育学部】

■教育

〈小学校〉

前橋市　高崎市　桐生市　伊勢崎市　太田市　沼田市　館林市　渋川市　藤岡市　富岡市　安中市　みどり市　榛東村　片品村　千代田町　大泉町
群馬大学共同教育学部附属小学校
宮城県　茨城県　栃木県　埼玉県　東京都

〈中学校・中等教育学校〉

前橋市　高崎市　桐生市　太田市　沼田市　館林市　渋川市　藤岡市　富岡市　安中市　吉岡町　東吾妻町　昭和村　玉村町　群馬大学共同教育学部附属中学校
埼玉県　東京都　静岡県

〈特別支援学校〉

県立あさひ　県立高崎　県立太田　県立沼田　県立しろがね　県立渡良瀬　高崎市立高崎

〈高等学校〉

県立前橋西　県立渋川　県立下仁田　県立嬬恋　県立尾瀬　県立大泉　太田市立太田　前橋育英　明和県央　樹徳　関東学園大学附属
栃木県　東京都

〈その他〉

つむぎ日本語学院

■公務

群馬県	群馬県警察	前橋市
伊勢崎市	渋川市	吉岡町
下仁田町		
埼玉県	法務省	東京消防庁
海上自衛隊幹部候補生		

■企業・法人等

株式会社群馬銀行	株式会社ジーシーシー	株式会社すいらん
株式会社高崎共同計算センター	株式会社ベイシア	株式会社ミツバ
群馬県住宅供給公社	群馬トヨタ自動車株式会社	GNホールディングス株式会社
しののめ信用金庫	全国農業協同組合連合群馬県本部	特定非営利活動法人工房あかね
トヨタカローラ群馬株式会社	一般財団法人日本健康管理協会伊勢崎健診プラザ	富士部品工業株式会社
国立大学法人群馬大学		
株式会社ココルポート	株式会社臨海（旧　臨海セミナー）	カレント自動車株式会社
株式会社クスリのアオキ	株式会社ケシオン	ALH株式会社
株式会社オートバックスデジタルイニシアチブ	株式会社オーブンハウスグループ	株式会社NECT
株式会社キャムコム	ソーバル株式会社	大学生活協同組合グループ
日本駐車場開発株式会社	バリュエンスホールディングス株式会社	三菱電機ビルソリューションズ株式会社

【社会情報学部】

■公務

群馬県	前橋市	高崎市
桐生市	沼田市	館林市
邑楽町	関東信越国税局	特許庁
福島県	埼玉県	三郷市
小川町	足利市	豊島区
松本市		

■企業・法人等

朝日印刷工業株式会社	株式会社IHIエアロスペース・エンジニアリング	株式会社クライム
株式会社群馬銀行	株式会社群馬農協電算センター	株式会社東和銀行
株式会社とりせん	株式会社両毛システムズ	株式会社若草印刷
桐生信用金庫	社会福祉法人大平台会	東邦工業株式会社
トヨタカローラ群馬株式会社	ニデックアドバンスドモータ株式会社	NEXUS株式会社
国立大学法人群馬大学		
株式会社日立ソリューションズ東日本	JR東日本東北総合サービス株式会社	株式会社東邦銀行
株式会社茨城新聞社	栃木県信用保証協会	株式会社エリアフォース
株式会社東京海上日動パートナーズEAST	埼玉県民共済生活協同組合	アイエックス・ナレッジ株式会社
ウイングアーク1st株式会社	SCSKシステムマネジメント株式会社	株式会社アクト
株式会社ウィルオブ・コンストラクション	株式会社ウィルオブ・ワーク	株式会社SPGホールマン
株式会社FGH	株式会社ABI	株式会社極東電視台
株式会社サニーサイドアップグループ	株式会社JRサービスクリエーション	株式会社セブン＆アイ・ネットメディア
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	株式会社トーハン	株式会社トロナジャパン
株式会社日本経済広告社	株式会社NEW　GATE	株式会社博報堂プロダクツ
株式会社日立ソリューションズ・クリエイト	株式会社マーキュリー	株式会社ミスミ
株式会社ワークポート	関東開発株式会社	キヤノンITソリューションズ株式会社
JUKI株式会社	タリーズコーヒージャパン株式会社	地域力創造株式会社
Chubb損害保険株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	東京電力ホールディングス株式会社
東京発電株式会社	東レ株式会社	戸田建設株式会社
日研トータルソーシング株式会社	日本トムソン株式会社	日本年金機構
能美防災株式会社	農林中央金庫	野村證券株式会社
東日本旅客鉄道株式会社	ビジネスエンジニアリング株式会社	平和食品工業株式会社
HOUSEI株式会社	ユニ・チャーム株式会社	株式会社エクサ
伊那食品工業株式会社	株式会社ユリーカ	信越理研株式会社
株式会社八十二銀行	株式会社ユニテツク	株式会社静岡銀行
株式会社トラスト	リゾートトラスト株式会社	日本生命相互会社

【医学部　医学科】

■医療・福祉業

※病院名は通称で表記

伊勢崎市民病院	公立館林厚生病院	群馬県済生会前橋病院
公立富岡総合病院	渋川医療センター	太田記念病院
高崎総合医療センター	公立藤岡総合病院	群馬中央病院
利根中央病院	前橋赤十字病院	群馬大学医学部附属病院
東北大学病院	筑波メディカルセンター	筑波大学附属病院
友愛記念病院	自治医科大学附属病院	みさと健和病院
春日部市立医療センター	川口市立医療センター	埼玉医科大学総合医療センター
埼玉病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	埼玉県済生会川口総合病院
羽生総合病院	埼玉メディカルセンター	獨協医科大学埼玉医療センター
深谷赤十字病院	春日部中央総合病院	総合病院国保旭中央病院
千葉大学医学部附属病院	千葉徳洲会病院	津田沼中央総合病院
東葛病院	成田赤十字病院	千葉労災病院
大久保病院	関東中央病院	国立国際医療研究センター
東京大学医学部附属病院	立川病院	大田病院
聖路加国際病院	総合病院厚生中央病院	東京医科歯科大学病院
東京共済病院	東京高輪病院	東京都健康長寿医療センター
都立東部地域病院	東京山手メディカルセンター	NTT東日本関東病院
小田原市立病院	湘南鎌倉総合病院	相模原病院
平塚共済病院	横浜市立大学附属病院	横浜市立大学附属市民総合医療センター
新潟県厚生農業協同組合連合会	新潟県立十日町病院	佐久総合病院
長野市民病院	伊東市民病院	神戸中央病院
九州労災病院	済生会長崎病院	熊本医療センター

■企業・法人等

ハヤテグループ

【医学部　保健学科】

■公務

群馬県	群馬県警察	高崎市
伊勢崎市		
茨城県	栃木県	入間市
所沢市		

■医療・福祉業

※病院名は通称で表記

医療法人社団東郷会	角田病院	沼田脳神経外科循環器科病院
群馬県立心臓血管センター	前橋協立病院	公益財団法人脳血管研究所
老年病研究所附属病院	群馬県医師会群馬リハビリテーション病院	公立七日市病院
善衆会病院	太田記念病院	せせらぎ病院
公立藤岡総合病院	前橋赤十字病院	榛名荘病院
医療法人社団日高会	わかば病院	群馬大学医学部附属病院
由利本荘医師会	東北大学病院	松田病院
東北労災病院	福島県立医科大学	茨城県厚生農業協同組合連合会
筑波記念会筑波記念病院	筑波大学附属病院	自治医科大学附属病院
上都賀総合病院	栃木県済生会宇都宮病院	栃木県立リハビリテーションセンター
上尾中央総合病院	北里大学メディカルセンター	羽生総合病院
戸田中央メディカルケアグループ	深谷赤十字病院	本庄脳神経外科・脊椎外科
順天堂大学医学部附属浦安病院	千葉大学医学部附属病院	杏林大学医学部附属病院
国立成育医療研究センター	東京大学医学部附属病院	虎の門病院
順天堂大学医学部附属練馬病院	南町田病院	都立大塚病院
東京医科歯科大学病院	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	東京都予防医学協会
東京都立病院機構	北里大学病院	横須賀共済病院
新百合ヶ丘総合病院	済生会横浜市東部病院	聖マリアンナ医科大学病院
湘南鎌倉総合病院	横浜市立大学附属病院	富山大学附属病院
坂井市立三国病院	竹重病院	千曲中央病院
信州大学医学部附属病院	佐久総合病院	長野赤十字病院
医療法人社団アールアンドオー	中東遠総合医療センター	静岡済生会総合病院
聖隷浜松病院	浜松医科大学医学部附属病院	兵庫医科大学ささやま医療センター
津谷内科呼吸器科クリニック	九州大学病院	小倉記念病院

■企業・法人等

社会福祉法人樫の木	株式会社食環境衛生研究所	
放課後等デイサービス・児童発達支援わくわくこども広場	株式会社こぱんはうすさくら	株式会社スタッフサービス
ニッセイ情報テクノロジー株式会社		

【理工学部　化学・生物化学科】

■教育

〈高等学校〉
群馬県立高等学校　学校法人佐藤栄学園

■公務

農林水産省
足利市
厚生労働省栃木労働局
栃木市消防本部
宇都宮市

■企業・法人等

王子製鉄株式会社
株式会社ジーシーシー
株式会社ミツバ
関東電化工業株式会社
白十字株式会社
日新製薬株式会社
株式會社総研
埼玉ゴム工業株式会社
ニチバン株式会社
株式会社パートナーズ
三菱製紙株式会社
アルテア技研株式会社
株式会社クスリのアオキ
株式会社ワイエムシィ
株式会社 ABC Cooking Studio
株式会社ベイシア
株式会社ヤマニ醤工業
群栄化学工業株式会社
全国農業共同組合連合会
フタバ食品株式会社
株式会社武蔵野ホールディングス
前澤化成工業株式会社
株式会社コアテック
株式会社ランクアップ
山崎製パン株式会社
日本発条株式会社
ミネベアミツミ株式会社
近畿日本鉄道株式会社
株式会社エフテック
株式会社ペヤングホールディングス
株式会社群馬銀行
太陽誘電株式会社
東ソー・クォーツ株式会社
株式会社JSP
高田製薬株式会社
東京化成工業株式会社
株式会社ティエム2
三愛オブリ株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
富士食品工業株式会社
株式会社佐藤工業

【理工学部　機械知能システム理工学科】

■公務

栃木県
国土交通省関東地方整備局

■企業・法人等

サンデン株式会社
株式会社岡本工作機械製作所
太陽誘電株式会社
曙ブレーキ工業株式会社
株式会社アウトソーシングテクノロジー
株式会社日立ビルシステム
澁谷工業株式会社
株式会社SUBARU
株式会社柿沼製作所
日本精工株式会社
株式会社キッツ
株式会社ジーシー
国際自動車株式会社
株式会社SCREEN　SPEサービス
株式会社ミツバ
小倉クラッチ株式会社
不二ラテックス株式会社
イー・アンド・エム株式会社
株式会社ビーネックステクノロジーズ
Foonz株式会社

【理工学部　環境創生理工学科】

■公務

群馬県
桐生市
国土交通省関東地方整備局
新潟市
前橋市
渋川市
さいたま市
富士宮市
高崎市
茨城県
熊谷市

■企業・法人等

河本工業株式会社
三益半導体工業株式会社
独立行政法人水資源機構
株式会社J－POWERハイテック
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社メガネトップ
株式会社アプリス
株式会社フレッセイ
アキレス株式会社
アイアンドエルソフトウェア株式会社
株式会社アイシンク
株式会社リボルブ・シス
株式会社ホームロジスティクス
株式会社ダイセキ
株式会社森エンジニアリング
株式会社エイチワン
ブルースクレイ・ジャパン株式会社
株式会社アウトソーシングテクノロジー
東京水道株式会社
株式会社クラレ
株式会社テクノ中部

【理工学部　電子情報理工学科】

■公務

総務省

■企業・法人等

イーケーエレベータ株式会社
マックス株式会社
株式会社ベイシア
三益半導体工業株式会社
インガルス株式会社
ソフトウエア技術株式会社
ルネサスエレクトロニクス株式会社
株式会社アクセルエンターメディア
株式会社ゼネット
株式会社日立ソリューションズ・クリエイト
東京電力ホールディングス株式会社
東芝デジタルソリューションズ株式会社
JRCエンジニアリング株式会社
三菱電機ソフトウエア株式会社
コンピュートロン株式会社
株式会社シーエスエム
株式会社日東システムテクノロジーズ
株式会社東精エンジニアリング
キオクシア株式会社
ナショナルソフトウェア株式会社
株式会社NTTデータアイ
株式会社システム情報
株式会社フェローズ
三井住友トラスト・システム＆サービス株式会社
富士電機株式会社
日本発条株式会社
セイコーエプソン株式会社
サンデン株式会社
株式会社ジーシーシー
株式会社両毛システムズ
NECソリューションイノベータ株式会社
システムズ・デザイン株式会社
パーソルプロセス＆テクノロジー株式会社
株式会社アウトソーシングテクノロジー
株式会社ジャステック
株式会社マイスターエンジニアリング
三菱総研DCS株式会社
株式会社ハイマックス
パワーシステム株式会社
シャープエネルギーソリューション株式会社

【理工学部　総合理工学科】

■公務

埼玉県
石川県警察

■企業・法人等

株式会社山田製作所
株式会社アプリス
三菱電機株式会社
株式会社BBS金明
株式会社カンセキ
株式会社ウィルオブ・コンストラクション
清水建設株式会社
テラテクノロジー株式会社
株式会社ミラクルソリューション
矢崎総業株式会社

令和5年度　大学院修了生の就職先

【教育学研究科】

■教育

〈小学校〉
高崎市　桐生市　伊勢崎市　みどり市　下仁田町　横浜市

〈中学校〉
前橋市　館林市　富岡市　吉岡町　明和町　邑楽町　羽生市

〈高等学校〉
県立前橋東　県立高崎女子

〈特別支援学校〉
県立赤城

■公務

中部教育事務所

【社会情報学研究科】

■公務

農林水産省

■企業・法人等

株式会社ミツバ	群馬県商工会連合会	太陽誘電株式会社
NECプラットフォームズ株式会社	エス・ビー・エス株式会社	株式会社シード
株式会社ソニックウェア	ニチコン株式会社	KCVコミュニケーションズ

【医学系研究科 修士課程 生命医科学専攻】

■医療・福祉業　※病院名は通称で表記

南方医科大学付属第5病院

■企業・法人等

株式会社EP綜合	株式会社マイクロン	キヤノンメディカルシステムズ株式会社

【医学系研究科 博士課程 医科学専攻】

■医療・福祉業　※病院名は通称で表記

伊勢崎市民病院	老年病研究所附属病院	公立藤岡総合病院
長谷川歯科医院	群馬中央病院	日高病院
前橋赤十字病院	群馬大学医学部附属病院	日本海総合病院
さいたま市こころの健康センター	杏林大学医学部付属病院	

■企業・法人等

国立大学法人群馬大学	国立感染症研究所	国立大学法人大阪大学

【保健学研究科 博士前期課程 保健学専攻】

■教育

高崎健康福祉大学	前橋医療福祉専門学校	国立大学法人群馬大学

■医療・福祉業　※病院名は通称で表記

あさくらスポーツリハビリテーションクリニック	伊勢崎市民病院	県立小児医療センター
石井病院	群馬中央病院	前橋赤十字病院
利根中央病院	群馬大学医学部附属病院	岩手県医療局
獨協医科大学病院	佐野厚生農業協同組合連合会	埼玉よりい病院
埼玉医科大学病院	深谷赤十字病院	東京大学医学部附属病院
日本医科大学付属病院		

■企業・法人等

株式会社クライム	積水メディカル株式会社	PHC株式会社
東洋紡株式会社	株式会社アイロムグループ	

■公務

高崎市

【保健学研究科 博士後期課程 保健学専攻】

■教育

群馬医療福祉大学	城西国際大学	帝京科学大学

■医療・福祉業　※病院名は通称で表記

内田病院	公立七日市病院	上武呼吸器科内科病院

【理工学府 博士前期課程 物質・生命理工学教育プログラム】

■公務

経済産業省　栃木県

■企業・法人等

カーリットホールディングス株式会社	カネコ種苗株式会社	マックス株式会社
ラジエ工業株式会社	株式会社ヨコオ	株式会社環境技研
株式会社山田製作所	太陽誘電株式会社	日清紡ホールディングス株式会社
日新製薬株式会社	シミックCMO株式会社	デクセリアルズ株式会社
株式会社エンプラス	株式会社タムラ製作所	東洋インキSCホールディングス株式会社
独立行政法人農林水産消費安全技術センター	三井化学株式会社	TDKラムダ株式会社
アキレス株式会社	アクアス株式会社	ジャスコインタナショナル株式会社
リケンテクノス株式会社	リンテック株式会社	ルネサスエレクトロニクス株式会社
株式会社コスモビューティー	株式会社ニップン	株式会社ワールドインテック
株式会社伊藤園	株式会社三ツ矢	株式会社日本色材工業研究所
興研株式会社	興国インテック株式会社	三井情報株式会社
住友商事ケミカル株式会社	雪印メグミルク株式会社	大日精化工業株式会社
凸版印刷株式会社	日興リカ株式会社	日清紡マイクロデバイス株式会社
日本ジェネリック株式会社	日本航空株式会社	日本製鉄株式会社
日本分光株式会社	オイレス工業株式会社	プライムデリカ株式会社
ワミレスコスメティックス株式会社	株式会社DJK	株式会社JCU
大阪サニタリー株式会社	日本曹達株式会社	株式会社ブルボン
十全化学株式会社	住友電気工業株式会社	ひかり味噌株式会社
ニチアス株式会社	ヤンセンファーマ株式会社	株式会社巴川製紙所
中外製薬工業株式会社	トヨタ紡織株式会社	愛知機械工業株式会社
株式会社イノアックコーポレーション	日本特殊陶業株式会社	ヤマウチ株式会社
ローム株式会社	アドバンテック株式会社	日東電工株式会社

【理工学府 博士前期課程 知能機械創製理工学教育プログラム】

■公務

埼玉県　大阪市

■企業・法人等

サンデン株式会社	マックス株式会社	沖電気工業株式会社
株式会社SUBARU	株式会社両毛システムズ	小倉クラッチ株式会社
太陽誘電株式会社	株式会社ナガオカ	SMC株式会社
日立Astemo株式会社	レオン自動機株式会社	キヤノン・コンポーネンツ株式会社
株式会社エー・アンド・デイ	株式会社ニコン	富士電機機器制御株式会社
株式会社日立産機システム	住友重機械工業株式会社	NECソリューションイノベータ株式会社
NECレノボ・ジャパングループ	SMC株式会社	TDK株式会社
WDB工学株式会社	カーリットホールディングス株式会社	パーソルクロステクノロジー株式会社
ボッシュ株式会社	ルネサスエレクトロニクス株式会社	花王株式会社
株式会社イー・ビジネス	株式会社クイック	株式会社トップ
株式会社フジクラ	株式会社レゾナック	株式会社荏原製作所
株式会社日立ビルシステム	株式会社明電舎	住友重機械工業株式会社
積水化学工業株式会社	太陽誘電モバイルテクノロジー株式会社	東京エレクトロン株式会社
東京電力ホールディングス株式会社	東日本高速道路株式会社	日立Astemo株式会社
能美防災株式会社	富士電機株式会社	本田技研工業株式会社
いすゞ自動車株式会社	キオクシア株式会社	株式会社オカムラ
株式会社小野測器	東芝情報システム株式会社	日産自動車株式会社
信越化学工業株式会社	株式会社不二越	株式会社PFU
セイコーエプソン株式会社	ジヤトコ株式会社	スズキ株式会社
芝浦機械株式会社	浜松ホトニクス株式会社	トヨタ自動車株式会社
株式会社豊田自動織機	三菱電機株式会社	竹田設計工業株式会社
武蔵精密工業株式会社	株式会社村田製作所	株式会社神戸製鋼所
新明和工業株式会社	今治造船株式会社	

【理工学府 博士前期課程 環境創生理工学教育プログラム】

■公務

群馬県
静岡県
高崎市
経済産業省

■企業・法人等

FDK株式会社
三機工業株式会社
藤田デバイス株式会社
株式会社藤井製作所
DIC株式会社
オルガノ株式会社
ライオン株式会社
株式会社明電舎
首都高技術株式会社
千住金属工業株式会社
東京電力ホールディングス株式会社
東洋インキSCホールディングス株式会社
株式会社ニューフレアテクノロジー
ジェイアール東海コンサルタンツ株式会社
マルホ株式会社
非破壊検査株式会社
沖電気工業株式会社
太陽誘電株式会社
タカノフーズ株式会社
日清紡ホールディングス株式会社
ウシオ電機株式会社
サンヨー食品株式会社
株式会社ニップン
三菱自動車工業株式会社
首都高速道路株式会社
大成建設株式会社
東電設計株式会社
日産化学株式会社
株式会社ミマキエンジニアリング
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社メガチップス
株式会社SUBARU
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社レゾナック
AKKODiSコンサルティング株式会社
オリジナル設計株式会社
パシフィックコンサルタンツ株式会社
株式会社日清製粉ウェルナ
鹿島建設株式会社
水ingAM株式会社
東海カーボン株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
キョーラク株式会社
新光電気工業株式会社
株式会社奥村設計
日本振興株式会社

【理工学府 博士前期課程 電子情報・数理教育プログラム】

■公務

群馬県

■企業・法人等

サンデン株式会社
株式会社SUBARU
株式会社プロコード
アクモス株式会社
沖電気工業株式会社
エイブリック株式会社
TDK株式会社
かんぽシステムソリューションズ株式会社
パナソニック株式会社
株式会社DNP情報システム
株式会社インフォテクノ朝日
株式会社ブロードバンドタワー
株式会社日立ハイテクソリューションズ
高砂熱学工業株式会社
東京電力ホールディングス株式会社
日本ビジネスシステムズ株式会社
八千代エンジニヤリング株式会社
ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
株式会社フジシステムズ
東京エレクトロン株式会社
株式会社コナミアミューズメント
株式会社ダスキン
マックス株式会社
株式会社アドバンテスト
石崎バイオ
キヤノン電子株式会社
秩父鉄道株式会社
DATUM STUDIO株式会社
アルプスアルパイン株式会社
サイオス株式会社
ルネサスエレクトロニクス株式会社
株式会社NTTデータ
株式会社オープンストリーム
株式会社大気社
岩崎電気株式会社
三菱電機株式会社
東芝エネルギーシステムズ株式会社
日本情報通信株式会社
富士通Japan株式会社
嘉利日本株式会社
株式会社マクニカ
セイコーエプソン株式会社
中日本高速道路株式会社
株式会社モリタホールディングス
沖電気工業株式会社
株式会社ジーシーシー
東京パーツ工業株式会社
日清紡マイクロデバイス株式会社
LINEヤフー株式会社
エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社
バーチャレクス・コンサルティング株式会社
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
株式会社NTTデータアイ
株式会社ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング
株式会社東京測器研究所
原燃輸送株式会社
東京コンピュータサービス株式会社
凸版印刷株式会社
日本電気株式会社
本田技研工業株式会社
株式会社アルプス技研
日本システムサポート株式会社
ミネベアミツミ株式会社浜松工場
京セラコミュニケーションシステム株式会社
三菱電機株式会社

【理工学府 博士後期課程】

■教育

国立大学法人群馬大学

■企業・法人等

株式会社ヨコオ
DIC株式会社
株式会社重松製作所
ウエスタンデジタルテクノロジーズ合同会社
天野エンザイム株式会社
百度
山東大学
天津力神電池有限公司
産業技術総合研究所
シチズン時計株式会社
協和キリン株式会社
株式会社JVCケンウッド
華中科技大学同済病院
中国科学院プロセス工学研究所
Aquafil Japan株式会社
株式会社JDSC
第一三共株式会社
株式会社環境地質
湖州師範学院(Huzhou University)
中国兵器工業集団有限公司

令和5年度 専攻科修了生の就職先

【特別支援教育特別専攻科】

■教育

〈小学校〉
高崎市
桐生市
下仁田町

〈特別支援学校〉
県立あさひ 県立聾

8.1.28　　2023 年度 学生募集広報まとめ

2023 年度 学生募集広報まとめ

2024 年 4 月 15 日
アドミッションセンター

1,＜前提として＞

①アドミッションセンター（旧：広報本部学生受入部門）では 2020 年度から、過去 3 年の本学への志願者数（一般選抜＋特別選抜）に基づいた戦略的かつ具体的な学生募集広報の指針**「高校アプローチ戦略」（別紙１）**を策定し、全学としての説明会、模擬授業、高校訪問などを行ってきた。

②「高校アプローチ戦略」は毎年度初めの 4～5 月、最新の入試データをもとに更新・作成し、その年度の「高校アプローチ戦略」として活用、高校と本学との良好な関係構築を図り、より優秀な学生の獲得を目指している。

2,＜2023 年度の学生募集広報活動について総括＞

◇太田キャンパスで説明会を初開催

2023 年度における大学説明会の実施は昨年度並の 119 校であったが、そのうちオンラインでの対応が昨年度より 18 校減少し、25 校となった。新型コロナウイルス感染症の発生から 5 年目という年であったが、オンラインを活用しつつも、対面での説明会を望む高校がコロナ前のように戻ってきている印象である。また、初の取り組みとして「群馬大学説明会 at 太田キャンパス」と題し、太田キャンパスにおける本学主催の説明会を開催した。説明会だけでなく、マスメディア向けにプレスリリースを行ったりキャンパスツアーを行ったりして、太田キャンパスの PR の場ともなった。東毛地区を中心に定員を超える申込・参加があり、高いニーズを示したことから、2024 年度も開催する予定である。

◇アドミッションセンターが実施する模擬授業

2023 年度からアドミッションセンターが実施する模擬授業を本格スタートさせ、講師陣には本学の OB・OG 教員も加え、文理合わせて 12 講座（2024 年 3 月時点）をそろえた。2023 年度は県内を中心に樹徳高校や富岡高校などで 5 回実施した。引き続き積極的に実施し、各学部の負担を減らすとともに、高校側のオファーにできる限り迅速に対応していきたい。

◇高校への直接配信

2020 年度スタートの全学としての高校訪問や、大学説明会の実施などで本学と直接つながった高校教員の名簿は、2023 年度末で約 220 名となった。オープンキャンパス実施のタイミングや学生募集要項公表といった情報はメールで直接こうした高校教員に送っている。この方法以外にも、アドミッションセンターでは全国の高校に一斉広報できる有料システム（高大コネクトサービス）を取り入れているため、各学部においても広報したい案件があれば、アドミッションセンターまでご連絡いただきたい。

3,＜具体的な施策＞

3-1, 主に高校生を対象

種別	開催日	実施内容・回数・参加者数等	実施者
大学説明会 （詳細**別紙２**）	通年	延べ 119 校（うちオンライン 25 校） （2022 年度 125 校、2021 年度 64 校）	アドミッション センター 学生受入課 各学部
模擬授業 （詳細**別紙２**）	通年	延べ 42 校（うちオンライン 5 校） （2022 年度 49 校、2021 年度 50 校）	アドミッション センター 各学部

大学見学 （詳細**別紙２**）	通年	群馬、栃木、埼玉、長野の 4 県から 11 校	アドミッション センター 各学部
全学オープン キャンパス GU’ DAY2023 （オンライン）	通年	通年のオープンキャンパスサイトを作成・公開	総務部総務課 アドミッション センター 学生受入課
夢ナビ（夏期）	7 月 15 日(土)、 16 日（日）	・夢ナビライブ 2023Web in Summer ⇒学部教員による、夢ナビ講義 Video・講義ライブ質問対応・研究室訪問（115 名参加） ⇒アドミッションセンターによる大学説明会（79 名参加）	アドミッション センター
夢ナビ（秋期）	10 月 20 日 （土）、21 日 （日）	・夢ナビライブ 2023Web in Autumn ⇒学部教員による、夢ナビ講義 Video・講義ライブ質問対応・研究室訪問（236 名参加） ⇒学生によるオンラインセミナー（トークライブ）（172 名参加）	アドミッション センター
群馬大学説明会 at 太田キャンパス （新規）	12 月 27 日(水)	東毛地区を中心に高校生 37 名、保護者 14 名、高校教員 2 名の計 53 名参加 ※申込：高校生 44 名、保護者 21 名、高校教員 2 名＝計 67 名	アドミッション センター

※各学部のオープンキャンパスイベント

種別	開催日	実施内容・回数・参加者数等	実施者
2023 共同教育学部オープンキャンパス （来校型）	7 月 23 日(日)	（１）各専攻における「体験型イベント」 ・国語専攻ワークショップ ・英語専攻ワークショップ ・数学専攻ワークショップ ・音楽専攻演奏会 ・美術専攻授業体験 （２）在学生（学生広報大使等）によるイベント ・在学生と高校生によるフリートーク，ミニキャンパスツアー ・在学生による個別相談コーナー ※イベント参加者計　延べ 340 名 （高校生 269 名、保護者 71 名）	共同教育学部
2023 情報学部オープンキャンパス （来校型）	7 月 23 日(日)	学部の概要、入試概要、模擬授業、PBL 授業の成果発表のイベント、キャンパスツアー＆トークイベント等の体験（387 名の参加）	情報学部
2023 情報学部オープンキャンパス（WEB）	9 月 26 日(火)、 ～29 日（金）	来校型に申し込めなかった生徒向けに学部の概要動画等をホームページで配信	情報学部

2023 医学科オープンキャンパス（来校型）	8 月 14 日（月）～18 日（金）	・スキルラボセンター・シミュレータ体験＆研究室見学ツアー （申込者 264 名、参加者 240 名）	医学科
2023 保健学科オープンキャンパス（来校型）	8 月 8 日（火）、9 日（水）、10 日（木）	・キャンパスツアー ・Q&A （申込者 877 名、参加者 793 名）	保健学科
2023 保健学科オープンキャンパス（WEB）	7 月 31 日（月）、8 月 1 日（火）2 日（水）、21 日（月）	Zoom 授業体験 （4 つの Zoom 授業体験　平均 43 名程度の参加）	保健学科
2023 理工学部オープンキャンパス（来校型）	9 月 9 日（土）、10 日（日）	・研究室見学・ミニ講義（夢ナビ TALK） ・ミニ講義 ・群馬大学理工学部まるわかりセミナー ・群馬大学理工学部紹介動画～Find your future with us…！ ・機器分析センター「マイスター育成プログラム」説明会 ・学生広報大使トークライブ ・大学生と何でも話せるカフェ 先輩リケジョとゆるゆるトーク【女子生徒限定企画】 ・理工学部有志学生による YouTube ラジオ「だべラジ」ON AIR!! ・駆けろ世界を！群馬大学の留学プログラム ・個別相談コーナー（入試，カリキュラム，学生生活，グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラム，障害サポート） ・部活・サークル紹介 ・低速電動バス（MAYU）試乗体験 （申込者 528 名、コロナ禍のため抽選の上 269 名参加 （申込者 2,142 名、参加者 1,752 名）	理工学部

3-2, 主に高校（教員）を対象

種別	開催日	内容	対応・実施者
高校訪問 （詳細**別紙２**）	通年	主に進路担当教員を対象、28 校 （2022 年度 16 校、2021 年度 38 校）	アドミッションセンター 各学部
入試懇談会	5 月 26 日（金）	大学入試や高大連携に関する東京・多摩地区高校進路指導協議会主催の懇談会 東京都・神奈川県・埼玉県の高校 31 校参加	アドミッションセンター
入試説明会	6 月 23 日（金）	本学主催オンライン入試説明会 過去 3 年で志願実績のある高校 1,331 校に周知し、75 校参加 （2022 年度 79 校、2021 年度 74 校）	アドミッションセンター 学生受入課

本学入試情報公開	7 月 24 日（月）	高校教員向けに、2024 年度入試の資料を本学 web サイトで公開	アドミッションセンター 学生受入課
入試説明会	8 月 8 日（火）	東京・多摩地区向けオンライン入試説明会 都立高校中心に 16 校参加	アドミッションセンター
入試説明会	12 月 22 日（金）	静岡向けオンライン入試説明会 静岡県の高校 18 校参加	アドミッションセンター

3-3, 情報の発信、送付

実施日	内容	対象	対応
通年	オンライン入試説明会、オープンキャンパス、学生募集要項公表等の情報をメールで随時送信	・高校訪問等の現場で名刺交換した高校教員約 220 名 ・6 月 23 日のオンライン入試説明会に参加した高校 75 校	アドミッションセンター
通年	「高大コネクトサービス」で、オンライン入試説明会、オープンキャンパス、学生募集要項公表等の情報を随時配信	全国の高校 3,600 校	アドミッションセンター 学生受入課
4 月	群馬大学案内 2024	過去 3 年で志願実績のある高校 1,331 校の進路担当教員	アドミッションセンター

3-4, 有料広告案件

実施日	媒体名	内容	規格・部数等	対応
4 月 1 日～（2021 年度から契約更新）	JR 桐生駅電照看板	理工学部改組紹介	JR 桐生駅に電照看板設置	理工学部
4 月 1 日～（2021 年度から契約更新）	太田駅電照看板	理工学部改組紹介	太田駅に電照看板設置	理工学部
6 月～	東武川俣駅デジタルサイネージ広告	理工学部の紹介動画を流す	東武鉄道川俣駅構内にある日本キャンパック管理のデジタルサイネージ※無償	理工学部
6 月 16 日～	上毛新聞	オープンキャンパス告知、大学概要、入試場情報	・オープンキャンパス告知を掲載したタブロイド紙を、県内高校へ配布配布 ・WEB サイト「みんなの進路」に大学概要と入試情報を掲載（2024 年 3 月 31 日まで）	アドミッションセンター
7 月	生活情報誌 ・桐生みどりフリモ ・伊勢崎フリモ 7 月号	オープンキャパス告知	桐生みどりフリモ 50,000 部発行、伊勢崎フリモ 63,000 部発行 世帯ｶﾊﾞｰ率 70%	理工学部

8月21日～ 9月8日	Google広告	オープンキャパス告知	広告運用ｻﾎﾟｰﾄ、ﾊﾞﾅｰ制作含む	理工学部
1月13日～ 1月31日	Google広告	冬出願告知	広告運用ｻﾎﾟｰﾄ、ﾊﾞﾅｰ制作含む	理工学部
10月1日発行	長野県民新聞別冊（「近隣県の大学特集」）	大学概要、SNS等の紹介	・発行部数4万部 ・長野県の全高校2、3年生に、高校を通して直接配布	アドミッションセンター

※大学説明会、模擬授業等の件数はデータブレイン「高校アプローチ管理」から集計（延べ数）

【参考】総務部総務課等で取り組んだ学生募集広報にも関連する事項

概要	展開等	実施内容
創基150周年記念動画作成	11月	卒業生らのメッセージを多く含んだ記念動画を各学部、同窓会、学生広報大使、総務課で協力して作成し、本学webサイトで公開
創基150周年記念事業のフライヤー配付	11月	卒業生の活躍を知ってもらおうと、前橋市の高校生全員に配付（計9000枚以上）
本学紹介動画作成	12月	一般の方々や高校生らに本学を紹介する際に活用できる動画を公開

8.1.29　　2023 年度 高大連携まとめ

2023 年度　高大連携まとめ

2024 年 4 月 15 日
アドミッションセンター

1,＜前提として＞

高大連携の考え方（2022 年 9 月 13 日高大連携・学生募集広報委員会資料（別紙 1）から抜粋）

1-1. 高大連携とは？

高大連携とは広義にとらえると「大学が高校との接点を有するすべての活動」であり、この場合は学生募集広報も含まれる。狭義にとらえる場合は、①「高校発の高大連携プログラムに大学として対応していくタイプ」、②「大学発の高大連携プログラムに高校側を応じさせていくタイプ」が考えられる。①には例えば「総合的な探究の時間」にかかわる高校からの要望に応えること、②には例えば総合型選抜につなげる入試設計やアドミッションセンターが提供する模擬授業などが含まれる。

1-2. 本学の高大連携におけるスタンス

本学としてはマンパワーや予算などを勘案し、当面は狭義のスタンスで高大連携をとらえ、文部科学省や高校の動向を踏まえた上で柔軟に対応していきたい。

2,＜2023 年度の高大連携について総括＞

◇2022 年度までは県内公立高校との連携がほとんどだったが、2023 年度にアドミッションセンターへ新規に相談や依頼のあった高校は、いずれも私立や県外の高校だった。本学の活動が周知され、幅広い高校へのアピールにつながっていると考えられる。

◇高校からの依頼内容は多岐にわたっており、大学との連携をうまく活用していることがうかがえる。本学も、高大連携を情報収集などの場として活用できるよう、効果的な高大連携の在り方を考える必要がある。

3,＜実績＞

3-1. 高校からの相談対応

日付	高校名	相談内容	対応部署
4 月 11 日	高崎北	学生募集、大学教員へのインタビューについて	AC
5 月 31 日	太田	大学教員へのインタビューについて	AC
8 月 2 日	太田女子	大学教員へのインタビューについて	AC
8 月 24 日	高崎女子	大学教員へのインタビュー、その他高大連携について	AC
11 月 28 日	茨城県立緑岡	探究授業についての全般的な内容について	AC
11 月 29 日	桐生	群馬大学桐生高校化学教育検討会	理工学部
1 月 31 日	樹徳	学生募集について	AC
2 月 9 日	前橋育英	大学教員へのインタビューについて	AC
2 月 16 日	高崎健康福祉大学高崎	大学教員へのインタビューについて	AC

3-2. 大学生の高校への派遣

総合的な探究の時間に本学の学生が参加し、高校生の探究活動に対する指導助言を行うもの。

（大学は学生への周知をするのみ）

高校名	内容	参加学生
高崎北	授業（年 4 回）と中間報告会における生徒への指導助言	井上乃の加、髙島颯太、中林愛結、坂実祐（教育） 箱守成那、増田日菜里（情報）、尾池恵摘（保健） 織茂颯汰、松本衣理（理工）
樹徳	授業での指導助言 （実質的な活動は、2024 年度）	新井佑奈（教育）、加藤聖二（情報） 松原希宝、若林哲也（理工）

3-3. 大学教員へのインタビュー

高校生が自身の探究活動について大学教員にインタビューを行うもの。

	高校名	教員所属	教員氏名
1	太田	共同教育	紺谷正樹
2	太田	共同教育	栗原淳一
3	高崎北	共同教育	安藤哲也
4	高崎北(No.3 とは別人)	共同教育	安藤哲也
5	高崎北	共同教育	金澤貴之
6	高崎北	共同教育	紺谷正樹
7	高崎北	共同教育	大島みずき
8	高崎北	共同教育	中雄勇人
9	高崎北	共同教育	小泉健輔
10	高崎北	共同教育	渡部孝子
11	高崎経済大学附属	共同教育	藤森健太郎
12	高崎健康福祉大学高崎	共同教育	小林正行
13	高崎健康福祉大学高崎	共同教育	藤森健太郎
14	高崎北	情報	青山一真
15	高崎北	情報	江良亮
16	市立太田	医学	田中和美、安田正人、大嶋圭子（看護師長）
17	太田	医学	呼吸器外科、消化器外科、放射線部
18	太田女子	医学	看護部
19	高崎北	医学	半田寛
20	高崎北	医学	福田正人
21	高崎経済大学附属	医学	阿部知伸
22	館林女子	医学	小野里香織（臨床検査技師）
23	高崎健康福祉大学高崎	保健	牛久保美津子
24	高崎健康福祉大学高崎	保健	梨木恵実子
25	高崎北	保健	山路雄彦
26	高崎北	保健	中澤理恵
27	高崎北	保健	田鹿毅
28	高崎女子	保健	國清恭子
29	太田	理工	本島邦行
30	太田女子	理工	奥浩之
31	高崎女子	理工	粕谷健一
32	前橋育英	理工	粕谷健一

3-4. 大学教員の派遣

総合的な探究の時間(SSH を含む)に本学教員が参加し、高校生の探究活動に対する指導助言等を行う。

高校名	実施内容	対応教員	学部等
伊勢崎	探究学習支援	中村賢治（数理）	数理
市立太田	探究授業での研究紹介 理系進路講演、実験教室	奥浩之、中沢信明、山路稔（理） 奥浩之（理）	理工
県立太田	探究講演会	ウクライナ学生、研究員	GIC
桐生	各種講義演習、探究、部活動への指導助言、発表会における指導講評等 18 件	小竹裕人（情）、 天谷賢児、天羽雅昭、石間経章、海野雅史、小島由美、大嶋孝之、金井昌信、高橋学、田中勇樹、中沢信明、野田玲治、茂木和弘、本島邦行、山田功、弓仲康史、吉原利忠（理）、大澤研二（名誉教授）	情報 理工
渋川女子	理系クラスへの研究紹介	佐々木伸雄、藤谷与士夫（生調研）	生調研
樹徳	課題発見のための模擬授業 報告会での指導講評	宮本俊一（AC）、杉山学（情）、板橋英之（理）、 富山慶典、西薗大実（名誉教授）	情報 理工 AC
高崎	専門講座 社会人講師授業	青木悠樹、中村賢治（数理）、 徳江浩之（医）	医 数理 C
高崎経済大学附属	連続出張授業 探究授業での指導助言	中村賢治（数理） 佐藤綾（教）	教育 数理 C
館林女子	探究授業での講演	小野里香織（医・臨床検査技師）	医
玉村	連続出張授業 教員への指導助言	飯島睦美（GIC）	GIC
中央中等	探究授業での施設見学対応、研究室紹介	大野達也（重粒子）	重粒子
富岡	探究活動発表会における指導講評 2 件	中沢信明、田中勇樹（理）	理工
藤岡中央	ロボットプログラミング講座	山田功（理）	理工
市立前橋	演劇部指導助言	中村賢治（数理）	数理
県立前橋	講義、見学、交流会、探究活動発表会における指導講評 4 件	岩﨑浩之、佐藤綾（教）、柿本敏克（情） 板橋英之、天羽雅昭、尾崎純一、小林里江子、 弓仲康史（理）、青木悠樹、中村賢治（数理） 大澤研二（名誉教授）	教育 情報 理工 数理 C
前橋女子	講義実習 研究紹介模擬授業	板橋英之（理） 生体調節研究所	理工 生調研
四ツ葉学園	探究活動発表会における指導講評	富山慶典（名誉教授）	AC
埼玉県立熊谷	医学進路講演	堀口昇男（医）	医
愛知県立津島東	進路指導講演	小林良祐（生調研）	生調研
愛媛県立川之江	講演	藤原亜希子（食）	食健康
複数高校	前橋高校・高崎高校 探究交流会での指導助言	板橋英之（理）、青木悠樹（数理）	理工 数理
複数高校	群馬県高等学校校長協会進学対策委員会主催　県内高校生への医学進路セミナー	羽鳥麗子、錦戸彩加、荒木祐樹（医）	医

高校名	実施内容	対応教員	学部等
複数高校	群馬県主催、群馬県地域医療支援センター実施　医師という職業への理解を深める体験（病院見学、高校生との交流対応）	羽鳥麗子、錦戸彩加、荒木祐樹（医）	医
複数高校	群馬県 SSH 等合同成果発表会での指導助言	日置英彰、佐藤綾（教）、中村賢治（数理）	教育 数理
複数高校	Ｇ７群馬高崎デジタル・技術大臣会合開催推進協議会主催スクールサミットにおける高校生への指導助言	天谷賢児、村岡貴子（理） 越智貴子（GIC）	理工 GIC
複数高校	IoT スクール（ぐんまプログラミングアワード関連事業）講師	青木悠樹（数理）	数理
複数高校	SSH 全国大会における指導助言	板橋英之、弓仲康史（理）、大澤研二（名誉教授）	理工
複数高校	高校課題研究フォーラム講師（日本セラミックス協会主催）	岩本伸司（理）	理工
複数高校	第５８回埼玉県高等学校英語劇発表大会審査員・講評・指導助言	飯島睦美（GIC）	GIC
動画	群馬県私学振興会主催 高校教員向け講演会	中村賢治（数理）	数理
動画	群馬県教育委員会主催 生成 AI 利用の解説	中村賢治（数理）	数理
動画	ぐんま男女共同参画センター主催　女子理系進路講演	板橋英之（理）	理工

その他、高校との連携（高校運営への協力、共同研究、調査、高校教諭等に係る連携）

高校名	内容	対応教員	学部等
桐生高校	SSH 運営指導委員 学校評議員	村上正巳（医） 板橋英之、小島由美（理）	医 理工
桐生工業高校	学校評議員	板橋英之（理）	理工
渋川女子高校	学校評議員	板橋英之（理）	理工
高崎女子高校	学校評議員	岸美紀子（医）	医
高崎高校	SSH 運営指導委員	栗原淳一（教）、板橋英之（理）	教育 理工
前橋高校	SSH 運営指導委員	日置英彰（教）、鯉渕典之（医）、中村洋介（理）	教育 医 理工
前橋女子高校	SSH 運営指導委員 学校評議員	佐野史（教）、太田直哉（情） 河内昭浩（教）	教育 情報
前橋西高校	学校評議員	上原永次（教）	教育
あさひ特別養護支援学校	教員対象研修での講演	吉野浩之（教）	教育
館林高等特別支援学校	指導医	吉野浩之（教）	教育

高校名	内容	対応教員	学部等
栃木特別支援学校	指導医	吉野浩之（教）	教育
栃木県立栃木高校	SSH 運営指導委員 SSH に係る共同研究	関庸一（情）	情報
複数高校	群馬県教育委員会情報部会 主催　高校教員向け講義	中村賢治（数理）	数理 C
複数高校	群馬県教育委員会主催 高校教員向け講義	中村賢治（数理）	数理 C
複数高校	群馬県教育委員会主催 高校教員向け研修会　講師	河内昭浩（教）	教育
複数高校	関東ブロック高等学校長協会研究協議会　講演	板橋英之（理）	理工
複数高校	関東理科教育研究発表会 基調講演	板橋英之（理）	理工
複数高校	群馬県スポーツ振興課委託研究（高校生が対象）	大山善昭、田井健太郎、中雄勇人、町田大輔（教）、 中村賢治（数理）	教育 数理 C
複数高校	経済協力開発機構の調査に伴う高校教員との意見交換	二宮祐	教育改革

3-5. 高校生向けプログラム・イベントの実施

プログラム名	内容	学部等
高大連携授業	高校生を対象とした授業公開。2023 年度は前橋西高校の生徒 3 名が受講した。 （学務部教務課が担当）	教育 保健 理工
群馬大学 探究ワークショップ	高崎女子高校で実施。 実施内容は、講演及び高校生とのフリートーク。	AC
一日体験理工学教室 機械の学校	18 テーマを準備し、それぞれテーマに合った実験等を行う。	理工
1 日体験理科教室	8 テーマを準備し、それぞれテーマに合った実験等を行う。	理工
高校生サイエンスインストラクター育成プログラム	群馬大学公開講座として実施（有料）。高校生がインストラクターとして活動できるスキルを身につけることを目的としたプログラム。	理工
宇宙工学への扉	JSPS ひらめき☆ときめきサイエンス採択事業。 宇宙工学に関する実習などを体験。	理工
オープンラボ student program	前橋女子高校の生徒対象。研究室を訪問し、実習等を体験。	生調研
最先端生命科学＆重粒子線医学セミナー	群馬大学地域貢献事業として実施、前橋女子高校の生徒対象。 実験施設の見学、セミナーを実施。	重粒子 生調研

8.1.30　夢ナビライブ 2023Web in Summer 参加報告

「夢ナビライブ 2023Web in Summer」参加報告

2023 年 9 月

「夢ナビライブ 2023Web in Summer」は 2023 年 7 月 15 日（土）・16 日（日）の 2 日間、オンライン開催された（参加者実数 56,530 名）。

群馬大学は、「夢ナビ講義 video（研究紹介動画オンデマンド配信）」、「夢ナビ講義研究室訪問（オンラインの質問対応）」、「オンラインセミナー」の 3 つのイベントに参加した。

1．夢ナビ講義 video（研究紹介動画オンデマンド配信）

事前に約 25 分の研究紹介を撮影し、その動画をオンデマンド配信した。

配信期間は 6 月 16 日～7 月 25 日。

※動画は現在も公開中。以下「視聴者数」は、上記配信期間での数。

●共同教育学部　島孟留 講師

【テーマ】運動で脳機能を高めよう！

【視聴者数】124 名

●医学部保健学科　田鹿毅 教授

【テーマ】スポーツ障害から子供達（スポーツ選手）を守る

【視聴者数】80 名

2．夢ナビ講義 研究室訪問（オンラインのリアルタイム質問対応）

『夢ナビ講義動画』を視聴し学問に関心を高めた高校生からの質問に対応したり、研究紹介を行ったりした。Zoom ミーティングで実施。

実施日は 7 月 15 日、16 日。2 名の教員とも 3 コマずつの実施。

●共同教育学部　島孟留 講師

【参加者数（3 コマ合計）】71 名

●医学部保健学科　田鹿毅 教授

【参加者数（3 コマ合計）】44 名

3．オンラインセミナー

宮本アドミッション・コーディネータが、Zoom ミーティングスタイルで「群馬大学説明会」を実施した。実施日は 7 月 15 日。1 コマ実施。

【参加者数】79 名

＜参考＞in Summer に参加した教員の研究紹介ページ（動画もここで公開中）

●共同教育学部　島講師

https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2023002265?back=

●医学部保健学科　田鹿教授

https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2023002726?back=

8.1.31　夢ナビライブ2023Web in Autumn参加報告

「夢ナビライブ2023Web in Autumn」参加報告

2023年11月

「夢ナビライブ2023Web in Autumn」は2023年10月20日（土）・21日（日）の2日間、オンライン開催された（参加者総数39,711名）。

群馬大学は、「夢ナビ講義 video（研究紹介動画オンデマンド配信）」、「夢ナビ講義研究室訪問（オンラインの質問対応）」、「オンラインセミナー」の3つのイベントに参加した。

1. 夢ナビ講義 video（研究紹介動画オンデマンド配信）

事前に約25分の研究紹介を撮影し、その動画をオンデマンド配信した。

配信期間は9月22日～10月31日。

※動画は現在も公開中。以下「視聴者数」は、上記配信期間での数。

●情報学部　青山一真 准教授

【テーマ】人を科学し、世界を彩るバーチャルリアリティ

【視聴者数】65名

●医学部医学科　常川勝彦 講師

【テーマ】臨床検査で「可視化」するアスリートのからだ

【視聴者数】275名

●理工学部　森本英行 准教授

【テーマ】次世代バッテリーで未来が変わる？未来を変えよう！

【視聴者数】112名

2．夢ナビ講義 研究室訪問（オンラインのリアルタイム質問対応）

『夢ナビ講義動画』を視聴し学問に関心を高めた高校生からの質問に対応したり、研究紹介を行ったりした。Zoomミーティングで実施。実施日は10月20日、21日。

●情報学部　青山一真 准教授

【参加者数（1コマ合計）】44名

●医学部医学科　常川勝彦 講師

【参加者数（3コマ合計）】104名

●理工学部　森本英行 准教授

【参加者数（3コマ合計）】88名

3．オンラインセミナー

在学生が、Zoom ミーティングスタイルで「You は何しにグンダイへ？」（学生トークライブ）を実施した。各学部１コマ（30 分）ずつの実施。

●共同教育学部

出演学生２名（２年生）【参加者数】44 名

●情報学部

出演学生２名（３年生）【参加者数】31 名

●医学部 保健学科

出演学生１名（３年生）【参加者数】71 名

●理工学部　出演学生３名（４年生・３年生・２年生）【参加者数】26 名

＜参考＞夢ナビライブ 2023 に参加した教員の研究紹介（動画もここで公開中）

●共同教育学部　島講師

https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2023002265?back=

●医学部保健学科　田鹿教授

https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2023002726?back=

●情報学部　青山一真 准教授

https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2023003061?back=

●医学部医学科　常川勝彦 講師

https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2023002307?back=

●理工学部　森本英行 准教授

https://douga.yumenavi.info/Lecture/PublishDetail/2023002560?back=

令和５年度学生定期健康診断日程表（荒牧・昭和地区）

【在学生】　※予約制（人数枠）

日数	月日	9時				10時				11時			13時				14時				15時				16時			合計人数 2,310名
		～15分	15～30分	30～45分	45分～	～15分	15～30分	30～45分	45分～	～15分	15～30分	30～40分	～15分	15～30分	30～45分	45分～	～15分	15～30分	30～45分	45分～	～15分	15～30分	30～45分	45分～	～15分	15～30分	30～45分	
1	3／31（金）	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	25	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	25	770
2	4／3（月）	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	25	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	25	770
3	4／5（水）	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	25	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	25	770

【新入生】

日数	月日	9時			10時			11時		13時			14時			15時			合計人数 1,260名
		～20分（35名）	20分～40分（35名）	40分～（35名）	～20分（35名）	20分～40分（35名）	40分～（35名）	11:00～11:20（35名）	11:20～11:40（35名）	～20分（35名）	20分～40分（35名）	40分～（35名）	～20分（35名）	20分～40分（35名）	40分～（35名）	～20分（35名）	20分～40分（35名）	40分～（35名）	
1	4／6（木）	共同教育学部1年						情報学部1年		情報学部1年		情報学部 3年次編入生	医学部 保健学科 （看護） 1年		医学部 保健学科 （検査） 1年	医学部 保健学科 （理学） 1年	大学院 （教育学） 1年	大学院 （医学系） 1年	650
																	特別支援教育 特別専攻科	大学院 （保健学） 1年	
																医学部 保健学科 （作業） 1年	大学院 （社会情報学） 1年		
																	外国人留学生 （研究生、聴講生、交換留学生など）		
2	4／7（金）	医学部医学科1年			医学部医学科 2年次編入	理工学部 （物質・環境類） 1年				理工学部 （物質・環境類） 1年			理工学部 （電子・機械類） 1年						610

1）健康診断項目：身体計測．視力計測（自己申告）．血圧測定．尿検査．胸部X線撮影．内科診察
2）健康診断会場：健康支援総合センター、基幹棟
3）健康診断を受けないと健康診断書の発行はできません。

令和５年度学生定期健康診断【桐生地区】

【在校生】　　**※予約制（人数枠）**

日数	月日	9:00～9:15	9:15～9:30	9:30～9:45	9:45～10:00	10:00～10:15	10:15～10:30	10:30～10:45	10:45～11:00	11:00～11:15	11:15～11:30	11:30～11:40	13:00～13:15	13:15～13:30	13:30～13:45	13:45～14:00	14:00～14:15	14:15～14:30	14:30～14:45	14:45～15:00	15:00～15:15	15:15～15:30	15:30～15:40
1	**3／31（金）**	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
2	**4／3（月）**	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
3	**4／4（火）**	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30

【新入生】

日数	月日	9:00～9:15 15名	9:15～9:30 15名	9:30～9:45 15名	9:45～10:00 15名	10:00～10:15 15名	10:15～10:30 15名	10:30～10:45 15名	10:45～11:00 20名	11:00～11:15 20名	11:15～11:30 20名	11:30～11:40 15名	13:00～13:15 15名	13:15～13:30 15名	13:30～13:45 15名	13:45～14:00 15名	14:00～14:15 15名	14:15～14:30 15名	14:30～14:45 15名	14:45～15:00 15名	15:00～15:15 20名	15:15～15:30 20名	15:30～15:45 30名
1	**4／7（金）**	理工学府博士前期課程1年											理工学部 3年次編入生	理工学府 博士後期課程 1年	理工学府博士前期課程1年								

1）健康診断項目：身体計測，視力計測（自己申告），血圧測定，尿検査，胸部Ｘ線撮影，内科診察
2）健康診断会場：総合研究棟
3）健康診断を受けないと健康診断書の発行はできません。

8.1.34　令和５年度　学生定期健康診断受検状況（荒牧・昭和地区）

令和5年度 学生定期健康診断受検状況（荒牧・昭和地区）

	対象者数	血圧測定・内科診察		尿検査		胸部X線撮影	
		受検者数	受検率	受検者数	受検率	受検者数	受検率
学部合計	3,378	2,814	83.3%	2,734	80.9%	2,805	83.0%
大学院等の合計	422	141	33.4%	139	32.9%	140	33.2%
合　計	**3,800**	**2,955**	**77.8%**	**2,873**	**75.6%**	**2,945**	**77.5%**

対象者数は令和5年4月1日現在の学生数とし休学者は除いた。
受検率は小数点第二位を四捨五入
上記の他に、下記の29名が受検した。
共同教育学部特別聴講学生8名・科目等履修生3名、 社会情報学部研究生4名・特別聴講学生6名、医学部特別研究生1名
理工学部7名【4年4名、大学院理工学府1年2名、大学院理工学府3年1名】

＜学部学生＞

			対象者数	血圧測定・内科診察		尿検査		胸部X線撮影	
				受検者数	受検率	受検者数	受検率	受検者数	受検率
共同教育学部		1年	201	201	100%	199	99.0%	201	100%
		2年	201	188	93.5%	185	92.0%	188	93.5%
		3年	198	192	97.0%	188	94.9%	191	96.5%
		4年	210	153	72.9%	142	67.6%	153	72.9%
合　計			**810**	**734**	**90.6%**	**714**	**88.1%**	**733**	**90.5%**
情報学部		1年	179	160	89.4%	157	87.7%	160	89.4%
		2年	170	107	62.9%	104	61.2%	107	62.9%
		3年	189	119	63.0%	108	57.1%	119	63.0%
社会情報学部		4年	130	87	66.9%	85	65.4%	87	66.9%
合　計			**668**	**473**	**70.8%**	**454**	**68.0%**	**473**	**70.8%**
医学部	医学科	1年	120	113	94.2%	111	92.5%	112	93.3%
		2年	144	97	67.4%	91	63.2%	95	66.0%
		3年	127	82	64.6%	77	60.6%	81	63.8%
		4年	117	97	82.9%	90	76.9%	96	82.1%
		5年	114	78	68.4%	73	64.0%	78	68.4%
		6年	130	112	86.2%	111	85.4%	112	86.2%
		合計	**752**	**579**	**77.0%**	**553**	**73.5%**	**574**	**76.3%**
	保健学科	1年	165	163	98.8%	161	97.6%	162	98.2%
		2年	159	134	84.3%	133	83.6%	133	83.6%
		3年	156	120	76.9%	117	75.0%	120	76.9%
		4年	162	138	85.2%	134	82.7%	137	84.6%
		合計	**642**	**555**	**86.4%**	**545**	**84.9%**	**552**	**86.0%**
合　計			**1,394**	**1,134**	**81.3%**	**1,098**	**78.8%**	**1,126**	**80.8%**
理工学部		1年	**506**	**473**	**93.5%**	**468**	**92.5%**	**473**	**93.5%**
学部合計			**3,378**	**2,814**	**83.3%**	**2,734**	**80.9%**	**2,805**	**83.0%**

＜大学院学生＞

				対象者数	血圧測定・内科診察		尿検査		胸部X線撮影	
					受検者数	受検率	受検者数	受検率	受検者数	受検率
教育学研究科			1年	26	12	46.2%	12	46.2%	12	46.2%
			2年	21	6	28.6%	6	28.6%	6	28.6%
教育学部特別支援教育特別専攻科				7	5	71.4%	5	71.4%	5	71.4%
合　計				**54**	**23**	**42.6%**	**23**	**42.6%**	**23**	**42.6%**
社会情報学研究科		修士課程	1年	5	4	80.0%	4	80.0%	4	80.0%
			2年	19	11	57.9%	10	52.6%	11	57.9%
		合　計		**24**	**15**	**62.5%**	**14**	**58.3%**	**15**	**62.5%**
医学研究科	医科学専攻	修士課程	1年	8	8	100%	8	100%	8	100%
			2年	10	8	80.0%	8	80.0%	8	80.0%
		博士課程	1年	48	11	22.9%	11	22.9%	11	22.9%
			2年	35	10	28.6%	10	28.6%	10	28.6%
			3年	33	6	18.2%	6	18.2%	6	18.2%
			4年	76	9	11.8%	9	11.8%	9	11.8%
		合　計		**210**	**52**	**24.8%**	**52**	**24.8%**	**52**	**24.8%**
	保健学専攻	博士前期課程	1年	49	26	53.1%	25	51.0%	25	51.0%
			2年	46	18	39.1%	18	39.1%	18	39.1%
		博士後期課程	1年	13	2	15.4%	2	15.4%	2	15.4%
			2年	10	3	30.0%	3	30.0%	3	30.0%
			3年	16	2	12.5%	2	12.5%	2	12.5%
		合　計		**134**	**51**	**38.1%**	**50**	**37.3%**	**50**	**37.3%**
	合　計			**344**	**103**	**29.9%**	**102**	**29.7%**	**102**	**29.7%**
大学院の合計				**422**	**141**	**33.4%**	**139**	**32.9%**	**140**	**33.2%**

8.1.35　令和５年度　学生定期健康診断受検状況（桐生地区）

令和５年度　学生定期健康診断受検状況（桐生地区）

区　分			対象者数	血圧測定・内科診察		尿検査		胸部Ｘ線撮影	
				受検者数	受検率	受検者数	受検率	受検者数	受検率
理工学部		２年	520	400	76.9%	394	75.8%	398	76.5%
		３年	521	322	61.8%	317	60.8%	322	61.8%
		４年	557	394	70.7%	385	69.1%	391	70.2%
		合計	1,598	1,116	69.8%	1,096	68.6%	1,111	69.5%
大学院理工学府	修士課程	１年	346	279	80.6%	275	79.5%	279	80.6%
		２年	347	273	78.7%	270	77.8%	272	78.4%
		合計	693	552	79.7%	545	78.6%	551	79.5%
	博士課程	１年	17	6	35.3%	6	35.3%	6	35.3%
		２年	21	10	47.6%	10	47.6%	10	47.6%
		３年	41	17	41.5%	17	41.5%	17	41.5%
		合計	79	33	41.8%	33	41.8%	33	41.8%
	大学院合計		772	585	75.8%	578	74.9%	584	75.6%
合　計			2,370	1,701	71.8%	1,674	70.6%	1,695	71.5%

対象者数は令和５年４月１日現在の学生数とし休学者は除いた

受検率は小数点第２位を四捨五入

上記の他に、研究生３名が受検した

8.1.36　令和５年度　学生定期健康診断結果

令和5年度 学生定期健康診断結果

(1)身体測定

	受検者数	結果									
		やせ				正常		肥満			
		BMI 17.0以下		BMI 17.1～18.4		BMI 18.5～24.9		BMI 25.0～29.9		BMI 30.0以上	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
共同教育学部	757	32	4.2%	64	8.5%	272	35.9%	72	9.5%	17	2.2%
情報・社会情報学部	488	40	8.2%	62	12.7%	342	70.1%	34	7.0%	10	2.0%
医学部	1,237	37	3.0%	125	10.1%	963	77.8%	97	7.8%	15	1.2%
理工学部	473	33	7.0%	64	13.5%	332	70.2%	39	8.2%	5	1.1%
合計	2,955	142	4.8%	315	10.7%	1,909	64.6%	242	8.2%	47	1.6%

(2)血圧測定

1)一次検査

	受検者数	結果			
		正常血圧		高血圧疑い	
		人数	%	人数	%
共同教育学部	757	445	58.8%	12	1.6%
情報・社会情報学部	488	479	98.2%	9	1.8%
医学部	1,237	1,229	99.4%	8	0.6%
理工学部	473	469	99.2%	4	0.8%
合計	2,955	2,622	88.7%	33	1.1%

2)二次検査

	対象者数	結果			
		正常血圧	経過観察	医療機関紹介	未受検
共同教育学部	12	11	0	0	1
情報・社会情報学部	9	8	0	0	1
医学部	8	5	1	0	2
理工学部	4	4	0	0	0
合計	33	28	1	0	4

(3)尿検査

1)一次検査

	受検者数	結果		陽性項目内訳		
		陽性者数	%	蛋白	潜血	糖
共同教育学部	737	16	2.2%	1	9	6
情報・社会情報学部	468	3	0.6%	1	2	0
医学部	1,200	24	2.0%	9	13	2
理工学部	468	2	0.4%	1	0	1
合計	2,873	45	1.6%	12	24	9

2)二次検査

	対象者数	結果					医療機関紹介結果				備考
		異常なし	蛋白陽性	潜血陽性	糖陽性	未受検	異常なし	経過観察	要治療	結果報告なし	
共同教育学部	16	13	0	0	1	2	0	0	1	0	1型糖尿病
情報・社会情報学部	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	
医学部	24	22	1	0	0	1	0	0	0	1	
理工学部	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	45	40	1	0	1	3	0	0	1	1	

(4)胸部X線間接撮影検査

	受検者数	要精検		医療機関紹介結果				
		人数	%	異常なし	経過観察	要治療	結果報告なし	備考
共同教育学部	756	0	0%	0	0	0	0	
情報・社会情報学部	488	2	0.4%	0	1	1	0	自然気胸1名 肺動静脈ろう疑い1名
医学部	1,228	4	0.3%	0	0	0	4	脊柱側弯症4名
理工学部	473	2	0.4%	0	1	0	0	脊柱側弯症2名
合計	2,945	8	0.3%	0	2	1	4	

(5)内科診察

	受検者数	心雑音		医療機関紹介結果			
		人数	%	異常なし	経過観察	要治療	結果報告なし
共同教育学部	757	1	0.1%	0	1	0	0
情報・社会情報学部	488	1	0.2%	1	0	0	0
医学部	1,237	2	0.2%	0	1	0	0
理工学部	473	2	0.4%	1	1	0	1
合計	2,955	6	0.2%	2	3	0	1

8.1.37　令和５年度　精神保健調査結果

令和5年度 精神保健調査結果

(1)新入生の精神保健調査

令和3年度まで学生健康診断時に提出した「健康状態記録票」内の「メンタルヘルス質問票」を基に要面接者を抽出していたが、令和2年度よりオンラインでの回答とし、今年度より在学生と同様に健診前に入力した回答データを基に要面接者を抽出し、センター常勤医師が面接を行った。対象学生は、各学部の1年生とし、編入生(社会情報学部・医学部・理工学部)を含めた。

	対象学生数	要面接		面接をうけた学生数	結果				要面接			
					随時の相談を推奨	カウンセリング継続	医療機関紹介	通院中	令和4年度		令和3年度	
		人数	%						人数	%	人数	%
共同教育学部	192	2	1.0%	0	0	0	0	0	6	3.0%	8	4.0%
情報学部	180	7	3.9%	4	2	2	0	0	1	0.5%	9	4.5%
医学部	280	3	1.1%	1	0	1	0	0	3	1.1%	9	3.0%
理工学部	494	12	2.4%	1	0	0	0	1	12	2.3%	21	4.2%
合計	1,146	24	2.1%	6	2	3	0	1	22	1.9%	47	3.9%

※これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴あり:80名(7.0%)

(2)在学生の精神保健調査

学生健康診断予約時に入力した「メンタルヘルス質問票」を基に要面接学生を抽出し、センター常勤医師が面接を行った。対象学生は、質問票に入力した学生とした。

	対象学生数	要面接		面接をうけた学生数	結果				要面接			
					随時の相談を推奨	カウンセリング継続	医療機関紹介	通院中	令和4年度		令和3年度	
		人数	%						人数	%	人数	%
共同教育学部	598	12(2)	2.0%	5	4	1	0	0	22	3.8%	17(2)	2.6%
情報・社会情報学部	378	7(2)	1.9%	3	1	0	0	2	6(1)	1.5%	7	2.5%
医学部	1,584	14	0.9%	6	2	3	1	0	9	0.8%	11	1.0%
理工学部	1,293	18(3)	1.4%	7	1	5	1	0	38(9)	2.1%	46(3)	2.5%
合計	3,853	51(7)	1.3%	21	8	9	2	1	75(10)	1.9%	81(5)	2.1%

注:( )は、通院中またはカウンセリング中にて、面接を除外した学生数で内数
※これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴あり:343名(8.9%)

(3) 追記

質問内容

現在は新入生用と在学生用の違いをなくし、33項目版に一本化して、抑うつ状態、気分変調、精神病像、食行動異常、生活支障度、相談希望、既往歴等をスクリーニングしている。

結果の分析

対象学生数は、新入生(1,146名;前年1,185名), 在学生(3,853名;前年3,860名)である。コロナ禍が進む中、WEB上での問診票回答へと変更しており、従来の紙媒体のときと比べて回答率は低いため、今後はより積極的に回答を呼びかけていく予定である。要面接者(スクリーニング陽性者)の割合は, 新入生は従来の1%台からコロナ禍発生時には4%弱と急増したが、昨年度、今年度は2%前後の水準に戻りつつある。在学生はコロナ禍発生後もあまり変わらず、2%前後で推移して来ていたが、今年度は1.3%とやや減少した。健診実施時点では新学期から講義も原則対面方式に戻るという方針が示されていたため、全体的に状況が安定してきている印象があるが、コロナ禍以前を考えると、新入生と在学生ともにメンタルヘルス不調者がやや高止まり傾向となっていることが推察される。実際に面接を受けた者は、新入生は7名から6名に、在学生は22名から21名と、ほぼ同数であった。一方、「これまでに精神科、心療内科、神経科に通院歴のあるもの」の人数は、新入生では80名(7.0%)と急増しており、在学生についても、通院歴のあるものは今年度は343名(8.3)%と、 微増していた。コロナ禍前に比べると倍以上に増加してきており、このように年々、通院経験のある学生の学内比率が増加している(数年後には全体の学生の1割程度に達する可能性がある)ところから、学外の専門医療機関と連携しながら、学内におけるメンタルヘルス支援体制の拡充を進めていく必要性が、かつてないほど高まっている。面接結果については、新入生・在学生ともに全員何らかの対応を必要としており、カウンセリング業務の維持あるいは拡充の必要性が、引き続き認められた。コロナ禍以降、面接を受けたものの中で「問題なし」とされるものが減少し、面談後の経過観察が必要と判断されるケースが増加したことに加え、学生自らがカウンセリングを希望するケースも増えている。また、この数年、発達障害を中心に、障害学生サポートルームと共同して支援にあたる学生への対応が増加している。今後もメンタルヘルス不調や発達障害などの治療を継続しながら修学をする学生への両立的なサポート体制の強化が必要となると考えられる。

5月8日より、新型コロナウイルス感染症が感染症法の二類に分類され、対面授業や課外活動の完全再開もあり、本来の大学のあるべき姿に戻ってきている一方で、コミュニケーションに課題を抱える学生からの相談も多く、それに伴うメンタルヘルス不調学生への現場対応のニーズが、引き続き高い状態であると考えている。

8.1.38　令和５年度　新入生の「学校生活に関する困りごと調査」結果

令和5年度　新入生の「学校生活に関する困りごと調査」結果

何らかの困りごとを抱え、修学や生活面に支障が出ている学生を支援につなぐきっかけにするため、平成28年より例年、新入生（各学部新入生対象で、大学院入学生、特別支援教育特別専攻科、編入生は除く）を対象に、「学校生活に関する困りごと調査」を実施している。実施時期は7月で、1年生全員が受講する教養教育の講義内で周知し、結果の入力は、google formによるwebで回答する形式で調査を行う。

結果から、各学生における困りごとの度合いを得点化し、一定の得点以上の学生に対して、個別面談希望の有無を確認した上で、センター講師（医師）が面接行い、当該の学生と相談しながら、困りごとの実情に合わせて、担当教員や学生支援センター、障がい学生サポートルームの専門スタッフとの連携およびカウンセリングや外部医療機関受診の必要性についても検討し、状況に応じた支援体制の構築を目指す。中でも、調査結果で「相談を希望する」「相談をすべきか困っている」に回答した学生全員に対して、早期に声をかけ、抱える問題の早期把握に努めている。

今年度の調査結果の概要は以下に示した通りである。全回答者の6.8%（72名）が要面接者であり、うち14名に面接を行った。そのうちの3名はカウンセリングにつながり、10名については引き続き随時の相談が必要であると判断した。
必修授業で周知することで、合計で90%の高い回答率を得ており、支援が必要な学生のスクリーニング調査として一定の効果を挙げていると考えている。

1．回答率

		回答率	
	対象者数	人数	%
共同教育学部	201	178	88.6%
情報学部	179	169	94.4%
医学部	285	253	88.8%
理工学部	506	454	89.7%
合　計	1,171	1,054	90.0%

※対象者数は令和5年4月1日現在の学生数とし休学者は除いた。

2．結果

	回答学生数	要面接		面接をうけた学生数	結果				
		人数	%		問題なし	随時の相談を推奨	カウンセリング継続	学生支援センターで継続対応（障害学生サポートルーム紹介）	医療機関紹介
共同教育学部	178	10	5.6%	2	0	2	0	0	0
情報学部	169	17（1）	10.1%	4	0	2	2	0	0
医学部	253	10（1）	4.0%	1	0	1	0	0	0
理工学部	454	35	7.7%	7	1	5	1	0	0
合　計	1,054	72（2）	6.8%	14	1	10	3	0	0

※（ ）は、当センターで継続してカウンセリングを受けているため、面接を除外した学生数で内数

※「新入生の精神保健調査」との関連

	「学校生活に関する困りごと調査」要面接者数	「新入生の精神保健調査」においても要面接と判断された学生数
共同教育学部	10	0
社会情報学部	17	3
医学部	10	1
理工学部	35	3
合　計	72	7

※、学校生活に関する困りごと、またはそれ以外の相談希望の有無別結果

,	○を記入	面接をうけた学生数	結果				
			問題なし	随時の相談を推奨	カウンセリング継続	学生支援センターで継続対応（障害学生サポートルーム紹介）	医療機関紹介
相談希望あり	1（1）	0	0	0	0	0	0
相談を迷っている	65（1）	13	1	9	3	0	0
相談希望なし	6	1	0	1	0	0	0

8.1.39　令和５年度　学生特殊健康診断結果

令和5年度　学生特殊健康診断について

特定化学物質及び有機溶剤を取り扱う学生を対象とする特殊健康診断を実施した。

実施日：令和5年12月6日（水）

実施場所：2号館 大学院講義室

対象者：リスク評価システムにおいてリスクレベル「ⅢS」以上と判断された大学院生及び学部4年生

検査項目：尿検査、診察、血液検査等（取扱物質により指定）

検査結果：

受診者数	結　果		
	異常なし	要経過観察	要精密検査
78	76	2	0

8.1.40　令和５年度　外国人留学生特別健康診断結果

令和5年度　外国人留学生特別健康診断結果

例年秋入学時期に合わせて、検査を実施してきたが、平成31年4月に入学した学生で7月に感染性肺結核を発症し、入院加療が必要になった事案が発生したことから、入学後すぐに、胸部レントゲン検査を実施していく方針に決定した。また、令和2年度より新型コロナウイルス感染症予防の観点から、血液検査は実施せず、胸部レントゲン検査のみを実施している。

1．受検状況

	対象者数	受検者	
		人数	%
共同教育学部	6	6	100%
情報・社会情報学部	11	11	100%
医　学　部	18	18	100%
理　工　学　部	43	40	93.0%
合　　計	78	75	96.2%

対象者：前年度の留学生健診以降に入学し、4月の学生定期健康診断（胸部レントゲン検査）を受検していない外国人留学生

2．胸部レントゲン検査結果

	受検者数	異常なし		要精検	
		人数	%	人数	%
共同教育・教育学部	6	6	100%	0	0%
情報・社会情報学部	11	11	100%	0	0%
医　学　部	18	18	100%	0	0%
理　工　学　部	40	40	100%	0	0%
合　　計	75	75	100%	0	0%

3．メンタルヘルス質問票による精神保健調査

	受検者数	問題なし		要面接者数		面談結果			
		人数	%	人数	%	問題なし	随時の相談を推奨	継続カウンセリング	医療機関紹介
教育学部	6	5	83.3%	1	16.7%	0	1	0	0
社会情報学部	11	11	100%	0	0%	0	0	0	0
医　学　部	18	18	100%	0	0%	0	0	0	0
理　工　学　部	40	40	100%	0	0%	0	0	0	0
合　　計	75	74	98.7%	1	1.3%	0	1	0	0

8.1.41　令和５年度　健康支援総合センター利用状況

令和5年度健康支援総合センターの利用状況について

利用人数(学生・教職員)

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
荒牧キャンパス	共同教育学部	22	23	30	17	7	4	8	9	4	16	5	11	**156**
	情報・社会情報学部	26	16	27	22	8	7	21	30	11	8	11	7	**194**
	医　学　部	7	9	4	4	0	0	1	0	0	2	2	0	**29**
	理 工 学 部	13	14	13	6	2	0	14	9	16	10	10	7	**114**
昭和キャンパス	医　学　部	15	10	14	7	3	3	12	16	11	9	21	6	**127**
桐生・太田キャンパス	理 工 学 部	34	34	47	29	21	19	13	13	18	24	22	11	**285**
学　生　合　計		**117**	**106**	**135**	**85**	**41**	**33**	**69**	**77**	**60**	**69**	**71**	**42**	**905**
教　職　員		24	19	28	30	27	30	26	31	34	31	31	34	**345**
合　　計		**141**	**125**	**163**	**115**	**68**	**63**	**95**	**108**	**94**	**100**	**102**	**76**	**1,250**

利用件数（学生）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
からだの健康相談	21	34	36	24	1	0	13	10	10	8	4	1	**162**
こころの健康相談	96	72	99	61	41	33	56	67	50	56	66	41	**738**
健康診断書発行	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	**7**
合　　計	**118**	**106**	**135**	**85**	**42**	**33**	**69**	**77**	**60**	**69**	**71**	**42**	**907**

利用件数（教職員）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
からだの健康相談	2	2	2	1	0	1	1	1	4	2	1	1	**18**
こころの健康相談	22	17	26	29	27	29	25	30	30	29	30	33	**327**
健康診断書発行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
合　　計	**24**	**19**	**28**	**30**	**27**	**30**	**26**	**31**	**34**	**31**	**31**	**34**	**345**

8.1.42　令和５年度　健康相談の対応内容

令和５年度　からだの健康相談・こころの健康相談の対応内容

【学生】

			４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
からだの健康相談	相談のみ（助言・指導）		4	10	4	0	0	0	1	2	1	1	0	1	**24**
	外　傷　処　置		0	2	7	3	0	0	0	0	1	0	2	0	**15**
	検　査		0	0	3	1	0	0	1	0	1	0	0	0	**6**
	投　薬		0	8	18	12	0	0	1	1	2	1	1	0	**44**
	休養ベッド使用		5	3	15	11	0	0	6	2	0	3	1	0	**46**
	健康・保健用器具貸し出し		0	2	8	2	0	0	0	0	1	0	0	0	**13**
	障害学生サポートルーム紹介		2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	**4**
	医 療 機 関 紹 介		10	13	6	6	1	0	6	4	3	3	1	0	**53**
	救　急　転　送		1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	**5**
こころの健康相談	医師	メンタルヘルス相談	51	36	46	25	10	11	23	29	25	33	31	16	**336**
		カウンセラー紹介	14	5	8	4	4	0	12	8	1	4	7	0	**67**
		障害学生サポートルーム紹介	1	1	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	**7**
		医 療 機 関 紹 介	0	1	1	2	0	0	2	0	2	3	1	1	**13**
	カウンセラー	カウンセリング	45	36	53	36	31	22	33	38	25	23	35	25	**402**
		センター医師紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
		医 療 機 関 紹 介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
合　　計			133	118	170	102	46	34	85	87	64	73	80	43	**1,035**

【教職員】

			４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
健康相談	相談のみ（助言・指導）		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**1**
	外　傷　処　置		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**2**
	検　査		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	**2**
	投　薬		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	**2**
	休養ベッド使用		0	0	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	**6**
	健康・保健用器具貸し出し		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	**2**
	障害学生サポートルーム紹介														
	医 療 機 関 紹 介		0	1	0	0	0	0	1	1	2	0	1	1	**7**
	救　急　転　送		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	**1**
こころの健康相談	医師	メンタルヘルス相談	11	7	17	15	13	13	13	18	17	16	12	15	**167**
		カウンセラー紹介	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	**5**
		障害学生サポートルーム紹介													
		医 療 機 関 紹 介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	**1**
	カウンセラー	カウンセリング	11	10	9	14	14	16	12	12	13	13	18	18	**160**
		センター医師紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
		医 療 機 関 紹 介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
合　　計			26	20	28	32	27	30	27	31	34	33	34	34	**356**

8.1.43　令和５年度　こころの健康相談者数

令和５年度　こころの健康相談者数

		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
荒牧キャンパス	共同教育学部	16	13	14	13	7	4	8	7	4	13	5	11	**115**
	情報・社会情報学部	20	11	18	9	8	7	14	25	7	8	11	7	**145**
	医　学　部	4	2	2	1	0	0	0	0	0	2	1	0	**12**
	理 工 学 部	9	4	5	3	2	0	10	6	10	23	7	6	**85**
昭和キャンパス	医　学　部	14	9	14	7	3	3	11	16	11	4	21	6	**119**
桐生・太田キャンパス	理 工 学 部	33	33	46	28	21	19	13	13	18	6	21	11	**262**
学　生　合　計		**96**	**72**	**99**	**61**	**41**	**33**	**56**	**67**	**50**	**56**	**66**	**41**	**738**
教　職　員		22	17	26	29	27	29	25	30	30	29	30	33	**327**
合　　計		**118**	**89**	**125**	**90**	**68**	**62**	**81**	**97**	**80**	**85**	**96**	**74**	**1,065**

令和５年度　こころの健康相談内容

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
心理性格	**46**	**29**	47	29	20	16	31	34	23	22	31	19	**347**
対人関係	**8**	**0**	5	1	1	1	0	1	2	2	2	0	**23**
心体の不調	**39**	**38**	47	36	22	21	33	39	38	39	39	35	**426**
修学	13	10	9	10	4	5	11	6	4	12	9	3	**96**
その他	**6**	**6**	12	5	9	5	4	11	4	5	3	2	**72**
合　　計	**112**	**83**	**120**	**81**	**56**	**48**	**79**	**91**	**71**	**80**	**84**	**59**	**964**

１回の相談につき、相談内容が複数の場合があり。

スタッフカウンセリングについては相談内容を確認していないため除外

8.1.44　令和５年度　公認心理師(非常勤)による心理カウンセリング報告

令和５年度　公認心理師（非常勤）による心理カウンセリング報告

1．学生

カウンセリング人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧地区	29	26	32	26	22	12	22	23	17	18	22	15	264
桐生地区	6	7	6	3	0	1	4	4	2	2	2	0	37
合　計	**35**	**33**	**38**	**29**	**22**	**13**	**26**	**27**	**19**	**20**	**24**	**15**	**301**

カウンセリング回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
荒牧地区	45	36	53	36	31	22	33	38	25	23	35	25	402
桐生地区	8	12	8	3	0	1	6	7	3	2	2	0	52
合　計	**53**	**48**	**61**	**39**	**31**	**23**	**39**	**45**	**28**	**25**	**37**	**25**	**454**

カウンセリング動機内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理性格	14	16	11	11	6	3	10	12	8	9	8	4	112
対人関係	9	10	9	5	3	2	5	1	3	4	6	3	60
心体の不調	6	3	5	3	7	4	4	9	1	2	3	2	49
修学	62	54	71	45	34	25	47	51	32	33	45	28	527
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	**91**	**83**	**96**	**64**	**50**	**34**	**66**	**73**	**44**	**48**	**62**	**37**	**748**

カウンセリング動機内訳は複数の場合あり

2．カウンセラー配置状況

	荒牧地区		桐生地区	
	面接時間	カウンセラー	面接時間	カウンセラー
月曜日	10:00-17:00	内山　知子		
火曜日	10:00～15:00	内山　知子		
水曜日	10:00～15:00	内山　知子	12:00～16:00	諸星　聡美
木曜日	12:00～17:00	金子　美咲	13:00-17:00 【隔週】	川合　利恵
金曜日	12:00～17:00	金子　美咲		

8.1.45　令和５年度　疾病領域別利用者数

令和５年度　疾病領域別利用者数

【学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	**3**
	呼吸器系	1	7	3	0	0	0	0	2	1	0	0	0	**14**
	消化器系	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	**3**
	腎臓系	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**1**
	内分泌・代謝系	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	**2**
	その他	11	10	16	13	0	0	7	6	4	4	2	1	**74**
精神科		96	72	99	61	41	33	56	67	50	56	66	41	**738**
外科・整形外科		1	11	16	4	0	0	3	0	2	0	2	0	**39**
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
耳鼻咽喉科		1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	**4**
眼科		1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	**6**
皮膚科		4	0	0	3	0	0	0	1	1	1	0	0	**10**
歯科・口腔外科		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**1**
産婦人科		1	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	**5**
合計		**117**	**106**	**135**	**85**	**42**	**33**	**69**	**77**	**60**	**64**	**70**	**42**	**900**

【教職員】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**1**
	呼吸器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	**1**
	消化器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
	腎臓系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
	内分泌・代謝系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
	その他	0	0	2	1	0	0	0	0	3	2	0	0	**8**
精神科		22	17	26	29	27	29	25	30	30	29	30	33	**327**
外科・整形外科		0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	**4**
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
耳鼻咽喉科		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	**1**
眼科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
皮膚科		1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	**3**
歯科・口腔外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
産婦人科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
合計		**24**	**19**	**28**	**30**	**27**	**30**	**26**	**31**	**34**	**31**	**31**	**34**	**345**

8.1.46　　令和５年度　診療科別医療機関紹介件数

令和５年度　診療科別医療機関紹介件数

【学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
	呼吸器系	1	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	**6**
	消化器系	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	**2**
	腎臓系	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**1**
	内分泌・代謝系	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	**1**
	その他	5	3	3	2	0	0	1	2	1	1	0	0	**18**
精神科		0	1	2	2	0	0	2	0	2	3	1	1	**14**
外科・整形外科		0	3	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	**8**
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
耳鼻咽喉科		1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	**3**
眼科		1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	**6**
皮膚科		2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	**5**
歯科・口腔外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
産婦人科		0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	**2**
合計		**10**	**14**	**7**	**8**	**1**	**0**	**8**	**4**	**5**	**6**	**2**	**1**	**66**

【教職員】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	循環器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
	呼吸器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	**1**
	消化器系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
	腎臓系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
	内分泌・代謝系	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	**1**
精神科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	**1**
外科・整形外科		0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	**3**
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
泌尿器科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
耳鼻咽喉科		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	**1**
眼科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
皮膚科		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	**1**
歯科・口腔外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
産婦人科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
合計		**0**	**1**	**0**	**0**	**0**	**0**	**1**	**1**	**2**	**0**	**2**	**1**	**8**

8.1.47　　令和５年度　薬剤別処方日数

令和５年度　薬剤別処方日数

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合 計
解熱･消炎･鎮痛剤	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	**2**
感　冒　剤	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**5**
鎮咳剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
去痰剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
漢方剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
健胃剤･抗潰瘍剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
整　腸　剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
鎮　吐　剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
※外用副腎皮質ホルモン剤	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	**3**
※外用抗生剤	0	2	5	2	0	0	0	0	1	0	1	0	**11**
※外用保湿剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	**0**
※炎症性皮膚疾患治療剤	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	**2**
※経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤	0	5	7	2	0	0	1	0	0	0	0	0	**15**
※経口補水液	0	0	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	**13**
合　　計	**1**	**10**	**19**	**16**	**0**	**0**	**1**	**0**	**2**	**1**	**1**	**0**	**51**

※の薬剤については、処方日数ではなく、個装単位とした。

8.1.48　令和５年度　桐生地区・保健室利用状況

令和5年度　理工学部保健室(桐生地区)利用状況

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学部生	64	49	76	66	16	23	42	45	39	36	24	8	488
大学院生	34	27	37	26	15	13	22	13	8	9	2	9	215
学生合計	98	76	113	92	31	36	64	58	47	45	26	17	703
教職員	6	15	14	10	1	10	13	17	19	21	7	6	139
合計	104	91	127	102	32	46	77	75	66	66	33	23	842

利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	80	66	102	72	22	39	55	62	56	57	27	19	657
こころの健康相談	8	12	8	3	0	1	6	8	5	2	2	0	55
健康診断書発行	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
学生教育研究災害傷害保険関係	16	10	17	27	10	6	15	5	5	7	4	4	126
合　計	104	91	127	102	32	46	77	75	66	66	33	23	842

※「こころの健康相談」は、桐生キャンパスにおいて対面で実施した数を集計

利用内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
からだの健康相談	相談のみ(助言・指導)	43	41	72	58	16	31	46	47	50	45	21	12	482
	外傷処置	9	9	7	0	1	0	0	1	3	2	0	1	33
	検査	14	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	18
	休養ベッド使用	6	5	5	0	1	1	2	4	0	3	1	0	28
	保健用器具・部屋貸し出し	6	6	13	11	3	4	6	9	2	5	4	5	74
	医療機関紹介	2	4	4	1	1	3	1	1	1	2	1	1	22
	救急転送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
こころの健康相談	医師	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
	カウンセラー	8	12	8	3	0	1	6	7	3	2	2	0	52
合　計		88	78	110	75	22	40	61	70	61	59	29	19	712

※「こころの健康相談」は、桐生キャンパスにおいて対面で実施した数を集計

8.1.49　令和５年度　昭和地区・学生健康相談室利用状況

令和5年度　昭和地区・学生健康相談室利用状況

利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医学科	58	85	54	14	14	8	27	73	34	17	11	8	403
保健学科	88	114	48	19	9	6	21	86	74	21	7	4	497
大学院	1	1	3	0	0	3	0	1	0	0	2	0	11
学生合計	147	200	105	33	23	17	48	160	108	38	20	12	911
教職員	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	4
合計	147	200	106	34	23	18	48	160	108	38	21	12	915

利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康相談	4	2	6	3	2	3	1	1	2	3	5	1	33
外傷処置	0	1	3	2	0	0	1	0	0	0	1	0	8
ベット休養	3	4	4	4	5	2	4	1	4	0	0	0	31
予防接種相談	137	193	90	25	16	12	42	157	102	35	17	11	837
医療機関紹介	3	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	8
合計	147	200	106	34	23	18	48	160	108	38	23	12	917

１．「予防接種・感染症検査証明書」業務

医学部については、入学前に医療機関を受診し必要な検査とワクチン接種を受け、「予防接種・感染症検査結果証明書」を入学時に提出することを義務としている。項目はB型肝炎、結核、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎の6項目である。B型肝炎、結核は検査結果、麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎の4種の感染症については予防接種歴から必要に応じて追加ワクチン接種、抗体検査を行うことになっている。令和元年度までは入学後すぐに全員と面談し、証明書を受領、内容の確認とデータの管理を行っていた。内容の複雑さから証明書の不備が非常に多く、提出書類に不備・不足等がある学生に対して適切に検査やワクチン接種が受けられるよう指導を行ったり、引っ越し等の事情からスムーズに受診が進まない学生には、速やかに受診し証明書を提出できるよう、アドバイスを行ってきた。
令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルスへの対策で、証明書類のLMSでの提出、連絡は基本的にメール又は電話で行い、相談を受ける方法とし、内容、状況によって必要だと判断した場合は対面での確認作業や相談を行った。令和5年度から従来の入学時に対面で提出する形に戻し、全員個別で面談し、確認作業と説明を行った。B型肝炎ワクチン接種はほぼ全員が対象となるため、基本的には入学時には完了とはならないため、その後も継続して感染症管理に関することがスムーズに行えるようサポートを行った。

２．B型肝炎ワクチン接種について

B型肝炎ワクチン接種については、令和元年度まで集団接種で行ってきた。新型コロナウイルス流行により令和2年度は実施できなかった。集団接種再開は困難と判断され、令和3年度から掛かりつけ医療機関で個人でワクチン接種と抗体検査を受け、大学に証明書類を提出する方法に変更し、提出方法は「予防接種・感染症検査結果証明書」と同様、LMSに提出する方法とし、必要時アドバイス等サポートを行った。令和3年度～令和4年度に掛け、多くの学生がワクチン接種を進め、完了させた。完了とならなかった学生に対しては年度末に連絡を取り状況を確認、令和5年度の早い段階で完了できるよう、サポートを継続した。令和5年度からは前期、後期の2回に分け、接種証明書と検査に関する証明書類を対面で提出する方法とし、進捗状況に合わせ、個別でサポートを行った。

３．カウンセリング対応

カウンセリングをZOOMで実施する際、授業の合間や終了直後に受ける希望がある学生から依頼を受け、昭和キャンパス内でカウンセリングを受けることができるよう、個室の確保を行った。当日は必要に応じて、部屋の管理、ネットワークの確認などを行い、スムーズにカウンセリングが受けられるように配慮した。

対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対応件数	2	0	0	1	0	0	3	0	1	0	0	0	7
合計	2	0	0	1	0	0	3	0	1	0	0	0	7

４．その他の業務

月	内　　容
４～5月	学生定期健康診断再検査
４～３月	新入生「予防接種・感染症検査結果証明書」に関する相談業務 証明書内容確認、データ整理作業
４～３月	「B型肝炎ワクチン接種」に関する相談業務、証明書内容確認、 データ整理作業、ワクチン接種スケジュールの確認
１２月	留学生検診

8.1.50　　教学 IR レター vol.6

教学 IR レター vol.6

群馬大学　大学教育・学生支援機構
教育改革推進室　二宮　祐・幾田 英夫(内線:7521)
2024年1月発行（第6号）

はじめに

大学教育・学生支援機構教育改革推進室は、各学部・学科による主体的な教育改革を支援するための IR (Institutional Research) 活動を進めています。

奨学金の受給や海外留学の要件として一律の GPA 基準が明示されている場合があります。適切な GPA の算定方法について考えることは今後も必要です。本稿では GPA について他大学との比較を通じて考察します。

1. GPA とは

GPA は次に示すように定義されています。

GPA　Grade Point Average (GPA)　一般に一人の学生が履修した授業科目に対する評語(例えば「A、B、C、D、F」、「優、良、可、不可」)に対して数値(例えば「4～0」)を付し、それぞれに修得単位数を掛けて総和し、履修登録科目の単位数の総和で割って得られた平均値。その学生の学習成果の状況の指標であると考えられている。GPA の値を卒業、進級、留学先決定、奨学金給付のための基準としている大学もある。(大学改革支援・学位授与機構編、2021、「高等教育に関する質保証関係用語集」(https://niadqe.jp/glossary/5285/#en))

Grade Point Average の略。学生の成績評価については、大学設置基準等において、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対して成績評価の基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に則して適切に評価を実施することが要求されている。GPA制度は、客観的な成績評価を行う方法として大学に導入されているもので、例えば、授業科目ごとに5段階(例:A、B、C、D、F)で成績評価を行い、それぞれ4から0のグレード・ポイントを付し、この単位当たりの平均を出し、その一定水準を卒業などの要件とする、等の形で運用されている。(文部科学省、2020、「教学マネジメント指針」、p. 72 (https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1411360_00001.html))

いずれも成績評価を一定の計算で数値化して示すものであることは共通しています。

2. GPA の計算方法は全国一律ではない

素点と GP(グレード・ポイント)の関係について 5 つの国立大学を事例として抽出しグラフ化しました。次ページの図をご覧ください。

GP の計算方法は大きく2つに分かれます。素点の上昇に沿って階段状に GP が上がる大学がある一方、素点に従い直線状に GP が上がる大学もあります。

前者の大学は、履修した授業科目のそれぞれの成績評価(評語)を数値換算して単位数を加味した加重平均をとる方式を採用しています。国立大学の約 8 割が該当します。

後者の大学は、100 点満点の素点から直接 GP を計算する方式を導入しています。お茶の水女子大学などで利用されています。心理学者の半田智久が提唱した方式であり、ファンクショナル GPA(f-GPA)と呼ばれて

います(半田智久、2008、「機能する GPA とは何か」『静岡大学教育研究』4、pp. 1-30)。

また、大学としては GPA を計算せず必要に応じて学生が自ら計算するように指導している東京大学、不合格の科目にも GP が付与される北海道大学、学部によって GP の計算方法が異なる東京海洋大学という事例もあります。

3. GPA の今後のあり方

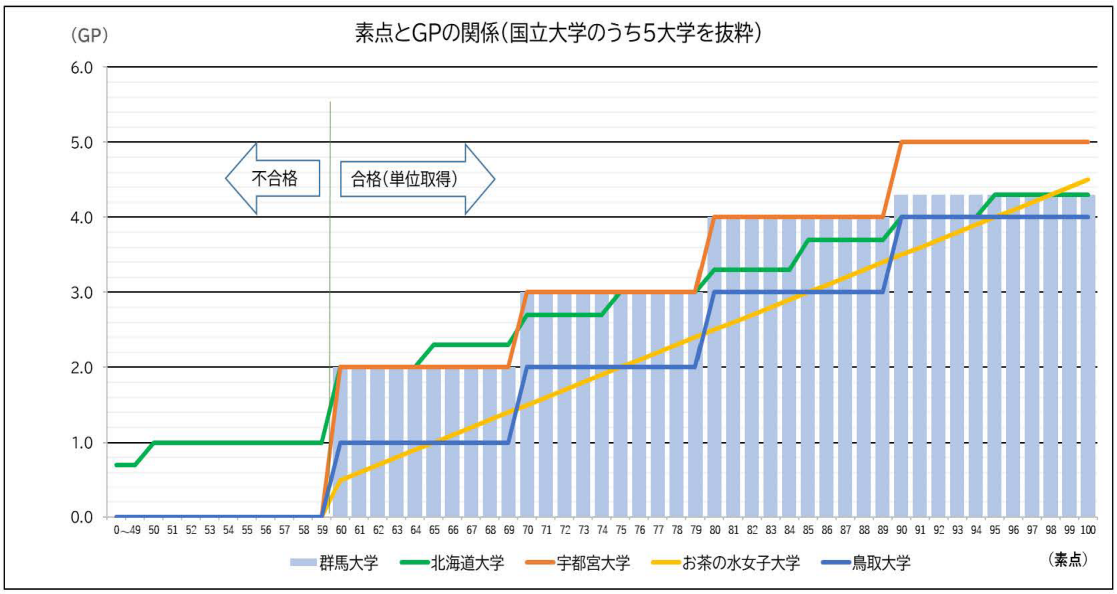
本学では GPA のあり方について見直しを行い、令和 3 年度入学者から GP の計算方法を図の水色棒グラフのようにしました。これ以前の入学者については図の鳥取大学の折れ線と同じ方式です。

このように大学によって GPA の計算方法は異なりますので、数値を単純に大学間で比較することはできません。しかし、仮に今後「大学スポーツの全国大会出場のためには、GPA が 2.50 以上であることを要する」など統一的な基準が定められるような時代が来ることがあれば全国的に GPA のあり方について見直しがなされる可能性もあります。

本稿は、GPA の計算方法の優劣について主張するものではありません。各大学で計算方法が異なる現状を知ることで、GPA のあり方について考える際の参考としていただければ幸いです。

図 素点と GP(グレード・ポイント)の関係

100 点満点の素点が GP としてどのように換算されているかを示す。
群馬大学を棒グラフで、それ以外の大学を線グラフで表示する。
いずれの大学についても 2023 年 10 月現在での各大学の WEB サイトに掲載されている規則等を参照して作図した。



学習ふりかえりアンケート
【全学（医学科4年生、5年生を除く）】
2023年度末実施

回答者学部・学科

学年	共同教育学部	情報学部	医学部医学科	医学部保健学科	理工学部	合計	n
1年生	13.5%	17.6%	9.8%	14.5%	44.6%	100.0%	601
2年生	10.8%	18.5%	8.1%	10.6%	52.0%	100.0%	406
3年生	8.8%	21.3%	11.2%	14.5%	44.2%	100.0%	249
合計	11.7%	18.6%	9.6%	13.2%	46.9%	100.0%	1256

（省略）設問02 学科・専攻・コース
（省略）設問03 入学年度（または編入年度）
（省略）設問04 学年

設問05 授業や勉強の様子 A授業に真面目に出席した

学年	とてもあてはまる	まあああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	n
1年生	61.4%	35.8%	2.2%	0.7%	100.0%	598
2年生	56.8%	38.5%	4.0%	0.7%	100.0%	405
3年生	67.1%	30.5%	2.4%	0.0%	100.0%	249
合計	61.0%	35.6%	2.8%	0.6%	100.0%	1252

設問06 授業や勉強の様子 B授業の予習や復習をした

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	20.8%	55.6%	19.1%	4.5%	100.0%	601
2年生	19.2%	56.9%	20.4%	3.4%	100.0%	406
3年生	24.2%	56.0%	17.3%	2.4%	100.0%	248
合計	21.0%	56.1%	19.2%	3.7%	100.0%	1255

設問07 授業や勉強の様子C 授業で出された宿題や課題はきちんとやった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	70.0%	27.1%	2.3%	0.5%	100.0%	601
2年生	64.7%	33.1%	1.7%	0.5%	100.0%	405
3年生	75.4%	23.0%	1.2%	0.4%	100.0%	248
合計	69.4%	28.2%	1.9%	0.5%	100.0%	1254

設問08 授業や勉強の様子 Dグループワークやディスカッションに、積極的に参加した

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	48.4%	45.9%	4.5%	1.2%	100.0%	601
2年生	42.4%	50.7%	6.4%	0.5%	100.0%	406
3年生	47.4%	46.6%	4.4%	1.6%	100.0%	249
合計	46.3%	47.6%	5.1%	1.0%	100.0%	1256

設問09 授業や勉強の様子 E計画を立てて勉強した

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	21.3%	45.8%	28.8%	4.2%	100.0%	601
2年生	22.5%	46.5%	27.7%	3.2%	100.0%	404
3年生	25.0%	51.6%	20.2%	3.2%	100.0%	248
合計	22.4%	47.2%	26.7%	3.7%	100.0%	1253

設問10 授業や勉強の様子 F興味をもったことについて自主的に勉強した

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	30.9%	48.6%	18.0%	2.5%	100.0%	599
2年生	30.6%	47.9%	19.3%	2.2%	100.0%	405
3年生	35.2%	51.0%	13.0%	0.8%	100.0%	247
合計	31.7%	48.8%	17.4%	2.1%	100.0%	1251

設問11 授業や勉強の様子G 進路や将来について積極的に考えた

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	29.5%	45.6%	21.5%	3.3%	100.0%	599
2年生	30.6%	48.1%	20.0%	1.2%	100.0%	405
3年生	46.2%	40.5%	12.1%	1.2%	100.0%	247
合計	33.2%	45.4%	19.2%	2.2%	100.0%	1251

2022年度末実施

回答者学部・学科

学年	共同教育学部	情報学部・社会情報学部	医学部医学科	医学部保健学科	理工学部	合計	n
1年生	12.2%	16.3%	9.0%	15.5%	46.9%	100.0%	686
2年生	13.8%	19.7%	11.1%	13.0%	42.3%	100.0%	477
3年生	8.9%	11.7%	7.8%	21.0%	50.6%	100.0%	257
合計	12.2%	16.6%	9.5%	15.6%	46.1%	100.0%	1420

学年	とてもあてはまる	まあああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	n
1年生	62.2%	34.0%	3.5%	0.3%	100.0%	685
2年生	60.8%	35.6%	3.1%	0.4%	100.0%	477
3年生	65.2%	31.6%	2.7%	0.4%	100.0%	256
合計	62.3%	34.1%	3.2%	0.4%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	19.7%	52.6%	24.6%	3.1%	100.0%	684
2年生	22.4%	56.6%	19.3%	1.7%	100.0%	477
3年生	28.8%	54.1%	15.6%	1.6%	100.0%	257
合計	22.3%	54.2%	21.2%	2.3%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	68.2%	28.6%	3.1%	0.1%	100.0%	686
2年生	71.8%	25.8%	2.1%	0.2%	100.0%	476
3年生	77.0%	21.0%	1.6%	0.4%	100.0%	257
合計	71.0%	26.3%	2.5%	0.2%	100.0%	1419

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	46.4%	49.3%	4.1%	0.3%	100.0%	686
2年生	44.4%	49.9%	5.0%	0.6%	100.0%	477
3年生	42.0%	48.2%	9.3%	0.4%	100.0%	257
合計	44.9%	49.3%	5.4%	0.4%	100.0%	1420

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	20.0%	47.6%	27.0%	5.4%	100.0%	685
2年生	20.8%	48.9%	27.1%	3.2%	100.0%	476
3年生	18.3%	56.0%	21.8%	3.9%	100.0%	257
合計	20.0%	49.6%	26.1%	4.4%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	28.1%	50.9%	19.0%	2.0%	100.0%	684
2年生	26.0%	49.9%	22.6%	1.5%	100.0%	477
3年生	33.1%	47.1%	17.5%	2.3%	100.0%	257
合計	28.3%	49.9%	20.0%	1.9%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	28.2%	46.3%	23.0%	2.5%	100.0%	682
2年生	30.0%	45.3%	22.6%	2.1%	100.0%	477
3年生	48.2%	36.2%	14.8%	0.8%	100.0%	257
合計	32.4%	44.1%	21.4%	2.0%	100.0%	1416

2021年度末実施

回答者学部・学科

学年	共同教育学部・教育学部	情報学部・社会情報学部	医学部医学科	医学部保健学科	理工学部	合計	n
1年生	15.2%	17.1%	10.1%	14.0%	43.6%	100.0%	764
2年生	10.8%	10.6%	8.5%	17.2%	52.9%	100.0%	471
3年生	12.0%	15.9%	7.6%	21.0%	43.5%	100.0%	276
合計	13.2%	14.9%	9.1%	16.3%	46.5%	100.0%	1511

学年	とてもあてはまる	まあああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	n
1年生	62.3%	33.8%	3.7%	0.3%	100.0%	763
2年生	59.9%	38.2%	1.3%	0.6%	100.0%	469
3年生	65.2%	33.7%	1.1%	0.0%	100.0%	276
合計	62.1%	35.1%	2.5%	0.3%	100.0%	1508

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	18.6%	61.0%	18.6%	1.7%	100.0%	762
2年生	18.0%	63.7%	16.1%	2.1%	100.0%	466
3年生	26.5%	57.1%	14.9%	1.5%	100.0%	275
合計	19.9%	61.1%	17.2%	1.8%	100.0%	1503

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	68.8%	28.3%	2.6%	0.3%	100.0%	762
2年生	71.1%	26.5%	1.9%	0.4%	100.0%	471
3年生	73.9%	23.6%	2.5%	0.0%	100.0%	276
合計	70.4%	26.9%	2.4%	0.3%	100.0%	1509

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	46.5%	47.4%	5.8%	0.4%	100.0%	764
2年生	37.8%	53.5%	8.7%	0.0%	100.0%	471
3年生	43.5%	49.6%	6.2%	0.7%	100.0%	276
合計	43.2%	49.7%	6.8%	0.3%	100.0%	1511

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	21.6%	49.9%	24.8%	3.7%	100.0%	763
2年生	17.6%	50.3%	28.7%	3.4%	100.0%	471
3年生	19.6%	55.3%	23.3%	1.8%	100.0%	275
合計	20.0%	51.0%	25.7%	3.2%	100.0%	1509

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	20.3%	59.0%	18.6%	2.1%	100.0%	764
2年生	16.3%	57.7%	23.8%	2.1%	100.0%	471
3年生	25.2%	56.6%	14.6%	3.6%	100.0%	274
合計	19.9%	58.2%	19.5%	2.4%	100.0%	1509

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	33.6%	49.0%	16.5%	0.9%	100.0%	763
2年生	29.6%	52.6%	16.0%	1.9%	100.0%	470
3年生	55.4%	33.3%	8.3%	2.9%	100.0%	276
合計	36.3%	47.2%	14.8%	1.6%	100.0%	1509

設問12 どの程度身についたか A人と協力しながらものごとを進める

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	49.2%	44.5%	5.3%	1.0%	100.0%	600
2年生	44.4%	47.9%	6.9%	0.7%	100.0%	405
3年生	42.2%	49.4%	7.6%	0.8%	100.0%	249
合計	46.3%	46.6%	6.3%	0.9%	100.0%	1254

設問13 どの程度身についたか B自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	16.8%	41.4%	34.8%	7.0%	100.0%	601
2年生	19.5%	48.4%	27.7%	4.4%	100.0%	405
3年生	18.1%	47.8%	28.9%	5.2%	100.0%	249
合計	17.9%	44.9%	31.3%	5.8%	100.0%	1255

設問14 どの程度身についたか C異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	30.0%	55.1%	13.3%	1.7%	100.0%	601
2年生	34.5%	54.8%	9.9%	0.7%	100.0%	403
3年生	30.9%	52.6%	14.5%	2.0%	100.0%	249
合計	31.6%	54.5%	12.5%	1.4%	100.0%	1253

設問15 どの程度身についたか D自分の知識や考えを文章で論理的に書く

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	35.3%	52.4%	10.3%	2.0%	100.0%	601
2年生	35.4%	51.0%	12.6%	1.0%	100.0%	404
3年生	28.5%	57.0%	13.3%	1.2%	100.0%	249
合計	34.0%	52.9%	11.6%	1.5%	100.0%	1254

設問16 どの程度身についたか E自分で目標を設定し、計画的に行動する

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	24.7%	52.3%	20.5%	2.5%	100.0%	600
2年生	27.0%	55.1%	16.6%	1.2%	100.0%	403
3年生	28.6%	52.0%	17.7%	1.6%	100.0%	248
合計	26.2%	53.2%	18.7%	1.9%	100.0%	1251

設問17 どの程度身についたか Fものごとを批判的・多面的に考える

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	33.7%	55.6%	10.2%	0.5%	100.0%	599
2年生	31.3%	59.1%	8.6%	1.0%	100.0%	406
3年生	25.0%	61.7%	12.1%	1.2%	100.0%	248
合計	31.2%	57.9%	10.1%	0.8%	100.0%	1253

設問18 どの程度身についたか G現状を分析し、問題点や課題を発見する

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	33.0%	56.3%	9.7%	1.0%	100.0%	600
2年生	31.7%	59.4%	7.9%	1.0%	100.0%	404
3年生	31.7%	56.2%	10.0%	2.0%	100.0%	249
合計	32.3%	57.3%	9.2%	1.2%	100.0%	1253

設問19 どの程度身についたか H筋道を立てて論理的に問題を解決する

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	28.5%	58.9%	11.6%	1.0%	100.0%	601
2年生	27.1%	59.6%	12.6%	0.7%	100.0%	406
3年生	25.0%	63.3%	10.5%	1.2%	100.0%	248
合計	27.3%	60.0%	11.7%	1.0%	100.0%	1255

設問20 どの程度身についたか I国際的な視野を身につける

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	17.2%	42.7%	33.7%	6.3%	100.0%	599
2年生	15.8%	42.0%	35.3%	6.9%	100.0%	405
3年生	12.1%	39.9%	36.3%	11.7%	100.0%	248
合計	15.7%	41.9%	34.7%	7.6%	100.0%	1252

設問21 どの程度身についたか Jなにごとにも粘り強く取り組む姿勢をもつ

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	33.5%	52.7%	12.3%	1.5%	100.0%	600
2年生	30.8%	55.9%	11.8%	1.5%	100.0%	406
3年生	38.3%	51.6%	8.9%	1.2%	100.0%	248
合計	33.6%	53.5%	11.5%	1.4%	100.0%	1254

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	44.2%	49.7%	4.8%	1.3%	100.0%	686
2年生	43.2%	49.6%	6.3%	0.8%	100.0%	474
3年生	43.6%	46.3%	9.7%	0.4%	100.0%	257
合計	43.8%	49.0%	6.2%	1.0%	100.0%	1417

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	16.3%	45.6%	32.7%	5.4%	100.0%	686
2年生	17.2%	49.2%	31.1%	2.5%	100.0%	476
3年生	16.0%	44.1%	37.1%	2.7%	100.0%	256
合計	16.6%	46.5%	32.9%	3.9%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	31.5%	56.6%	10.6%	1.3%	100.0%	680
2年生	28.9%	60.2%	9.9%	1.0%	100.0%	477
3年生	28.0%	57.6%	13.2%	1.2%	100.0%	257
合計	30.0%	58.0%	10.8%	1.2%	100.0%	1414

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	32.6%	56.3%	9.4%	1.8%	100.0%	684
2年生	29.1%	59.1%	11.1%	0.6%	100.0%	477
3年生	28.8%	55.6%	14.4%	1.2%	100.0%	257
合計	30.7%	57.1%	10.9%	1.3%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	22.7%	55.0%	18.8%	3.5%	100.0%	682
2年生	22.0%	55.6%	21.2%	1.3%	100.0%	477
3年生	26.8%	48.2%	22.2%	2.7%	100.0%	257
合計	23.2%	54.0%	20.2%	2.6%	100.0%	1416

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	30.2%	58.0%	11.4%	0.4%	100.0%	685
2年生	31.5%	54.0%	13.9%	0.6%	100.0%	476
3年生	29.2%	58.0%	11.7%	1.2%	100.0%	257
合計	30.5%	56.6%	12.3%	0.6%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	30.6%	59.8%	8.8%	0.7%	100.0%	682
2年生	29.5%	59.4%	10.7%	0.4%	100.0%	475
3年生	31.6%	57.4%	9.0%	2.0%	100.0%	256
合計	30.4%	59.2%	9.5%	0.8%	100.0%	1413

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	27.0%	59.8%	11.5%	1.6%	100.0%	684
2年生	24.4%	62.2%	12.8%	0.6%	100.0%	476
3年生	27.6%	58.4%	13.2%	0.8%	100.0%	257
合計	26.3%	60.3%	12.3%	1.1%	100.0%	1417

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	19.4%	48.4%	27.8%	4.4%	100.0%	686
2年生	14.7%	35.0%	42.6%	7.8%	100.0%	477
3年生	13.3%	30.5%	45.7%	10.5%	100.0%	256
合計	16.7%	40.7%	36.0%	6.6%	100.0%	1419

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	30.4%	52.6%	14.9%	2.0%	100.0%	684
2年生	29.6%	55.5%	14.1%	0.8%	100.0%	476
3年生	36.2%	49.8%	12.1%	1.9%	100.0%	257
合計	31.2%	53.1%	14.1%	1.6%	100.0%	1417

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	44.3%	47.7%	7.1%	0.9%	100.0%	763
2年生	35.8%	53.7%	9.6%	0.9%	100.0%	469
3年生	39.9%	46.4%	13.0%	0.7%	100.0%	276
合計	40.8%	49.3%	9.0%	0.9%	100.0%	1508

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	16.1%	49.4%	30.9%	3.5%	100.0%	763
2年生	13.0%	45.2%	36.7%	5.1%	100.0%	471
3年生	19.9%	39.5%	36.6%	4.0%	100.0%	276
合計	15.8%	46.3%	33.8%	4.1%	100.0%	1510

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	32.9%	55.6%	10.9%	0.5%	100.0%	762
2年生	21.7%	64.0%	12.2%	2.1%	100.0%	469
3年生	31.3%	50.2%	17.5%	1.1%	100.0%	275
合計	29.2%	57.2%	12.5%	1.1%	100.0%	1506

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	33.5%	55.8%	9.9%	0.8%	100.0%	761
2年生	25.3%	61.7%	11.9%	1.1%	100.0%	470
3年生	30.4%	60.5%	8.7%	0.4%	100.0%	276
合計	30.4%	58.5%	10.3%	0.8%	100.0%	1507

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	24.0%	55.8%	18.4%	1.8%	100.0%	762
2年生	20.4%	55.5%	21.7%	2.3%	100.0%	470
3年生	29.1%	50.9%	19.3%	0.7%	100.0%	275
合計	23.8%	54.8%	19.6%	1.8%	100.0%	1507

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	32.6%	55.7%	11.4%	0.3%	100.0%	761
2年生	22.6%	62.4%	13.5%	1.5%	100.0%	468
3年生	31.9%	52.9%	15.2%	0.0%	100.0%	276
合計	29.4%	57.3%	12.8%	0.6%	100.0%	1505

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	31.8%	59.5%	8.3%	0.4%	100.0%	761
2年生	23.2%	64.0%	10.9%	1.9%	100.0%	469
3年生	31.3%	61.8%	6.9%	0.0%	100.0%	275
合計	29.0%	61.3%	8.8%	0.8%	100.0%	1505

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	25.5%	60.7%	12.8%	1.1%	100.0%	760
2年生	18.5%	65.5%	14.7%	1.3%	100.0%	470
3年生	26.5%	61.5%	11.6%	0.4%	100.0%	275
合計	23.5%	62.3%	13.2%	1.0%	100.0%	1505

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	18.5%	46.4%	30.8%	4.3%	100.0%	763
2年生	11.7%	37.4%	42.8%	8.1%	100.0%	470
3年生	12.4%	35.3%	39.6%	12.7%	100.0%	275
合計	15.3%	41.6%	36.1%	7.0%	100.0%	1508

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	29.0%	53.4%	15.6%	2.0%	100.0%	761
2年生	28.2%	54.9%	14.3%	2.6%	100.0%	468
3年生	41.2%	45.6%	12.8%	0.4%	100.0%	274
合計	31.0%	52.4%	14.7%	1.9%	100.0%	1503

設問22 どの程度身についたか K自分の考えを相手に伝わるように話す

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	36.6%	54.7%	7.5%	1.2%	100.0%	601
2年生	33.9%	57.4%	7.4%	1.2%	100.0%	404
3年生	32.9%	59.8%	6.8%	0.4%	100.0%	249
合計	35.0%	56.6%	7.3%	1.0%	100.0%	1254

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	34.3%	57.0%	8.0%	0.7%	100.0%	686
2年生	30.5%	58.4%	10.5%	0.6%	100.0%	476
3年生	30.7%	58.8%	10.1%	0.4%	100.0%	257
合計	32.3%	57.8%	9.2%	0.6%	100.0%	1419

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	36.4%	54.5%	8.7%	0.4%	100.0%	763
2年生	27.4%	63.6%	8.3%	0.6%	100.0%	470
3年生	36.0%	56.4%	6.9%	0.7%	100.0%	275
合計	33.6%	57.7%	8.2%	0.5%	100.0%	1508

設問23 どの程度身についたか L図や数表を用いて問題を理解し、表現することができる

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	24.7%	56.3%	17.5%	1.5%	100.0%	600
2年生	27.7%	57.3%	14.1%	1.0%	100.0%	405
3年生	23.5%	57.5%	17.4%	1.6%	100.0%	247
合計	25.4%	56.9%	16.4%	1.4%	100.0%	1252

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	23.6%	59.0%	15.5%	1.9%	100.0%	686
2年生	23.1%	58.5%	17.0%	1.5%	100.0%	477
3年生	21.5%	55.1%	21.9%	1.6%	100.0%	256
合計	23.0%	58.1%	17.1%	1.7%	100.0%	1419

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	24.2%	58.2%	16.7%	0.9%	100.0%	760
2年生	18.6%	59.7%	19.7%	1.9%	100.0%	467
3年生	28.4%	51.3%	19.6%	0.7%	100.0%	275
合計	23.2%	57.4%	18.2%	1.2%	100.0%	1502

設問24 どの程度身についたか M外国語でコミュニケーションする

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	13.4%	39.1%	37.4%	10.2%	100.0%	599
2年生	13.7%	39.1%	36.6%	10.7%	100.0%	402
3年生	10.6%	25.2%	41.9%	22.4%	100.0%	246
合計	12.9%	36.3%	38.0%	12.8%	100.0%	1247

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	13.3%	46.2%	34.0%	6.6%	100.0%	686
2年生	9.0%	40.3%	40.5%	10.3%	100.0%	477
3年生	7.4%	22.7%	49.6%	20.3%	100.0%	256
合計	10.8%	40.0%	39.0%	10.3%	100.0%	1419

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	12.1%	49.1%	32.9%	5.9%	100.0%	760
2年生	8.3%	37.3%	46.1%	8.3%	100.0%	469
3年生	7.6%	24.6%	42.0%	25.7%	100.0%	276
合計	10.1%	40.9%	38.7%	10.3%	100.0%	1505

設問25 授業期間中1日あたり生活時間 A授業時間以外の大学での学習（図書館、空き教室など）

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	38.2%	43.9%	13.2%	3.2%	1.5%	100.0%	599
2年生	32.8%	40.2%	17.8%	4.0%	5.2%	100.0%	405
3年生	38.7%	36.7%	15.7%	4.4%	4.4%	100.0%	248
合計	36.6%	41.3%	15.2%	3.7%	3.3%	100.0%	1252

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	43.7%	41.2%	10.4%	2.9%	1.8%	100.0%	684
2年生	44.7%	33.3%	14.9%	3.6%	3.6%	100.0%	477
3年生	47.5%	31.1%	10.9%	5.8%	4.7%	100.0%	257
合計	44.7%	36.7%	12.0%	3.7%	2.9%	100.0%	1418

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	69.1%	24.2%	4.6%	1.3%	0.8%	100.0%	763
2年生	58.8%	27.3%	10.9%	2.3%	0.6%	100.0%	469
3年生	58.7%	22.8%	10.9%	2.5%	5.1%	100.0%	276
合計	64.0%	24.9%	7.7%	1.9%	1.5%	100.0%	1508

設問26 授業期間中1日あたり生活時間 B自宅での学習

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	35.5%	47.5%	11.9%	3.5%	1.7%	100.0%	598
2年生	27.9%	44.2%	18.3%	4.9%	4.7%	100.0%	405
3年生	24.6%	40.3%	25.4%	6.0%	3.6%	100.0%	248
合計	30.9%	45.0%	16.6%	4.5%	3.0%	100.0%	1251

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	31.0%	46.4%	17.1%	4.2%	1.3%	100.0%	686
2年生	18.9%	49.8%	19.3%	6.3%	5.7%	100.0%	476
3年生	14.8%	41.2%	29.2%	7.0%	7.8%	100.0%	257
合計	24.0%	46.6%	20.0%	5.4%	3.9%	100.0%	1419

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	23.8%	44.6%	23.0%	5.5%	3.1%	100.0%	762
2年生	10.6%	44.7%	30.0%	8.7%	6.0%	100.0%	470
3年生	13.8%	44.7%	24.7%	6.2%	10.5%	100.0%	275
合計	17.9%	44.7%	25.5%	6.6%	5.4%	100.0%	1507

設問27 授業期間中1日あたり生活時間 Cクラブ・サークル活動

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	49.3%	22.2%	19.4%	5.6%	3.5%	100.0%	594
2年生	63.9%	16.4%	13.4%	3.7%	2.5%	100.0%	402
3年生	69.1%	14.9%	10.8%	4.0%	1.2%	100.0%	249
合計	58.0%	18.9%	15.7%	4.7%	2.7%	100.0%	1245

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	53.5%	21.2%	17.4%	6.1%	1.8%	100.0%	684
2年生	60.7%	16.7%	14.6%	5.1%	3.0%	100.0%	473
3年生	76.5%	7.5%	10.6%	2.4%	3.1%	100.0%	255
合計	60.1%	17.2%	15.2%	5.1%	2.4%	100.0%	1412

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	57.0%	19.5%	16.8%	4.5%	2.2%	100.0%	758
2年生	71.8%	10.5%	11.3%	4.3%	2.1%	100.0%	468
3年生	75.6%	10.5%	8.7%	2.5%	2.5%	100.0%	275
合計	65.0%	15.1%	13.6%	4.1%	2.3%	100.0%	1501

設問28 授業期間中1日あたり生活時間 Dアルバイト

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	33.7%	11.1%	15.1%	19.0%	21.1%	100.0%	596
2年生	27.2%	15.6%	19.0%	12.3%	25.9%	100.0%	405
3年生	26.9%	15.7%	20.9%	14.1%	22.5%	100.0%	249
合計	30.2%	13.4%	17.5%	15.8%	23.0%	100.0%	1250

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	36.0%	12.2%	18.4%	15.9%	17.5%	100.0%	680
2年生	29.6%	14.7%	21.4%	15.3%	18.9%	100.0%	476
3年生	38.2%	13.8%	16.9%	15.4%	15.7%	100.0%	254
合計	34.3%	13.3%	19.1%	15.6%	17.7%	100.0%	1410

学年	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上4時間未満	4時間以上	合計	n
1年生	36.3%	13.7%	17.5%	15.0%	17.4%	100.0%	758
2年生	37.6%	11.1%	20.3%	16.9%	14.1%	100.0%	468
3年生	37.7%	13.4%	13.0%	18.8%	17.0%	100.0%	276
合計	37.0%	12.8%	17.6%	16.3%	16.3%	100.0%	1502

設問29 普段の生活 Aひんぱんに話したり一緒に遊んだりする友だちがいた

学年	とてもあてはまる	まあああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	n
1年生	58.4%	27.8%	8.9%	5.0%	100.0%	598
2年生	51.6%	33.7%	8.9%	5.7%	100.0%	403
3年生	49.4%	32.9%	13.3%	4.4%	100.0%	249
合計	54.4%	30.7%	9.8%	5.1%	100.0%	1250

学年	とてもあてはまる	まあああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	n
1年生	53.1%	32.1%	9.2%	5.5%	100.0%	685
2年生	52.6%	33.8%	9.4%	4.2%	100.0%	477
3年生	43.1%	37.3%	13.3%	6.3%	100.0%	255
合計	51.2%	33.6%	10.0%	5.2%	100.0%	1417

学年	とてもあてはまる	まあああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計	n
1年生	40.2%	34.2%	17.6%	8.0%	100.0%	763
2年生	37.9%	35.3%	18.1%	8.7%	100.0%	470
3年生	41.2%	35.4%	17.2%	6.2%	100.0%	274
合計	39.7%	34.8%	17.7%	7.9%	100.0%	1507

設問30 普段の生活 B勉強について相談できる友だちや先輩がいた

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	54.5%	33.4%	7.4%	4.7%	100.0%	598
2年生	52.6%	33.7%	8.7%	5.0%	100.0%	403
3年生	49.0%	35.3%	8.8%	6.8%	100.0%	249
合計	52.8%	33.9%	8.1%	5.2%	100.0%	1250

設問31 普段の生活 C気軽に相談できる教員がいた

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	9.3%	26.4%	39.6%	24.7%	100.0%	599
2年生	9.9%	25.2%	40.5%	24.4%	100.0%	405
3年生	16.1%	37.8%	34.5%	11.6%	100.0%	249
合計	10.9%	28.3%	38.9%	22.0%	100.0%	1253

設問32 普段の生活 D授業に興味・関心がもてなかった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	9.0%	27.8%	46.0%	17.2%	100.0%	600
2年生	8.9%	25.5%	48.3%	17.3%	100.0%	404
3年生	8.5%	25.0%	46.0%	20.6%	100.0%	248
合計	8.9%	26.5%	46.7%	17.9%	100.0%	1252

設問33 普段の生活E 授業が難しくてついていけないと感じた

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	8.2%	31.7%	47.1%	13.1%	100.0%	597
2年生	9.9%	36.3%	44.0%	9.9%	100.0%	405
3年生	6.5%	22.2%	48.0%	23.4%	100.0%	248
合計	8.4%	31.3%	46.2%	14.1%	100.0%	1250

設問34 普段の生活 F大学の中に自分の居場所がないように感じた

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	3.5%	14.7%	38.6%	43.2%	100.0%	599
2年生	3.7%	12.1%	44.3%	39.9%	100.0%	404
3年生	4.4%	12.5%	37.9%	45.2%	100.0%	248
合計	3.8%	13.4%	40.3%	42.5%	100.0%	1251

設問35 普段の生活 G友だちとの関係で困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	2.7%	16.2%	35.7%	45.4%	100.0%	599
2年生	3.7%	10.4%	39.2%	46.7%	100.0%	403
3年生	2.8%	12.1%	33.5%	51.6%	100.0%	248
合計	3.0%	13.5%	36.4%	47.0%	100.0%	1250

設問36 普段の生活 H教員との関係で困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	2.3%	7.8%	37.7%	52.1%	100.0%	599
2年生	2.2%	5.0%	37.6%	55.2%	100.0%	404
3年生	2.4%	6.0%	35.9%	55.6%	100.0%	248
合計	2.3%	6.6%	37.3%	53.8%	100.0%	1251

設問37 普段の生活 Iアルバイトで困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.0%	16.4%	27.9%	51.7%	100.0%	596
2年生	4.7%	14.9%	29.5%	51.0%	100.0%	404
3年生	2.8%	10.1%	31.0%	56.0%	100.0%	248
合計	4.0%	14.7%	29.0%	52.3%	100.0%	1248

設問38 普段の生活 J体調が著く困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	7.2%	27.3%	30.9%	34.6%	100.0%	598
2年生	8.4%	25.2%	32.8%	33.6%	100.0%	405
3年生	4.4%	24.2%	35.5%	35.9%	100.0%	248
合計	7.0%	26.0%	32.5%	34.5%	100.0%	1251

設問39 普段の生活 K生活習慣が崩れて困ることがあった

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	12.2%	31.5%	30.0%	26.3%	100.0%	600
2年生	8.4%	28.9%	34.1%	28.6%	100.0%	405
3年生	10.1%	27.8%	33.9%	28.2%	100.0%	248
合計	10.5%	29.9%	32.1%	27.5%	100.0%	1253

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	49.1%	36.7%	8.3%	5.8%	100.0%	686
2年生	50.8%	37.6%	8.4%	3.2%	100.0%	476
3年生	45.7%	38.7%	10.2%	5.5%	100.0%	256
合計	49.1%	37.4%	8.7%	4.9%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	9.9%	23.6%	39.1%	27.3%	100.0%	685
2年生	11.9%	30.4%	37.7%	19.9%	100.0%	477
3年生	13.7%	37.9%	38.3%	10.2%	100.0%	256
合計	11.3%	28.5%	38.5%	21.7%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	6.7%	28.5%	48.9%	15.9%	100.0%	685
2年生	8.0%	30.3%	47.3%	14.5%	100.0%	476
3年生	7.0%	23.0%	49.2%	20.7%	100.0%	256
合計	7.2%	28.1%	48.4%	16.3%	100.0%	1417

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	8.2%	38.8%	43.6%	9.5%	100.0%	686
2年生	6.5%	41.9%	42.8%	8.8%	100.0%	477
3年生	2.4%	25.1%	54.5%	18.0%	100.0%	255
合計	6.6%	37.4%	45.3%	10.8%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.4%	11.5%	45.7%	38.4%	100.0%	685
2年生	2.1%	13.8%	47.8%	36.3%	100.0%	477
3年生	3.1%	12.5%	46.9%	37.5%	100.0%	256
合計	3.4%	12.5%	46.6%	37.5%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	3.5%	15.0%	38.0%	43.4%	100.0%	686
2年生	2.5%	13.7%	43.7%	40.1%	100.0%	476
3年生	2.3%	11.3%	42.6%	43.8%	100.0%	256
合計	3.0%	13.9%	40.8%	42.4%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	2.2%	10.7%	34.6%	52.6%	100.0%	685
2年生	1.9%	8.2%	41.3%	48.6%	100.0%	477
3年生	2.0%	5.9%	39.5%	52.7%	100.0%	256
合計	2.0%	9.0%	37.7%	51.3%	100.0%	1418

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	3.2%	15.4%	25.7%	55.7%	100.0%	684
2年生	2.5%	12.4%	33.6%	51.5%	100.0%	476
3年生	2.8%	15.9%	27.8%	53.6%	100.0%	252
合計	2.9%	14.4%	28.8%	53.9%	100.0%	1412

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	6.0%	22.9%	29.6%	41.5%	100.0%	686
2年生	5.2%	24.9%	32.5%	37.3%	100.0%	477
3年生	6.7%	21.7%	35.8%	35.8%	100.0%	254
合計	5.9%	23.4%	31.7%	39.1%	100.0%	1417

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	11.1%	29.1%	31.7%	28.2%	100.0%	685
2年生	8.0%	35.7%	31.0%	25.3%	100.0%	474
3年生	7.4%	36.5%	30.6%	23.5%	100.0%	255
合計	9.8%	32.6%	31.3%	26.4%	100.0%	1414

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	42.3%	38.3%	12.5%	6.9%	100.0%	759
2年生	41.2%	39.3%	11.5%	8.1%	100.0%	471
3年生	45.3%	34.1%	14.9%	5.8%	100.0%	276
合計	42.5%	37.8%	12.6%	7.0%	100.0%	1506

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	7.6%	25.4%	41.1%	25.9%	100.0%	761
2年生	8.1%	24.0%	45.4%	22.5%	100.0%	471
3年生	13.5%	37.5%	30.9%	18.2%	100.0%	275
合計	8.8%	27.1%	40.6%	23.4%	100.0%	1507

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	8.3%	30.4%	45.9%	15.4%	100.0%	760
2年生	10.0%	28.0%	51.2%	10.8%	100.0%	471
3年生	8.0%	22.5%	47.3%	22.2%	100.0%	275
合計	8.8%	28.2%	47.8%	15.2%	100.0%	1506

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	8.4%	36.9%	45.1%	9.6%	100.0%	762
2年生	9.8%	38.7%	44.0%	7.5%	100.0%	468
3年生	3.6%	28.0%	46.5%	21.8%	100.0%	275
合計	8.0%	35.8%	45.0%	11.2%	100.0%	1505

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.7%	18.2%	45.7%	31.4%	100.0%	762
2年生	6.2%	17.6%	50.7%	25.5%	100.0%	471
3年生	4.0%	10.1%	44.9%	40.9%	100.0%	276
合計	5.0%	16.6%	47.1%	31.3%	100.0%	1509

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.3%	16.4%	39.9%	39.3%	100.0%	760
2年生	4.2%	12.5%	45.2%	38.0%	100.0%	471
3年生	2.2%	14.2%	35.3%	48.4%	100.0%	275
合計	3.9%	14.8%	40.7%	40.6%	100.0%	1506

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	2.4%	9.1%	42.5%	46.1%	100.0%	760
2年生	2.3%	5.7%	44.6%	47.3%	100.0%	471
3年生	3.3%	6.2%	35.1%	55.4%	100.0%	276
合計	2.5%	7.5%	41.8%	48.2%	100.0%	1507

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	4.1%	14.9%	28.5%	52.5%	100.0%	758
2年生	3.6%	16.0%	29.3%	51.1%	100.0%	468
3年生	3.6%	13.4%	24.6%	58.3%	100.0%	276
合計	3.9%	15.0%	28.0%	53.1%	100.0%	1502

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	3.2%	17.7%	33.3%	45.8%	100.0%	759
2年生	6.6%	19.5%	35.5%	38.4%	100.0%	471
3年生	6.9%	13.8%	33.0%	46.4%	100.0%	276
合計	4.9%	17.5%	33.9%	43.6%	100.0%	1506

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	11.3%	33.4%	29.7%	25.5%	100.0%	760
2年生	14.0%	34.6%	31.8%	19.5%	100.0%	471
3年生	15.6%	32.2%	25.0%	27.2%	100.0%	276
合計	12.9%	33.6%	29.5%	24.0%	100.0%	1507

設問40 大学での学び方について考えに近いものA
1. あまり興味がなくても、単位を楽にとれる授業がよい
2. 単位をとるのが難しくても、自分の興味のある授業がよい

学年	1	2	合計	n
1年生	54.9%	45.1%	100.0%	599
2年生	55.6%	44.4%	100.0%	405
3年生	41.9%	58.1%	100.0%	248
合計	52.6%	47.4%	100.0%	1252

学年	1	2	合計	n
1年生	56.9%	43.1%	100.0%	686
2年生	51.1%	48.9%	100.0%	476
3年生	43.9%	56.1%	100.0%	255
合計	52.6%	47.4%	100.0%	1417

学年	1	2	合計	n
1年生	51.6%	48.4%	100.0%	761
2年生	47.1%	52.9%	100.0%	471
3年生	43.8%	56.2%	100.0%	276
合計	48.8%	51.2%	100.0%	1508

設問41 大学での学び方について考えに近いものB
1. 授業の意義や必要性を教えてほしい
2. 授業の意義や必要性は自分で見出したい

学年	1	2	合計	n
1年生	52.5%	47.5%	100.0%	598
2年生	60.2%	39.8%	100.0%	405
3年生	61.1%	38.9%	100.0%	247
合計	56.7%	43.3%	100.0%	1250

学年	1	2	合計	n
1年生	54.6%	45.4%	100.0%	685
2年生	66.4%	33.6%	100.0%	476
3年生	58.6%	41.4%	100.0%	256
合計	59.3%	40.7%	100.0%	1417

学年	1	2	合計	n
1年生	60.1%	39.9%	100.0%	762
2年生	60.6%	39.4%	100.0%	470
3年生	57.8%	42.2%	100.0%	275
合計	59.9%	40.1%	100.0%	1507

設問42 大学での学び方について考えに近いものC
1. 授業の中で必要なことはすべて扱ってほしい
2. 授業はきっかけて後は自分で学びたい

学年	1	2	合計	n
1年生	81.9%	18.1%	100.0%	598
2年生	81.7%	18.3%	100.0%	404
3年生	79.8%	20.2%	100.0%	247
合計	81.4%	18.6%	100.0%	1249

学年	1	2	合計	n
1年生	81.4%	18.6%	100.0%	684
2年生	81.9%	18.1%	100.0%	475
3年生	82.7%	17.3%	100.0%	255
合計	81.8%	18.2%	100.0%	1414

学年	1	2	合計	n
1年生	80.3%	19.7%	100.0%	761
2年生	80.7%	19.3%	100.0%	471
3年生	79.0%	21.0%	100.0%	276
合計	80.2%	19.8%	100.0%	1508

設問43 大学での学び方について考えに近いものD
1. 自分のレベルに合った授業をしてほしい
2. 授業は難しくてもチャレンジングなほうがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	80.9%	19.1%	100.0%	598
2年生	85.4%	14.6%	100.0%	403
3年生	79.4%	20.6%	100.0%	248
合計	82.1%	17.9%	100.0%	1249

学年	1	2	合計	n
1年生	84.1%	15.9%	100.0%	685
2年生	83.6%	16.4%	100.0%	477
3年生	75.5%	24.5%	100.0%	253
合計	82.4%	17.6%	100.0%	1415

学年	1	2	合計	n
1年生	83.5%	16.5%	100.0%	759
2年生	83.0%	17.0%	100.0%	471
3年生	78.9%	21.1%	100.0%	275
合計	82.5%	17.5%	100.0%	1505

設問44 大学での学び方について考えに近いものE
1. 教員が知識・技術を教える講義形式の授業が多いほうがよい
2. 学生が自分で調べて発表する演習形式の授業が多いほうがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	81.2%	18.8%	100.0%	596
2年生	83.9%	16.1%	100.0%	404
3年生	80.2%	19.8%	100.0%	248
合計	81.9%	18.1%	100.0%	1248

学年	1	2	合計	n
1年生	80.3%	19.7%	100.0%	685
2年生	77.9%	22.1%	100.0%	476
3年生	83.2%	16.8%	100.0%	256
合計	80.0%	20.0%	100.0%	1417

学年	1	2	合計	n
1年生	77.9%	22.1%	100.0%	761
2年生	84.5%	15.5%	100.0%	470
3年生	79.3%	20.7%	100.0%	276
合計	80.2%	19.8%	100.0%	1507

設問45 大学での学び方について考えに近いものF
1. 大学での学習の方法は、大学の授業で指導をうけるほうがよい
2. 大学での学習の方法は、学生が自分で工夫するのがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	51.2%	48.8%	100.0%	596
2年生	55.5%	44.5%	100.0%	402
3年生	52.0%	48.0%	100.0%	246
合計	52.7%	47.3%	100.0%	1244

学年	1	2	合計	n
1年生	49.8%	50.2%	100.0%	683
2年生	52.8%	47.2%	100.0%	475
3年生	51.2%	48.8%	100.0%	256
合計	51.1%	48.9%	100.0%	1414

学年	1	2	合計	n
1年生	51.6%	48.4%	100.0%	759
2年生	50.0%	50.0%	100.0%	470
3年生	48.2%	51.8%	100.0%	274
合計	50.5%	49.5%	100.0%	1503

設問46 大学での学び方について考えに近いものG
1. 学生生活については、大学の教員が指導・支援するほうがよい
2. 学生生活については、学生の自主性に任せるほうがよい

学年	1	2	合計	n
1年生	31.2%	68.8%	100.0%	596
2年生	29.7%	70.3%	100.0%	404
3年生	27.4%	72.6%	100.0%	248
合計	30.0%	70.0%	100.0%	1248

学年	1	2	合計	n
1年生	28.4%	71.6%	100.0%	686
2年生	32.4%	67.6%	100.0%	475
3年生	31.3%	68.8%	100.0%	256
合計	30.3%	69.7%	100.0%	1417

学年	1	2	合計	n
1年生	28.7%	71.3%	100.0%	763
2年生	30.1%	69.9%	100.0%	469
3年生	28.6%	71.4%	100.0%	276
合計	29.1%	70.9%	100.0%	1508

（省略）設問47 今年学習したことの中で、最も有意義だったこととその理由（自由記述）
（省略）設問48 今年学習している中で、直面した問題とその解決策（自由記述）
（省略）設問49 今年の学習を初めからやり直すとしたら、次回はどのように変えるか（自由記述）
（省略）設問50 今年履修したかった授業科目や、以前履修したけれども再び履修したかった授業科目（自由記述）

設問51 身につけることにつながる経験 A専門的学識・技能の修得

学年	とてもできた	まあできた	あまりできなかった	まったくできなかった	合計	n
1年生	23.4%	61.5%	13.1%	2.0%	100.0%	595
2年生	28.3%	61.0%	9.4%	1.2%	100.0%	403
3年生	34.8%	57.5%	7.7%	0.0%	100.0%	247
合計	27.2%	60.6%	10.8%	1.4%	100.0%	1245

設問52 身につけることにつながる経験 B専門的学識・技能を現実の諸課題に対する活用

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	16.8%	52.8%	26.4%	4.0%	100.0%	595
2年生	21.1%	58.1%	20.1%	0.7%	100.0%	403
3年生	25.7%	58.4%	14.7%	1.2%	100.0%	245
合計	20.0%	55.6%	22.0%	2.4%	100.0%	1243

設問53 身につけることにつながる経験 C幅広い教養

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	27.8%	58.1%	12.7%	1.3%	100.0%	597
2年生	18.9%	50.5%	26.9%	3.7%	100.0%	402
3年生	16.8%	51.2%	27.9%	4.1%	100.0%	244
合計	22.8%	54.3%	20.3%	2.7%	100.0%	1243

設問54 身につけることにつながる経験 D多面的・総合的な判断

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	25.2%	59.1%	14.9%	0.8%	100.0%	596
2年生	16.9%	62.5%	19.1%	1.5%	100.0%	403
3年生	19.2%	57.1%	22.4%	1.2%	100.0%	245
合計	21.3%	59.8%	17.8%	1.1%	100.0%	1244

設問55 身につけることにつながる経験 E論理的思考力

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	26.7%	59.7%	12.6%	1.0%	100.0%	596
2年生	21.7%	66.6%	11.2%	0.5%	100.0%	401
3年生	24.5%	64.9%	9.0%	1.6%	100.0%	245
合計	24.6%	63.0%	11.4%	1.0%	100.0%	1242

設問56 身につけることにつながる経験 Fコミュニケーション能力

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	30.6%	52.8%	14.6%	2.0%	100.0%	595
2年生	25.6%	53.8%	19.9%	0.7%	100.0%	403
3年生	31.6%	51.6%	14.3%	2.5%	100.0%	244
合計	29.1%	52.9%	16.3%	1.7%	100.0%	1242

設問57 身につけることにつながる経験 G社会で生起する問題に対して取り組む意欲

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	21.5%	56.8%	18.0%	3.7%	100.0%	595
2年生	17.4%	60.3%	20.6%	1.7%	100.0%	403
3年生	20.5%	56.1%	18.9%	4.5%	100.0%	244
合計	20.0%	57.8%	19.0%	3.2%	100.0%	1242

設問58 身につけることにつながる経験 H豊かな人間性・広い視野・社会的倫理観

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	19.1%	58.6%	19.5%	2.9%	100.0%	596
2年生	17.4%	59.6%	20.8%	2.2%	100.0%	403
3年生	17.1%	59.2%	19.6%	4.1%	100.0%	245
合計	18.2%	59.0%	19.9%	2.9%	100.0%	1244

設問59 身につけることにつながる経験 I国内外での活躍

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	10.4%	27.0%	43.6%	19.0%	100.0%	596
2年生	10.0%	36.1%	35.3%	18.7%	100.0%	402
3年生	10.6%	32.2%	32.7%	24.5%	100.0%	245
合計	10.3%	31.0%	38.8%	20.0%	100.0%	1243

学年	とてもできた	まあできた	あまりできなかった	まったくできなかった	合計	n
1年生	20.2%	62.2%	14.8%	2.8%	100.0%	677
2年生	26.2%	62.3%	10.4%	1.1%	100.0%	469
3年生	27.4%	65.5%	5.2%	2.0%	100.0%	252
合計	23.5%	62.8%	11.6%	2.1%	100.0%	1398

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	15.7%	54.9%	25.2%	4.2%	100.0%	683
2年生	16.0%	60.6%	20.6%	2.8%	100.0%	470
3年生	14.6%	62.6%	21.3%	1.6%	100.0%	254
合計	15.6%	58.2%	23.0%	3.3%	100.0%	1407

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	26.5%	59.3%	12.3%	1.9%	100.0%	683
2年生	12.8%	56.0%	28.7%	2.6%	100.0%	470
3年生	13.9%	53.2%	27.4%	5.6%	100.0%	252
合計	19.6%	57.1%	20.5%	2.8%	100.0%	1405

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	21.2%	63.5%	14.0%	1.3%	100.0%	680
2年生	15.5%	62.8%	19.4%	2.3%	100.0%	470
3年生	13.8%	61.8%	21.3%	3.1%	100.0%	254
合計	17.9%	63.0%	17.1%	2.0%	100.0%	1404

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	24.3%	62.8%	11.6%	1.3%	100.0%	683
2年生	18.0%	67.7%	13.8%	0.4%	100.0%	471
3年生	20.9%	64.0%	13.8%	1.2%	100.0%	253
合計	21.6%	64.7%	12.7%	1.0%	100.0%	1407

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	29.7%	52.9%	14.6%	2.8%	100.0%	684
2年生	25.9%	56.9%	15.1%	2.1%	100.0%	471
3年生	29.0%	50.2%	19.6%	1.2%	100.0%	255
合計	28.3%	53.8%	15.7%	2.3%	100.0%	1410

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	21.6%	58.0%	18.3%	2.0%	100.0%	684
2年生	14.6%	56.3%	26.6%	2.6%	100.0%	467
3年生	15.3%	57.3%	25.9%	1.6%	100.0%	255
合計	18.1%	57.3%	22.4%	2.1%	100.0%	1406

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	20.4%	58.2%	19.2%	2.2%	100.0%	682
2年生	14.1%	58.4%	24.7%	2.8%	100.0%	469
3年生	13.3%	57.6%	24.7%	4.3%	100.0%	255
合計	17.0%	58.2%	22.0%	2.8%	100.0%	1406

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	9.5%	30.6%	41.2%	18.7%	100.0%	684
2年生	5.3%	34.0%	41.5%	19.2%	100.0%	468
3年生	4.7%	29.1%	38.6%	27.6%	100.0%	254
合計	7.3%	31.4%	40.8%	20.5%	100.0%	1406

学年	とてもできた	まあできた	あまりできなかった	まったくできなかった	合計	n
1年生	21.9%	65.6%	10.8%	1.7%	100.0%	758
2年生	21.5%	67.0%	10.7%	0.9%	100.0%	466
3年生	31.1%	62.3%	5.5%	1.1%	100.0%	273
合計	23.4%	65.4%	9.8%	1.3%	100.0%	1497

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	13.6%	60.9%	22.8%	2.8%	100.0%	759
2年生	12.6%	61.7%	23.3%	2.4%	100.0%	467
3年生	23.4%	60.2%	15.3%	1.1%	100.0%	274
合計	15.1%	61.0%	21.6%	2.3%	100.0%	1500

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	25.6%	60.6%	12.5%	1.2%	100.0%	757
2年生	9.4%	55.3%	31.6%	3.6%	100.0%	468
3年生	16.4%	51.6%	27.3%	4.7%	100.0%	275
合計	18.9%	57.3%	21.2%	2.6%	100.0%	1500

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	20.7%	65.1%	13.2%	1.1%	100.0%	759
2年生	11.1%	63.5%	23.2%	2.1%	100.0%	469
3年生	16.4%	57.3%	23.4%	2.9%	100.0%	274
合計	16.9%	63.2%	18.2%	1.7%	100.0%	1502

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	22.3%	64.0%	12.6%	1.1%	100.0%	761
2年生	15.8%	72.8%	10.3%	1.1%	100.0%	467
3年生	24.0%	66.5%	8.7%	0.7%	100.0%	275
合計	20.6%	67.2%	11.2%	1.0%	100.0%	1503

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	26.8%	50.9%	20.1%	2.2%	100.0%	761
2年生	19.2%	55.2%	22.4%	3.2%	100.0%	469
3年生	26.9%	49.8%	18.9%	4.4%	100.0%	275
合計	24.5%	52.0%	20.6%	2.9%	100.0%	1505

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	17.0%	61.1%	20.0%	2.0%	100.0%	761
2年生	10.7%	58.4%	27.5%	3.4%	100.0%	469
3年生	17.2%	52.9%	25.9%	4.0%	100.0%	274
合計	15.0%	58.8%	23.4%	2.8%	100.0%	1504

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	15.6%	62.7%	19.4%	2.2%	100.0%	757
2年生	8.8%	60.0%	27.8%	3.4%	100.0%	468
3年生	13.5%	55.5%	25.2%	5.8%	100.0%	274
合計	13.1%	60.6%	23.1%	3.3%	100.0%	1499

学年	とても	まあ	あまり	まったく	合計	n
1年生	7.6%	29.2%	40.9%	22.2%	100.0%	760
2年生	4.3%	28.3%	43.0%	24.5%	100.0%	470
3年生	5.5%	29.1%	44.0%	21.5%	100.0%	275
合計	6.2%	28.9%	42.1%	22.8%	100.0%	1505

8.1.52　群馬大学全学卒業時アンケート調査集計表

群馬大学全学卒業時アンケート調査（2024年3月卒業生、2023年3月卒業生）学部学科別集計表
回収数：2024年3月卒業生543、2023年3月卒業生500

Q1 学部（省略）
Q2 学科（省略）
Q3 専攻（省略）
Q4 入学年度（省略）

Q5 卒業後の進路

		2024年3月卒業生 就職する（群馬県内）	就職する（群馬県外）	群馬大学大学院に進学する	他の大学院に進学する	その他	N/A	合計	2023年3月卒業生 就職する（群馬県内）	就職する（群馬県外）	群馬大学大学院に進学する	他の大学院に進学する	その他	N/A	合計
医学科	度数	3	5	0	0	0	0	8	12	8	0	0	0	0	20
	%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	48	26	5	1	1	0	81	43	34	8	0	3	0	88
	%	59.3%	32.1%	6.2%	1.2%	1.2%	0.0%	100.0%	48.9%	38.6%	9.1%	0.0%	3.4%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	21	10	2	0	1	0	34	35	7	2	2	3	0	49
	%	61.8%	29.4%	5.9%	0.0%	2.9%	0.0%	100.0%	71.4%	14.3%	4.1%	4.1%	6.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	19	28	0	0	3	0	50	23	24	0	1	5	0	53
	%	38.0%	56.0%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	100.0%	43.4%	45.3%	0.0%	1.9%	9.4%	0.0%	100.0%
理工	度数	42	70	239	9	8	2	370	29	53	190	7	9	1	289
	%	11.4%	18.9%	64.6%	2.4%	2.2%	0.5%	100.0%	10.0%	18.3%	65.7%	2.4%	3.1%	0.3%	100.0%
合計	度数	133	139	246	10	13	2	543	142	126	200	10	20	1	499
	%	24.5%	25.6%	45.3%	1.8%	2.4%	0.4%	100.0%	28.5%	25.3%	40.1%	2.0%	4.0%	0.2%	100.0%

Q6 合格した群馬大学の入学試験

		2024年3月卒業生 推薦入試	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	社会人入試	帰国生入試	編入学試験	外国人留学生入試	N/A	合計	2023年3月卒業生 推薦入試	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	社会人入試	帰国生入試	編入学試験	外国人留学生入試	N/A	合計
医学科	度数	3	5	0	0	0	0	0	0	8	4	13	0	0	3	0	0	0	20
	%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	20.0%	65.0%	0.0%	0.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	27	38	16	0	0	0	0	0	81	36	35	17	0	0	0	0	0	88
	%	33.3%	46.9%	19.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	40.9%	39.8%	19.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	3	22	9	0	0	0	0	0	34	8	34	7	0	0	0	0	0	49
	%	8.8%	64.7%	26.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	16.3%	69.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	21	17	4	0	0	8	0	0	50	12	30	2	0	0	8	1	0	53
	%	42.0%	34.0%	8.0%	0.0%	0.0%	16.0%	0.0%	0.0%	100.0%	22.6%	56.6%	3.8%	0.0%	0.0%	15.1%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	118	194	27	0	1	23	4	3	370	93	152	23	0	0	12	6	3	289
	%	31.9%	52.4%	7.3%	0.0%	0.3%	6.2%	1.1%	0.8%	100.0%	32.2%	52.6%	8.0%	0.0%	0.0%	4.2%	2.1%	1.0%	100.0%
合計	度数	172	276	56	0	1	31	4	3	543	153	264	49	0	0	23	7	3	499
	%	31.7%	50.8%	10.3%	0.0%	0.2%	5.7%	0.7%	0.6%	100.0%	30.7%	52.9%	9.8%	0.0%	0.0%	4.6%	1.4%	0.6%	100.0%

Q7 群馬大学の志望順位

		2024年3月卒業生 第1志望	第2志望	第3志望以下	N/A	合計	2023年3月卒業生 第1志望	第2志望	第3志望以下	N/A	合計
医学科	度数	7	0	1	0	8	17	2	1	0	20
	%	87.5%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%	85.0%	10.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	59	12	10	0	81	65	12	11	0	88
	%	72.8%	14.8%	12.3%	0.0%	100.0%	73.9%	13.6%	12.5%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	23	10	1	0	34	35	11	3	0	49
	%	67.6%	29.4%	2.9%	0.0%	100.0%	71.4%	22.4%	6.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	40	6	4	0	50	39	11	3	0	53
	%	80.0%	12.0%	8.0%	0.0%	100.0%	73.6%	20.8%	5.7%	0.0%	100.0%
理工	度数	241	71	54	4	370	177	48	62	2	289
	%	65.1%	19.2%	14.6%	1.1%	100.0%	61.2%	16.6%	21.5%	0.7%	100.0%
合計	度数	370	99	70	4	543	333	84	80	2	499
	%	68.1%	18.2%	12.9%	0.7%	100.0%	66.7%	16.8%	16.0%	0.4%	100.0%

Q8 群馬大学に入学（編入）を決めた理由

		2024年3月卒業生 Q8−1 興味のある学問分野があること	Q8−2 資格や免許が取得できること	Q8−3 将来就きたい職業につながること	Q8−4 自分の学力と偏差値が合っていること	Q8−5 就職の実績がよいこと	Q8−6 キャンパスの雰囲気がよいこと	Q8−7 親元を離れられること	Q8−8 経済的な負担が少ないこと	Q8−9 親や学校の先生にすすめられたこと	Q8−10 その他	n
医学科	度数	3	5	2	2	1	0	2	3	2	1	8
	%	37.5%	62.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	37.5%	25.0%	12.5%	100.0%
保健学科	度数	38	50	45	38	5	5	5	39	7	3	81
	%	46.9%	61.7%	55.6%	46.9%	6.2%	6.2%	6.2%	48.1%	8.6%	3.7%	100.0%
共同教育／:	度数	15	21	26	10	3	1	2	22	11	3	34
	%	44.1%	61.8%	76.5%	29.4%	8.8%	2.9%	5.9%	64.7%	32.4%	8.8%	100.0%
社会情報	度数	35	1	14	19	4	3	6	25	11	3	50
	%	70.0%	2.0%	28.0%	38.0%	8.0%	6.0%	12.0%	50.0%	22.0%	6.0%	100.0%
理工	度数	209	19	72	150	55	18	29	150	66	21	370
	%	56.5%	5.1%	19.5%	40.5%	14.9%	4.9%	7.8%	40.5%	17.8%	5.7%	100.0%
合計	度数	300	96	159	219	68	27	44	239	97	31	543
	%	55.2%	17.7%	29.3%	40.3%	12.5%	5.0%	8.1%	44.0%	17.9%	5.7%	100.0%

		2023年3月卒業生 Q8−1 興味のある学問分野があること	Q8−2 資格や免許が取得できること	Q8−3 将来就きたい職業につながること	Q8−4 自分の学力と偏差値が合っていること	Q8−5 就職の実績がよいこと	Q8−6 キャンパスの雰囲気がよいこと	Q8−7 親元を離れられること	Q8−8 経済的な負担が少ないこと	Q8−9 親や学校の先生にすすめられたこと	Q8−10 その他	n
医学科	度数	7	11	11	9	0	1	1	6	1	2	20
	%	35.0%	55.0%	55.0%	45.0%	0.0%	5.0%	5.0%	30.0%	5.0%	10.0%	100.0%
保健学科	度数	49	63	55	38	5	10	12	38	16	4	88
	%	55.7%	71.6%	62.5%	43.2%	5.7%	11.4%	13.6%	43.2%	18.2%	4.5%	100.0%
共同教育／:	度数	27	36	31	17	3	3	4	29	7	3	49
	%	55.1%	73.5%	63.3%	34.7%	6.1%	6.1%	8.2%	59.2%	14.3%	6.1%	100.0%
社会情報	度数	36	0	14	18	3	6	4	29	10	2	53
	%	67.9%	0.0%	26.4%	34.0%	5.7%	11.3%	7.5%	54.7%	18.9%	3.8%	100.0%
理工	度数	176	13	61	144	34	10	29	141	56	20	289
	%	60.9%	4.5%	21.1%	49.8%	11.8%	3.5%	10.0%	48.8%	19.4%	6.9%	100.0%
合計	度数	295	123	172	226	45	30	50	243	90	31	499
	%	59.1%	24.6%	34.5%	45.3%	9.0%	6.0%	10.0%	48.7%	18.0%	6.2%	100.0%

Q09 入学（編入）時、共同教育／教育ポリシーについて知っていたか

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	N/A	合計	とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	N/A	合計
医学科	度数	0	2	2	4	0	8	1	9	9	1	0	20
	%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	100.0%	5.0%	45.0%	45.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	3	34	33	11	0	81	10	36	26	16	0	88
	%	3.7%	42.0%	40.7%	13.6%	0.0%	100.0%	11.4%	40.9%	29.5%	18.2%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	0	16	14	4	0	34	1	21	19	8	0	49
	%	0.0%	47.1%	41.2%	11.8%	0.0%	100.0%	2.0%	42.9%	38.8%	16.3%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	8	22	13	7	0	50	6	20	19	8	0	53
	%	16.0%	44.0%	26.0%	14.0%	0.0%	100.0%	11.3%	37.7%	35.8%	15.1%	0.0%	100.0%
理工	度数	29	146	134	55	6	370	18	104	108	55	4	289
	%	7.8%	39.5%	36.2%	14.9%	1.6%	100.0%	6.2%	36.0%	37.4%	19.0%	1.4%	100.0%
合計	度数	40	220	196	81	6	543	36	190	181	88	4	499
	%	7.4%	40.5%	36.1%	14.9%	1.1%	100.0%	7.2%	38.1%	36.3%	17.6%	0.8%	100.0%

Q10 入学（編入）時、満足していたか

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足していないが入学した	まったく満足していないが入学した	N/A	合計	とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足していないが入学した	まったく満足していないが入学した	N/A	合計
医学科	度数	4	2	2	0	0	8	9	11	0	0	0	20
	%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	45.0%	55.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	32	41	6	2	0	81	43	38	3	4	0	88
	%	39.5%	50.6%	7.4%	2.5%	0.0%	100.0%	48.9%	43.2%	3.4%	4.5%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	12	20	2	0	0	34	18	24	4	3	0	49
	%	35.3%	58.8%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%	36.7%	49.0%	8.2%	6.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	24	23	2	1	0	50	27	20	3	3	0	53
	%	48.0%	46.0%	4.0%	2.0%	0.0%	100.0%	50.9%	37.7%	5.7%	5.7%	0.0%	100.0%
理工	度数	90	225	44	6	5	370	85	156	36	9	3	289
	%	24.3%	60.8%	11.9%	1.6%	1.4%	100.0%	29.4%	54.0%	12.5%	3.1%	1.0%	100.0%
合計	度数	162	311	56	9	5	543	182	249	46	19	3	499
	%	29.8%	57.3%	10.3%	1.7%	0.9%	100.0%	36.5%	49.9%	9.2%	3.8%	0.6%	100.0%

Q11 入学（編入）時、主体性はどうだったか

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		自分から積極的にやりたいことを探しやるほうだった	与えられれば興味を持ってやるほうだった	与えられても、よほど興味がなければやらないほうだった	あてはまらない、わからない	N/A	合計	自分から積極的にやりたいことを探しやるほうだった	与えられれば興味を持ってやるほうだった	与えられても、よほど興味がなければやらないほうだった	あてはまらない、わからない	N/A	合計
医学科	度数	2	4	2	0	0	8	6	9	2	3	0	20
	%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.0%	45.0%	10.0%	15.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	21	53	6	1	0	81	28	54	5	1	0	88
	%	25.9%	65.4%	7.4%	1.2%	0.0%	100.0%	31.8%	61.4%	5.7%	1.1%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	16	16	2	0	0	34	10	34	4	1	0	49
	%	47.1%	47.1%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%	20.4%	69.4%	8.2%	2.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	19	28	2	1	0	50	20	29	3	1	0	53
	%	38.0%	56.0%	4.0%	2.0%	0.0%	100.0%	37.7%	54.7%	5.7%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	66	249	37	12	6	370	66	185	28	6	4	289
	%	17.8%	67.3%	10.0%	3.2%	1.6%	100.0%	22.8%	64.0%	9.7%	2.1%	1.4%	100.0%
合計	度数	124	350	49	14	6	543	130	311	42	12	4	499
	%	22.8%	64.5%	9.0%	2.6%	1.1%	100.0%	26.1%	62.3%	8.4%	2.4%	0.8%	100.0%

Q12 学習の様子:授業に真面目に出席した

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計	とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
医学科	度数	2	3	3	0	0	8	9	7	4	0	0	20
	%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%	45.0%	35.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	45	34	2	0	0	81	58	29	1	0	0	88
	%	55.6%	42.0%	2.5%	0.0%	0.0%	100.0%	65.9%	33.0%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	17	15	2	0	0	34	20	25	4	0	0	49
	%	50.0%	44.1%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%	40.8%	51.0%	8.2%	0.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	29	19	2	0	0	50	28	24	1	0	0	53
	%	58.0%	38.0%	4.0%	0.0%	0.0%	100.0%	52.8%	45.3%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
理工	度数	177	171	18	3	1	370	147	124	14	1	3	289
	%	47.8%	46.2%	4.9%	0.8%	0.3%	100.0%	50.9%	42.9%	4.8%	0.3%	1.0%	100.0%
合計	度数	270	242	27	3	1	543	262	209	24	1	3	499
	%	49.7%	44.6%	5.0%	0.6%	0.2%	100.0%	52.5%	41.9%	4.8%	0.2%	0.6%	100.0%

Q13 学習の様子:授業の予習や復習をした

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計	とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
医学科	度数	1	3	3	1	0	8	5	5	9	1	0	20
	%	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	100.0%	25.0%	25.0%	45.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	12	51	16	2	0	81	15	47	26	0	0	88
	%	14.8%	63.0%	19.8%	2.5%	0.0%	100.0%	17.0%	53.4%	29.5%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	4	21	7	1	1	34	6	28	10	4	1	49
	%	11.8%	61.8%	20.6%	2.9%	2.9%	100.0%	12.2%	57.1%	20.4%	8.2%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	7	27	15	1	0	50	4	32	13	4	0	53
	%	14.0%	54.0%	30.0%	2.0%	0.0%	100.0%	7.5%	60.4%	24.5%	7.5%	0.0%	100.0%
理工	度数	50	208	95	16	1	370	32	168	78	10	1	289
	%	13.5%	56.2%	25.7%	4.3%	0.3%	100.0%	11.1%	58.1%	27.0%	3.5%	0.3%	100.0%
合計	度数	74	310	136	21	2	543	62	280	136	19	2	499
	%	13.6%	57.1%	25.0%	3.9%	0.4%	100.0%	12.4%	56.1%	27.3%	3.8%	0.4%	100.0%

Q14 学習の様子:授業で出された宿題や課題はきちんとやった

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計	とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
医学科	度数	4	4	0	0	0	8	8	10	2	0	0	20
	%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	51	30	0	0	0	81	65	22	1	0	0	88
	%	63.0%	37.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	73.9%	25.0%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	19	14	0	0	1	34	22	22	5	0	0	49
	%	55.9%	41.2%	0.0%	0.0%	2.9%	100.0%	44.9%	44.9%	10.2%	0.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	35	14	1	0	0	50	33	18	1	1	0	53
	%	70.0%	28.0%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%	62.3%	34.0%	1.9%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	220	136	8	3	3	370	180	98	9	1	1	289
	%	59.5%	36.8%	2.2%	0.8%	0.8%	100.0%	62.3%	33.9%	3.1%	0.3%	0.3%	100.0%
合計	度数	329	198	9	3	4	543	308	170	18	2	1	499
	%	60.6%	36.5%	1.7%	0.6%	0.7%	100.0%	61.7%	34.1%	3.6%	0.4%	0.2%	100.0%

Q15 学習の様子:グループワークやディスカッションに、積極的に参加した

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計	とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
医学科	度数	1	5	2	0	0	8	6	12	1	1	0	20
	%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.0%	60.0%	5.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	25	49	7	0	0	81	34	49	5	0	0	88
	%	30.9%	60.5%	8.6%	0.0%	0.0%	100.0%	38.6%	55.7%	5.7%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	12	22	0	0	0	34	19	25	4	1	0	49
	%	35.3%	64.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	38.8%	51.0%	8.2%	2.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	20	23	7	0	0	50	14	33	6	0	0	53
	%	40.0%	46.0%	14.0%	0.0%	0.0%	100.0%	26.4%	62.3%	11.3%	0.0%	0.0%	100.0%
理工	度数	100	218	46	5	1	370	77	165	42	3	2	289
	%	27.0%	58.9%	12.4%	1.4%	0.3%	100.0%	26.6%	57.1%	14.5%	1.0%	0.7%	100.0%
合計	度数	158	317	62	5	1	543	150	284	58	5	2	499
	%	29.1%	58.4%	11.4%	0.9%	0.2%	100.0%	30.1%	56.9%	11.6%	1.0%	0.4%	100.0%

Q16 学習の様子：計画を立てて勉強した

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計	とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
医学科	度数	2	5	0	1	0	8	6	7	6	1	0	20
	%	25.0%	62.5%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%	30.0%	35.0%	30.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	13	44	21	3	0	81	20	38	28	2	0	88
	%	16.0%	54.3%	25.9%	3.7%	0.0%	100.0%	22.7%	43.2%	31.8%	2.3%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	5	19	10	0	0	34	5	23	13	8	0	49
	%	14.7%	55.9%	29.4%	0.0%	0.0%	100.0%	10.2%	46.9%	26.5%	16.3%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	12	22	12	3	1	50	7	26	16	4	0	53
	%	24.0%	44.0%	24.0%	6.0%	2.0%	100.0%	13.2%	49.1%	30.2%	7.5%	0.0%	100.0%
理工	度数	62	167	118	22	1	370	46	122	102	18	1	289
	%	16.8%	45.1%	31.9%	5.9%	0.3%	100.0%	15.9%	42.2%	35.3%	6.2%	0.3%	100.0%
合計	度数	94	257	161	29	2	543	84	216	165	33	1	499
	%	17.3%	47.3%	29.7%	5.3%	0.4%	100.0%	16.8%	43.3%	33.1%	6.6%	0.2%	100.0%

Q17 学習の様子：興味をもったことについて自主的に勉強した

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計	とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
医学科	度数	2	6	0	0	0	8	8	8	4	0	0	20
	%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	20	51	9	1	0	81	27	50	10	1	0	88
	%	24.7%	63.0%	11.1%	1.2%	0.0%	100.0%	30.7%	56.8%	11.4%	1.1%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	12	17	4	1	0	34	19	22	7	1	0	49
	%	35.3%	50.0%	11.8%	2.9%	0.0%	100.0%	38.8%	44.9%	14.3%	2.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	14	31	5	0	0	50	19	28	5	1	0	53
	%	28.0%	62.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%	35.8%	52.8%	9.4%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	98	193	69	9	1	370	66	158	58	6	1	289
	%	26.5%	52.2%	18.6%	2.4%	0.3%	100.0%	22.8%	54.7%	20.1%	2.1%	0.3%	100.0%
合計	度数	146	298	87	11	1	543	139	266	84	9	1	499
	%	26.9%	54.9%	16.0%	2.0%	0.2%	100.0%	27.9%	53.3%	16.8%	1.8%	0.2%	100.0%

Q18 学習の様子：進路や将来について積極的に考えた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計	とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
医学科	度数	5	3	0	0	0	8	12	5	3	0	0	20
	%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	60.0%	25.0%	15.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	32	43	4	2	0	81	55	27	6	0	0	88
	%	39.5%	53.1%	4.9%	2.5%	0.0%	100.0%	62.5%	30.7%	6.8%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	18	15	1	0	0	34	24	19	3	2	1	49
	%	52.9%	44.1%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%	49.0%	38.8%	6.1%	4.1%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	21	22	6	1	0	50	22	22	6	3	0	53
	%	42.0%	44.0%	12.0%	2.0%	0.0%	100.0%	41.5%	41.5%	11.3%	5.7%	0.0%	100.0%
理工	度数	111	167	78	12	2	370	89	118	71	9	2	289
	%	30.0%	45.1%	21.1%	3.2%	0.5%	100.0%	30.8%	40.8%	24.6%	3.1%	0.7%	100.0%
合計	度数	187	250	89	15	2	543	202	191	89	14	3	499
	%	34.4%	46.0%	16.4%	2.8%	0.4%	100.0%	40.5%	38.3%	17.8%	2.8%	0.6%	100.0%

Q19 力を入れたこと：大学の授業

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	度数	2	5	0	1	0	8	7	8	5	0	0	20
	%	25.0%	62.5%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%	35.0%	40.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	21	53	6	1	0	81	30	57	1	0	0	88
	%	25.9%	65.4%	7.4%	1.2%	0.0%	100.0%	34.1%	64.8%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	10	22	2	0	0	34	8	35	4	2	0	49
	%	29.4%	64.7%	5.9%	0.0%	0.0%	100.0%	16.3%	71.4%	8.2%	4.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	14	28	8	0	0	50	13	36	3	1	0	53
	%	28.0%	56.0%	16.0%	0.0%	0.0%	100.0%	24.5%	67.9%	5.7%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	93	225	44	7	1	370	73	178	32	3	3	289
	%	25.1%	60.8%	11.9%	1.9%	0.3%	100.0%	25.3%	61.6%	11.1%	1.0%	1.0%	100.0%
合計	度数	140	333	60	9	1	543	131	314	45	6	3	499
	%	25.8%	61.3%	11.0%	1.7%	0.2%	100.0%	26.3%	62.9%	9.0%	1.2%	0.6%	100.0%

Q20 力を入れたこと：ゼミ、研究室活動

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	度数	0	2	3	3	0	8	4	5	8	3	0	20
	%	0.0%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	100.0%	20.0%	25.0%	40.0%	15.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	22	56	2	1	0	81	40	39	9	0	0	88
	%	27.2%	69.1%	2.5%	1.2%	0.0%	100.0%	45.5%	44.3%	10.2%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	17	13	4	0	0	34	26	21	2	0	0	49
	%	50.0%	38.2%	11.8%	0.0%	0.0%	100.0%	53.1%	42.9%	4.1%	0.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	21	26	3	0	0	50	22	27	2	2	0	53
	%	42.0%	52.0%	6.0%	0.0%	0.0%	100.0%	41.5%	50.9%	3.8%	3.8%	0.0%	100.0%
理工	度数	188	158	16	5	3	370	151	112	19	6	1	289
	%	50.8%	42.7%	4.3%	1.4%	0.8%	100.0%	52.2%	38.8%	6.6%	2.1%	0.3%	100.0%
合計	度数	248	255	28	9	3	543	243	204	40	11	1	499
	%	45.7%	47.0%	5.2%	1.7%	0.6%	100.0%	48.7%	40.9%	8.0%	2.2%	0.2%	100.0%

Q21 力を入れたこと：卒業論文や卒業研究

		2024年3月卒業生							2023年3	2022年3月卒業生						
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	該当せず	N/A	合計	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	該当せず	N/A	合計
医学科	度数	1	1	0	0	6	0	8	2	1	3	0	14	0	20	
	%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%	100.0%	10.0%	5.0%	15.0%	0.0%	70.0%	0.0%	100.0%	
保健学科	度数	33	47	0	1	0	0	81	46	34	6	1	1	0	88	
	%	40.7%	58.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	100.0%	52.3%	38.6%	6.8%	1.1%	1.1%	0.0%	100.0%	
共同教育／	度数	18	14	2	0	0	0	34	29	19	1	0	0	0	49	
	%	52.9%	41.2%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	59.2%	38.8%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
社会情報	度数	27	21	2	0	0	0	50	25	22	2	1	3	0	53	
	%	54.0%	42.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	47.2%	41.5%	3.8%	1.9%	5.7%	0.0%	100.0%	
理工	度数	199	147	17	2	4	1	370	166	99	13	4	6	1	289	
	%	53.8%	39.7%	4.6%	0.5%	1.1%	0.3%	100.0%	57.4%	34.3%	4.5%	1.4%	2.1%	0.3%	100.0%	
合計	度数	278	230	21	3	10	1	543	268	175	25	6	24	1	499	
	%	51.2%	42.4%	3.9%	0.6%	1.8%	0.2%	100.0%	53.7%	35.1%	5.0%	1.2%	4.8%	0.2%	100.0%	

Q22 力を入れたこと：授業以外の自主的な勉強（資格試験など）

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	度数	2	3	1	2	0	8	5	10	4	1	0	20
	%	25.0%	37.5%	12.5%	25.0%	0.0%	100.0%	25.0%	50.0%	20.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	17	46	17	1	0	81	24	49	12	3	0	88
	%	21.0%	56.8%	21.0%	1.2%	0.0%	100.0%	27.3%	55.7%	13.6%	3.4%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	7	15	9	3	0	34	11	20	16	1	1	49
	%	20.6%	44.1%	26.5%	8.8%	0.0%	100.0%	22.4%	40.8%	32.7%	2.0%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	7	24	14	5	0	50	12	20	16	5	0	53
	%	14.0%	48.0%	28.0%	10.0%	0.0%	100.0%	22.6%	37.7%	30.2%	9.4%	0.0%	100.0%
理工	度数	62	146	134	27	1	370	45	122	103	17	2	289
	%	16.8%	39.5%	36.2%	7.3%	0.3%	100.0%	15.6%	42.2%	35.6%	5.9%	0.7%	100.0%
合計	度数	95	234	175	38	1	543	97	221	151	27	3	499
	%	17.5%	43.1%	32.2%	7.0%	0.2%	100.0%	19.4%	44.3%	30.3%	5.4%	0.6%	100.0%

Q23 力を入れたこと：留学、海外研修・経験

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	度数	0	0	2	6	0	8	2	2	2	14	0	20
	%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	100.0%	10.0%	10.0%	10.0%	70.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	7	11	15	48	0	81	5	8	28	47	0	88
	%	8.6%	13.6%	18.5%	59.3%	0.0%	100.0%	5.7%	9.1%	31.8%	53.4%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	0	5	7	22	0	34	1	4	8	36	0	49
	%	0.0%	14.7%	20.6%	64.7%	0.0%	100.0%	2.0%	8.2%	16.3%	73.5%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	4	3	10	33	0	50	3	4	6	40	0	53
	%	8.0%	6.0%	20.0%	66.0%	0.0%	100.0%	5.7%	7.5%	11.3%	75.5%	0.0%	100.0%
理工	度数	21	31	66	250	2	370	22	33	65	167	2	289
	%	5.7%	8.4%	17.8%	67.6%	0.5%	100.0%	7.6%	11.4%	22.5%	57.8%	0.7%	100.0%
合計	度数	32	50	100	359	2	543	33	51	109	304	2	499
	%	5.9%	9.2%	18.4%	66.1%	0.4%	100.0%	6.6%	10.2%	21.8%	60.9%	0.4%	100.0%

Q24 力を入れたこと:サークルや部活動

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	度数	3	1	4	0	0	8	6	7	2	5	0	20
	%	37.5%	12.5%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.0%	35.0%	10.0%	25.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	23	22	13	23	0	81	25	36	12	14	1	88
	%	28.4%	27.2%	16.0%	28.4%	0.0%	100.0%	28.4%	40.9%	13.6%	15.9%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	10	9	3	12	0	34	12	7	11	18	1	49
	%	29.4%	26.5%	8.8%	35.3%	0.0%	100.0%	24.5%	14.3%	22.4%	36.7%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	5	8	11	26	0	50	13	7	12	21	0	53
	%	10.0%	16.0%	22.0%	52.0%	0.0%	100.0%	24.5%	13.2%	22.6%	39.6%	0.0%	100.0%
理工	度数	66	57	46	199	2	370	52	72	66	95	4	289
	%	17.8%	15.4%	12.4%	53.8%	0.5%	100.0%	18.0%	24.9%	22.8%	32.9%	1.4%	100.0%
合計	度数	107	97	77	260	2	543	108	129	103	153	6	499
	%	19.7%	17.9%	14.2%	47.9%	0.4%	100.0%	21.6%	25.9%	20.6%	30.7%	1.2%	100.0%

Q25 力を入れたこと:アルバイト

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	度数	2	4	2	0	0	8	3	8	3	6	0	20
	%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	15.0%	40.0%	15.0%	30.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	30	38	8	4	1	81	36	31	19	2	0	88
	%	37.0%	46.9%	9.9%	4.9%	1.2%	100.0%	40.9%	35.2%	21.6%	2.3%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	12	15	5	2	0	34	16	21	9	3	0	49
	%	35.3%	44.1%	14.7%	5.9%	0.0%	100.0%	32.7%	42.9%	18.4%	6.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	20	23	6	1	0	50	18	22	8	5	0	53
	%	40.0%	46.0%	12.0%	2.0%	0.0%	100.0%	34.0%	41.5%	15.1%	9.4%	0.0%	100.0%
理工	度数	106	149	62	51	2	370	80	110	59	37	3	289
	%	28.6%	40.3%	16.8%	13.8%	0.5%	100.0%	27.7%	38.1%	20.4%	12.8%	1.0%	100.0%
合計	度数	170	229	83	58	3	543	153	192	98	53	3	499
	%	31.3%	42.2%	15.3%	10.7%	0.6%	100.0%	30.7%	38.5%	19.6%	10.6%	0.6%	100.0%

Q26 力を入れたこと:社会活動(NPO 活動、ボランティアなど)

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	度数	0	2	1	5	0	8	3	2	2	13	0	20
	%	0.0%	25.0%	12.5%	62.5%	0.0%	100.0%	15.0%	10.0%	10.0%	65.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	3	11	27	40	0	81	2	17	35	34	0	88
	%	3.7%	13.6%	33.3%	49.4%	0.0%	100.0%	2.3%	19.3%	39.8%	38.6%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	1	4	18	11	0	34	2	10	16	21	0	49
	%	2.9%	11.8%	52.9%	32.4%	0.0%	100.0%	4.1%	20.4%	32.7%	42.9%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	3	6	14	27	0	50	3	8	10	32	0	53
	%	6.0%	12.0%	28.0%	54.0%	0.0%	100.0%	5.7%	15.1%	18.9%	60.4%	0.0%	100.0%
理工	度数	17	40	85	227	1	370	20	33	86	148	2	289
	%	4.6%	10.8%	23.0%	61.4%	0.3%	100.0%	6.9%	11.4%	29.8%	51.2%	0.7%	100.0%
合計	度数	24	63	145	310	1	543	30	70	149	248	2	499
	%	4.4%	11.6%	26.7%	57.1%	0.2%	100.0%	6.0%	14.0%	29.9%	49.7%	0.4%	100.0%

Q27 力を入れたこと:就職活動

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	度数	4	3	0	1	0	8	2	12	6	0	0	20
	%	50.0%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%	10.0%	60.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	39	34	6	2	0	81	35	39	8	5	1	88
	%	48.1%	42.0%	7.4%	2.5%	0.0%	100.0%	39.8%	44.3%	9.1%	5.7%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	14	13	5	2	0	34	12	28	5	4	0	49
	%	41.2%	38.2%	14.7%	5.9%	0.0%	100.0%	24.5%	57.1%	10.2%	8.2%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	22	22	4	2	0	50	19	25	8	1	0	53
	%	44.0%	44.0%	8.0%	4.0%	0.0%	100.0%	35.8%	47.2%	15.1%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	60	83	88	138	1	370	44	61	79	101	4	289
	%	16.2%	22.4%	23.8%	37.3%	0.3%	100.0%	15.2%	21.1%	27.3%	34.9%	1.4%	100.0%
合計	度数	139	155	103	145	1	543	112	165	106	111	5	499
	%	25.6%	28.5%	19.0%	26.7%	0.2%	100.0%	22.4%	33.1%	21.2%	22.2%	1.0%	100.0%

Q28 力を入れたこと:インターンシップ、学外実習

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計	とても力を入れた	まあ力を入れた	あまり力を入れなかった	まったく力を入れなかった	N/A	合計
医学科	度数	0	4	2	2	0	8	2	7	3	8	0	20
	%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	100.0%	10.0%	35.0%	15.0%	40.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	15	29	21	16	0	81	12	31	24	21	0	88
	%	18.5%	35.8%	25.9%	19.8%	0.0%	100.0%	13.6%	35.2%	27.3%	23.9%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	9	8	8	9	0	34	12	9	8	20	0	49
	%	26.5%	23.5%	23.5%	26.5%	0.0%	100.0%	24.5%	18.4%	16.3%	40.8%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	10	23	10	7	0	50	11	18	10	14	0	53
	%	20.0%	46.0%	20.0%	14.0%	0.0%	100.0%	20.8%	34.0%	18.9%	26.4%	0.0%	100.0%
理工	度数	34	63	102	170	1	370	21	57	89	118	4	289
	%	9.2%	17.0%	27.6%	45.9%	0.3%	100.0%	7.3%	19.7%	30.8%	40.8%	1.4%	100.0%
合計	度数	68	127	143	204	1	543	58	122	134	181	4	499
	%	12.5%	23.4%	26.3%	37.6%	0.2%	100.0%	11.6%	24.4%	26.9%	36.3%	0.8%	100.0%

Q29 印象に残る経験:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる厳しさがあった

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	3	4	0	1	0	8	8	8	0	4	0	20
	%	37.5%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	26	45	10	0	0	81	27	49	10	1	1	88
	%	32.1%	55.6%	12.3%	0.0%	0.0%	100.0%	30.7%	55.7%	11.4%	1.1%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	9	21	4	0	0	34	19	21	6	3	0	49
	%	26.5%	61.8%	11.8%	0.0%	0.0%	100.0%	38.8%	42.9%	12.2%	6.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	20	22	8	0	0	50	22	21	9	1	0	53
	%	40.0%	44.0%	16.0%	0.0%	0.0%	100.0%	41.5%	39.6%	17.0%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	148	177	35	8	2	370	126	139	19	4	1	289
	%	40.0%	47.8%	9.5%	2.2%	0.5%	100.0%	43.6%	48.1%	6.6%	1.4%	0.3%	100.0%
合計	度数	206	269	57	9	2	543	202	238	44	13	2	499
	%	37.9%	49.5%	10.5%	1.7%	0.4%	100.0%	40.5%	47.7%	8.8%	2.6%	0.4%	100.0%

Q30 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	2	3	2	1	0	8	4	6	8	2	0	20
	%	25.0%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	100.0%	20.0%	30.0%	40.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	18	47	16	0	0	81	23	52	10	1	2	88
	%	22.2%	58.0%	19.8%	0.0%	0.0%	100.0%	26.1%	59.1%	11.4%	1.1%	2.3%	100.0%
共同教育／	度数	7	15	11	1	0	34	11	17	15	6	0	49
	%	20.6%	44.1%	32.4%	2.9%	0.0%	100.0%	22.4%	34.7%	30.6%	12.2%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	11	22	16	1	0	50	6	22	22	3	0	53
	%	22.0%	44.0%	32.0%	2.0%	0.0%	100.0%	11.3%	41.5%	41.5%	5.7%	0.0%	100.0%
理工	度数	60	156	117	33	4	370	56	128	80	24	1	289
	%	16.2%	42.2%	31.6%	8.9%	1.1%	100.0%	19.4%	44.3%	27.7%	8.3%	0.3%	100.0%
合計	度数	98	243	162	36	4	543	100	225	135	36	3	499
	%	18.0%	44.8%	29.8%	6.6%	0.7%	100.0%	20.0%	45.1%	27.1%	7.2%	0.6%	100.0%

Q31 印象に残る経験:学問固有の物の見方や考え方に触れられた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	4	2	1	1	0	8	7	10	2	1	0	20
	%	50.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%	35.0%	50.0%	10.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	22	49	8	1	1	81	40	38	7	1	2	88
	%	27.2%	60.5%	9.9%	1.2%	1.2%	100.0%	45.5%	43.2%	8.0%	1.1%	2.3%	100.0%
共同教育／	度数	14	17	3	0	0	34	18	25	4	2	0	49
	%	41.2%	50.0%	8.8%	0.0%	0.0%	100.0%	36.7%	51.0%	8.2%	4.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	12	34	4	0	0	50	20	25	7	1	0	53
	%	24.0%	68.0%	8.0%	0.0%	0.0%	100.0%	37.7%	47.2%	13.2%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	142	193	27	6	2	370	98	156	30	3	2	289
	%	38.4%	52.2%	7.3%	1.6%	0.5%	100.0%	33.9%	54.0%	10.4%	1.0%	0.7%	100.0%
合計	度数	194	295	43	8	3	543	183	254	50	8	4	499
	%	35.7%	54.3%	7.9%	1.5%	0.6%	100.0%	36.7%	50.9%	10.0%	1.6%	0.8%	100.0%

Q32 印象に残る経験：大学の個性や特色をいかした共同教育／教育を受けられた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	1	4	2	1	0	8	4	12	3	1	0	20
	%	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%	0.0%	100.0%	20.0%	60.0%	15.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	19	50	12	0	0	81	26	50	9	2	1	88
	%	23.5%	61.7%	14.8%	0.0%	0.0%	100.0%	29.5%	56.8%	10.2%	2.3%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	10	17	4	3	0	34	11	25	11	2	0	49
	%	29.4%	50.0%	11.8%	8.8%	0.0%	100.0%	22.4%	51.0%	22.4%	4.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	13	27	10	0	0	50	16	23	12	2	0	53
	%	26.0%	54.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.2%	43.4%	22.6%	3.8%	0.0%	100.0%
理工	度数	86	189	77	16	2	370	77	134	70	7	1	289
	%	23.2%	51.1%	20.8%	4.3%	0.5%	100.0%	26.6%	46.4%	24.2%	2.4%	0.3%	100.0%
合計	度数	129	287	105	20	2	543	134	244	105	14	2	499
	%	23.8%	52.9%	19.3%	3.7%	0.4%	100.0%	26.9%	48.9%	21.0%	2.8%	0.4%	100.0%

Q33 印象に残る経験：自分の適性や将来への関心を知ることができた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	3	4	0	1	0	8	6	12	2	0	0	20
	%	37.5%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	25	53	3	0	0	81	45	34	7	0	2	88
	%	30.9%	65.4%	3.7%	0.0%	0.0%	100.0%	51.1%	38.6%	8.0%	0.0%	2.3%	100.0%
共同教育／	度数	15	16	3	0	0	34	23	18	6	2	0	49
	%	44.1%	47.1%	8.8%	0.0%	0.0%	100.0%	46.9%	36.7%	12.2%	4.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	13	27	10	0	0	50	13	32	6	2	0	53
	%	26.0%	54.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	24.5%	60.4%	11.3%	3.8%	0.0%	100.0%
理工	度数	87	207	59	14	3	370	83	160	36	6	4	289
	%	23.5%	55.9%	15.9%	3.8%	0.8%	100.0%	28.7%	55.4%	12.5%	2.1%	1.4%	100.0%
合計	度数	143	307	75	15	3	543	170	256	57	10	6	499
	%	26.3%	56.5%	13.8%	2.8%	0.6%	100.0%	34.1%	51.3%	11.4%	2.0%	1.2%	100.0%

Q34 印象に残る経験：学習について、相談にのったり支援してくれる人がいた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	1	2	2	3	0	8	3	6	7	4	0	20
	%	12.5%	25.0%	25.0%	37.5%	0.0%	100.0%	15.0%	30.0%	35.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	21	46	14	0	0	81	34	38	11	4	1	88
	%	25.9%	56.8%	17.3%	0.0%	0.0%	100.0%	38.6%	43.2%	12.5%	4.5%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	14	13	7	0	0	34	22	20	4	3	0	49
	%	41.2%	38.2%	20.6%	0.0%	0.0%	100.0%	44.9%	40.8%	8.2%	6.1%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	10	23	14	3	0	50	11	15	22	5	0	53
	%	20.0%	46.0%	28.0%	6.0%	0.0%	100.0%	20.8%	28.3%	41.5%	9.4%	0.0%	100.0%
理工	度数	91	167	84	26	2	370	85	134	48	20	2	289
	%	24.6%	45.1%	22.7%	7.0%	0.5%	100.0%	29.4%	46.4%	16.6%	6.9%	0.7%	100.0%
合計	度数	137	251	121	32	2	543	155	213	92	36	3	499
	%	25.2%	46.2%	22.3%	5.9%	0.4%	100.0%	31.1%	42.7%	18.4%	7.2%	0.6%	100.0%

Q35 印象に残る経験：学習以外（進路、人間関係など）について、幅広く相談にのったり支援してくれる人がいた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	1	2	2	3	0	8	5	5	6	4	0	20
	%	12.5%	25.0%	25.0%	37.5%	0.0%	100.0%	25.0%	25.0%	30.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	26	40	14	1	0	81	35	33	16	3	1	88
	%	32.1%	49.4%	17.3%	1.2%	0.0%	100.0%	39.8%	37.5%	18.2%	3.4%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	7	18	7	2	0	34	18	15	12	4	0	49
	%	20.6%	52.9%	20.6%	5.9%	0.0%	100.0%	36.7%	30.6%	24.5%	8.2%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	12	20	14	4	0	50	13	19	15	6	0	53
	%	24.0%	40.0%	28.0%	8.0%	0.0%	100.0%	24.5%	35.8%	28.3%	11.3%	0.0%	100.0%
理工	度数	88	162	95	22	3	370	84	136	52	16	1	289
	%	23.8%	43.8%	25.7%	5.9%	0.8%	100.0%	29.1%	47.1%	18.0%	5.5%	0.3%	100.0%
合計	度数	134	242	132	32	3	543	155	208	101	33	2	499
	%	24.7%	44.6%	24.3%	5.9%	0.6%	100.0%	31.1%	41.7%	20.2%	6.6%	0.4%	100.0%

Q36 印象に残る経験：共同教育／教育に対して熱意のある教員がいた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	2	3	2	1	0	8	6	13	1	0	0	20
	%	25.0%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	100.0%	30.0%	65.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	37	37	6	1	0	81	44	39	3	1	1	88
	%	45.7%	45.7%	7.4%	1.2%	0.0%	100.0%	50.0%	44.3%	3.4%	1.1%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	19	14	1	0	0	34	20	26	2	1	0	49
	%	55.9%	41.2%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%	40.8%	53.1%	4.1%	2.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	11	32	7	0	0	50	17	26	7	3	0	53
	%	22.0%	64.0%	14.0%	0.0%	0.0%	100.0%	32.1%	49.1%	13.2%	5.7%	0.0%	100.0%
理工	度数	119	186	52	11	2	370	105	140	35	7	2	289
	%	32.2%	50.3%	14.1%	3.0%	0.5%	100.0%	36.3%	48.4%	12.1%	2.4%	0.7%	100.0%
合計	度数	188	272	68	13	2	543	192	244	48	12	3	499
	%	34.6%	50.1%	12.5%	2.4%	0.4%	100.0%	38.5%	48.9%	9.6%	2.4%	0.6%	100.0%

Q37 印象に残る経験：教員の指導に基づきながらも、自主性を尊重されて学習を進められた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	3	4	0	1	0	8	4	14	1	1	0	20
	%	37.5%	50.0%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%	20.0%	70.0%	5.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	20	57	3	0	1	81	36	44	7	0	1	88
	%	24.7%	70.4%	3.7%	0.0%	1.2%	100.0%	40.9%	50.0%	8.0%	0.0%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	12	18	4	0	0	34	21	20	6	1	1	49
	%	35.3%	52.9%	11.8%	0.0%	0.0%	100.0%	42.9%	40.8%	12.2%	2.0%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	10	37	3	0	0	50	20	27	5	1	0	53
	%	20.0%	74.0%	6.0%	0.0%	0.0%	100.0%	37.7%	50.9%	9.4%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	101	203	52	11	3	370	86	154	43	5	1	289
	%	27.3%	54.9%	14.1%	3.0%	0.8%	100.0%	29.8%	53.3%	14.9%	1.7%	0.3%	100.0%
合計	度数	146	319	62	12	4	543	167	259	62	8	3	499
	%	26.9%	58.7%	11.4%	2.2%	0.7%	100.0%	33.5%	51.9%	12.4%	1.6%	0.6%	100.0%

Q38 印象に残る経験：学習の態度や姿勢が不適切な場合、教員から指導された

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	3	0	2	3	0	8	2	6	6	6	0	20
	%	37.5%	0.0%	25.0%	37.5%	0.0%	100.0%	10.0%	30.0%	30.0%	30.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	7	28	33	13	0	81	9	27	38	13	1	88
	%	8.6%	34.6%	40.7%	16.0%	0.0%	100.0%	10.2%	30.7%	43.2%	14.8%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	4	8	14	8	0	34	9	13	14	11	2	49
	%	11.8%	23.5%	41.2%	23.5%	0.0%	100.0%	18.4%	26.5%	28.6%	22.4%	4.1%	100.0%
社会情報	度数	3	14	20	13	0	50	5	10	21	17	0	53
	%	6.0%	28.0%	40.0%	26.0%	0.0%	100.0%	9.4%	18.9%	39.6%	32.1%	0.0%	100.0%
理工	度数	55	157	96	59	3	370	42	115	88	43	1	289
	%	14.9%	42.4%	25.9%	15.9%	0.8%	100.0%	14.5%	39.8%	30.4%	14.9%	0.3%	100.0%
合計	度数	72	207	165	96	3	543	67	171	167	90	4	499
	%	13.3%	38.1%	30.4%	17.7%	0.6%	100.0%	13.4%	34.3%	33.5%	18.0%	0.8%	100.0%

Q39 印象に残る経験：学習の成果を正当に評価された

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	2	4	1	1	0	8	4	14	2	0	0	20
	%	25.0%	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%	20.0%	70.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	14	62	5	0	0	81	23	59	4	1	1	88
	%	17.3%	76.5%	6.2%	0.0%	0.0%	100.0%	26.1%	67.0%	4.5%	1.1%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	12	16	6	0	0	34	17	27	4	1	0	49
	%	35.3%	47.1%	17.6%	0.0%	0.0%	100.0%	34.7%	55.1%	8.2%	2.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	14	35	0	1	0	50	13	35	4	1	0	53
	%	28.0%	70.0%	0.0%	2.0%	0.0%	100.0%	24.5%	66.0%	7.5%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	80	242	40	6	2	370	72	177	31	7	2	289
	%	21.6%	65.4%	10.8%	1.6%	0.5%	100.0%	24.9%	61.2%	10.7%	2.4%	0.7%	100.0%
合計	度数	122	359	52	8	2	543	129	312	45	10	3	499
	%	22.5%	66.1%	9.6%	1.5%	0.4%	100.0%	25.9%	62.5%	9.0%	2.0%	0.6%	100.0%

Q40 印象に残る経験：貴重な友人をつくることができた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計	とても印象に残っている	まあ印象に残っている	あまり印象に残っていない	まったく印象に残っていない	N/A	合計
医学科	度数	5	3	0	0	0	8	8	9	3	0	0	20
	%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	40.0%	45.0%	15.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	49	26	6	0	0	81	59	24	4	0	1	88
	%	60.5%	32.1%	7.4%	0.0%	0.0%	100.0%	67.0%	27.3%	4.5%	0.0%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	20	8	3	3	0	34	29	16	3	1	0	49
	%	58.8%	23.5%	8.8%	8.8%	0.0%	100.0%	59.2%	32.7%	6.1%	2.0%	0.0%	100.0%
社会情報	度数	23	19	5	2	1	50	28	14	6	5	0	53
	%	46.0%	38.0%	10.0%	4.0%	2.0%	100.0%	52.8%	26.4%	11.3%	9.4%	0.0%	100.0%
理工	度数	186	126	39	16	3	370	155	95	26	11	2	289
	%	50.3%	34.1%	10.5%	4.3%	0.8%	100.0%	53.6%	32.9%	9.0%	3.8%	0.7%	100.0%
合計	度数	283	182	53	21	4	543	279	158	42	17	3	499
	%	52.1%	33.5%	9.8%	3.9%	0.7%	100.0%	55.9%	31.7%	8.4%	3.4%	0.6%	100.0%

Q41 教養共同教育／教育科目の単位数（卒業要件）

		2024年3月卒業生					2023年3月卒業生				
		多すぎる	ちょうどよい	少なすぎる	N/A	合計	多すぎる	ちょうどよい	少なすぎる	N/A	合計
医学科	度数	3	5	0	0	8	4	16	0	0	20
	%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	100.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	13	67	1	0	81	8	79	0	1	88
	%	16.0%	82.7%	1.2%	0.0%	100.0%	9.1%	89.8%	0.0%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	9	25	0	0	34	6	42	0	1	49
	%	26.5%	73.5%	0.0%	0.0%	100.0%	12.2%	85.7%	0.0%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	2	47	0	1	50	6	45	0	2	53
	%	4.0%	94.0%	0.0%	2.0%	100.0%	11.3%	84.9%	0.0%	3.8%	100.0%
理工	度数	50	307	5	8	370	35	245	3	6	289
	%	13.5%	83.0%	1.4%	2.2%	100.0%	12.1%	84.8%	1.0%	2.1%	100.0%
合計	度数	77	451	6	9	543	59	427	3	10	499
	%	14.2%	83.1%	1.1%	1.7%	100.0%	11.8%	85.6%	0.6%	2.0%	100.0%

Q42 教養共同教育／教育科目は、文献検索、資料作成、口頭発表の能力を身に付ける点で十分か

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計
医学科	度数	1	6	1	0	0	8	6	11	2	1	0	20
	%	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%	30.0%	55.0%	10.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	16	57	5	3	0	81	25	47	15	0	1	88
	%	19.8%	70.4%	6.2%	3.7%	0.0%	100.0%	28.4%	53.4%	17.0%	0.0%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	0	29	4	1	0	34	5	31	11	1	1	49
	%	0.0%	85.3%	11.8%	2.9%	0.0%	100.0%	10.2%	63.3%	22.4%	2.0%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	14	31	4	0	1	50	11	35	4	1	2	53
	%	28.0%	62.0%	8.0%	0.0%	2.0%	100.0%	20.8%	66.0%	7.5%	1.9%	3.8%	100.0%
理工	度数	82	213	54	14	7	370	67	170	41	5	6	289
	%	22.2%	57.6%	14.6%	3.8%	1.9%	100.0%	23.2%	58.8%	14.2%	1.7%	2.1%	100.0%
合計	度数	113	336	68	18	8	543	114	294	73	8	10	499
	%	20.8%	61.9%	12.5%	3.3%	1.5%	100.0%	22.8%	58.9%	14.6%	1.6%	2.0%	100.0%

Q43 英語・外国語教養科目は、国際的なコミュニケーションの能力を身に付ける点で十分か

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計
医学科	度数	1	4	2	1	0	8	2	9	7	1	1	20
	%	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%	0.0%	100.0%	10.0%	45.0%	35.0%	5.0%	5.0%	100.0%
保健学科	度数	7	44	23	6	1	81	13	38	24	12	1	88
	%	8.6%	54.3%	28.4%	7.4%	1.2%	100.0%	14.8%	43.2%	27.3%	13.6%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	1	24	7	2	0	34	3	29	13	3	1	49
	%	2.9%	70.6%	20.6%	5.9%	0.0%	100.0%	6.1%	59.2%	26.5%	6.1%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	10	29	7	3	1	50	6	26	15	4	2	53
	%	20.0%	58.0%	14.0%	6.0%	2.0%	100.0%	11.3%	49.1%	28.3%	7.5%	3.8%	100.0%
理工	度数	56	179	92	36	7	370	47	125	84	28	5	289
	%	15.1%	48.4%	24.9%	9.7%	1.9%	100.0%	16.3%	43.3%	29.1%	9.7%	1.7%	100.0%
合計	度数	75	280	131	48	9	543	71	227	143	48	10	499
	%	13.8%	51.6%	24.1%	8.8%	1.7%	100.0%	14.2%	45.5%	28.7%	9.6%	2.0%	100.0%

Q44 情報の科目は、情報処理能力を身に付ける点で十分か

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計
医学科	度数	1	5	1	1	0	8	3	12	4	1	0	20
	%	12.5%	62.5%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%	15.0%	60.0%	20.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	8	58	12	3	0	81	19	49	16	3	1	88
	%	9.9%	71.6%	14.8%	3.7%	0.0%	100.0%	21.6%	55.7%	18.2%	3.4%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	4	23	4	3	0	34	4	31	12	1	1	49
	%	11.8%	67.6%	11.8%	8.8%	0.0%	100.0%	8.2%	63.3%	24.5%	2.0%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	11	32	6	0	1	50	9	30	9	3	2	53
	%	22.0%	64.0%	12.0%	0.0%	2.0%	100.0%	17.0%	56.6%	17.0%	5.7%	3.8%	100.0%
理工	度数	65	217	65	17	6	370	58	155	55	15	6	289
	%	17.6%	58.6%	17.6%	4.6%	1.6%	100.0%	20.1%	53.6%	19.0%	5.2%	2.1%	100.0%
合計	度数	89	335	88	24	7	543	93	277	96	23	10	499
	%	16.4%	61.7%	16.2%	4.4%	1.3%	100.0%	18.6%	55.5%	19.2%	4.6%	2.0%	100.0%

Q45 「キャリアサポート室」や「就職ガイダンス」などの大学の就職支援は役立ったか

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とても役立った	少し役立った	あまり役立たなかった	ほとんど役立たなかった	N/A	合計	とても役立った	少し役立った	あまり役立たなかった	ほとんど役立たなかった	N/A	合計
医学科	度数	0	2	2	4	0	8	1	4	4	11	0	20
	%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	100.0%	5.0%	20.0%	20.0%	55.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	8	43	20	10	0	81	12	34	24	17	1	88
	%	9.9%	53.1%	24.7%	12.3%	0.0%	100.0%	13.6%	38.6%	27.3%	19.3%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	4	11	10	9	0	34	6	19	15	8	1	49
	%	11.8%	32.4%	29.4%	26.5%	0.0%	100.0%	12.2%	38.8%	30.6%	16.3%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	14	22	8	6	0	50	10	20	13	10	0	53
	%	28.0%	44.0%	16.0%	12.0%	0.0%	100.0%	18.9%	37.7%	24.5%	18.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	48	156	100	59	7	370	35	121	78	45	10	289
	%	13.0%	42.2%	27.0%	15.9%	1.9%	100.0%	12.1%	41.9%	27.0%	15.6%	3.5%	100.0%
合計	度数	74	234	140	88	7	543	64	198	134	91	12	499
	%	13.6%	43.1%	25.8%	16.2%	1.3%	100.0%	12.8%	39.7%	26.9%	18.2%	2.4%	100.0%

Q46 「キャリアサポート室」を利用したか

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		よく利用した	ときどき利用した	ほとんど利用しなかった	まったく利用しなかった	N/A	合計	よく利用した	ときどき利用した	ほとんど利用しなかった	まったく利用しなかった	N/A	合計
医学科	度数	0	0	1	7	0	8	2	0	1	17	0	20
	%	0.0%	0.0%	12.5%	87.5%	0.0%	100.0%	10.0%	0.0%	5.0%	85.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	5	16	13	47	0	81	2	14	16	55	1	88
	%	6.2%	19.8%	16.0%	58.0%	0.0%	100.0%	2.3%	15.9%	18.2%	62.5%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	1	4	9	20	0	34	1	8	10	29	1	49
	%	2.9%	11.8%	26.5%	58.8%	0.0%	100.0%	2.0%	16.3%	20.4%	59.2%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	8	13	17	12	0	50	4	14	18	17	0	53
	%	16.0%	26.0%	34.0%	24.0%	0.0%	100.0%	7.5%	26.4%	34.0%	32.1%	0.0%	100.0%
理工	度数	21	56	72	216	5	370	10	32	70	168	9	289
	%	5.7%	15.1%	19.5%	58.4%	1.4%	100.0%	3.5%	11.1%	24.2%	58.1%	3.1%	100.0%
合計	度数	35	89	112	302	5	543	19	68	115	286	11	499
	%	6.4%	16.4%	20.6%	55.6%	0.9%	100.0%	3.8%	13.6%	23.0%	57.3%	2.2%	100.0%

Q47 大学が行った「就職ガイダンス」に参加したか

		2024年3月卒業生					2023年3月卒業生				
		何回も参加した	数回参加した	1回も参加しなかった	N/A	合計	何回も参加した	数回参加した	1回も参加しなかった	N/A	合計
医学科	度数	0	1	7	0	8	2	0	18	0	20
	%	0.0%	12.5%	87.5%	0.0%	100.0%	10.0%	0.0%	90.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	11	55	14	1	81	3	62	22	1	88
	%	13.6%	67.9%	17.3%	1.2%	100.0%	3.4%	70.5%	25.0%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	2	10	22	0	34	1	20	27	1	49
	%	5.9%	29.4%	64.7%	0.0%	100.0%	2.0%	40.8%	55.1%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	6	33	11	0	50	12	22	19	0	53
	%	12.0%	66.0%	22.0%	0.0%	100.0%	22.6%	41.5%	35.8%	0.0%	100.0%
理工	度数	33	213	120	4	370	15	140	126	8	289
	%	8.9%	57.6%	32.4%	1.1%	100.0%	5.2%	48.4%	43.6%	2.8%	100.0%
合計	度数	52	312	174	5	543	33	244	212	10	499
	%	9.6%	57.5%	32.0%	0.9%	100.0%	6.6%	48.9%	42.5%	2.0%	100.0%

Q48 大学院への進学について、情報提供はしっかり行われていたか

		2024年3月卒業生							2023年3月卒業生						
		しっかり行われていた	だいたい行われていた	あまり行われていなかった	ほとんど行われていなかった	わからない	N/A	合計	しっかり行われていた	だいたい行われていた	あまり行われていなかった	ほとんど行われていなかった	わからない	N/A	合計
医学科	度数	0	0	2	1	5	0	8	2	2	1	2	13	0	20
	%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	62.5%	0.0%	100.0%	10.0%	10.0%	5.0%	10.0%	65.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	9	43	16	5	8	0	81	16	38	22	3	8	1	88
	%	11.1%	53.1%	19.8%	6.2%	9.9%	0.0%	100.0%	18.2%	43.2%	25.0%	3.4%	9.1%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	2	9	9	2	12	0	34	2	11	13	10	12	1	49
	%	5.9%	26.5%	26.5%	5.9%	35.3%	0.0%	100.0%	4.1%	22.4%	26.5%	20.4%	24.5%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	2	18	12	4	14	0	50	5	21	8	0	19	0	53
	%	4.0%	36.0%	24.0%	8.0%	28.0%	0.0%	100.0%	9.4%	39.6%	15.1%	0.0%	35.8%	0.0%	100.0%
理工	度数	90	200	48	8	22	2	370	64	151	39	10	19	6	289
	%	24.3%	54.1%	13.0%	2.2%	5.9%	0.5%	100.0%	22.1%	52.2%	13.5%	3.5%	6.6%	2.1%	100.0%
合計	度数	103	270	87	20	61	2	543	89	223	83	25	71	8	499
	%	19.0%	49.7%	16.0%	3.7%	11.2%	0.4%	100.0%	17.8%	44.7%	16.6%	5.0%	14.2%	1.6%	100.0%

Q49 インターンシップ（学外実習を含む）に行ってみて、どのように感じたか

		2024年3月卒業生							2023年3月卒業生						
		大いに充実した時間を過ごせた	まあ充実した時間を過ごせた	あまり充実した時間は過ごせなかった	まったく充実した時間は過ごせなかった	行っていない	N/A	合計	大いに充実した時間を過ごせた	まあ充実した時間を過ごせた	あまり充実した時間は過ごせなかった	まったく充実した時間は過ごせなかった	行っていない	N/A	合計
医学科	度数	0	3	0	0	5	0	8	3	6	0	0	11	0	20
	%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	62.5%	0.0%	100.0%	15.0%	30.0%	0.0%	0.0%	55.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	16	36	3	0	26	0	81	28	19	4	0	36	1	88
	%	19.8%	44.4%	3.7%	0.0%	32.1%	0.0%	100.0%	31.8%	21.6%	4.5%	0.0%	40.9%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	14	5	0	0	15	0	34	15	13	1	1	18	1	49
	%	41.2%	14.7%	0.0%	0.0%	44.1%	0.0%	100.0%	30.6%	26.5%	2.0%	2.0%	36.7%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	15	22	3	1	9	0	50	14	19	5	0	15	0	53
	%	30.0%	44.0%	6.0%	2.0%	18.0%	0.0%	100.0%	26.4%	35.8%	9.4%	0.0%	28.3%	0.0%	100.0%
理工	度数	37	75	19	5	229	5	370	24	54	15	3	184	9	289
	%	10.0%	20.3%	5.1%	1.4%	61.9%	1.4%	100.0%	8.3%	18.7%	5.2%	1.0%	63.7%	3.1%	100.0%
合計	度数	82	141	25	6	284	5	543	84	111	25	4	264	11	499
	%	15.1%	26.0%	4.6%	1.1%	52.3%	0.9%	100.0%	16.8%	22.2%	5.0%	0.8%	52.9%	2.2%	100.0%

Q50 教室や演習室などの共同教育／教育施設に満足したか

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	N/A	合計	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	N/A	合計
医学科	度数	1	5	1	1	0	8	5	13	1	1	0	20
	%	12.5%	62.5%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%	25.0%	65.0%	5.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	13	44	21	2	1	81	23	43	18	3	1	88
	%	16.0%	54.3%	25.9%	2.5%	1.2%	100.0%	26.1%	48.9%	20.5%	3.4%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	9	22	2	1	0	34	15	29	1	3	1	49
	%	26.5%	64.7%	5.9%	2.9%	0.0%	100.0%	30.6%	59.2%	2.0%	6.1%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	15	28	7	0	0	50	16	32	5	0	0	53
	%	30.0%	56.0%	14.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.2%	60.4%	9.4%	0.0%	0.0%	100.0%
理工	度数	93	221	41	12	3	370	69	168	43	7	2	289
	%	25.1%	59.7%	11.1%	3.2%	0.8%	100.0%	23.9%	58.1%	14.9%	2.4%	0.7%	100.0%
合計	度数	131	320	72	16	4	543	128	285	68	14	4	499
	%	24.1%	58.9%	13.3%	2.9%	0.7%	100.0%	25.7%	57.1%	13.6%	2.8%	0.8%	100.0%

Q51 授業以外の自主的な活動をする上で、施設に満足したか

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	N/A	合計	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	N/A	合計
医学科	度数	2	4	0	2	0	8	4	13	3	0	0	20
	%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%	20.0%	65.0%	15.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	13	50	15	3	0	81	23	48	14	2	1	88
	%	16.0%	61.7%	18.5%	3.7%	0.0%	100.0%	26.1%	54.5%	15.9%	2.3%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	10	16	7	1	0	34	13	25	6	3	2	49
	%	29.4%	47.1%	20.6%	2.9%	0.0%	100.0%	26.5%	51.0%	12.2%	6.1%	4.1%	100.0%
社会情報	度数	11	28	9	1	1	50	17	26	7	3	0	53
	%	22.0%	56.0%	18.0%	2.0%	2.0%	100.0%	32.1%	49.1%	13.2%	5.7%	0.0%	100.0%
理工	度数	93	208	42	22	5	370	66	162	50	9	2	289
	%	25.1%	56.2%	11.4%	5.9%	1.4%	100.0%	22.8%	56.1%	17.3%	3.1%	0.7%	100.0%
合計	度数	129	306	73	29	6	543	123	274	80	17	5	499
	%	23.8%	56.4%	13.4%	5.3%	1.1%	100.0%	24.6%	54.9%	16.0%	3.4%	1.0%	100.0%

Q52 専門的学識・技能を修得した

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
医学科	度数	4	4	0	0	0	8	11	8	1	0	0	20
	%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	55.0%	40.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	32	47	1	0	1	81	45	40	1	0	2	88
	%	39.5%	58.0%	1.2%	0.0%	1.2%	100.0%	51.1%	45.5%	1.1%	0.0%	2.3%	100.0%
共同教育／	度数	17	16	1	0	0	34	20	26	0	1	2	49
	%	50.0%	47.1%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%	40.8%	53.1%	0.0%	2.0%	4.1%	100.0%
社会情報	度数	9	33	7	1	0	50	9	34	9	1	0	53
	%	18.0%	66.0%	14.0%	2.0%	0.0%	100.0%	17.0%	64.2%	17.0%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	106	234	23	5	2	370	86	179	22	1	1	289
	%	28.6%	63.2%	6.2%	1.4%	0.5%	100.0%	29.8%	61.9%	7.6%	0.3%	0.3%	100.0%
合計	度数	168	334	32	6	3	543	171	287	33	3	5	499
	%	30.9%	61.5%	5.9%	1.1%	0.6%	100.0%	34.3%	57.5%	6.6%	0.6%	1.0%	100.0%

Q53 専門的学識・技能を現実の諸課題に対して活用ができるようになった

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
医学科	度数	4	3	1	0	0	8	9	10	1	0	0	20
	%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%	45.0%	50.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	27	48	5	0	1	81	42	43	3	0	0	88
	%	33.3%	59.3%	6.2%	0.0%	1.2%	100.0%	47.7%	48.9%	3.4%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	14	20	0	0	0	34	15	29	3	1	1	49
	%	41.2%	58.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.6%	59.2%	6.1%	2.0%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	5	34	10	1	0	50	6	36	10	1	0	53
	%	10.0%	68.0%	20.0%	2.0%	0.0%	100.0%	11.3%	67.9%	18.9%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	74	230	57	4	5	370	60	176	48	3	2	289
	%	20.0%	62.2%	15.4%	1.1%	1.4%	100.0%	20.8%	60.9%	16.6%	1.0%	0.7%	100.0%
合計	度数	124	335	73	5	6	543	132	294	65	5	3	499
	%	22.8%	61.7%	13.4%	0.9%	1.1%	100.0%	26.5%	58.9%	13.0%	1.0%	0.6%	100.0%

Q54 人間社会、歴史・文化、自然等についての幅広い教養を身に付けた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
医学科	度数	2	2	3	1	0	8	5	7	7	1	0	20
	%	25.0%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%	100.0%	25.0%	35.0%	35.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	17	53	7	3	1	81	26	50	12	0	0	88
	%	21.0%	65.4%	8.6%	3.7%	1.2%	100.0%	29.5%	56.8%	13.6%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	15	18	1	0	0	34	11	28	8	1	1	49
	%	44.1%	52.9%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%	22.4%	57.1%	16.3%	2.0%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	9	38	3	0	0	50	19	27	6	1	0	53
	%	18.0%	76.0%	6.0%	0.0%	0.0%	100.0%	35.8%	50.9%	11.3%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	62	225	72	8	3	370	48	162	70	5	4	289
	%	16.8%	60.8%	19.5%	2.2%	0.8%	100.0%	16.6%	56.1%	24.2%	1.7%	1.4%	100.0%
合計	度数	105	336	86	12	4	543	109	274	103	8	5	499
	%	19.3%	61.9%	15.8%	2.2%	0.7%	100.0%	21.8%	54.9%	20.6%	1.6%	1.0%	100.0%

Q55 幅広い教養、学際的な理解に基づいて、様々な問題に対して多面的・総合的な判断ができるようになった

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
医学科	度数	2	4	1	1	0	8	5	9	6	0	0	20
	%	25.0%	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%	25.0%	45.0%	30.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	19	56	4	1	1	81	28	54	6	0	0	88
	%	23.5%	69.1%	4.9%	1.2%	1.2%	100.0%	31.8%	61.4%	6.8%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	10	23	1	0	0	34	13	27	7	1	1	49
	%	29.4%	67.6%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%	26.5%	55.1%	14.3%	2.0%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	10	39	1	0	0	50	12	35	5	1	0	53
	%	20.0%	78.0%	2.0%	0.0%	0.0%	100.0%	22.6%	66.0%	9.4%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	66	243	53	6	2	370	53	187	42	5	2	289
	%	17.8%	65.7%	14.3%	1.6%	0.5%	100.0%	18.3%	64.7%	14.5%	1.7%	0.7%	100.0%
合計	度数	107	365	60	8	3	543	111	312	66	7	3	499
	%	19.7%	67.2%	11.0%	1.5%	0.6%	100.0%	22.2%	62.5%	13.2%	1.4%	0.6%	100.0%

Q56 論理的思考力を身に付けた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
医学科	度数	4	2	2	0	0	8	7	11	2	0	0	20
	%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	35.0%	55.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	21	55	4	1	0	81	34	50	4	0	0	88
	%	25.9%	67.9%	4.9%	1.2%	0.0%	100.0%	38.6%	56.8%	4.5%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	12	21	1	0	0	34	15	28	4	1	1	49
	%	35.3%	61.8%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%	30.6%	57.1%	8.2%	2.0%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	11	35	4	0	0	50	16	33	3	1	0	53
	%	22.0%	70.0%	8.0%	0.0%	0.0%	100.0%	30.2%	62.3%	5.7%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	103	228	28	7	4	370	77	175	32	3	2	289
	%	27.8%	61.6%	7.6%	1.9%	1.1%	100.0%	26.6%	60.6%	11.1%	1.0%	0.7%	100.0%
合計	度数	151	341	39	8	4	543	149	297	45	5	3	499
	%	27.8%	62.8%	7.2%	1.5%	0.7%	100.0%	29.9%	59.5%	9.0%	1.0%	0.6%	100.0%

Q57 コミュニケーション能力を高めた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
医学科	度数	5	2	1	0	0	8	7	9	3	1	0	20
	%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%	35.0%	45.0%	15.0%	5.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	28	46	6	1	0	81	41	43	4	0	0	88
	%	34.6%	56.8%	7.4%	1.2%	0.0%	100.0%	46.6%	48.9%	4.5%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	13	18	2	1	0	34	17	24	5	2	1	49
	%	38.2%	52.9%	5.9%	2.9%	0.0%	100.0%	34.7%	49.0%	10.2%	4.1%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	12	30	8	0	0	50	14	27	8	4	0	53
	%	24.0%	60.0%	16.0%	0.0%	0.0%	100.0%	26.4%	50.9%	15.1%	7.5%	0.0%	100.0%
理工	度数	82	209	67	9	3	370	74	153	51	9	2	289
	%	22.2%	56.5%	18.1%	2.4%	0.8%	100.0%	25.6%	52.9%	17.6%	3.1%	0.7%	100.0%
合計	度数	140	305	84	11	3	543	153	256	71	16	3	499
	%	25.8%	56.2%	15.5%	2.0%	0.6%	100.0%	30.7%	51.3%	14.2%	3.2%	0.6%	100.0%

Q58 社会で生起する問題に対し主体的に取り組む意欲を持つようになった

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
医学科	度数	3	3	1	1	0	8	5	7	5	2	1	20
	%	37.5%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%	25.0%	35.0%	25.0%	10.0%	5.0%	100.0%
保健学科	度数	17	58	4	2	0	81	25	54	8	0	1	88
	%	21.0%	71.6%	4.9%	2.5%	0.0%	100.0%	28.4%	61.4%	9.1%	0.0%	1.1%	100.0%
共同教育／	度数	6	24	3	0	1	34	11	30	5	2	1	49
	%	17.6%	70.6%	8.8%	0.0%	2.9%	100.0%	22.4%	61.2%	10.2%	4.1%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	7	35	7	1	0	50	12	30	9	2	0	53
	%	14.0%	70.0%	14.0%	2.0%	0.0%	100.0%	22.6%	56.6%	17.0%	3.8%	0.0%	100.0%
理工	度数	64	214	73	17	2	370	48	178	53	8	2	289
	%	17.3%	57.8%	19.7%	4.6%	0.5%	100.0%	16.6%	61.6%	18.3%	2.8%	0.7%	100.0%
合計	度数	97	334	88	21	3	543	101	299	80	14	5	499
	%	17.9%	61.5%	16.2%	3.9%	0.6%	100.0%	20.2%	59.9%	16.0%	2.8%	1.0%	100.0%

Q59 自然との共生を基盤とした豊かな人間性と広い視野及び社会的倫理観を身に付けた

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
医学科	度数	2	4	0	2	0	8	6	8	4	2	0	20
	%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%	30.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	13	60	6	2	0	81	25	53	10	0	0	88
	%	16.0%	74.1%	7.4%	2.5%	0.0%	100.0%	28.4%	60.2%	11.4%	0.0%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	6	23	5	0	0	34	10	26	11	1	1	49
	%	17.6%	67.6%	14.7%	0.0%	0.0%	100.0%	20.4%	53.1%	22.4%	2.0%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	8	31	11	0	0	50	9	33	8	3	0	53
	%	16.0%	62.0%	22.0%	0.0%	0.0%	100.0%	17.0%	62.3%	15.1%	5.7%	0.0%	100.0%
理工	度数	57	231	63	16	3	370	53	170	57	8	1	289
	%	15.4%	62.4%	17.0%	4.3%	0.8%	100.0%	18.3%	58.8%	19.7%	2.8%	0.3%	100.0%
合計	度数	86	349	85	20	3	543	103	290	90	14	2	499
	%	15.8%	64.3%	15.7%	3.7%	0.6%	100.0%	20.6%	58.1%	18.0%	2.8%	0.4%	100.0%

Q60 社会から信頼され国内外で活躍することができるようになった

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
医学科	度数	1	2	3	2	0	8	4	9	3	4	0	20
	%	12.5%	25.0%	37.5%	25.0%	0.0%	100.0%	20.0%	45.0%	15.0%	20.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	9	39	23	9	1	81	11	44	23	10	0	88
	%	11.1%	48.1%	28.4%	11.1%	1.2%	100.0%	12.5%	50.0%	26.1%	11.4%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	2	16	11	5	0	34	8	15	15	10	1	49
	%	5.9%	47.1%	32.4%	14.7%	0.0%	100.0%	16.3%	30.6%	30.6%	20.4%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	5	21	14	10	0	50	6	13	25	9	0	53
	%	10.0%	42.0%	28.0%	20.0%	0.0%	100.0%	11.3%	24.5%	47.2%	17.0%	0.0%	100.0%
理工	度数	38	147	121	62	2	370	35	108	101	44	1	289
	%	10.3%	39.7%	32.7%	16.8%	0.5%	100.0%	12.1%	37.4%	34.9%	15.2%	0.3%	100.0%
合計	度数	55	225	172	88	3	543	64	189	167	77	2	499
	%	10.1%	41.4%	31.7%	16.2%	0.6%	100.0%	12.8%	37.9%	33.5%	15.4%	0.4%	100.0%

Q61 群馬大学のカリキュラムを全体としてどう評価するか

		2024年3月卒業生						2023年3月卒業生					
		十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計	十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	N/A	合計
医学科	度数	2	5	0	1	0	8	7	13	0	0	0	20
	%	25.0%	62.5%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%	35.0%	65.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保健学科	度数	15	62	2	1	1	81	25	58	4	1	0	88
	%	18.5%	76.5%	2.5%	1.2%	1.2%	100.0%	28.4%	65.9%	4.5%	1.1%	0.0%	100.0%
共同教育／	度数	6	24	2	2	0	34	16	28	2	2	1	49
	%	17.6%	70.6%	5.9%	5.9%	0.0%	100.0%	32.7%	57.1%	4.1%	4.1%	2.0%	100.0%
社会情報	度数	11	36	3	0	0	50	13	36	3	1	0	53
	%	22.0%	72.0%	6.0%	0.0%	0.0%	100.0%	24.5%	67.9%	5.7%	1.9%	0.0%	100.0%
理工	度数	81	251	30	6	2	370	55	206	25	1	2	289
	%	21.9%	67.8%	8.1%	1.6%	0.5%	100.0%	19.0%	71.3%	8.7%	0.3%	0.7%	100.0%
合計	度数	115	378	37	10	3	543	116	341	34	5	3	499
	%	21.2%	69.6%	6.8%	1.8%	0.6%	100.0%	23.2%	68.3%	6.8%	1.0%	0.6%	100.0%

8.1.53　群馬大学大学院全学修了時アンケート調査　集計表

群馬大学大学院全学修了時アンケート調査（2024年3月修了生、2023年3月修了生対象）
【社会情報学研究科】 集計表
回収数：2024年4月修了生8、2023年3月修了生7

Q1 研究科等（略）
Q2 課程（略）
Q3 入学年度（略）

Q4 出身学部

		群馬大学	群馬大学以外	合計
2023年3月修了生	度数	4	3	7
	%	57.1%	42.9%	100.0%
2024年3月修了生	度数	2	6	8
	%	25.0%	75.0%	100.0%

Q5 社会人大学院生

		社会人大学院生である	社会人大学院生でない	合計
2023年3月修了生	度数	1	6	7
	%	14.3%	85.7%	100.0%
2024年3月修了生	度数	1	7	8
	%	12.5%	87.5%	100.0%

Q6 修了後の進路

		就職する（群馬県内）	就職する（群馬県外）	群馬大学大学院に進学する	他の大学の大学院に進学する	その他	合計
2023年3月修了生	度数	2	4	0	0	1	7
	%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%	100.0%
2024年3月修了生	度数	3	2	0	0	3	8
	%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	37.5%	100.0%

Q7-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由：希望する研究分野があること

		該当する	合計
2023年3月修了生	度数	7	7
	%	100.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	6	8
	%	75.0%	100.0%

Q7-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由：指導教員の資質・能力がすぐれていること

		該当する	合計
2023年3月修了生	度数	6	7
	%	85.7%	100.0%
2024年3月修了生	度数	5	8
	%	62.5%	100.0%

Q7-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由：研究施設が十分であること

		該当する	合計
2023年3月修了生	度数	2	7
	%	28.6%	100.0%
2024年3月修了生	度数	0	8
	%	0.0%	100.0%

Q7-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由：資格や免許が取得できること

		該当する	合計
2023年3月修了生	度数	0	7
	%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	0	8
	%	0.0%	100.0%

Q7-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由：将来就きたい職業につながること

		該当する	合計
2023年3月修了生	度数	0	7
	%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	0	8
	%	0.0%	100.0%

Q7-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由：就職の実績がよいこと

		該当する	合計
2023年3月修了生	度数	0	7
	%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	0	8
	%	0.0%	100.0%

Q7-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由：大学教員からすすめられたこと

		該当する	合計
2023年3月修了生	度数	2	7
	%	28.6%	100.0%
2024年3月修了生	度数	2	8
	%	25.0%	100.0%

Q7-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由：経済的な負担が少ないこと

		該当する	合計
2023年3月修了生	度数	3	7
	%	42.9%	100.0%
2024年3月修了生	度数	4	8
	%	50.0%	100.0%

Q7-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由：その他

		該当する	合計
2023年3月修了生	度数	0	7
	%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	1	8
	%	12.5%	100.0%

Q8 入学時、教育ポリシーについて知っていたか

		とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	N/A	合計
2023年3月修了生	度数	1	3	2	0	1	7
	%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%	14.3%	100.0%
2024年3月修了生	度数	1	3	3	1	0	8
	%	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	100.0%

Q9 入学時、満足していたか

		とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足していないが入学した	まったく満足していないが入学した	合計
2023年3月修了生	度数	5	2	0	0	7
	%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	5	3	0	0	8
	%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q10 印象に残る経験：相当の努力をして課題（単位取得や論文作成）をやりとげる厳しさがあった

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	度数	2	5	0	0	7
	%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	3	5	0	0	8
	%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q11 印象に残る経験：実社会との接点を感じることができた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	度数	2	5	0	0	7
	%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	2	5	1	0	8
	%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	100.0%

Q12 印象に残る経験：学問固有の物の見方や考え方に触れられた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	度数	3	4	0	0	7
	%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	5	3	0	0	8
	%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q13 印象に残る経験：大学院の個性や特色をいかした教育を受けられた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	度数	3	4	0	0	7
	%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	3	4	1	0	8
	%	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	100.0%

Q14 印象に残る経験：自分の適性や将来への関心を知ることができた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	度数	2	4	1	0	7
	%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	3	5	0	0	8
	%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q15 印象に残る経験：研究について、相談にのったり支援してくれる人がいた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	度数	4	3	0	0	7
	%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	5	3	0	0	8
	%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q16 印象に残る経験：研究以外（進路、人間関係など）について、幅広く相談にのったり支援してくれる人がいた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2023年3月修了生	度数	3	3	1	0	0	7
	%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	2	3	2	0	1	8
	%	25.0%	37.5%	25.0%	0.0%	12.5%	100.0%

Q17 印象に残る経験：教員の指導に基づきながらも、自主性を尊重されて研究を進められた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	度数	6	1	0	0	7
	%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	6	2	0	0	8
	%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q18 印象に残る経験：研究の態度や姿勢が不適切な場合、教員から指導を受けた

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	度数	4	1	1	1	7
	%	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	100.0%
2024年3月修了生	度数	3	2	3	0	8
	%	37.5%	25.0%	37.5%	0.0%	100.0%

Q19 印象に残る経験:研究の成果を正当に評価された

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	度数	4	3	0	0	7
	%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	5	3	0	0	8
	%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q20 満足度:研究テーマ選択の自由度

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	度数	6	1	0	0	7
	%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	5	2	1	0	8
	%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	100.0%

Q21 満足度:研究テーマに対する指導

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	度数	7	0	0	0	7
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	5	2	1	0	8
	%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	100.0%

Q22 満足度:指導教員とのコミュニケーション

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	度数	7	0	0	0	7
	%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	5	2	1	0	8
	%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	100.0%

Q23 満足度:図書館

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	度数	4	2	1	0	7
	%	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	2	5	1	0	8
	%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	100.0%

Q24 満足度:研究施設・設備・機器等

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	度数	3	2	2	0	7
	%	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	2	4	2	0	8
	%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	100.0%

Q25 満足度:就職支援

		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	該当せず(社会人学生)	合計
2023年3月修了生	度数	2	2	3	0	0	7
	%	28.6%	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	1	2	4	0	1	8
	%	12.5%	25.0%	50.0%	0.0%	12.5%	100.0%

Q26 幅広く豊かな学識を身に付けた

		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2023年3月修了生	度数	5	2	0	0	7
	%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	4	2	2	0	8
	%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	100.0%

Q27 専門分野において自立して研究活動を実践できる能力を身に付けた

		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2023年3月修了生	度数	5	2	0	0	7
	%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	3	4	1	0	8
	%	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	100.0%

Q28 高度な専門性または国際性を必要とする職業を担う能力を身に付けた

		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
2023年3月修了生	度数	3	3	0	0	1	7
	%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	14.3%	100.0%
2024年3月修了生	度数	2	3	3	0	0	8
	%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%

Q29 研究者・技術者・高度専門職業人としての倫理観を身に付けた

		とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2023年3月修了生	度数	5	2	0	0	7
	%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	2	5	1	0	8
	%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	100.0%

Q30 群馬大学大学院のカリキュラムを全体としてどう評価するか

		十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	合計
2023年3月修了生	度数	4	3	0	0	7
	%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	度数	4	4	0	0	8
	%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

群馬大学大学院全学修了時アンケート調査（2024年3月修了生、2023年3月修了生対象）
【医学系研究科】 集計表
回収数：2024年3月修了生9、2023年3月修了生17

Q1 研究科等（略）
Q2 課程（略）
Q3 入学年度（略）

Q4 出身学部

			群馬大学	群馬大学以外	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	1	5
		%	80.0%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	12
		%	50.0%	50.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	2	1	3
		%	66.7%	33.3%	100.0%
	博士課程	度数	3	3	6
		%	50.0%	50.0%	100.0%

Q5 社会人大学院生

			社会人大学院生である	社会人大学院生でない	N/A	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	1	4	0	5
		%	20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	7	5	0	12
		%	58.3%	41.7%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	2	1	3
		%	0.0%	66.6%	33.3%	100.0%
	博士課程	度数	5	1	0	6
		%	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%

Q6 修了後の進路

			就職する（群馬県内）	就職する（群馬県外）	群馬大学大学院に進学する	他の大学の大学院に進学する	その他	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	0	3	0	1	1	5
		%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	3	0	0	6	12
		%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	1	1	1	0	3
		%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	2	0	0	3	6
		%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%

Q7-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由：希望する研究分野があること

			該当する	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	5	5
		%	100.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	12
		%	50.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	2	3
		%	66.7%	100.0%
	博士課程	度数	5	6
		%	83.3%	100.0%

Q7-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由：指導教員の資質・能力がすぐれていること

			該当する	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	5
		%	60.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	12
		%	50.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	3
		%	33.3%	100.0%
	博士課程	度数	6	6
		%	100.0%	100.0%

Q7-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由：研究施設が十分であること

			該当する	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	2	5
		%	40.0%	100.0%
	博士課程	度数	2	12
		%	16.7%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	3
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	6
		%	50.0%	100.0%

Q7-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由：資格や免許が取得できること

			該当する	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	1	5
		%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	0	12
		%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	3
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	6
		%	50.0%	100.0%

Q7-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由：将来就きたい職業につながること

			該当する	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	2	5
		%	40.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	12
		%	8.3%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	3
		%	33.3%	100.0%
	博士課程	度数	1	6
		%	16.7%	100.0%

Q7-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由：就職の実績がよいこと

			該当する	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	0	5
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	0	12
		%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	3
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	6
		%	16.7%	100.0%

Q7-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由：大学教員からすすめられたこと

			該当する	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	1	5
		%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	12
		%	25.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	3
		%	33.3%	100.0%
	博士課程	度数	0	6
		%	0.0%	100.0%

Q7-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由：経済的な負担が少ないこと

			該当する	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	2	5
		%	40.0%	100.0%
	博士課程	度数	2	12
		%	16.7%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	3
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	6
		%	16.7%	100.0%

Q7-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由:その他

			該当する	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	0	5
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	12
		%	8.3%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	3
		%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	0	6
		%	0.0%	100.0%

Q8 入学時、教育ポリシーについて知っていたか

			とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	2	0	1	2	5
		%	40.0%	0.0%	20.0%	40.0%	100.0%
	博士課程	度数	2	4	4	2	12
		%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	2	1	0	3
		%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	0	2	0	6
		%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%

Q9 入学時、満足していたか

			とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足していないが入学した	まったく満足していないが入学した	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	4	2	0	12
		%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	3	0	0	3
		%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	0	0	0	6
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q10 印象に残る経験:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる厳しさがあった

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	8	0	0	12
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	2	0	0	3
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	3	0	0	6
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q11 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	0	2	0	5
		%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	6	0	1	12
		%	41.7%	50.0%	0.0%	8.3%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	1	0	2	3
		%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	100.0%
	博士課程	度数	4	1	1	0	6
		%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%

Q12 印象に残る経験：学問固有の物の見方や考え方に触れられた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	1	0	0	5
		%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	7	5	0	0	12
		%	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	2	1	0	0	3
		%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	0	0	0	6
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q13 印象に残る経験：大学院の個性や特色をいかした教育を受けられた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	1	0	1	5
		%	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	6	1	0	12
		%	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	1	1	0	3
		%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	0	0	0	6
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q14 印象に残る経験：自分の適性や将来への関心を知ることができた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	0	0	1	5
		%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	6	1	0	12
		%	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	2	0	0	3
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	1	1	0	6
		%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	100.0%

Q15 印象に残る経験：研究について、相談にのったり支援してくれる人がいた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	5	0	0	0	5
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	7	0	0	12
		%	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	2	1	0	0	3
		%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	0	0	0	6
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q16 印象に残る経験：研究以外（進路、人間関係など）について、幅広く相談にのったり支援してくれる人がいた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	1	0	0	5
		%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	5	1	1	12
		%	41.7%	41.7%	8.3%	8.3%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	1	1	0	3
		%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	1	0	0	6
		%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%

Q17 印象に残る経験:教員の指導に基づきながらも、自主性を尊重されて研究を進められた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	1	0	0	5
		%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	0	0	12
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	3	0	0	0	3
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	0	0	0	6
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q18 印象に残る経験:研究の態度や姿勢が不適切な場合、教員から指導を受けた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	2	2	1	0	5
		%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	6	1	0	12
		%	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	1	0	2	3
		%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	100.0%
	博士課程	度数	3	0	2	1	6
		%	50.0%	0.0%	33.3%	16.7%	100.0%

Q19 印象に残る経験:研究の成果を正当に評価された

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	5	0	0	0	5
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	6	1	0	12
		%	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	2	0	0	3
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	1	0	0	6
		%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%

Q20 満足度:研究テーマ選択の自由度

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	0	0	12
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	2	1	0	0	3
		%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	1	0	0	6
		%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%

Q21 満足度:研究テーマに対する指導

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	4	1	0	0	5
		%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	7	0	0	12
		%	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	2	1	0	0	3
		%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	0	0	0	6
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q22 満足度：指導教員とのコミュニケーション

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	0	0	12
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	2	1	0	0	3
		%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	0	0	0	6
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q23 満足度：図書館

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	1	1	0	5
		%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	2	9	1	0	12
		%	16.7%	75.0%	8.3%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	3	0	0	3
		%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	3	0	0	6
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q24 満足度：研究施設・設備・機器等

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	5	0	0	0	5
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	4	8	0	0	12
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	2	1	0	0	3
		%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	3	3	0	0	6
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q25 満足度：就職支援

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	該当せず（社会人学生）	N/A	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	1	2	1	1	0	0	5
		%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	5	0	1	4	1	12
		%	8.3%	41.7%	0.0%	8.3%	33.3%	8.3%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	0	2	1	0	0	3
		%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	1	0	0	0	5	0	6
		%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	100.0%

Q26 幅広く豊かな学識を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	1	1	0	5
		%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	0	0	12
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	2	0	0	3
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	1	0	0	6
		%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%

Q27 専門分野において自立して研究活動を実践できる能力を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	1	1	0	0	5
		%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	6	0	0	1	12
		%	41.7%	50.0%	0.0%	0.0%	8.3%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	2	0	0	0	3
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	1	0	0	0	6
		%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q28 高度な専門性または国際性を必要とする職業を担う能力を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	2	1	2	0	5
		%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	3	3	0	12
		%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	2	0	0	3
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	1	0	0	6
		%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%

Q29 研究者・技術者・高度専門職業人としての倫理観を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	6	0	0	12
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	1	2	0	0	3
		%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	6	0	0	0	6
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q30 群馬大学大学院のカリキュラムを全体としてどう評価するか

			十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	合計
2023年3月修了生	修士課程	度数	3	1	0	1	5
		%	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
	博士課程	度数	7	5	0	0	12
		%	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	修士課程	度数	0	3	0	0	3
		%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士課程	度数	5	1	0	0	6
		%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%

群馬大学大学院全学修了時アンケート調査（2024年3月修了生、2023年3月修了生）
【保健学研究科】 集計表
回収数：2024年3月修了生9、2023年3月修了生18

Q1 研究科等（略）
Q2 課程（略）
Q3 入学年度（略）

Q4 出身学部

			群馬大学	群馬大学以外	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	9	4	13
		%	69.2%	30.8%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	2	5
		%	60.0%	40.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	5	3	8
		%	62.5%	37.5%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	1
		%	100.0%	0.0%	100.0%

Q5 社会人大学院生

			社会人大学院生である	社会人大学院生でない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	9	4	13
		%	69.2%	30.8%	100.0%
	博士後期課程	度数	4	1	5
		%	80.0%	20.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	2	6	8
		%	25.0%	75.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	1
		%	100.0%	0.0%	100.0%

Q6 修了後の進路

			就職する（群馬県内）	就職する（群馬県外）	群馬大学大学院に進学する	他の大学の大学院に進学する	その他	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	5	3	2	0	3	13
		%	38.5%	23.1%	15.4%	0.0%	23.1%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	1	0	0	3	5
		%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	2	4	1	0	1	8
		%	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q7-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由：希望する研究分野があること

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	11	13
		%	84.6%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	5
		%	40.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	6	8
		%	75.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	1
		%	100.0%	100.0%

Q7-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由：指導教員の資質・能力がすぐれていること

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	11	13
		%	84.6%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	5
		%	60.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	4	8
		%	50.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	1
		%	0.0%	100.0%

Q7-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由：研究施設が十分であること

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	4	13
		%	30.8%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	5
		%	20.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	3	8
		%	37.5%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	1
		%	0.0%	100.0%

Q7-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由：資格や免許が取得できること

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	2	13
		%	15.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	5
		%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	0	8
		%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	1
		%	100.0%	100.0%

Q7-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由：将来就きたい職業につながること

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	4	13
		%	30.8%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	5
		%	20.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	3	8
		%	37.5%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	1
		%	0.0%	100.0%

Q7-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由：就職の実績がよいこと

			該当なし	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	1	13
		%	7.7%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	5
		%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	0	8
		%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	1
		%	0.0%	100.0%

Q7-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由：大学教員からすすめられたこと

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	2	13
		%	15.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	5
		%	20.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	0	8
		%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	1
		%	0.0%	100.0%

Q7-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由：経済的な負担が少ないこと

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	4	13
		%	30.8%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	5
		%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	4	8
		%	50.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	1
		%	100.0%	100.0%

Q7-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由:その他

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	2	13
		%	15.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	5
		%	20.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	2	8
		%	25.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	1
		%	0.0%	100.0%

Q8 入学時、教育ポリシーについて知っていたか

			とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	1	10	2	0	13
		%	7.7%	76.9%	15.4%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	4	0	5
		%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	0	3	4	1	8
		%	0.0%	37.5%	50.0%	12.5%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q9 入学時、満足していたか

			とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足していないが入学した	まったく満足していないが入学した	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	7	6	0	0	13
		%	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	2	1	0	5
		%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	5	3	0	0	8
		%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q10 印象に残る経験:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる厳しさがあった

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	10	3	0	0	13
		%	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	0	0	0	5
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	5	3	0	0	8
		%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q11 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	6	5	2	0	13
		%	46.2%	38.5%	15.4%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	4	0	5
		%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	1	3	4	0	8
		%	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	0	1	0	1
		%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

Q12 印象に残る経験:学問固有の物の見方や考え方に触れられた

			とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	9	4	0	0	13
		%	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	7	1	0	0	8
		%	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	1	0	0	1
		%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q13 印象に残る経験:大学院の個性や特色をいかした教育を受けられた

			とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	7	6	0	0	13
		%	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	2	1	0	5
		%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	4	4	0	0	8
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	0	1	0	1
		%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

Q14 印象に残る経験:自分の適性や将来への関心を知ることができた

			とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	8	5	0	0	13
		%	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	1	3	0	5
		%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	3	4	1	0	8
		%	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	0	1	0	1
		%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

Q15 印象に残る経験:研究について、相談にのったり支援してくれる人がいた

			とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	12	1	0	0	13
		%	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	1	1	0	5
		%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	6	1	1	0	8
		%	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q16 印象に残る経験:研究以外(進路、人間関係など)について、幅広く相談にのったり支援してくれる人がいた

			とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	7	4	1	0	1	13
		%	53.8%	30.8%	7.7%	0.0%	7.7%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	2	1	1	0	5
		%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	2	3	3	0	0	8
		%	25.0%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q17 印象に残る経験:教員の指導に基づきながらも、自主性を尊重されて研究を進められた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	8	5	0	0	13
		%	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	1	1	0	5
		%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	5	3	0	0	8
		%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q18 印象に残る経験:研究の態度や姿勢が不適切な場合、教員から指導を受けた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	9	3	1	0	13
		%	69.2%	23.1%	7.7%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	2	2	0	5
		%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	4	1	1	2	8
		%	50.0%	12.5%	12.5%	25.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	1	0	0	1
		%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q19 印象に残る経験:研究の成果を正当に評価された

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	5	8	0	0	13
		%	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	3	0	0	5
		%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	6	2	0	0	8
		%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q20 満足度:研究テーマ選択の自由度

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	10	3	0	0	13
		%	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	2	0	0	5
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	5	3	0	0	8
		%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q21 満足度:研究テーマに対する指導

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	10	3	0	0	13
		%	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	0	2	0	5
		%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	7	1	0	0	8
		%	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	1	0	0	1
		%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q22 満足度：指導教員とのコミュニケーション

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	10	3	0	0	13
		%	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	2	1	0	5
		%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	6	1	1	0	8
		%	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	1	0	0	1
		%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q23 満足度：図書館

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	5	7	1	0	13
		%	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	2	1	0	5
		%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	4	4	0	0	8
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	0	1	0	1
		%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

Q24 満足度：研究施設・設備・機器等

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	7	5	1	0	13
		%	53.8%	38.5%	7.7%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	2	1	0	5
		%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	3	5	0	0	8
		%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	0	1	0	1
		%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

Q25 満足度：就職支援

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	該当せず（社会人学生）	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	4	2	0	0	7	13
		%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	53.8%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	0	1	0	4	5
		%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	80.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	1	3	2	1	1	8
		%	12.5%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	0	0	0	1	1
		%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%

Q26 幅広く豊かな学識を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	5	8	0	0	13
		%	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	3	1	0	5
		%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	4	4	0	0	8
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q27 専門分野において自立して研究活動を実践できる能力を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	5	8	0	0	13
		%	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	2	2	0	5
		%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	1	5	2	0	8
		%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q28 高度な専門性または国際性を必要とする職業を担う能力を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	3	8	2	0	13
		%	23.1%	61.5%	15.4%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	1	3	0	5
		%	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	1	5	2	0	8
		%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q29 研究者・技術者・高度専門職業人としての倫理観を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	6	7	0	0	0	13
		%	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	3	0	0	1	5
		%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	3	5	0	0	0	8
		%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	0	0	0	0	1
		%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q30 群馬大学大学院のカリキュラムを全体としてどう評価するか

			十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	7	6	0	0	13
		%	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	4	0	0	5
		%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年3月修了生	博士前期課程	度数	3	5	0	0	8
		%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	1	0	0	1
		%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

群馬大学大学院全学修了時アンケート調査（2024年3月修了生、2023年3月修了生）
【理工学府】集計表
回収数：2024年3月修了生110、2023年3月修了生246

Q1 研究科等（略）
Q2 課程（略）
Q3 入学年度（略）

Q4 出身学部

			群馬大学	群馬大学以外	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	213	12	1	226
		%	94.2%	5.3%	0.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	9	11	0	20
		%	45.0%	55.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	89	8	0	97
		%	91.8%	8.2%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	10	1	13
		%	15.4%	76.9%	7.7%	100.0%

Q5 社会人大学院生

			社会人大学院生である	社会人大学院生でない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	1	224	1	226
		%	0.4%	99.1%	0.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	15	0	20
		%	25.0%	75.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	0	97	0	97
		%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	8	0	13
		%	38.5%	61.5%	0.0%	100.0%

Q6 修了後の進路

			就職する（群馬県内）	就職する（群馬県外）	群馬大学大学院に進学する	他の大学の大学院に進学する	その他	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	40	171	8	1	4	2	226
		%	17.7%	75.7%	3.5%	0.4%	1.8%	0.9%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	8	0	0	11	0	20
		%	5.0%	40.0%	0.0%	0.0%	55.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	15	71	9	1	1	0	97
		%	15.5%	73.2%	9.3%	1.0%	1.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	4	0	0	9	0	13
		%	0.0%	30.8%	0.0%	0.0%	69.2%	0.0%	100.0%

Q7-1 群馬大学大学院に入学を決めた理由：希望する研究分野があること

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	126	226
		%	55.8%	100.0%
	博士後期課程	度数	18	20
		%	90.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	52	97
		%	53.6%	100.0%
	博士後期課程	度数	9	13
		%	69.2%	100.0%

Q7-2 群馬大学大学院に入学を決めた理由：指導教員の資質・能力がすぐれていること

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	49	226
		%	21.7%	100.0%
	博士後期課程	度数	15	20
		%	75.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	35	97
		%	36.1%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	13
		%	38.5%	100.0%

Q7-3 群馬大学大学院に入学を決めた理由：研究施設が十分であること

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	38	226
		%	16.8%	100.0%
	博士後期課程	度数	8	20
		%	40.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	11	97
		%	11.3%	100.0%
	博士後期課程	度数	4	13
		%	30.8%	100.0%

Q7-4 群馬大学大学院に入学を決めた理由：資格や免許が取得できること

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	5	226
		%	2.2%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	20
		%	10.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	3	97
		%	3.1%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	13
		%	0.0%	100.0%

Q7-5 群馬大学大学院に入学を決めた理由：将来就きたい職業につながること

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	80	226
		%	35.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	7	20
		%	35.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	30	97
		%	30.9%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	13
		%	15.4%	100.0%

Q7-6 群馬大学大学院に入学を決めた理由：就職の実績がよいこと

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	50	226
		%	22.1%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	20
		%	5.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	27	97
		%	27.8%	100.0%
	博士後期課程	度数	0	13
		%	0.0%	100.0%

Q7-7 群馬大学大学院に入学を決めた理由：大学教員からすすめられたこと

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	22	226
		%	9.7%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	20
		%	25.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	15	97
		%	15.5%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	13
		%	7.7%	100.0%

Q7-8 群馬大学大学院に入学を決めた理由：経済的な負担が少ないこと

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	59	226
		%	26.1%	100.0%
	博士後期課程	度数	8	20
		%	40.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	28	97
		%	28.9%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	13
		%	15.4%	100.0%

Q7-9 群馬大学大学院に入学を決めた理由：その他

			該当する	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	20	226
		%	8.8%	100.0%
	博士後期課程	度数	1	20
		%	5.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	4	97
		%	4.1%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	13
		%	15.4%	100.0%

Q8 入学時、教育ポリシーについて知っていたか

			とても知っていた	まあ知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	11	109	78	28	0	226
		%	4.9%	48.2%	34.5%	12.4%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	13	4	1	0	20
		%	10.0%	65.0%	20.0%	5.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	5	50	31	11	0	97
		%	5.2%	51.5%	32.0%	11.3%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	2	5	4	1	1	13
		%	15.4%	38.5%	30.8%	7.7%	7.7%	100.0%

Q9 入学時、満足していたか

			とても満足して入学した	まあ満足して入学した	あまり満足していないが入学した	まったく満足していないが入学した	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	68	143	12	3	226
		%	30.1%	63.3%	5.3%	1.3%	100.0%
	博士後期課程	度数	13	7	0	0	20
		%	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	38	56	2	1	97
		%	39.2%	57.7%	2.1%	1.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	8	4	1	0	13
		%	61.5%	30.8%	7.7%	0.0%	100.0%

Q10 印象に残る経験:相当の努力をして課題(単位取得や論文作成)をやりとげる厳しさがあった

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	102	101	20	3	226
		%	45.1%	44.7%	8.8%	1.3%	100.0%
	博士後期課程	度数	10	8	2	0	20
		%	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	49	40	7	1	97
		%	50.5%	41.2%	7.2%	1.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	9	3	1	0	13
		%	69.2%	23.1%	7.7%	0.0%	100.0%

Q11 印象に残る経験:実社会との接点を感じることができた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	30	107	74	15	0	226
		%	13.3%	47.3%	32.7%	6.6%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	10	9	1	0	0	20
		%	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	23	44	26	4	0	97
		%	23.7%	45.4%	26.8%	4.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	8	1	0	1	13
		%	23.1%	61.5%	7.7%	0.0%	7.7%	100.0%

Q12 印象に残る経験:学問固有の物の見方や考え方に触れられた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	100	107	14	4	1	226
		%	44.2%	47.3%	6.2%	1.8%	0.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	15	3	1	0	0	19
		%	78.9%	15.8%	5.3%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	49	43	1	3	1	97
		%	50.5%	44.3%	1.0%	3.1%	1.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	8	0	0	0	13
		%	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q13 印象に残る経験:大学院の個性や特色をいかした教育を受けられた

			とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	68	122	27	7	2	226
		%	30.1%	54.0%	11.9%	3.1%	0.9%	100.0%
	博士後期課程	度数	11	7	2	0	0	20
		%	55.0%	35.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	38	47	7	3	2	97
		%	39.2%	48.5%	7.2%	3.1%	2.1%	100.0%
	博士後期課程	度数	4	7	2	0	0	13
		%	30.8%	53.8%	15.4%	0.0%	0.0%	100.0%

Q14 印象に残る経験:自分の適性や将来への関心を知ることができた

			とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	92	117	13	3	1	226
		%	40.7%	51.8%	5.8%	1.3%	0.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	11	8	1	0	0	20
		%	55.0%	40.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	38	52	6	1	0	97
		%	39.2%	53.6%	6.2%	1.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	4	4	3	0	2	13
		%	30.8%	30.8%	23.1%	0.0%	15.4%	100.0%

Q15 印象に残る経験:研究について、相談にのったり支援してくれる人がいた

			とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	144	65	12	5	226
		%	63.7%	28.8%	5.3%	2.2%	100.0%
	博士後期課程	度数	13	5	2	0	20
		%	65.0%	25.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	65	27	4	1	97
		%	67.0%	27.8%	4.1%	1.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	8	4	1	0	13
		%	61.5%	30.8%	7.7%	0.0%	100.0%

Q16 印象に残る経験:研究以外(進路、人間関係など)について、幅広く相談にのったり支援してくれる人がいた

			とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	94	97	28	6	1	226
		%	41.6%	42.9%	12.4%	2.7%	0.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	11	4	5	0	0	20
		%	55.0%	20.0%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	39	43	13	2	0	97
		%	40.2%	44.3%	13.4%	2.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	5	3	0	0	13
		%	38.5%	38.5%	23.1%	0.0%	0.0%	100.0%

Q17 印象に残る経験:教員の指導に基づきながらも、自主性を尊重されて研究を進められた

			とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	133	84	6	2	1	226
		%	58.8%	37.2%	2.7%	0.9%	0.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	15	3	2	0	0	20
		%	75.0%	15.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	54	38	3	2	0	97
		%	55.7%	39.2%	3.1%	2.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	9	3	0	0	1	13
		%	69.2%	23.1%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%

Q18 印象に残る経験:研究の態度や姿勢が不適切な場合、教員から指導を受けた

			とてもあてはまる	まあまあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	55	105	50	16	0	226
		%	24.3%	46.5%	22.1%	7.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	9	9	1	0	1	20
		%	45.0%	45.0%	5.0%	0.0%	5.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	31	47	11	8	0	97
		%	32.0%	48.5%	11.3%	8.2%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	6	3	1	3	0	13
		%	46.2%	23.1%	7.7%	23.1%	0.0%	100.0%

Q19 印象に残る経験:研究の成果を正当に評価された

			とてもあてはまる	まあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	96	114	12	4	0	226
		%	42.5%	50.4%	5.3%	1.8%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	13	6	1	0	0	20
		%	65.0%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	43	47	4	2	1	97
		%	44.3%	48.5%	4.1%	2.1%	1.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	7	5	1	0	0	13
		%	53.8%	38.5%	7.7%	0.0%	0.0%	100.0%

Q20 満足度:研究テーマ選択の自由度

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	89	110	20	6	1	226
		%	39.4%	48.7%	8.8%	2.7%	0.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	13	6	0	1	0	20
		%	65.0%	30.0%	0.0%	5.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	47	43	5	2	0	97
		%	48.5%	44.3%	5.2%	2.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	10	3	0	0	0	13
		%	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q21 満足度:研究テーマに対する指導

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	111	93	16	6		226
		%	49.1%	41.2%	7.1%	2.7%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	13	6	1	0	0	20
		%	65.0%	30.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	57	34	4	2	0	97
		%	58.8%	35.1%	4.1%	2.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	7	4	0	1	1	13
		%	53.8%	30.8%	0.0%	7.7%	7.7%	100.0%

Q22 満足度:指導教員とのコミュニケーション

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	110	90	24	2	226
		%	48.7%	39.8%	10.6%	0.9%	100.0%
	博士後期課程	度数	13	5	2	0	20
		%	65.0%	25.0%	10.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	49	39	6	3	97
		%	50.5%	40.2%	6.2%	3.1%	100.0%
	博士後期課程	度数	8	4	1	0	13
		%	61.5%	30.8%	7.7%	0.0%	100.0%

Q23 満足度:図書館

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	57	118	42	8	1	226
		%	25.2%	52.2%	18.6%	3.5%	0.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	10	10	0	0	0	20
		%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	29	49	16	3	0	97
		%	29.9%	50.5%	16.5%	3.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	3	9	0	0	1	13
		%	23.1%	69.2%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%

Q24 満足度:研究施設・設備・機器等

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	60	124	35	7	226
		%	26.5%	54.9%	15.5%	3.1%	100.0%
	博士後期課程	度数	14	5	1	0	20
		%	70.0%	25.0%	5.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	36	47	11	3	97
		%	37.1%	48.5%	11.3%	3.1%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	7	1	0	13
		%	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%	100.0%

Q25 満足度:就職支援

			とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	該当せず（社会人学生）	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	46	115	51	14	0	0	226
		%	20.4%	50.9%	22.6%	6.2%	0.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	8	3	0	3	1	20
		%	25.0%	40.0%	15.0%	0.0%	15.0%	5.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	24	52	14	6	1	0	97
		%	24.7%	53.6%	14.4%	6.2%	1.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	4	4	2	0	3	0	13
		%	30.8%	30.8%	15.4%	0.0%	23.1%	0.0%	100.0%

Q26 幅広く豊かな学識を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	67	130	25	4	226
		%	29.6%	57.5%	11.1%	1.8%	100.0%
	博士後期課程	度数	11	9	0	0	20
		%	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	37	55	4	1	97
		%	38.1%	56.7%	4.1%	1.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	6	7	0	0	13
		%	46.2%	53.8%	0.0%	0.0%	100.0%

Q27 専門分野において自立して研究活動を実践できる能力を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	74	127	18	6	1	226
		%	32.7%	56.2%	8.0%	2.7%	0.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	12	8	0	0	0	20
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	43	49	3	2	0	97
		%	44.3%	50.5%	3.1%	2.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	6	1	0	1	13
		%	38.5%	46.2%	7.7%	0.0%	7.7%	100.0%

Q28 高度な専門性または国際性を必要とする職業を担う能力を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	44	114	61	7	0	226
		%	19.5%	50.4%	27.0%	3.1%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	11	9	0	0	0	20
		%	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	26	49	19	2	1	97
		%	26.8%	50.5%	19.6%	2.1%	1.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	5	8	0	0	0	13
		%	38.5%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

Q29 研究者・技術者・高度専門職業人としての倫理観を身に付けた

			とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	まったくそう思わない	N/A	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	62	141	18	4	1	226
		%	27.4%	62.4%	8.0%	1.8%	0.4%	100.0%
	博士後期課程	度数	12	8	0	0	0	20
		%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	37	53	6	1	0	97
		%	38.1%	54.6%	6.2%	1.0%	0.0%	100.0%
	博士後期課程	度数	6	5	1	0	1	13
		%	46.2%	38.5%	7.7%	0.0%	7.7%	100.0%

Q30 群馬大学大学院のカリキュラムを全体としてどう評価するか

			十分である	おおむね十分である	やや不十分である	不十分である	合計
2023年3月修了生	博士前期課程	度数	58	144	22	2	226
		%	25.7%	63.7%	9.7%	0.9%	100.0%
	博士後期課程	度数	11	9	0	0	20
		%	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2024年4月修了生	博士前期課程	度数	32	57	6	2	97
		%	33.0%	58.8%	6.2%	2.1%	100.0%
	博士後期課程	度数	7	6	0	0	13
		%	53.8%	46.2%	0.0%	0.0%	100.0%

8.1.54　2023年度末実施各種学生アンケート結果のポイント

2023年度末実施各種学生アンケート結果のポイント

2024年6月4日

二宮 祐（大学教育・学生支援機構教育改革推進室）

各種アンケートの位置づけ

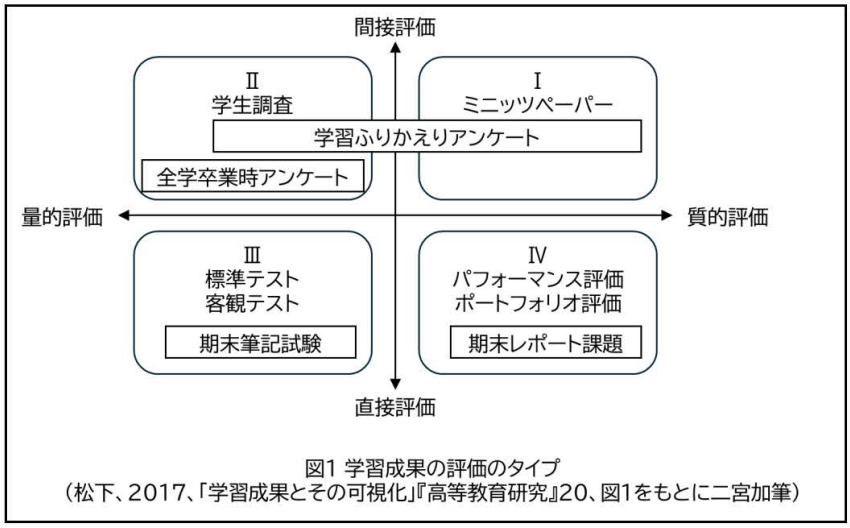


図1 学習成果の評価のタイプ
（松下、2017、「学習成果とその可視化」『高等教育研究』20、図1をもとに二宮加筆）

学習成果の評価には複数の方法がある。
「学習ふりかえりアンケート」は学生の自己認識をもとに評価する「間接評価」であり、かつ、量的（順序）、質的（自由記述）を用いる評価である。（図Ⅰの1、Ⅱ）
「全学卒業時アンケート」も学生の自己認識をもとに評価する「間接評価」であり、かつ、量的（順序）な評価である。（図ⅠのⅡ）
一般的な授業で行われる期末筆記試験は図ⅠのⅢ、期末レポート課題は図ⅠのⅣに相当する（例外もある）。卒業論文や卒業研究に対する評価もⅣに相当する。

学習ふりかえりアンケート（学部1～3年生対象（医学科のみ学部1～5年生対象））

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行以降、学習に対して積極的になっている様子が窺える。

  設問06 授業や勉強の様子 B授業の予習や復習をした
  2023年度末実施 1～3年生合計 「とても」（21.0%）+「まあ」（56.1%）=77.1%
  （2019年度末実施 51.9%）
  設問10 授業や勉強の様子 F興味をもったことについて自主的に勉強した
  2023年度末実施 1～3年生合計 「とても」（31.7%）+「まあ」（48.8%）=80.5%
  （2019年度末実施 32.4%）

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束以降、対面授業が一般的になったことに影響を受けたためか、自宅での学習時間が減少している。「1単位=45時間の学修」が確保されているかどうかについての課題を残す。
  設問 26 授業期間中 1 日あたり生活時間 B自宅での学習
  2023 年度末実施 1~3 年生 「1 時間未満」=30.9%
  （2021 年度末実施 17.9%）
- 上記の「自宅での学習時間」はコーホートでも課題を残す。
  設問 26 授業期間中 1 日あたり生活時間 B自宅での学習
  2023 年度末実施 3 年生 「1 時間未満」=24.6%
  2022 年度末実施 2 年生 「1 時間未満」=18.9%
  2021 年度末実施 1 年生 「1 時間未満」=23.8%
- 群馬大学ディプロマポリシーに関連する、「専門的学識・技能の修得」などの経験については安定して好調な回答となっている。
  設問 51 身につけることにつながる経験 A 専門的学識・技能の修得
  2023 年度末実施 1~3 年生 「とても」（27.2%）+「まあ」（60.6%）=87.8%
  （2021 年度末実施 88.8%）

全学卒業時アンケート調査

- 学習に対して前向きな姿勢であったという回答を継続的に得ている。
  Q12 学習の様子：授業に真面目に出席した
  2024 年 3 月卒業生 「とても」（49.7%）+「まあ」（44.6%）=94.3%
  （2023 年 3 月卒業生 94.4%）
  Q15 学習の様子：グループワークやディスカッションに、積極的に参加した
  2024 年 3 月卒業生 「とても」（29.1%）+「まあ」（58.4%）=87.5%
  （2023 年 3 月卒業生 87.0%）
- 群馬大学ディプロマポリシーに関連する「専門的学識・技能の修得」などの経験についても好調な回答となっている。
  Q52 専門的学識・技能を修得した
  2024年 3 月卒業生 「とても」（30.9%）+「まあ」（61.5%）=92.4%
  （2023 年 3 月卒業生 91.8%）
  Q56 論理的思考力を身に付けた
  2024 年 3 月卒業生 「とても」（27.8%）+「まあ」（62.8%）=90.6%
  （2023 年 3 月卒業生 89.4%）
- カリキュラムに対する全体的な評価についても肯定的な回答を得ている。
  Q61 群馬大学のカリキュラムを全体としてどう評価するか
  2024年 3 月卒業生 「十分」（21.2%）+「おおむね十分」（69.6%）=90.8%
  （2023 年 3 月卒業生 91.6%）

8.1.55　　第 15 回全学ＦＤ連続講演会「大学教育のグランドデザイン」開催案内

第１５回 全学ＦＤ連続講演会「大学教育のグランドデザイン」

テーマ：生成 AI への対応

～生成 AI について理解を深め教育現場で利活用するために～

日　　時：令和５年１０月３０日（月）１４時２０分～１６時１０分（予定）

実施方法：Zoom によるオンライン開催

【概　要】

全学 FD 連続講演会「大学教育のグランドデザイン」は、平成 21 年度から毎年、学内外から大学教育の専門家をお招きして実施しています。

今年度は、利用者が急増し教育・研究活動にも大きな影響を与えることが指摘されている「生成 AI」をテーマとして、群馬県の講師をお招きして日本最先端クラスのデジタル県を目指す取組をご紹介いただき、また本学講師から概要をご紹介いただきます。

また、サブテーマとして、シラバスの書き方について説明いたします。

【内　容】

時　間	内　容	講演者等
14：20	開会・挨拶	**石崎　泰樹　学長**
14：25 ～ 15：05	群馬県の取組について　（４０分）	群馬県知事戦略部 デジタルトランスフォーメーション戦略課 Web３推進室長 **瀬下（せしも）　昌幸（まさゆき）　先生**
15：05 ～ 15：35	「生成 AI」とは　（３０分）	数理データ科学教育研究センター **中村　賢治　先生** 共同教育学部 **紺谷　正樹　先生**
15：35 ～ 15：45	本学の対応状況等　（１０分）	大学教育センター長 **渡辺　秀司　先生**
15：45 ～ 15：55	質疑応答　（１０分）	
15：55 ～ 16：10	**サブテーマ** ・シラバスの書き方について（１５分）	教育改革推進室 **二宮　祐　先生**
16：10	閉会・挨拶	**林　邦彦　理事**（教育・評価担当）

（司会：大学教育センター　尾崎　広明　副センター長）

【参加方法】

■時間になりましたら、以下により Zoom にアクセスしてください。

（URL）https://gunma-u-ac-jp.zoom.us/j/87962871347?pwd=QCHeVkq78Q953CTvGusK0HJLGyICob.1

（ミーティング ID）　879 6287 1347　　（パスコード）　457930

■以下から事前の参加登録をお願いします（ブラウザで Office365 Forms が開かれます）。

出席登録はこちら

（主催：大学教育・学生支援機構）